参考資料4－1

消　食　基　４００　号
令　和　８　年　９　月　３　日

食品衛生基準審議会
　会長　　曽根　智史　殿

内閣総理大臣　　高市　早苗
（　公　印　省　略　）

諮問書

食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 13 条第１項の規定に基づき、下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準の設定について

農薬キャプタン
農薬スルホキサフロル
農薬フェンメゾジチアズ
農薬ベンゾビシクロン
農薬メフェントリフルコナゾール

以上

注17）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

令和８年９月10日

農薬・動物用医薬品部会
　部会長　堤　　智昭　殿

食品衛生基準審議会
　会長　　曽根　智史

農薬の食品中の残留基準の設定について（付議）

標記について、下記のとおり内閣総理大臣から諮問があったので、食品衛生基準審議会規程第６条の規定に基づき、貴部会において審議方願いたい。

記

令和８年９月３日付け消食基第400号

次に掲げる農薬の食品中の残留基準の設定について

農薬キャプタン
農薬スルホキサフロル
農薬フェンメゾジチアズ
農薬ベンゾビシクロン
農薬メフェントリフルコナゾール

以上

令和８年９月 16 日開催部会

スルホキサフロル（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点をとりまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

１．概要

（１）品目名：スルホキサフロル[Sulfoxaflor (ISO)]

（２）分　類（用途）：農薬（殺虫剤）

（３）化学名及び CAS 番号

[Methyl(oxo){1-[6-(trifluoromethyl)pyridin-3-yl]ethyl}-λ^{6}-sulfanylidene]cyanamide (IUPAC)

Cyanamide, *N*-[methyloxido[1-[6-(trifluoromethyl)-3-pyridinyl]ethyl]-λ^{4}-sulfanylidene]- (CAS：No. 946578-00-3)

（４）構造式及び物性：変更なし（添付資料１参照）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は別紙 1-1、海外における適用の範囲及び使用方法は、別紙 1-2 及び 1-3 のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

３．代謝試験

変更なし（添付資料１参照）

今回、代謝物の化学名を一部修正したので代謝物略称一覧を記載した。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	X11721061	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタノール
D	X11719474	*N*-[メチル(オキソ){1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル}-λ⁶-スルファニリデン]ウレア
E	X11863595	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチルヘキソピラノシド
F	X11889781	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル 6-*O*-(カルボキシアセチル)ヘキソピラノシド
G	X11519540	5-[1-(メチルスルホニル)エチル]-2-(トリフルオロメチル)ピリジン
K	X11596066	5-エチル-2-(トリフルオロメチル)ピリジン

４．作物残留試験

（１）分析の概要

変更なし（添付資料１参照）

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、パイナップル及びいちじくの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙 2-1 に示す。

海外作物残留試験成績の概要については、別紙 2-2 及び 2-3 を参照。

５．畜産物における推定残留濃度

変更なし（添付資料1参照）

６．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたスルホキサフロルに係る食品健康影響評価において、スルホキサフロルのADIを0.042 mg/kg体重/日、ARfDを0.25 mg/kg体重と設定すると評価している。

７．諸外国における状況

変更なし（添付資料１参照）

８．残留規制

（１）残留の規制対象：変更なし

スルホキサフロルとする。

植物代謝試験及び家畜代謝試験で、親化合物の残留が認められた。10%TRR 以上認められた代謝物として代謝物 D、代謝物 B の抱合体である代謝物 E 及び代謝物 F 並びに代

謝物 K が認められたが、作物残留試験あるいは家畜残留試験において、残留濃度が定量限界未満又はスルホキサフロルよりも低いことから代謝物を規制対象に含めず、規制対象物質をスルホキサフロルとする。

（2）基準値案

別紙 3 のとおりである。

9．暴露評価

（1）暴露評価対象：変更なし

スルホキサフロルとする。

植物代謝試験及び家畜代謝試験で 10%TRR 以上認められた代謝物として代謝物 D、代謝物 B の抱合体である代謝物 E 及び代謝物 F 並びに代謝物 K が認められた。作物残留試験において、多くの作物では、分析対象となった各代謝物の残留濃度がいずれも定量限界未満であり、残留が認められた一部の作物においても、それらの残留濃度はスルホキサフロルよりも低かった。家畜残留試験においては、最大飼料由来負荷相当の投与を行った場合において、分析対象となった各代謝物の残留は、定量限界未満であるか、その濃度がスルホキサフロルに比べて低かった。また、各代謝物の毒性は、食品健康影響評価において、いずれもスルホキサフロルに比べて弱いと評価されている。これらの状況を踏まえ、暴露評価対象物質をスルホキサフロルとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をスルホキサフロル（親化合物のみ）としている。

（2）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1 日当たり摂取する農薬の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 4 参照。

	EDI／ADI(%)[注)]
国民全体（1 歳以上）	18.6
幼小児（1～6 歳）	38.5
妊婦	17.5
高齢者（65 歳以上）	21.0

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1 日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体（1 歳以上）及び幼小児（1～6 歳）のそれぞれにおける摂取量は ARfD を超えていない[注)]。詳細な暴露評価は別紙 5-1 及び 5-2 参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を算出した。

（別紙1-1）

スルホキサフロルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	スルホキサフロル を含む農薬の 総使用回数
稲	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	3回以内	3回以内
			500倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍		0.8 L/10 a		
	0.50% DP	散布	3 kg/10 a	収穫7日前まで	－	3回以内	
	10.0% SC 配合剤1	空中散布	30倍	穂揃期まで	3 L/10 a	2回以内	
			8倍		800 mL/10 a		
		散布	1000倍		60～150 L/10 a		
			300倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	8倍		800 mL/10 a		
	10.0% SC 配合剤2	散布	1000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	3回以内	
			250倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	8倍		0.8 L/10 a		
	0.50% DP 配合剤3	散布	3 kg/10 a	穂揃期まで	－	2回以内	
小麦	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	2回以内	2回以内
未成熟とうもろこし	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
だいず	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	20.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	16倍		0.8 L/10 a		
いんげんまめ	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ばれいしょ	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1250倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	160倍		1.6 L/10 a		
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
やまのいも	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
てんさい	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	160倍		1.6 L/10 a		

（別紙1-1）

スルホキサフロルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	スルホキサフロル を含む農薬の 総使用回数
だいこん	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
はくさい	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
キャベツ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブロッコリー	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
非結球あぶらな 科葉菜類	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ごぼう	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
レタス	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
非結球レタス	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
食用ぎく	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ねぎ	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
トマト	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ミニトマト	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ピーマン	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
なす	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
きゅうり	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
すいか	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ほうれんそう	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
えだまめ	20.0% SC	散布 無人航空機による散布	2000倍 16倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a 0.8 L/10 a	2回以内	2回以内
かんきつ	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
りんご	9.5% SC	散布	2000～4000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	9.5% SC	散布	2000～4000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

（別紙1-1）

スルホキサフロルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	スルホキサフロル を含む農薬の 総使用回数
もも	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
ネクタリン	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
おうとう	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
小粒核果類	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ぶどう	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
かき	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
キウイフルーツ	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
パイナップル	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
マンゴー	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちじく	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
オリーブ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
オリーブ(葉)	9.5% SC	散布	2000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
しそ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みょうが(花穂)	9.5% SC	散布、ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

SC：フロアブル
DP：粉剤
WG：顆粒水和剤
配合剤1：1.37%カスガマイシン・8.0%トリシクラゾール
配合剤2：8.0%トリシクラゾール
配合剤3：0.34%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール
今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。
－：規定されていない項目

（別紙1-2）

スルホキサフロルの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	スルホキサフロルの総使用量
豆類 （未成熟及び乾燥種子） いんげん、未成熟いんげん（さや付き）等	50.0% WG	散布	収穫7日前まで	0.08 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
				0.071～0.078 kg ai/ha		
				0.053～0.080 kg ai/ha		
				0.026～0.035 kg ai/ha		
	24.0% SC	散布	収穫7日前まで	0.078 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
				0.048～0.078 kg ai/ha		
				0.026～0.035 kg ai/ha		
あぶらな科葉菜類 カリフラワー、ブロッコリー等	50.0% WG	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.096 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
				0.071～0.096 kg ai/ha		
				0.026～0.035 kg ai/ha		
	24.0% SC	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.101 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
				0.074～0.101 kg ai/ha		
				0.026～0.035 kg ai/ha		
根菜類 にんじん等	50.0% WG	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.071～0.096 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
				0.053～0.080 kg ai/ha		
				0.026～0.053 kg ai/ha		
	24.0% SC	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.074～0.101 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
				0.048～0.101 kg ai/ha		
				0.026～0.048 kg ai/ha		

（別紙1-2）

スルホキサフロルの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	スルホキサフロルの総使用量
葉菜類（あぶらな科を除く）及びクレソン、ほうれんそう等	50.0% WG	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.096 kg ai/ha 0.071～0.096 kg ai/ha 0.026～0.035 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
	24.0% SC	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.101 kg ai/ha 0.074～0.101 kg ai/ha 0.026～0.035 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
核果類 おうとう等	50.0% WG	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.096 kg ai/ha 0.026～0.053 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
	24.0% SC	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.101 kg ai/ha 0.026～0.048 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
なたね	50.0% WG	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.018～0.026 kg ai/ha	2回以内	0.052 kg ai/ha
	24.0% SC	散布	開花3日前から開花期間中を除く、収穫14日前まで	0.018～0.026 kg ai/ha	2回以内	0.052 kg ai/ha
アーティチョーク	50.0% WG	散布	収穫3日前まで	0.08～0.096 kg ai/ha 0.053～0.08 kg ai/ha 0.026～0.035 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
	24.0% SC	散布	収穫3日前まで	0.074～0.101 kg ai/ha 0.048～0.101 kg ai/ha 0.026～0.035 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
ケインベリー類 ブラックベリー、 ラズベリー等 ブッシュベリー類 ブルーベリー、 クランベリー、 ハックルベリー等	50.0% WG	散布	収穫1日前まで	0.096 kg ai/ha 0.053～0.096 kg ai/ha 0.026～0.053 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha
	24.0% SC	散布	収穫1日前まで	0.101 kg ai/ha 0.048～0.101 kg ai/ha 0.026～0.048 kg ai/ha	4回以内	0.298 kg ai/ha

(別紙1-2)

スルホキサフロルの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	スルホキサフロルの総使用量
カカオ豆	50.0% WG	散布	収穫3日前まで	0.0430 kg ai/ha	4回以内	0.157 kg ai/ha
	24.0% SC	散布	収穫3日前まで	0.040 kg ai/ha	4回以内	0.157 kg ai/ha

WG：顆粒水和剤
SC：フロアブル
ai：active ingredient（有効成分）

（別紙2-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稲 （玄米）	4	20.0% SC	2000倍散布 150 L/10 a	3	*3*, 7, 14	圃場A:*0.44/*0.02/0.06$/-（*3回, 14日）	
						圃場B:0.45/<0.01/0.03$/-	
			2000倍散布 146 L/10 a		7, 14, 21, 28, 35, 42	圃場C:0.48/0.02/0.03$/-	
						圃場D:*0.30/<0.01/0.04$/-（*3回, 14日）	
	6	20.0% SC	500倍散布 25～25.7, 25 L/10 a	3	7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.12/<0.01/0.03$/-（*3回, 21日）	
						圃場B:0.11/<0.01/0.03$/-	
			500倍散布 25 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場C:*0.12/<0.01/**0.15/-（*3回, 14日、**3回, 28日）	
						圃場D:*0.14/<0.01/**0.10/-（*3回, 14日、**3回, 21日）	
						圃場E:0.09/<0.01/0.07/-	
						圃場F:0.11/<0.01/0.07/-	
	3	20.0% SC	16倍散布 0.8 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.12/<0.01/0.13/-	
						圃場B:*0.10/<0.01/*0.09/-（*3回, 14日）	
						圃場C:*0.16/<0.01/*0.22/-（*3回, 28日）	
小麦 （玄麦）	6	25.0% WG	5000倍散布 150, 130 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.02/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.05/<0.01/<0.02$/-	
			5000倍散布 140, 145, 133, 131 L/10 a		7	圃場C:0.06/<0.01/0.02$/-	
						圃場D:0.03/<0.01/<0.02$/-	
						圃場E:0.19/<0.01/0.03$/-	
						圃場F:0.11/<0.01/<0.02$/-	
いんげんまめ （乾燥子実）	2	25.0% WG	5000倍散布 161～182, 161～180 L/10 a	3	14, 21, 28, 35, 42, 49, 56	圃場A:0.02/<0.01/*0.03/-（*3回, 21日）	
						圃場B:0.02/*0.01/**0.07/-（*3回, 56日、**3回, 35日）	
だいず （乾燥子実）	6	20.0% SC	2000倍散布 200, 180～188, 200, 167, 155～160 L/10 a	3	14, 21, 28, 42, 56	圃場A:*0.46/*0.06/*0.04/-（*3回, 28日）	◎
						圃場B:*0.36/**0.06/***0.03/-（*3回, 42日、**3回, 56日、***3回, 21日）	
					14, 21, 28, 35, 42, 49, 56	圃場C:*0.54/**0.04/*0.04/-（*3回, 28日、**3回, 49日）	
						圃場D:*0.38/*0.03/*0.04/-（*3回, 42日）	
						圃場E:*0.22/0.06/**0.07/-（*3回, 35日、**3回, 42日）	
						圃場F:*0.56/*0.04/**0.04/-（*3回, 35日、**3回, 42日）	
未成熟とうもろこし （種子）	3	9.5% SC	2000倍散布 179, 195, 192 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
						圃場C:<0.01/<0.01/<0.02/-	
ばれいしょ （塊茎）	6	9.5% SC	2000倍散布 190, 193 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場B:<0.005/<0.005/<0.008/-	
			2000倍散布 200, 190, 178, 175 L/10 a		7	圃場C:<0.005/0.006/<0.008/-	
						圃場D:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場E:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場F:<0.005/<0.005/<0.008/-	
	7	25.0% WG	5000倍散布 187, 181 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.005/<0.005/<0.008$/-	
						圃場B:<0.005/0.009/<0.008$/-	
			5000倍散布 200, 170～193, 184, 170 L/10 a		7	圃場C:<0.005/0.007/<0.008$/-	
						圃場D:<0.005/0.007/<0.008$/-	
						圃場E:<0.005/0.006/<0.008$/-	
						圃場F:<0.005/<0.005/<0.008$/-	
						圃場G:<0.005/<0.005/<0.008$/-	
	2	25.0% WG	*400*倍散布 25 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.005/*0.010/*0.009$/-（*3回, 21日）(#)	
						圃場B:<0.005/*0.009/<0.008$/-（*3回, 28日）(#)	
	4	25.0% WG	1250倍散布 25, 26 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場B:<0.005/<0.005/<0.008/-	
					7	圃場C:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場D:<0.005/<0.005/<0.008/-	
やまのいも （塊茎）	3	9.5% SC	2000倍散布 189 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:<0.01/<0.01/<0.02/-	
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.02/-	
					3	圃場C:<0.01/<0.01/<0.02/-	
てんさい （根部）	3	25.0% WG	5000倍散布 200, 208, 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
					7	圃場C:<0.01/<0.01/<0.02$/-	

（別紙2-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
はくさい（茎葉）	6	9.5% SC	2000倍散布 192～250, 281, 190, 300, 250, 260 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.04/*0.01/<0.02$/-（*3回, 21日）	
						圃場B:0.56/*0.10/0.02$/-（*3回, 14日）	
					3	圃場C:0.15/0.03/0.03$/-	
						圃場D:0.06/<0.01/<0.02$/-	
						圃場E:0.02/0.02/<0.02$/-	
						圃場F:0.06/<0.01/<0.02$/-	
だいこん（根部）	2	9.5% SC	2000倍散布 250, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.01/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.05/*0.03/<0.02$/-（*3回, 3日）	
だいこん（葉部）	2	9.5% SC	2000倍散布 250, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:4.86/0.37/*0.06$/-（*3回, 7日）	◎
						圃場B:0.84/*0.11/*0.03$/-（*3回, 7日）	
キャベツ（葉球）	2	9.5% SC	2000倍散布 300, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.02/<0.01/<0.02$/-（*3回, 7日）	
						圃場B:0.21/0.01/<0.02$/-	
ブロッコリー（花蕾）	3	9.5% SC	2000倍散布 250, 220, 278 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.94/0.02/*0.03/-（*3回, 3日）	
					1, 3, 6	圃場B:0.26/0.01/0.03/-	
					1	圃場C:0.71/0.01/0.02/-	
こまつな（茎葉）	3	9.5% SC	2000倍散布 190, 188, 179 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.50/0.04/0.09/-	
						圃場B:0.78/0.06/0.13/-	
						圃場C:1.05/*0.14/*0.12/-（*3回, 3日）	
みずな（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 188, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.48/0.11/0.12/-	
						圃場B:1.54/*0.34/0.15/-（*3回, 7日）	
チンゲンサイ（茎葉）	3	9.5% SC	2000倍散布 160～169, 190, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.06/*0.08/0.06/-（*3回, 3日）	◎
						圃場B:2.17/*0.20/**0.12/-（*3回, 3日、**3回, 7日）	
						圃場C:2.55/*0.62/*0.12/-（*3回, 3日）	
ごぼう（根部）	3	9.5% SC	2000倍散布 189, 200, 189 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.01/0.01/<0.01/-	
						圃場B:<0.01/0.01/<0.01/-	
					7	圃場C:0.01/0.01/<0.01/-	
レタス（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 295, 222～296 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.28/*0.07/<0.02$/-（*3回, 7日）	
						圃場B:0.42/0.01/<0.02$/-	
サラダ菜（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 187.5, 180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:3.88/0.28/*0.03$/-（*3回, 3日）	◎
						圃場B:2.28/*0.13/<0.02$/-（*3回, 3日）	
リーフレタス（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:3.98/*0.32/*0.02$/-（*3回, 3日）	◎
						圃場B:3.51/*0.28/*0.02$/-（*3回, 3日）	
食用ぎく（花器全体）	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:2.90/0.03/0.17/-	
						圃場B:2.54/0.03/0.06/-	
根深ねぎ（茎葉）	3	9.5% SC	1000倍散布 186, 192, 186 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.33/*0.02/**0.06/-（*3回, 7日、**3回, 3日）	
						圃場B:0.39/<0.01/*0.12/-（*3回, 3日）	◎
						圃場C:0.34/<0.01/<0.02/-	
葉ねぎ（茎葉）	3	9.5% SC	1000倍散布 188, 185, 175 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.04/*0.15/0.04/-（*3回, 7日）	
						圃場B:0.43/0.08/<0.02/-	◎
						圃場C:0.28/*0.09/0.03/-（*3回, 7日）	
ミニトマト（果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 300, 250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.94/*0.02/<0.02$/-（*2回, 3日）	◎
						圃場B:0.33/<0.01/<0.02$/-	
ピーマン（果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 259, 189, 296 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:*0.70/0.02/<0.02$/-（*2回, 3日）	
						圃場B:0.40/<0.01/<0.02$/-	
						圃場C:0.35/0.01/<0.02$/-	
なす（果実）	6	9.5% SC	1000倍散布 195～248, 300, 285, 247, 150, 258 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.17/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:0.13/<0.01/<0.02$/-	
					1	圃場C:0.22/<0.01/<0.02$/-	
						圃場D:0.16/<0.01/<0.02$/-	
						圃場E:0.14/<0.01/<0.02$/-	
						圃場F:0.44/<0.01/<0.02$/-	
きゅうり（果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.25/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.28/*0.01/<0.02$/-（*2回, 3日）	

（別紙2-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
すいか （果肉）	6	9.5% SC	1000倍散布 161～247, 158～282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.04/<0.01/**0.20/-（*3回, 21日、**3回, 14日）	
						圃場B:*0.05/*0.01/**0.17/-（*3回, 14日、**3回, 7日）	
						圃場C:*0.04/<0.01/**0.17/-（*3回, 35日、**3回, 14日）	
						圃場D:*0.02/<0.01/*0.15/-（*3回, 14日）	
						圃場E:*0.03/<0.01/**0.17/-（*3回, 28日、**3回, 21日）	
						圃場F:*0.02/*0.01/***0.17/-（*3回, 21日、**3回, 28日、***3回, 7日）	
すいか （果実）	6	9.5% SC	1000倍散布 161～247, 158～282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.07/<0.01/*0.20/-（*3回, 14日）	
						圃場B:*0.11/**0.01/***0.15/-（*3回, 3日、**3回, 14日、***3回, 7日）	
						圃場C:*0.10/<0.01/**0.16/-（*3回, 3日、**3回, 14日）	
						圃場D:0.10/*0.01/**0.13/-（*3回, 35日、**3回, 14日）	
						圃場E:0.07/<0.01/*0.13/-（*3回, 14日）	
						圃場F:*0.04/<0.01/**0.15/-（*3回, 3日、**3回, 7日）	
メロン （果肉）	5	9.5% SC	1000倍散布 249～252, 247, 190～199, 165～271 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:*0.05/<0.01/*0.02/-（*3回, 14日）	
						圃場B:*0.02/<0.01/<0.02/-（*3回, 14日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C:*0.03/**0.01/<0.02/-（*3回, 14日、**3回, 28日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 50	圃場D:*0.06/*0.04/*0.03/-（*3回, 28日）	
						圃場E:*0.04/<0.01/**0.09/-（*3回, 14日、**3回, 28日）	
メロン （果実）	5	9.5% SC	1000倍散布 249～252, 247, 190～199, 165～271 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.16/<0.01/*0.03/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:0.20/<0.01/*0.02/-（*3回, 21日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C:0.12/*0.02/**0.02/-（*3回, 35日、**3回, 14日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 50	圃場D:0.17/*0.04/*0.04/-（*3回, 28日）	
						圃場E:0.24/<0.01/*0.12/-（*3回, 28日）	
ほうれんそう （茎葉）	6	9.5% SC	2000倍散布 181, 184, 158～167, 180, 179 L/10 a	2	*1*, 3, 7, 14	圃場A:4.50/*0.37/0.15/-（*2回, 7日）	◎
						圃場B:6.67/*0.15/**0.15/-（*2回, 14日、**2回, 7日）	
					3, 14	圃場C:3.86/0.08/0.17/-	
						圃場D:5.34/*0.33/0.17/-（*2回, 14日）	
						圃場E:7.72/0.11/0.26/-	
						圃場F:6.08/0.10/0.13/-	
えだまめ （さや）	3	20.0% SC	2000倍散布 189, 190, 180～181 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.06/<0.01/<0.02/-	◎
						圃場B:*1.04/*0.02/**0.04/-（*2回, 3日、**2回, 7日）	
					1, 3, 7, 14, 21	圃場C:*0.38/**0.01/*0.06/-（*2回, 14日、**2回, 7日）	
オリーブ （葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	30, 61, 89	圃場A:0.82/1.99/<0.08/-	
					28, 56, 90	圃場B:*1.56/*0.44/*<0.08/-（*2回, 28日）	
みかん （果肉）	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.05/<0.01/<0.02$/-（*3回, 7日）	
						圃場B:*0.05/0.01/<0.02$/-（*3回, 3日）	
みかん （果皮）	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:3.10/*0.08/<0.03$/0.05（*3回, 3日）	◎
						圃場B:3.38/*0.60/<0.03$/0.13（*3回, 7日）	
みかん （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.93/0.03/<0.01$/-[注2)]	◎
						圃場B:0.49/*0.08/<0.01$/-[注2)]（*3回, 3日）	
なつみかん （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 500, 637 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.62/0.23/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.89/*0.31/<0.02$/-（*3回, 3日）	
かぼす （果実）	1	9.5% SC	1000倍散布 617 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.38/*0.03/<0.02$/<0.02（*3回, 7日）	◎
すだち （果実）	1	9.5% SC	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.56/*0.02/<0.02$/<0.02（*3回, 7日）	
りんご （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 450 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.12/<0.01/<0.02$/<0.02（*3回, 3日）	◎
						圃場B:0.28/0.01/<0.02$/0.02	
なし （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 400, 432 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.48/*0.03/<0.02$/-（*3回, 3日）	◎
						圃場B:0.49/0.02/<0.02$/-	
もも （果肉）	4	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:*0.34/<0.01/<0.02$/-（*3回, 21日）	
						圃場B:*0.16/*0.03/<0.02$/-（*3回, 21日）	
			1000倍散布 317, 320 L/10 a		7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.20/<0.01/<0.02$/-	
						圃場D:0.08/*0.03/<0.02$/-（*3回, 56日）	
もも （果皮）	2	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:3.07/0.15/0.06/-	
						圃場B:1.02/*0.07/0.03/-（*3回, 21日）	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも （果皮）	2	9.5% SC	1000倍散布 317, 320 L/10 a	3	7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.42/<0.01/<0.02/-	
						圃場D:0.25/*0.04/<0.02/-（*3回, 56日）	
もも （果実）	4	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.72/0.04/0.02$/-[注2)]	◎
						圃場 B:*0.22/*0.03/0.02$/-[注2)]（*3回, 21日）	
			1000倍散布 317, 320 L/10 a		7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.40/<0.01/<0.02$/-[注2)]	
						圃場D:0.23/*0.04/<0.02$/-[注2)]（*3回, 56日）	
すもも （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 333, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.08/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:0.06/<0.01/<0.02$/-	
うめ （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 333, 320～327, 300 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.18/*0.01/<0.02$/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:1.24/0.03/<0.02$/-	
					3	圃場C:0.48/0.01/<0.02$/-	
おうとう （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 444, 450～460 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:1.58/*0.04/<0.02$/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:1.10/*0.02/<0.02$/-（*3回, 7日）	
いちご （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 174, 179, 180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.08/0.04/0.03$/-	◎
						圃場B:0.92/0.05/0.02$/-	
					1	圃場C:1.96/0.07/<0.02$/-	
ぶどう （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 333 L/10 a	3	*1*, 3, 7, 14, 21	圃場A:*1.19/*0.04/<0.02$/-（*3回, 7日）	◎
						圃場B:1.41/0.02/*0.02$/-（*3回, 7日）	
					3, 7, 14, 21	圃場C:*0.99/**0.02/**0.09/-（*3回, 7日、**3回, 14日）	
かき （果実）	6	9.5% SC	1000倍散布 450, 452, 450, 453, 454, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.14/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.31/<0.01/<0.02$/-	
						圃場C:0.19/<0.01/<0.02/-	
						圃場D:0.14/<0.01/<0.02/-	
						圃場E:*0.22/<0.01/<0.02/-（*3回, 3日）	
						圃場F:0.29/0.04/<0.02/-	
キウイフルーツ （果肉）	3	9.5% SC	1000倍散布 350, 360, 375 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.02/<0.01/<0.02/-（*3回, 35日）	
						圃場B:0.01/<0.01/<0.02/-	
						圃場C:0.02/<0.01/<0.02/-	
キウイフルーツ （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 350, 360, 375 L/10 a	3	3	圃場A:0.75/*0.03/<0.02/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:1.22/0.02/*0.02/-（*3回, 35日）	
						圃場C:1.41/*0.03/<0.02/-（*3回, 21日）	
パイナップル	2	9.5% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.12/0.01/<0.01/-	◎
						圃場B:0.13/*0.01/0.01/-（*3回, 21日）	
マンゴー （果実）	2	9.5% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:*0.18/-/-/-（*3回, 7日）	
						圃場B:*0.03/<0.01/<0.02/-（*3回, 7日）	
いちじく	2	9.5% SC	1000倍散布 700 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.22/-/-/-	◎
						圃場B:1.26/-/-/-	
オリーブ （果実）	2	9.5% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*0.36/<0.05/<0.08/-（*3回, 14日）	
						圃場B:0.32/0.03/<0.08/-	
みょうが （花穂）	2	9.5% SC	2000倍散布 350 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01/-/-/-	
						圃場B:<0.01/-/-/-	
しそ （葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:8.44/0.22/*0.65/-（*2回, 3日）	◎
						圃場B:8.78/0.17/*0.35/-（*2回, 3日）	

SC：フロアブル
WG：顆粒水和剤
－：分析せず
$：抱合体の加水分解に使用したグルコシダーゼ溶液が、適切な濃度（10 mg/mL）の1000分の1の濃度（10 mg/L）であったため、参考値として記載している。
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。
代謝物D、代謝物B及び代謝物Gの残留濃度は、スルホキサフロル濃度に換算した値で示した。$を付していない代謝物Bの値は抱合体を含む残留濃度を示す。
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2）果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
いんげん （乾燥子実）	6	24.0% SC	0.0922～*0.1016* kg ai/ha散布 （計*0.3927*, *0.3730* kg ai/ha）	4	*0*, *3*, 7, 14, 21, 28	圃場A:*0.100/**0.069/*0.072 （*4回, 21日、**4回, 14日）(#)	◎
			0.0950～*0.1020* kg ai/ha散布 （計*0.3816*, *0.4028* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21, 28	圃場B:*0.088/**0.016/*0.020 （*4回, 21日）(#)	
			0.0915～*0.1032* kg ai/ha散布 （計*0.3808*, *0.4106* kg ai/ha）		7, 14	圃場C:0.074/0.019/0.017 (#)	
			0.0953～*0.1033* kg ai/ha散布 （計*0.3885*, *0.4024* kg ai/ha）		7, 14	圃場D:0.049/<0.003/0.078 (#)	
			0.0992～*0.1017* kg ai/ha散布 （計*0.4026* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 9, 13	圃場E:0.104/0.007/0.159 （*4回, 13日）(#)	
			0.1000～*0.1037* kg ai/ha散布 （計*0.4096* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7	圃場F:0.022/0.008/0.041 (#)	
にんじん （根）	12	24.0% SC	0.1009～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4091* kg ai/ha）	4	7	圃場A:0.013/<0.009/<0.015 (#)	◎
			0.1009～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4046* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場B:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	
			0.1009～0.1042 kg ai/ha散布 （計*0.4102* kg ai/ha）		7	圃場C:0.010/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0986～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4046* kg ai/ha）		7	圃場D:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0978～0.1067 kg ai/ha散布 （計*0.4089* kg ai/ha）		*4*, 7, 15, 28	圃場E:<0.01/0.032/<0.015 (#)	
			0.0967～0.1067 kg ai/ha散布 （計*0.4063* kg ai/ha）		7	圃場F:0.017/0.009/<0.015 (#)	
			0.1027～0.1080 kg ai/ha散布 （計*0.4227* kg ai/ha）		7	圃場G:0.009/<0.009/<0.015 (#)	
			0.1031～0.1063 kg ai/ha散布 （計*0.4179* kg ai/ha）		7	圃場H:0.010/0.030/<0.015 (#)	
			0.0973～0.1067 kg ai/ha散布 （計*0.4087* kg ai/ha）		7	圃場I:0.014/0.046/<0.015 (#)	
			0.1006～0.1019 kg ai/ha散布 （計*0.4057* kg ai/ha）		7	圃場J:<0.01/0.018/<0.015 (#)	
			0.0993～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4039* kg ai/ha）		7	圃場K:0.030/0.049/<0.015 (#)	
			0.0994～0.1017 kg ai/ha散布 （計*0.4012* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場L:0.016/0.040/<0.015 (#)	
カリフラワー （花蕾）	10	24.0% SC	0.096 kg ai/ha散布 （計*0.384* kg ai/ha）	4	3	圃場A:<0.01/0.023/<0.015 (#)	◎
					0, 4, 7, 14	圃場B:0.055/0.019/0.022 （*4回, 4日）(#)	
			0.097～0.105 kg ai/ha散布 （計*0.401* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場C:0.021/*0.011/<0.015 （*4回, 10日）(#)	
			0.099～0.101 kg ai/ha散布 （計*0.402* kg ai/ha）		3	圃場D:0.011/<0.009/<0.015 (#)	
			0.102～0.106 kg ai/ha散布 （計*0.414* kg ai/ha）		3	圃場E:0.014/0.020/<0.015 (#)	
			0.100～0.101 kg ai/ha散布 （計*0.401* kg ai/ha）		3	圃場F:0.022/0.009/<0.015 (#)	
			0.0869～0.0945 kg ai/ha散布 （計0.360 kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場G:0.029/*0.014/<0.015 （*4回, 7日）(#)	
			0.0878～0.0971 kg ai/ha散布 （計0.3669 kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場H:0.014/*0.033/<0.015 （*4回, 7日）(#)	
			0.1011～0.1100 kg ai/ha散布 （計*0.4194* kg ai/ha）		3	圃場I:<0.01/<0.009/<0.015 （*4回, 7日）(#)	
			0.0969～0.1011 kg ai/ha散布 （計*0.3977* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場J:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー（花蕾）	15	24.0% SC	0.095～0.101 kg ai/ha散布 （計*0.391* kg ai/ha）	4	*1*, 3, 7, 14	圃場A:0.065/0.008/0.073 (#)	◎
			0.096～0.100 kg ai/ha散布 （計*0.390* kg ai/ha）		3	圃場B:0.070/0.028/<0.015 (#)	
			0.1011～0.1111 kg ai/ha散布 （計*0.4221* kg ai/ha）		3	圃場C:0.073/0.009/<0.015 (#)	
			0.1032～0.1095 kg ai/ha散布 （計*0.4246* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場D:*0.318/0.042/*0.044 (*4回, 10日)(#)	
			0.0973～0.1000 kg ai/ha散布 （計*0.3973* kg ai/ha）		3	圃場E:0.164/0.028/0.018 (#)	
			0.1006～0.1008 kg ai/ha散布 （計*0.4029* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場F:1.580/*0.013/**0.092 (*4回, 10日、**4回, 7日)(#)	
			0.0979～0.1107 kg ai/ha散布 （計*0.4203* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場G:0.074/*0.011/0.021 (*4回, 7日)(#)	
			0.1051～0.1086 kg ai/ha散布 （計*0.4263* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 9	圃場H:0.057/*0.011/0.007 (*4回, 9日)(#)	
			0.0911～0.1095 kg ai/ha散布 （計*0.4098* kg ai/ha）		3	圃場I:0.036/0.028/<0.015 (#)	
			0.1009～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4057* kg ai/ha）		3	圃場J:<0.010/0.014/<0.015 (#)	
			0.0998～0.1015 kg ai/ha散布 （計*0.4015* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 14	圃場K:0.393/*0.107/*0.058 (*4回, 14日)(#)	
			0.0984～0.0996 kg ai/ha散布 （計*0.3960* kg ai/ha）		3	圃場L:0.060/<0.009/0.014 (#)	
			0.1009 kg ai/ha散布 （計*0.4035* kg ai/ha）		3	圃場M:0.117/0.024/0.037 (#)	
			0.1019～0.1042 kg ai/ha散布 （計*0.4112* kg ai/ha）		3	圃場N:0.050/<0.009/0.015 (#)	
			0.0975～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4001* kg ai/ha）		3	圃場O:0.029/0.012/<0.015 (#)	
ほうれんそう（葉）	8	24.0% SC	0.1010～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4050* kg ai/ha）	4	3	圃場A:2.85/0.124/0.167 (#)	◎
			0.1010 kg ai/ha散布 （計*0.4040* kg ai/ha）		*0*, 3, 7, 14	圃場B:1.038/*0.153/0.074 (*4回, 7日)(#)	
			0.1009～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4080* kg ai/ha）		3	圃場C:0.041/0.099/0.030 (#)	
			0.1009～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4091* kg ai/ha）		3	圃場D:0.405/0.235/0.120 (#)	
			0.1009 kg ai/ha散布 （計*0.4035* kg ai/ha）		3	圃場E:1.434/0.057/0.170 (#)	
			0.0986～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4046* kg ai/ha）		3	圃場F:1.871/0.067/0.195 (#)	
			0.096 kg ai/ha散布 （計*0.384* kg ai/ha）		*0*, 3, 7, 14	圃場G:0.365/0.169/0.051 (#)	
					3	圃場H:0.595/0.117/0.102 (#)	
Green bean (whole pod)	6	24.0% SC	0.0941～*0.1163* kg ai/ha散布 （計*0.4185* kg ai/ha）	4	*1*, *3*, 7, 9, 14	圃場A:0.306/0.060/*0.059 (*4回, 14日)(#)	◎
			0.100～*0.1037* kg ai/ha散布 （計*0.4074* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 10, 14	圃場B:0.029/*0.020/0.091 (*4回, 10日)(#)	
			0.0979～*0.1022* kg ai/ha散布 （計*0.4024* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 10, 14	圃場C:1.938/*0.171/0.327 (*4回, 10日)(#)	
			0.0967～*0.1007* kg ai/ha散布 （計*0.3954* kg ai/ha）		7	圃場D:0.116/0.009/0.035 (#)	
			0.0977～*0.1050* kg ai/ha散布 （計*0.4091* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 10, 15	圃場E:0.072/<0.009/*0.088 (*4回, 15日)(#)	
			0.0975～*0.1050* kg ai/ha散布 （計*0.4083* kg ai/ha）		7	圃場F:0.076/0.018/0.017 (#)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
おうとう（果実）	14	24.0% SC	*0.2051* kg ai/ha散布（計*0.4102* kg ai/ha）	2	6	圃場A:1.241/0.015/0.038（#）	◎
			0.2018 kg ai/ha散布（計*0.4035* kg ai/ha）		7	圃場B:1.221/0.013/0.070（#）	
					7	圃場C:1.047/0.015/0.061（#）	
					3, 7, 14, 21	圃場D:0.760/<0.009/0.025（#）	
					7	圃場E:0.586/<0.009/0.028（#）	
			0.2030, *0.2046* kg ai/ha散布（計*0.4075* kg ai/ha）		6	圃場F:0.554/<0.009/0.015（#）	
			0.192 kg ai/ha散布（計*0.384* kg ai/ha）		*3*, 7, 11, 14, 25	圃場G:0.320/<0.009/0.007（#）	
					7	圃場H:0.345/<0.009/0.015（#）	
			0.1892, *0.1938* kg ai/ha散布（計*0.3830* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場I:1.264/*0.025/0.059（*2回, 21日）(#)	
			0.1930, *0.1954* kg ai/ha散布（計*0.3884* kg ai/ha）		7	圃場J:0.810/0.008/0.022（#）	
			0.1880, *0.1909* kg ai/ha散布（計*0.3789* kg ai/ha）		7	圃場K:0.701/0.009/<0.015（#）	
			0.1990, *0.2021* kg ai/ha散布（計*0.4011* kg ai/ha）		7	圃場L:0.485/<0.009/0.033（#）	
			0.2015, *0.2018* kg ai/ha散布（計*0.4033* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場M:0.830/*0.016/**0.025（*2回, 21日、**2回, 14日）(#)	
			0.1941, *0.2029* kg ai/ha散布（計*0.3970* kg ai/ha）		7	圃場N:0.703/<0.009/0.056（#）	
ブッシュベリー（ブルーベリー）（果実）	11	24.0% SC	0.1018～0.1030 kg ai/ha散布（計0.3076 kg ai/ha）	3	1	圃場A:0.155/<0.009/0.026	◎
			0.0986～0.1011 kg ai/ha散布（計0.2989 kg ai/ha）		1	圃場B:0.418/<0.009/0.077	
			0.1007～0.1022 kg ai/ha散布（計0.3037 kg ai/ha）		1	圃場C:0.425/0.017/0.081	
			0.1032～0.1057 kg ai/ha散布（計0.3133 kg ai/ha）		1	圃場D:1.265/0.016/0.140	
			0.1006～0.1010 kg ai/ha散布（計0.3024 kg ai/ha）		1	圃場E:0.613/<0.009/0.051	
			0.0997～0.1016 kg ai/ha散布（計0.3027 kg ai/ha）		1	圃場F:0.392/0.015/0.065	
			0.1013～0.1049 kg ai/ha散布（計0.3097 kg ai/ha）		1	圃場G:0.170/<0.009/0.019	
			0.1014～0.1030 kg ai/ha散布（計0.3071 kg ai/ha）		*0*, 1, 8, 14, 21	圃場H:0.298/<0.009/0.074	
			0.1004～0.1013 kg ai/ha散布（計0.3029 kg ai/ha）		1	圃場I:0.387/<0.009/0.088	
			0.1001～0.1012 kg ai/ha散布（計0.3022 kg ai/ha）		1	圃場J:0.268/<0.009/0.063	
			0.1001～0.1006 kg ai/ha散布（計0.3010 kg ai/ha）		*0*, 1, 7, 14	圃場K:0.310/*0.059/0.040（*3回, 14日）	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
なたね (種子)	19	24.0% SC	*0.0504* kg ai/ha散布 (計*0.1009* kg ai/ha)	2	14	圃場A:0.051/0.029/0.028 (#)	◎
			0.0482, *0.0493* kg ai/ha散布 (計*0.0975* kg ai/ha)		*7*, 14, 21, 28	圃場B:*0.085/<0.009/*0.025 (*2回, 28日)(#)	
			0.0504, *0.0516* kg ai/ha散布 (計*0.1020* kg ai/ha)		14	圃場C:0.035/<0.009/0.070 (#)	
			0.0503, *0.0504* kg ai/ha散布 (計*0.1008* kg ai/ha)		14	圃場D:0.009/0.078/<0.015 (#)	
			0.0498, *0.0508* kg ai/ha散布 (計*0.1005* kg ai/ha)		14	圃場E:0.017/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0504, *0.0507* kg ai/ha散布 (計*0.1011* kg ai/ha)		13	圃場F:0.047/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0512, *0.0516* kg ai/ha散布 (計*0.1028* kg ai/ha)		14	圃場G:0.072/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0497, *0.0501* kg ai/ha散布 (計*0.0998* kg ai/ha)		14	圃場H:0.042/<0.009/<0.015 (#)	
			0.048 kg ai/ha散布 (計*0.096* kg ai/ha)		14	圃場I:0.060/0.047/0.058 (#)	
					14	圃場J:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	
					13	圃場K:0.020/0.014/<0.015 (#)	
					14	圃場L:0.085/0.019/<0.015 (#)	
			0.0514, *0.0525* kg ai/ha散布 (計*0.1039* kg ai/ha)		*7*, 14, 20, 27	圃場M:0.038/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0533, *0.0539* kg ai/ha散布 (計*0.1072* kg ai/ha)		14	圃場N:0.027/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0484, *0.0509* kg ai/ha散布 (計*0.0993* kg ai/ha)		14	圃場O:0.054/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0491, *0.0509* kg ai/ha散布 (計*0.1000* kg ai/ha)		*7*, 13, 21, 28	圃場P:*0.117/*0.007/0.031 (*2回, 21日)(#)	
			0.0428, *0.0453* kg ai/ha散布 (計*0.0881* kg ai/ha)		*0*, *7*, 15, 21, 28	圃場Q:*0.043/*0.019/*<0.015 (*2回, 15日)(#)	
			0.0486, *0.0497* kg ai/ha散布 (計*0.0983* kg ai/ha)		14, 21, 28	圃場R:0.215/*0.013/*0.019 (*2回, 21日)(#)	
			0.0544, *0.0564* kg ai/ha散布 (計*0.1108* kg ai/ha)		13	圃場S:0.076/<0.009/0.036 (#)	
カカオ豆(種子)	6	24.0% SC	0.0409～0.0431 kg ai/ha散布 (計0.1675 kg ai/ha)	4	3, 7, 15	圃場A:<0.01/<0.009/<0.015	◎
			0.0410～0.0422 kg ai/ha散布 (計0.1662, 0.1672 kg ai/ha)		*0*, 4, 8, 14, 22 3, 7, 15	圃場B:0.016/<0.009/<0.015	
			0.0408～0.0474 kg ai/ha散布 (計0.1703 kg ai/ha)		3	圃場C:0.011/<0.009/<0.015	
			0.0403～0.0431 kg ai/ha散布 (計0.1674 kg ai/ha)		*0*, 3, 7, 14, 21	圃場D:0.014/<0.009/<0.015	
			0.0398～0.0423 kg ai/ha散布 (計0.1641, 0.1661 kg ai/ha)		3, 6, 14 *0*, 3, 7, 14, 21	圃場E:0.024/<0.009/<0.015	
			0.0402～0.0428 kg ai/ha散布 (計0.1657 kg ai/ha)		*0*, 2, 7, 14, 20	圃場F:0.023/*<0.009/*<0.015 (*4回, 2日)	

SC：フロアブル

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件にアンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

（別紙2-3）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（台湾）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注） 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
マンゴー （果実）	3	240 g/L SC	3600倍散布 *0.038*～*0.045* kg ai/ha （計*0.078*～*0.081* kg ai/ha）	2	*0*, *3*, *7*, *9*, 14, 21, 28	圃場A:0.030/-/-（#）	◎
			3600倍散布 *0.035*～*0.037* kg ai/ha （計*0.072*～*0.073* kg ai/ha）			圃場B:0.037/-/-（#）	
			3600倍散布 *0.032*～*0.040* kg ai/ha （計*0.071*～*0.078* kg ai/ha）		*0*, *3*, *6*, *9*, 14, 21, 28	圃場C:0.047/-/-（#）	

SC：フロアブル
-：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。
注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

農薬名　スルホキサフロル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	2	2	○	1.5			
小麦	0.4	0.4	○	0.2			0.02～0.19(n=6)
大麦	0.6	0.6		0.6			
とうもろこし	0.01	0.01	○	0.01			
その他の穀類	0.2	0.2		0.2			
大豆	1	1	○	0.3			0.22～0.56(n=6)
小豆類	0.3	0.3	○	0.3			
そら豆	0.2	0.2			0.20	米国	【0.022～0.104(#)(n=6)（米国いんげん）】
ばれいしょ	0.05	0.05	○	0.03	0.05	米国	【0.009～0.030(#)(n=12)（米国にんじん）】
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03	0.03		0.03			
かんしょ	0.05	0.05		0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.05	○	0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
こんにゃくいも	0.03	0.03		0.03			
その他のいも類	0.03	0.03		0.03			
てんさい	0.05	0.05	○	0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2	0.2	○	0.03			0.01,0.05(¥)
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	10	○	6			0.84,4.86(¥)
かぶ類の根	0.05	0.05		0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
かぶ類の葉	6	6		6			
西洋わさび	0.03	0.03		0.03			
クレソン	6	6		6			
はくさい	6	6	○	6			
キャベツ	2	2	○	0.4	2	米国	【<0.01～1.58(#)(n=15)（米国ブロッコリー）】
芽キャベツ	2	2			2	米国	【キャベツ参照】
ケール	6	6	○	6			
こまつな	6	6	○	6			
きょうな	6	6	○	6			
チンゲンサイ	6	6	○	6			1.06,2.17,2.55
カリフラワー	0.08	0.08		0.04	0.08	米国	【<0.01～0.055(#)(n=10)(米国カリフラワー)】
ブロッコリー	3	3	○	3			
その他のあぶらな科野菜	6	6	○	6			
ごぼう	0.03	0.03	○	0.03			
サルシフィー	0.03	0.03		0.03			
アーティチョーク	0.9	0.9		0.9			
チコリ	6	6		6			
エンダイブ	6	6		6			
しゅんぎく	6	6		6			
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10	10	○	6			2.28,3.88(サラダ菜)、3.51,3.98(リーフレタス)
その他のきく科野菜	6	6	○	6			
たまねぎ	0.01	0.01		0.01			
ねぎ（リーキを含む。）	0.9	0.9	○	0.7			0.04～0.43(n=6)（根深ねぎ、葉ねぎ）
にんにく	0.01	0.01		0.01			
アスパラガス	0.01	0.01		0.01			
その他のゆり科野菜	6	6		6			
にんじん	0.05	0.05		0.05			
パースニップ	0.03	0.03		0.03			
パセリ	6	6			6	米国	【0.041～2.85(#)(n=8)（米国ほうれんそう）】
セロリ	2	2		1.5			
みつば	6	6		6			
その他のせり科野菜	0.03	0.03		0.03			

農薬名　スルホキサフロル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
トマト	2	2	○	1.5			0.33,0.94(¥)(ミニトマト)
ピーマン	2	2	○	1.5			
なす	2	2	○	1.5			
その他のなす科野菜	2	2		1.5			
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○	0.5			0.25,0.28(¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5		0.5			
しろうり	0.5	0.5		0.5			
すいか(果皮を含む。)	0.5	0.5	○	0.5			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.6	0.6	○	0.5			0.12～0.24(n=5)
まくわうり(果皮を含む。)	0.5	0.5		0.5			
その他のうり科野菜	0.5	0.5		0.5			
ほうれんそう	20	20	○	6			3.86～7.72(n=6)
オクラ	2	2		1.5			
未成熟えんどう	4	4					【0.029～1.938(#)(n=6)(米国Green bean (whole pod))】※1
未成熟いんげん	4	4			4.0	米国	【未成熟えんどう参照】
えだまめ	3	3	○				0.06,0.38,1.04
その他の野菜	6	6	○	6			
みかん(外果皮を含む。)	2	2	○	0.8			0.49,0.93(¥)
なつみかんの果実全体	2	2	○	0.15			0.62,0.89(¥)
レモン	2	2	○	0.4			0.38(かぼす),0.56(すだち)(¥)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○	0.8			(みかん(外果皮を含む。)参照)
グレープフルーツ	2	2	○	0.15			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	2	2	○	0.4			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	2	2	○	0.8			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	0.7	0.7	○	0.3			0.12,0.28(¥)
日本なし	1	1	○	0.3			0.48,0.49(¥)
西洋なし	1	1	○	0.3			(日本なし参照)
マルメロ	0.3	0.3		0.3			
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.3	0.3		0.3			
もも(果皮及び種子を含む。)	1	1	○	0.4			0.22～0.72(n=4)
ネクタリン	3	3	○	0.4	3	米国	【0.320～1.264(#)(n=14)(米国おうとう)】
あんず(アプリコットを含む。)	3	3	○	0.4	3	米国	【ネクタリン参照】
すもも(プルーンを含む。)	3	3	○	0.5	3	米国	【ネクタリン参照】
うめ	3	3	○	0.4			0.18,0.48,1.24
おうとう(チェリーを含む。)	5	5	○	1.5			1.10,1.58(¥)
いちご	4	4	○	0.5			0.92,1.08,1.96
ラズベリー	2	2		1.5			
ブラックベリー	2	2		1.5			
ブルーベリー	2	2		2			
クランベリー	2	2			2	米国	【0.155～1.265(n=11)(米国ブッシュベリー)】
ハックルベリー	2	2		2			
その他のベリー類果実	2	2		2			
ぶどう	4	4	○	2			0.99,1.19,1.41
かき	0.7	0.7	○	0.3			0.14～0.31(n=6)

農薬名　スルホキサフロル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
バナナ	0.5	0.5			0.5	台湾	【0.126,0.170,0.212(#)(台湾マンゴー)】※2
キウィー(果皮を含む。)	4	4	○				0.75,1.22,1.41
パパイヤ	0.5	0.5			0.5	台湾	【バナナ参照】
アボカド	0.5	0.5		0.15	0.5	台湾	【バナナ参照】
パイナップル	0.5	0.1	申				0.12,0.13(¥)
マンゴー	0.5	0.5	○	0.3	0.5	台湾	【バナナ参照】
その他の果実	3	2	○・申	1.5			1.22,1.26(¥)(いちじく)
ひまわりの種子	0.4	0.4		0.4			
べにばなの種子	0.4	0.4		0.4			
綿実	0.4	0.4		0.4			
なたね	0.4	0.4		0.15	0.40	米国	【0.009～0.215(#)(n=19)(米国なたね)】
ぎんなん	0.03	0.03		0.03			
くり	0.03	0.03		0.03			
ペカン	0.03	0.03		0.03			
アーモンド	0.03	0.03		0.03			
くるみ	0.03	0.03		0.03			
その他のナッツ類	0.03	0.03		0.03			
コーヒー豆	0.3	0.3		0.3			
カカオ豆	0.05	0.05			0.05	米国	【<0.01～0.024(n=6)(米国カカオ豆)】
その他のスパイス	10	10	○	2			3.10,3.38(¥)(みかん果皮)
その他のハーブ	15	15	○	6			8.44,8.78(¥)(しそ(葉))
牛の筋肉	0.4	0.4		0.4			
豚の筋肉	0.4	0.4		0.4			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.4	0.4		0.4			
牛の脂肪	0.2	0.2		0.2			
豚の脂肪	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	0.2		0.2			
牛の肝臓	1	1		1			
豚の肝臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1	1		1			
牛の腎臓	1	1		1			
豚の腎臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1	1		1			
牛の食用部分	1	1		1			
豚の食用部分	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1	1		1			
乳	0.3	0.3		0.3			

農薬名　スルホキサフロル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
鶏の筋肉	0.7	0.7		0.7		
その他の家きんの筋肉	0.7	0.7		0.7		
鶏の脂肪	0.05	0.05		0.03		推:0.049
その他の家きんの脂肪	0.05	0.05		0.03		(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.3	0.3		0.3		
その他の家きんの肝臓	0.3	0.3		0.3		
鶏の腎臓	0.3	0.3		0.3		
その他の家きんの腎臓	0.3	0.3		0.3		
鶏の食用部分	0.3	0.3		0.3		
その他の家きんの食用部分	0.3	0.3		0.3		
鶏の卵	0.1	0.1		0.1		
その他の家きんの卵	0.1	0.1		0.1		
はちみつ	0.05	0.05				※3
精米				1		※4
とうがらし(乾燥させたもの)				15		※4
干しぶどう				6		※4

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※1)未成熟えんどうは、米国基準は設定されていないが、米国Green bean (whole pod)の作物残留試験成績より基準値を設定している。

※2)バナナ、パパイヤ、アボカド及びマンゴーについては、台湾のマンゴーの残留試験成績を、プロポーショナリティ(proportionality)の原則に基づき処理量の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、マンゴーは台湾の24.0% SCにおける3600倍散布を基に換算した。

※3)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※4)加工食品である「精米」「とうがらし(乾燥させたもの)」及び「干しぶどう」について国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRは、精米、とうがらし(乾燥させたもの)及び干しぶどうの加工係数をそれぞれ0.7、10及び3.5と算出している。

スルホキサフロルの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦EDI	高齢者（65歳以上）EDI
米（玄米をいう。）	2	0.39	64.0	33.4	41.1	70.3
小麦	0.4	0.06	3.6	2.7	4.1	3.0
大麦	0.6	0.063	0.3	0.3	0.6	0.3
とうもろこし	0.01	0.007	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.2	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.42	16.4	8.6	13.1	19.4
小豆類	0.3	0.075	0.2	0.1	0.1	0.3
そら豆	0.2	0.081	0.1	0.0	0.1	0.1
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.05	0.01	0.3	0.3	0.4	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2	0.03	1.0	0.3	0.6	1.4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	2.86	4.9	1.7	8.9	8.0
かぶ類の根	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	6	1.2	0.4	0.1	0.1	0.7
西洋わさび	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
はくさい	6	1.2	21.2	6.1	19.9	25.9
キャベツ	2	0.07	1.7	0.8	1.3	1.7
芽キャベツ	2	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	6	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2
こまつな	6	1.2	6.0	2.2	7.7	7.7
きょうな	6	1.2	2.6	0.5	1.7	3.2
チンゲンサイ	6	2.17	3.9	1.5	3.9	4.1
カリフラワー	0.08	0.014	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	3	0.074	0.4	0.2	0.4	0.4
その他のあぶらな科野菜	6	1.2	4.1	0.7	1.0	5.8
ごぼう	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
サルシフィー	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.9	0.245	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
エンダイブ	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
しゅんぎく	6	1.2	1.8	0.4	3.1	3.0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10	3.7	35.5	16.3	42.2	34.0
その他のきく科野菜	6	1.2	1.8	0.1	0.7	3.1
たまねぎ	0.01	0.01	0.3	0.2	0.4	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	0.9	0.34	3.2	1.3	2.3	3.6
にんにく	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	6	1.2	0.7	0.1	0.2	1.4
にんじん	0.05	0.01	0.2	0.1	0.2	0.2
パースニップ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	6	0.817	0.1	0.1	0.1	0.2
セロリ	2	0.19	0.2	0.1	0.1	0.2
みつば	6	1.2	0.5	0.1	0.1	0.6
その他のせり科野菜	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	2	0.64	20.5	12.2	20.5	23.4
ピーマン	2	0.11	0.5	0.2	0.8	0.5
なす	2	0.11	1.3	0.2	1.1	1.9
その他のなす科野菜	2	0.11	0.1	0.0	0.1	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7	0.265	5.5	2.5	3.8	6.8
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5	0.029	0.3	0.1	0.2	0.4
しろうり	0.5	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか（果皮を含む。）	0.5	0.029	0.2	0.2	0.4	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	0.6	0.17	0.6	0.5	0.7	0.7
まくわうり（果皮を含む。）	0.5	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.029	0.1	0.0	0.0	0.1

スルホキサフロルの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦EDI	高齢者（65歳以上）EDI
ほうれんそう	20	5.71	73.1	33.7	81.1	99.4
オクラ	2	0.11	0.2	0.1	0.2	0.2
未成熟えんどう	4	0.096	0.2	0.0	0.0	0.2
未成熟いんげん	4	0.096	0.2	0.1	0.0	0.3
えだまめ	3	0.38	0.6	0.4	0.2	1.0
その他の野菜	6	1.2	16.1	7.6	12.1	16.9
みかん（外果皮を含む。）	2	0.71	12.6	11.6	0.4	18.6
なつみかんの果実全体	2	0.76	1.0	0.5	3.6	1.6
レモン	2	0.47	0.2	0.0	0.1	0.3
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2	0.71	5.0	10.4	8.9	3.0
グレープフルーツ	2	0.76	3.2	1.7	6.8	2.7
ライム	2	0.47	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.76	4.5	2.1	1.9	7.2
りんご	0.7	0.2	4.8	6.2	3.8	6.5
日本なし	1	0.485	3.1	1.6	4.4	3.8
西洋なし	1	0.485	0.3	0.1	0.0	0.2
マルメロ	0.3	0.067	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.3	0.067	0.0	0.0	0.1	0.0
もも（果皮及び種子を含む。）	1	0.32	1.1	1.2	1.7	1.4
ネクタリン	3	0.732	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず（アプリコットを含む。）	3	0.732	0.1	0.1	0.1	0.3
すもも（プルーンを含む。）	3	0.732	0.8	0.5	0.4	0.8
うめ	3	0.48	0.7	0.1	0.3	0.9
おうとう（チェリーを含む。）	5	1.34	0.5	0.9	0.1	0.4
いちご	4	1.08	5.8	8.4	5.6	6.4
ラズベリー	2	0.443	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	2	0.443	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	2	0.387	0.4	0.3	0.2	0.5
クランベリー	2	0.387	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	2	0.387	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	2	0.443	0.0	0.0	0.1	0.0
ぶどう	4	1.19	10.4	9.8	24.0	10.7
かき	0.7	0.21	2.1	0.4	0.8	3.8
バナナ	0.5	0.17	2.2	2.6	2.8	3.2
キウィー（果皮を含む。）	4	1.22	2.7	1.7	2.8	3.5
パパイヤ	0.5	0.17	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.5	0.17	0.1	0.0	0.0	0.1
パイナップル	0.5	0.13	0.2	0.3	0.2	0.2
マンゴー	0.5	0.17	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の果実	3	1.24	1.5	0.5	1.1	2.1
ひまわりの種子	0.4	0.047	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.4	0.047	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.4	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.4	0.047	0.3	0.2	0.3	0.2
ぎんなん	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
コーヒー豆	0.3	0.035	0.1	0.0	0.0	0.1
カカオ豆	0.05	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	10	3.24	0.3	0.3	0.3	0.6
その他のハーブ	15	8.61	7.7	2.6	0.9	12.1

（別紙4）

スルホキサフロルの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
陸棲哺乳類の肉類	0.4	筋肉　0.16 脂肪　0.06	8.1	6.0	9.0	5.7
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	1	0.44	0.6	0.4	2.1	0.4
陸棲哺乳類の乳類	0.3	0.14	37.0	46.5	51.0	30.2
家きんの肉類	0.7	0.64	13.7	9.8	14.5	10.3
家きんの卵類	0.1	0.07	2.9	2.3	3.4	2.7
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			430.9	266.9	429.2	494.0
ADI比（%）			18.6	38.5	17.5	21.0

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%及び20%として試算した。

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。
バナナ、パパイヤ、アボカド及びマンゴーについては、台湾のマンゴーの残留試験成績について、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	2	○ 0.39	2.5	1
小麦	小麦	0.4	○ 0.06	0.1	0
大麦	大麦	0.6	○ 0.063	0.1	0
	麦茶	0.6	○ 0.063	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	○ 0	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.42	0.4	0
小豆類	いんげん	0.3	○ 0.075	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.030	0.3	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.023	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.05	○ 0.030	0.4	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	○ 0.030	0.2	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.2	2.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	10	10.0	82.6	30
かぶ類の根	かぶの根	0.05	○ 0.030	0.2	0
かぶ類の葉	かぶの葉	6	○ 2.9	7.7	3
はくさい	はくさい	6	○ 2.9	37.6	20
キャベツ	キャベツ	2	○ 1.58	15.1	6
ケール	ケール	6	○ 2.9	23.3	9
こまつな	こまつな	6	○ 2.9	12.3	5
きょうな	きょうな	6	○ 2.9	9.7	4
チンゲンサイ	チンゲンサイ	6	6	44.5	20
カリフラワー	カリフラワー	0.08	○ 0.055	0.4	0
ブロッコリー	ブロッコリー	3	○ 1.6	9.6	4
その他のあぶらな科野菜	たかな	6	○ 2.9	22.8	9
	菜花	6	○ 2.9	8.0	3
ごぼう	ごぼう	0.03	○ 0.023	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	6	○ 2.9	9.5	4
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	10	○ 3.98	22.5	9
	非結球レタス類	10	○ 3.98	16.0	6
たまねぎ	たまねぎ	0.01	○ 0.01	0.1	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.9	○ 0.43	1.6	1
にんにく	にんにく	0.01	○ 0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	○ 0.011	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	6	○ 2.9	5.1	2
	らっきょう	6	○ 2.9	3.1	1
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.03	0.1	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	6	○ 2.85	0.5	0
	パセリ（乾燥）	6	○ 2.85	2.5	1
セロリ	セロリ	2	○ 0.77	4.2	2
みつば	みつば	6	○ 2.9	2.3	1
その他のせり科野菜	せり	0.03	○ 0.023	0.0	0
トマト	トマト	2	2	21.9	9
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.6	1.5	1
なす	なす	2	○ 0.6	3.9	2
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	2	○ 0.6	1.0	0
	ししとう	2	○ 0.6	0.6	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	0.7	4.4	2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.27	2.7	1
	ズッキーニ	0.5	○ 0.27	2.0	1
しろうり	しろうり	0.5	○ 0.27	2.2	1
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.27	8.9	4
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.24	4.1	2
その他のうり科野菜	とうがん	0.5	○ 0.27	4.6	2
	にがうり	0.5	○ 0.27	2.2	1

（別紙5-1）

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 7.72	37.4	10
オクラ	オクラ	2	○ 0.6	0.9	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	4	○ 1.938	3.2	1
	未成熟えんどう（豆）	4	○ 1.938	3.3	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	○ 1.938	3.8	2
えだまめ	えだまめ	3	3	7.6	3
その他の野菜	ずいき	6	○ 2.9	29.3	10
	もやし	6	○ 2.9	6.7	3
	れんこん	6	○ 2.9	18.0	7
	そら豆（生）	6	○ 2.9	8.5	3
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	18.7	7
なつみかんの果実全体	なつみかん	2	2	24.9	10
レモン	レモン	2	2	4.2	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	18.8	8
	オレンジ果汁	2	○ 0.71	7.1	3
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	2	34.4	10
その他のかんきつ類果実	きんかん	2	2	4.8	2
	ぽんかん	2	2	21.0	8
	ゆず	2	2	3.2	1
	すだち	2	2	3.1	1
りんご	りんご	0.7	0.7	10.0	4
	りんご果汁	0.7	○ 0.2	2.1	1
日本なし	日本なし	1	1	15.1	6
西洋なし	西洋なし	1	1	14.0	6
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	0.3	○ 0.23	1.7	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.72	9.8	4
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	3	○ 1.264	7.4	3
うめ	うめ	3	3	4.1	2
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	5	5	12.5	5
いちご	いちご	4	4	15.3	6
ブルーベリー	ブルーベリー	2	○ 1.39	2.0	1
ぶどう	ぶどう	4	4	53.9	20
かき	かき	0.7	○ 0.31	4.4	2
バナナ	バナナ	0.5	0.5	5.6	2
キウィー（果皮を含む。）	キウィー	4	4	22.7	9
アボカド	アボカド	0.5	0.5	3.6	1
パイナップル	パイナップル	0.5	0.5	7.5	3
マンゴー	マンゴー	0.5	0.5	6.7	3
その他の果実	いちじく	3	3	23.0	9
ぎんなん	ぎんなん	0.03	○ 0.02	0.0	0
くり	くり	0.03	○ 0.02	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.03	○ 0.02	0.0	0
くるみ	くるみ	0.03	○ 0.02	0.0	0
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.015	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTIを試算をした。

バナナ、アボカド及びマンゴーについては、台湾のマンゴーの残留試験成績について、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	2	○ 0.39	4.2	2
小麦	小麦	0.4	○ 0.06	0.2	0
大麦	大麦	0.6	○ 0.063	0.0	0
	麦茶	0.6	○ 0.063	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	○ 0	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.42	0.5	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.03	0.7	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.023	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.05	○ 0.03	0.8	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	○ 0.03	0.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.2	4.4	2
はくさい	はくさい	6	○ 2.9	45.5	20
キャベツ	キャベツ	2	○ 1.58	24.7	10
こまつな	こまつな	6	○ 2.9	25.8	10
ブロッコリー	ブロッコリー	3	○ 1.6	23.1	9
ごぼう	ごぼう	0.03	○ 0.023	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	10	○ 3.98	39.1	20
	非結球レタス類	10	○ 3.98	55.4	20
たまねぎ	たまねぎ	0.01	○ 0.01	0.2	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.9	○ 0.43	2.8	1
にんにく	にんにく	0.01	○ 0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.03	0.3	0
パセリ	パセリ（生）	6	○ 2.85	0.5	0
トマト	トマト	2	2	54.3	20
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.6	3.9	2
なす	なす	2	○ 0.6	9.4	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	0.7	10.2	4
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.27	4.3	2
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.27	23.4	9
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.24	7.0	3
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 7.72	86.7	30
オクラ	オクラ	2	○ 0.6	2.6	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	4	○ 1.938	2.4	1
	未成熟えんどう（豆）	4	○ 1.938	3.5	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	○ 1.938	7.8	3
えだまめ	えだまめ	3	3	8.4	3
その他の野菜	もやし	6	○ 2.9	12.2	5
	れんこん	6	○ 2.9	29.8	10
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	54.8	20
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	53.9	20
	オレンジ果汁	2	○ 0.71	12.7	5
りんご	りんご	0.7	0.7	22.5	9
	りんご果汁	0.7	○ 0.2	6.7	3
日本なし	日本なし	1	1	28.8	10
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.72	30.5	10
うめ	うめ	3	3	10.2	4
いちご	いちご	4	4	43.2	20
ぶどう	ぶどう	4	4	122.5	50
かき	かき	0.7	○ 0.31	6.5	3
バナナ	バナナ	0.5	0.5	19.2	8
パイナップル	パイナップル	0.5	0.5	16.0	6
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.015	0.0	0

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTIを試算した。

バナナについては、台湾のマンゴーの残留試験成績について、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

（参考）

これまでの経緯

平成２５年　６月　６日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
平成２５年　６月１７日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：だいこん、キャベツ等）
平成２５年　８月１９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２６年１０月２９日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２７年　９月１０日	薬事･食品衛生審議会食品衛生分科会農薬･動物用医薬品部会
平成２９年　２月　１日	薬事･食品衛生審議会食品衛生分科会農薬･動物用医薬品部会
平成２９年１２月２５日	残留基準告示
平成３０年１１月２９日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：未成熟とうもろこし、もも等）並びに畜産物への基準値設定依頼
令和　元年　８月２０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、だいず等）
令和　２年　２月１３日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ほうれんそう）
令和　３年　４月３０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：キウイフルーツ）
令和　３年　５月１７日	インポートトレランス申請（アーティチョーク、マンゴー等）
令和　３年　６月３０日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　３年　８月３１日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　３年１２月　７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　４年　８月１０日	残留基準告示
令和　５年１０月２０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ねぎ）
令和　６年　９月２５日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会
令和　６年１１月２７日	内閣総理大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　６年１２月　４日	食品安全委員会委員長から内閣総理大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　７年　４月２３日	残留基準告示

令和　７年　６月２７日　農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：パイナップル、いちじく)
令和　８年　９月　３日　食品衛生基準審議会へ諮問
令和　８年　９月１６日　食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

	大山　和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○	折戸　謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
	加藤　くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
	近藤　麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
	須恵　雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
	瀧本　秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
	田口　貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎	堤　智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
	中島　美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
	野田　隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

スルホキサフロルについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

スルホキサフロル

今回残留基準を設定する「スルホキサフロル」の規制対象は、スルホキサフロルとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	2
小麦	0.4
大麦	0.6
とうもろこし	0.01
その他の穀類[注1)]	0.2
大豆	1
小豆類[注2)]	0.3
そら豆	0.2
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03
かんしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.03
その他のいも類[注3)]	0.03
てんさい	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10
かぶ類の根	0.05
かぶ類の葉	6
西洋わさび	0.03
クレソン	6
はくさい	6
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	6
こまつな	6
きょうな	6
チンゲンサイ	6
カリフラワー	0.08
ブロッコリー	3

食品名	残留基準値 ppm
その他のあぶらな科野菜[注4)]	6
ごぼう	0.03
サルシフィー	0.03
アーティチョーク	0.9
チコリ	6
エンダイブ	6
しゅんぎく	6
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10
その他のきく科野菜[注5)]	6
たまねぎ	0.01
ねぎ（リーキを含む。）	0.9
にんにく	0.01
アスパラガス	0.01
その他のゆり科野菜[注6)]	6
にんじん	0.05
パースニップ	0.03
パセリ	6
セロリ	2
みつば	6
その他のせり科野菜[注7)]	0.03
トマト	2
ピーマン	2
なす	2
その他のなす科野菜[注8)]	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.6
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜[注9)]	0.5
ほうれんそう	20
オクラ	2
未成熟えんどう	4
未成熟いんげん	4
えだまめ	3

食品名	残留基準値 ppm
その他の野菜[注10)]	6
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	2
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実[注11)]	2
りんご	0.7
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	0.3
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.3
もも（果皮及び種子を含む。）	1
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	3
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	4
ラズベリー	2
ブラックベリー	2
ブルーベリー	2
クランベリー	2
ハックルベリー	2
その他のベリー類果実[注12)]	2
ぶどう	4
かき	0.7
バナナ	0.5
キウィー（果皮を含む。）	4
パパイヤ	0.5
アボカド	0.5
パイナップル	0.5
マンゴー	0.5
その他の果実[注13)]	3

食品名	残留基準値 ppm
ひまわりの種子	0.4
べにばなの種子	0.4
綿実	0.4
なたね	0.4
ぎんなん	0.03
くり	0.03
ペカン	0.03
アーモンド	0.03
くるみ	0.03
その他のナッツ類[注14)]	0.03
コーヒー豆	0.3
カカオ豆	0.05
その他のスパイス[注15)]	10
その他のハーブ[注16)]	15
牛の筋肉	0.4
豚の筋肉	0.4
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注17)]の筋肉	0.4
牛の脂肪	0.2
豚の脂肪	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2
牛の肝臓	1
豚の肝臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1
牛の腎臓	1
豚の腎臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1
牛の食用部分[注18)]	1
豚の食用部分	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1
乳	0.3

食品名	残留基準値 ppm
鶏の筋肉 その他の家きん[注19)] の筋肉	0.7 0.7
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.05 0.05
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.3 0.3
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.3 0.3
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.3 0.3
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.1 0.1
はちみつ	0.05

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注4）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注10）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注11）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注12）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注13）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注14）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注15）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注16）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注17）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

添付資料１

スルホキサフロル

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

１．概要

（１）品目名：スルホキサフロル[Sulfoxaflor (ISO)]

（２）分　類：農薬

（３）用　途：殺虫剤

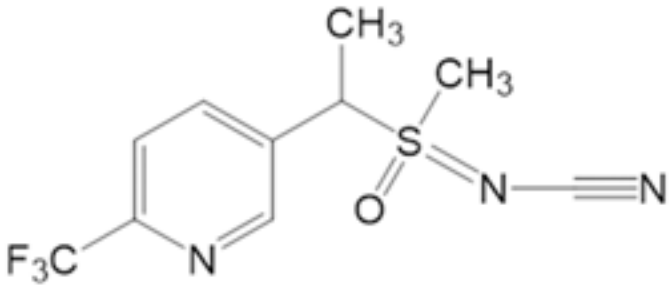
スルホキシミン系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体の阻害により殺虫効果を示すものと考えられている。

（４）化学名及びCAS番号

N-(Methyl(oxo){1-[6-(trifluoromethyl)pyridin-3-yl]ethyl}-λ^{6}-sulfaneylidene)cyanamide (IUPAC)

Cyanamide, N-[methyloxido[1-[6-(trifluoromethyl)-3-pyridinyl]ethyl]-λ^{4}-sulfanylidene]- (CAS：No. 946578-00-3)

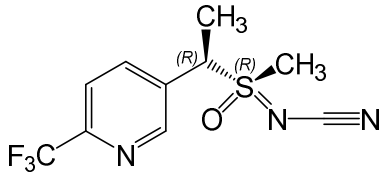
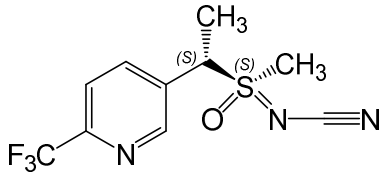
（５）構造式及び物性



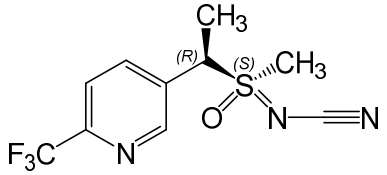
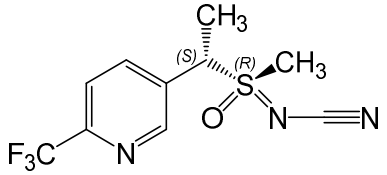
[光学異性体グループA：光学異性体グループBは約1：1][注)]

分 子 式	$C_{10}H_{10}F_3N_3OS$
分 子 量	277.27
水溶解度	6.70×10^{-1} g/L (20℃、pH 7.4)
分配係数	$\log_{10}$Pow ＝ 0.802 (20℃、pH 7)

注）光学異性体グループの構造式は以下のとおり。

光学異性体グループA

光学異性体グループB

※光学異性体グループはエナンチオマーの関係にある。
光学異性体グループAの化合物に対して、Bはジアステレオマーの関係にある。

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

（１）国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
稲	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	3回以内	3回以内
			500倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍	収穫7日前まで	0.8 L/10 a	3回以内	
	10.0% SC 配合剤1	散布	1000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	3回以内	
			250倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	8倍	収穫7日前まで	0.8 L/10 a	3回以内	

SC:フロアブル

配合剤1：8.0%トリシクラゾール

（国内での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
稲	10.0% SC 配合剤2	散布	1000倍	穂揃期まで	60～150 L/10 a	2回以内	3回以内
			300倍		25 L/10 a		
		空中散布	30倍	穂揃期まで	3 L/10 a	2回以内	
			8倍		0.8 L/10 a		
		無人航空機による散布	8倍	穂揃期まで	0.8 L/10 a	2回以内	
	0.50% DP	散布	3 kg/10 a	収穫7日前まで	—	3回以内	
	0.50% DP 配合剤3	散布	3 kg/10 a	穂揃期まで	—	2回以内	
小麦	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	2回以内	2回以内
未成熟とうもろこし	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
いんげんまめ	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

－：規定されていない項目

DP：粉剤、WG：水和剤

配合剤2：1.37%カスガマイシン・8.0%トリシクラゾール

配合剤3：0.34%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール

（国内での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
だいず	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	20.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	16倍	収穫14日前まで	0.8 L/10 a	3回以内	
ばれいしょ	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1250倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	160倍	収穫7日前まで	1.6 L/10 a	3回以内	
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	32倍	収穫7日前まで	3.2 L/10 a	3回以内	
やまのいも	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	32倍	収穫3日前まで	3.2 L/10 a	3回以内	
てんさい	25.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	160倍	収穫7日前まで	1.6 L/10 a	3回以内	
だいこん	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
はくさい	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

（国内での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
キャベツ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブロッコリー	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
非結球あぶらな科葉菜類	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ごぼう	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
レタス	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
非結球レタス	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
食用ぎく	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ねぎ	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
トマト	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ミニトマト	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ピーマン	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

（国内での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
なす	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
きゅうり	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
すいか	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ほうれんそう	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
えだまめ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機による散布	16倍	収穫前日まで	0.8 L/10 a	2回以内	
オリーブ（葉）	9.5% SC	散布	2000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
かんきつ	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

（国内での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
りんご	9.5% SC	散布	2000～4000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	9.5% SC	散布	2000～4000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
もも	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
ネクタリン	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
おうとう	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
小粒核果類	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	9.5% SC	散布	2000倍 1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ぶどう	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
かき	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

（国内での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	散布液量（目安）	使用回数	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
マンゴー	9.5% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちじく	9.5% SC	散布	1000～2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
オリーブ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
しそ	9.5% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みょうが（花穂）	9.5% SC	散布 ただし花穂の発生期にはﾏﾙﾁﾌｨﾙﾑ被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

（２）海外での使用方法

①　米国

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
豆類（未成熟及び乾燥種子）いんげん、未成熟いんげん（さや付き）等	50.0% WG	散布	0.080 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.298 kg ai/ha	4回以内
			0.071～0.078 kg ai/ha			
			0.053～0.080 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.078 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.298 kg ai/ha	4回以内
			0.048～0.078 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			

ai：active ingredient（有効成分）

（米国での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
あぶらな科葉菜類カリフラワー、ブロッコリー等	50.0% WG	散布	0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/ha	4回以内
			0.071～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.074～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
根菜類にんじん等	50.0% WG	散布	0.071～0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.053～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.053 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.074～0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.048～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.048 kg ai/ha			
葉菜類（あぶらな科を除く）及びクレソン、ほうれんそう等	50.0% WG	散布	0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.071～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			

（米国での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
葉菜類（あぶらな科を除く）及びクレソン、ほうれんそう等	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.074～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
核果類 おうとう等	50.0% WG	散布	0.096 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.026～0.053 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫7日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.026～0.048 kg ai/ha			
なたね	50.0% WG	散布	0.018～0.026 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫14日前まで	0.052 kg ai/ha	2回以内
	24.0% SC	散布	0.018～0.026 kg ai/ha	開花3日前から開花期間中を除く、収穫14日前まで	0.052 kg ai/ha	2回以内
アーティチョーク	50.0% WG	散布	0.08～0.096 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.053～0.08 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.074～0.101 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.048～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.035 kg ai/ha			

（米国での使用方法のつづき）

作物名	剤型	使用方法	1回当たり使用量	使用時期	栽培期間中の総使用量	使用回数
ケインベリー類 ブラックベリー、ラズベリー等 ブッシュベリー類 ブルーベリー、クランベリー、ハックルベリー等	50.0% WG	散布	0.0960 kg ai/ha	収穫1日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.053～0.096 kg ai/ha			
			0.026～0.053 kg ai/ha			
	24.0% SC	散布	0.101 kg ai/ha	収穫1日前まで	0.298 kg ai/h	4回以内
			0.048～0.101 kg ai/ha			
			0.026～0.048 kg ai/ha			
パイナップル	50.0% WG	散布	0.053～0.096 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.202 kg ai/ha	2回以内
	24.0% SC	散布	0.048～0.101 kg ai/ha	収穫7日前まで	0.202 kg ai/ha	2回以内
カカオ豆	50.0% WG	散布	0.0430 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.157 kg ai/ha	4回以内
	24.0% SC	散布	0.040 kg ai/ha	収穫3日前まで	0.157 kg ai/ha	4回以内

② 台湾

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数	使用時期	1回当たり使用量	使用回数
バナナ	24.0% SC	散布	3000倍	収穫14日前まで	0.024～0.072 kg ai/ha	2回以内
パパイヤ	24.0% SC	散布	3000倍	収穫14日前まで	0.048～0.168 kg ai/ha	2回以内
アボカド	24.0% SC	散布	3000倍	収穫14日前まで	0.072～0.168 kg ai/ha	2回以内
マンゴー	24.0% SC	散布	3600倍	収穫14日前まで	0.0792～0.1056 kg ai/ha	2回以内
			3000倍		0.072～0.168 kg ai/ha	

３．代謝試験

（１）植物代謝試験

植物代謝試験が、水稲、レタス、トマト及びえんどうで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR[注)] 以上認められた代謝物は、代謝物D（玄米、レタス、トマト及びえんどう)、代謝物E（玄米及びえんどう）及び代謝物F（トマト）であった。

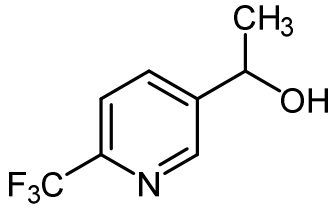
注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率(%)

（２）家畜代謝試験

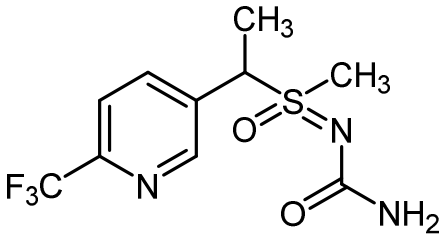
家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓、乳及び卵で、親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物K(泌乳山羊の肝臓及び産卵鶏の肝臓)であった。

【代謝物略称一覧】

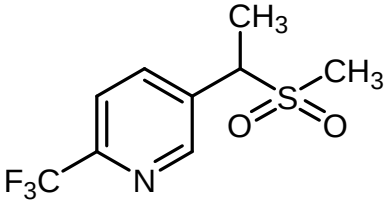
略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	X11721061	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタノール
D	X11719474	1-[メチル(オキシド){1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル}-λ⁶-スルファニリデン]ウレア 別名：*N*-(メチル)オキシド{1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル}-λ⁴-スルファニリデン)ウレア
E	X11863595	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチルヘキソピラノシド
F	X11889781	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル 6-*O*-(カルボキシアセチル)ヘキソピラノシド
G	X11519540	5-[1-(メチルスルホニル)エチル]-2-(トリフルオロメチル)ピリジン
K	X11596066	5-エチル-2-(トリフルオロメチル)ピリジン 別名：1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタン



代謝物B



代謝物D



代謝物G

注）残留試験の分析対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

（１）分析の概要

【国内】

①　分析対象物質

・スルホキサフロル
・代謝物B及びその抱合体
・代謝物D
・代謝物G

②　分析法の概要

ｉ）スルホキサフロル、代謝物B（抱合体を含む。）、代謝物D及び代謝物G
又はスルホキサフロル、代謝物B（抱合体を含む。）及び代謝物D

試料からアセトニトリル･水（4：1）混液で抽出し、0.01 mol/L水酸化ナトリウム溶液を用いて加水分解し、次いで0.25%ギ酸を加えた後、10 mg/mL[注)] グルコシダーゼ溶液を用いて加水分解する。オクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラム、C_{18}カラム及びエチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）カラム、C_{18}カラム及びグラファイトカーボン/PSA積層カラム又は多孔性ケイソウ土カラム及びジオールシリカゲルカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）又は液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。なお、代謝物B、代謝物D及び代謝物Gの分析値は、それぞれ換算係数1.45、0.94及び1.10を用いてスルホキサフロル濃度に換算した値として示した。

注）一部の試験で、使用したグルコシダーゼ溶液について、本来用いるべき適切な濃度（10 mg/mL）の1000分の1の濃度（10 mg/L）の溶液が用いられており、抱合体の加水分解が不十分であったため、当該試験の代謝物B及びその抱合体の分析結果については参考値として示した。

定量限界：スルホキサフロル　0.005～0.02 mg/kg
代謝物B（抱合体を含む。）　0.008～0.08 mg/kg（スルホキサフロル換算濃度）
代謝物D　0.005～0.05 mg/kg（スルホキサフロル換算濃度）
代謝物G　0.02 mg/kg（スルホキサフロル換算濃度）

【海外】

①　分析対象物質

・スルホキサフロル
・代謝物B及びその抱合体
・代謝物D

② 分析法の概要

ⅰ）スルホキサフロル

試料に緩衝液を加えてアセトニトリルで抽出する。PSA及び無水硫酸マグネシウムを加えて振とうし、遠心分離して上澄液をLC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ⅱ）スルホキサフロル、代謝物B及びその抱合体及び代謝物D

試料からアセトニトリル･水（4：1）混液で抽出し、必要に応じて重水素標識標準物質を加えた後、0.01 mol/L水酸化ナトリウム溶液を用いて加水分解し、次いで0.25%ギ酸を加えて酸性とした後、10 mg/mLグルコシダーゼ溶液を用いて加水分解する。C_{18}カラム又はグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物B及び代謝物Dの分析値は、それぞれ換算係数1.45及び0.94を用いてスルホキサフロル濃度に換算した値として示した。

定量限界：スルホキサフロル　0.01 mg/kg
代謝物B　　0.009～0.01 mg/kg（スルホキサフロル換算濃度）
代謝物D　　0.01～0.015 mg/kg（スルホキサフロル換算濃度）

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験成績については、根深ねぎ及び葉ねぎ、マンゴー、いちじく及びみょうが（花穂）の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙1-1に示す。

海外作物残留試験の概要については別紙1-2及び1-3を参照。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

① 分析対象物質

・スルホキサフロル
・代謝物B
・代謝物D

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル･水（4:1）混液で抽出し、C_{18}カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：スルホキサフロル　0.01 mg/kg

代謝物B　　0.01 mg/kg
代謝物D　　0.01 mg/kg

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

①　乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重 542～776 kg、3～4頭/投与群）に対して、飼料中濃度としてスルホキサフロルを0.45、2.4、6.8及び35.2 ppmに相当する量及びその0.1倍の濃度の代謝物Dと0.4倍の濃度の代謝物Bに相当する量を含むゼラチンカプセルを29～30日間にわたり摂食させた。給餌は1日2回とし、最終日は半日間の1回とした。最終投与半日後の筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。乳については、1日2回、投与前日、投与2日後、以降、6、8、10、14、16、20、22、24、26及び28又は29日後に採取した乳に含まれるスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）

		0.45 ppm投与群	2.4 ppm投与群	6.8 ppm投与群	35.2 ppm投与群
筋肉	スルホキサフロル	0.026（最大） 0.021（平均）	0.155（最大） 0.115（平均）	0.311（最大） 0.274（平均）	1.691（最大） 1.465（平均）
	代謝物D	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	0.050（最大） 0.041（平均）
	代謝物B	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	0.011（最大） 0.010（平均）
脂肪	スルホキサフロル	0.014（最大） 0.012（平均）	0.057（最大） 0.043（平均）	0.139（最大） 0.107（平均）	0.915（最大） 0.637（平均）
	代謝物D	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	0.026（最大） 0.014（平均）
	代謝物B	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	0.025（最大） 0.016（平均）
肝臓	スルホキサフロル	0.061（最大） 0.054（平均）	0.375（最大） 0.299（平均）	0.758（最大） 0.713（平均）	4.030（最大） 3.689（平均）
	代謝物D	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	0.015（最大） 0.014（平均）	0.087（最大） 0.069（平均）
	代謝物B	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	<0.01（最大） <0.01（平均）	0.020（最大） 0.014（平均）

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）（つづき）

		0.45 ppm投与群	2.4 ppm投与群	6.8 ppm投与群	35.2 ppm投与群
腎臓	ｽﾙﾎｷｻﾌﾛﾙ	0.040（最大） 0.033（平均）	0.210（最大） 0.178（平均）	0.566（最大） 0.480（平均）	2.442（最大） 2.234（平均）
	代謝物D	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.010（最大） 0.010（平均）	0.022（最大） 0.019（平均）	0.101（最大） 0.089（平均）
	代謝物B	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.273（最大） 0.081（平均）
乳[注)]	ｽﾙﾎｷｻﾌﾛﾙ	0.024（平均）	0.088（平均）	0.242（平均）	1.274（平均）
	代謝物D	<0.01 （平均）	<0.01 （平均）	0.011（平均）	0.038（平均）
	代謝物B	<0.01 （平均）	<0.01 （平均）	<0.01 （平均）	<0.01 （平均）

定量限界：（筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳のスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物D）0.01 mg/kg

注）投与期間中に採取した乳中の濃度を１頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（ローマン種、12羽/投与群）に対して、飼料中濃度としてスルホキサフロルを0.76、2.1及び10.7 ppmに相当する量及びその約0.06倍の濃度の代謝物Dと約0.13倍の濃度の代謝物Bに相当する量を含有するゼラチンカプセルを29～30日間にわたり摂食させ、卵、筋肉、肝臓及び脂肪に含まれるスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。卵については、投与前日、投与1日後、以降、3、5、7、10、14、16、18、20、22、24及び27～29日後に採卵した卵に含まれるスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物Dの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度（mg/kg）

		0.76 ppm投与群	2.1 ppm投与群	10.7 ppm投与群
筋肉	スルホキサフロル	0.042（最大） 0.034（平均）	0.109（最大） 0.090（平均）	0.659（最大） 0.516（平均）
	代謝物D	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.023（最大） 0.018（平均）
	代謝物B	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）
脂肪	スルホキサフロル	0.013（最大） 0.012（平均）	0.048（最大） 0.036（平均）	0.184（最大） 0.167（平均）
	代謝物D	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）
	代謝物B	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.011（最大） 0.007（平均）
肝臓	スルホキサフロル	0.150（最大） 0.104（平均）	0.232（最大） 0.185（平均）	1.193（最大） 1.141（平均）
	代謝物D	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.026（最大） 0.024（平均）
	代謝物B	0.010（最大） <0.01 （平均）	0.020（最大） 0.015（平均）	0.088（最大） 0.073（平均）
卵	スルホキサフロル	0.059（最大） 0.031（平均）	0.099（最大） 0.080（平均）	0.594（最大） 0.424（平均）
	代謝物D	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.022（最大） 0.016（平均）
	代謝物B	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	<0.01 （最大） <0.01 （平均）

定量限界：（筋肉、脂肪、肝臓及び卵のスルホキサフロル、代謝物B及び代謝物D）0.01 mg/kg

（３）飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等を考慮して最大飼料由来負荷[注1)]が算出されている。最大飼料由来負荷は乳牛において4.94 ppm、肉牛において2.41 ppm、産卵鶏において2.19 ppm、肉用鶏において1.51 ppmと示されている。また、平均的飼料由来負荷[注2)]は、乳牛において2.22 ppm、肉牛において1.78 ppm、産卵鶏において2.19 ppm、肉用鶏において1.51 ppmと示されている。

なお、JMPRは乳牛及び肉牛の最大飼料由来負荷を6.9 ppm及び8.8 ppm、平均的飼料由来負荷をそれぞれ4.0及び2.6 ppmと、また産卵鶏及び肉用鶏の最大飼料由来負荷を1.15 ppm及び1.2 ppm、平均的飼料由来負荷を1.15 ppm及び1.2 ppmと評価している。

注1）最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留している

と仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2）平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

（４）推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-1を参照。

表 3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛（mg/kg、国内）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.245 (0.106)	0.104 (0.040)	0.596 (0.276)	0.416 (0.165)	0.177 (0.082)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-2を参照。

表 3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏（mg/kg、国内）

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.115 (0.093)	0.049 (0.037)	0.242 (0.195)	0.104 (0.084)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度

６．ADI及びARfDの評価

先の審議の際の食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたスルホキサフロルに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：4.25 mg/kg 体重/day

（動物種）　ラット

（投与方法）　混餌

（試験の種類）慢性毒性/発がん性併合試験

（期間）　2年間

安全係数：100

ADI：0.042 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、雄ラットで肝細胞腺腫及び精巣間細胞腺腫、雌雄マウスで肝

細胞腺腫及び肝細胞癌の発生頻度増加が認められた。機序検討試験の結果、肝腫瘍はフェノバルビタール誘導型の核内受容体介在性の機序により誘発されたものであることが示唆された。精巣間細胞腺腫の発生機序については確定できる十分な証拠は得られなかったが、ドーパミンアゴニスト様作用による可能性が示唆された。したがって、腫瘍の発生機序はいずれも遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると判断された。

（２）ARfD

無毒性量：25 mg/kg 体重

（動物種）　ラット

（投与方法）　強制経口

（試験の種類）急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.25 mg/kg 体重

７．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2011年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は小麦、葉菜類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において麦類、仁果類等に、カナダにおいて葉菜類、ぶどう等に、EUにおいて小麦、大豆等に、豪州において穀類、大豆等に、ニュージーランドにおいて小麦、ばれいしょ等に基準値が設定されている。

８．残留規制

（１）残留の規制対象

スルホキサフロルのみとする。

植物代謝試験及び家畜代謝試験で、親化合物の残留が認められた。10%TRR以上認められた代謝物として代謝物D、代謝物Bの抱合体である代謝物E及び代謝物F並びに代謝物Kが認められたが、作物残留試験あるいは家畜残留試験において、残留濃度が定量限界未満又はスルホキサフロルよりも低いことから、規制対象物質をスルホキサフロルとする。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

９．暴露評価

（１）暴露評価対象

スルホキサフロルのみとする。

植物代謝試験及び家畜代謝試験で10%TRR以上認められた代謝物として代謝物D、代謝物Bの抱合体である代謝物E及び代謝物F並びに代謝物Kが認められた。作物残留試験にお

いて、多くの作物では残留濃度が定量限界未満であるかまたは一部の作物において残留が認められたがスルホキサフロルよりも低い。家畜代謝試験においては、最大飼料由来負荷相当では定量限界未満または認められても残留は低く、食品健康影響評価においてこれらの代謝物の毒性はスルホキサフロルよりも弱いとされていることから、暴露評価対象物質をスルホキサフロルとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をスルホキサフロル（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI(%)[注)]
国民全体（1歳以上）	18.6
幼小児（1～6歳）	38.4
妊婦	17.4
高齢者（65歳以上）	20.9

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない[注)]。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTIを算出した。

（別紙1-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稲（玄米）	4	20.0% SC	2000倍散布 150 L/10 a	3	*3*, 7, 14	圃場A:*0.44/*0.02/0.06$/-（*3回, 14日）	
						圃場B:0.45/<0.01/0.03$/-	
			2000倍散布 146 L/10 a		7, 14, 21, 28, 35, 42	圃場C:0.48/0.02/0.03$/-	
						圃場D:*0.30/<0.01/0.04$/-（*3回, 14日）	
	6	20.0% SC	500倍散布 25～25.7, 25 L/10 a	3	7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.12/<0.01/0.03$/-（*3回, 21日）	
						圃場B:0.11/<0.01/0.03$/-	
			500倍散布 25 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場C:*0.12/<0.01/**0.15/-（*3回, 14日、**3回, 28日）	
						圃場D:*0.14/<0.01/**0.10/-（*3回, 14日、**3回, 21日）	
						圃場E:0.09/<0.01/0.07/-	
						圃場F:0.11/<0.01/0.07/-	
	3	20.0% SC	16倍散布 0.8 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.12/<0.01/0.13/-	
						圃場B:*0.10/<0.01/*0.09/-（*3回, 14日）	
						圃場C:*0.16/<0.01/*0.22/-（*3回, 28日）	
小麦（玄麦）	6	25.0% WG	5000倍散布 150, 130 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.02/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.05/<0.01/<0.02$/-	
			5000倍散布 140, 145, 133, 131 L/10 a		7	圃場C:0.06/<0.01/0.02$/-	
						圃場D:0.03/<0.01/<0.02$/-	
						圃場E:0.19/<0.01/0.03$/-	
						圃場F:0.11/<0.01/<0.02$/-	
いんげんまめ（乾燥子実）	2	25.0% WG	5000倍散布 161～182, 161～180 L/10 a	3	14, 21, 28, 35, 42, 49, 56	圃場A:0.02/<0.01/*0.03/-（*3回, 21日）	
						圃場B:0.02/*0.01/**0.07/-（*3回, 56日、**3回, 35日）	
だいず（乾燥子実）	6	20.0% SC	2000倍散布 200, 180～188, 200, 167, 155～160 L/10 a	3	14, 21, 28, 42, 56	圃場A:*0.46/*0.06/*0.04/-（*3回, 28日）	◎
						圃場B:*0.36/**0.06/***0.03/-（*3回, 42日、**3回, 56日、***3回, 21日）	
					14, 21, 28, 35, 42, 49, 56	圃場C:*0.54/**0.04/*0.04/-（*3回, 28日、**3回, 49日）	
						圃場D:*0.38/*0.03/*0.04/-（*3回, 42日）	
						圃場E:*0.22/0.06/**0.07/-（*3回, 35日、**3回, 42日）	
						圃場F:*0.56/*0.04/**0.04/-（*3回, 35日、**3回, 42日）	
未成熟とうもろこし（種子）	3	9.5% SC	2000倍散布 179, 195, 192 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
						圃場C:<0.01/<0.01/<0.02/-	
ばれいしょ（塊茎）	6	9.5% SC	2000倍散布 190, 193 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場B:<0.005/<0.005/<0.008/-	
			2000倍散布 200, 190, 178, 175 L/10 a		7	圃場C:<0.005/0.006/<0.008/-	
						圃場D:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場E:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場F:<0.005/<0.005/<0.008/-	
	7	25.0% WG	5000倍散布 187, 181 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.005/<0.005/<0.008$/-	
						圃場B:<0.005/0.009/<0.008$/-	
			5000倍散布 200, 170～193, 184, 170 L/10 a		7	圃場C:<0.005/0.007/<0.008$/-	
						圃場D:<0.005/0.007/<0.008$/-	
						圃場E:<0.005/0.006/<0.008$/-	
						圃場F:<0.005/<0.005/<0.008$/-	
						圃場G:<0.005/<0.005/<0.008$/-	
	2	25.0% WG	*400*倍散布 25 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.005/*0.010/*0.009$/-（*3回, 21日）(#)	
						圃場B:<0.005/*0.009/<0.008$/-（*3回, 28日）(#)	
	4	25.0% WG	1250倍散布 25, 26 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場B:<0.005/<0.005/<0.008/-	
					7	圃場C:<0.005/<0.005/<0.008/-	
						圃場D:<0.005/<0.005/<0.008/-	
やまのいも（塊茎）	3	9.5% SC	2000倍散布 189 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:<0.01/<0.01/<0.02/-	
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.02/-	
					3	圃場C:<0.01/<0.01/<0.02/-	
てんさい（根部）	3	25.0% WG	5000倍散布 200, 208, 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:<0.01/<0.01/<0.02$/-	
					7	圃場C:<0.01/<0.01/<0.02$/-	

（別紙1-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
はくさい（茎葉）	6	9.5% SC	2000倍散布 192～250, 281, 190, 300, 250, 260 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.04/*0.01/<0.02$/- (*3回, 21日)	
						圃場B:0.56/*0.10/0.02$/- (*3回, 14日)	
					3	圃場C:0.15/0.03/0.03$/-	
						圃場D:0.06/<0.01/<0.02$/-	
						圃場E:0.02/0.02/<0.02$/-	
						圃場F:0.06/<0.01/<0.02$/-	
だいこん（根部）	2	9.5% SC	2000倍散布 250, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.01/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.05/*0.03/<0.02$/- (*3回, 3日)	
だいこん（葉部）	2	9.5% SC	2000倍散布 250, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:4.86/0.37/*0.06$/- (*3回, 7日)	◎
						圃場B:0.84/*0.11/*0.03$/- (*3回, 7日)	
キャベツ（葉球）	2	9.5% SC	2000倍散布 300, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.02/<0.01/<0.02$/- (*3回, 7日)	
						圃場B:0.21/0.01/<0.02$/-	
ブロッコリー（花蕾）	3	9.5% SC	2000倍散布 250, 220, 278 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.94/0.02/*0.03/- (*3回, 3日)	
					1, 3, 6	圃場B:0.26/0.01/0.03/-	
					1	圃場C:0.71/0.01/0.02/-	
こまつな（茎葉）	3	9.5% SC	2000倍散布 190, 188, 179 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.50/0.04/0.09/-	
						圃場B:0.78/0.06/0.13/-	
						圃場C:1.05/*0.14/*0.12/- (*3回, 3日)	
みずな（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 188, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.48/0.11/0.12/-	
						圃場B:1.54/*0.34/0.15/- (*3回, 7日)	
チンゲンサイ（茎葉）	3	9.5% SC	2000倍散布 160～169, 190, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.06/*0.08/0.06/- (*3回, 3日)	◎
						圃場B:2.17/*0.20/**0.12/- (*3回, 3日、**3回, 7日)	
						圃場C:2.55/*0.62/*0.12/- (*3回, 3日)	
ごぼう（根部）	3	9.5% SC	2000倍散布 189, 200, 189 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.01/0.01/<0.01/-	
						圃場B:<0.01/0.01/<0.01/-	
					7	圃場C:0.01/0.01/<0.01/-	
レタス（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 295, 222～296 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.28/*0.07/<0.02$/- (*3回, 7日)	
						圃場B:0.42/0.01/<0.02$/-	
サラダ菜（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 187.5, 180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:3.88/0.28/*0.03$/- (*3回, 3日)	◎
						圃場B:2.28/*0.13/<0.02$/- (*3回, 3日)	
リーフレタス（茎葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:3.98/*0.32/*0.02$/- (*3回, 3日)	◎
						圃場B:3.51/*0.28/*0.02$/- (*3回, 3日)	
食用ぎく（花器全体）	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:2.90/0.03/0.17/-	
						圃場B:2.54/0.03/0.06/-	
根深ねぎ（茎葉）	3	9.5% SC	1000倍散布 186, 192, 186 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.33/*0.02/**0.06/- (*3回, 7日、**3回, 3日)	◎
						圃場B:0.39/<0.01/*0.12/- (*3回, 3日)	
						圃場C:0.34/<0.01/<0.02/-	
葉ねぎ（茎葉）	3	9.5% SC	1000倍散布 188, 185, 175 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.04/*0.15/0.04/- (*3回, 7日)	◎
						圃場B:0.43/0.08/<0.02/-	
						圃場C:0.28/*0.09/0.03/- (*3回, 7日)	
ミニトマト（果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 300, 250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.94/*0.02/<0.02$/- (*2回, 3日)	◎
						圃場B:0.33/<0.01/<0.02$/-	
ピーマン（果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 259, 189, 296 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:*0.70/0.02/<0.02$/- (*2回, 3日)	
						圃場B:0.40/<0.01/<0.02$/-	
						圃場C:0.35/0.01/<0.02$/-	
なす（果実）	6	9.5% SC	1000倍散布 195～248, 300, 285, 247, 150, 258 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.17/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:0.13/<0.01/<0.02$/-	
					1	圃場C:0.22/<0.01/<0.02$/-	
						圃場D:0.16/<0.01/<0.02$/-	
						圃場E:0.14/<0.01/<0.02$/-	
						圃場F:0.44/<0.01/<0.02$/-	
きゅうり（果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.25/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.28/*0.01/<0.02$/- (*2回, 3日)	

（別紙1-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
すいか （果肉）	6	9.5% SC	1000倍散布 161～247, 158～282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.04/<0.01/**0.20/-（*3回, 21日、**3回, 14日）	
						圃場B:*0.05/*0.01/**0.17/-（*3回, 14日、**3回, 7日）	
						圃場C:*0.04/<0.01/**0.17/-（*3回, 35日、**3回, 14日）	
						圃場D:*0.02/<0.01/*0.15/-（*3回, 14日）	
						圃場E:*0.03/<0.01/**0.17/-（*3回, 28日、**3回, 21日）	
						圃場F:*0.02/*0.01/***0.17/-（*3回, 21日、**3回, 28日、***3回, 7日）	
すいか （果実）	6	9.5% SC	1000倍散布 161～247, 158～282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.07/<0.01/*0.20/-（*3回, 14日）	
						圃場B:*0.11/**0.01/***0.15/-（*3回, 3日、**3回, 14日、***3回, 7日）	
						圃場C:*0.10/<0.01/**0.16/-（*3回, 3日、**3回, 14日）	
						圃場D:0.10/*0.01/**0.13/-（*3回, 35日、**3回, 14日）	
						圃場E:0.07/<0.01/*0.13/-（*3回, 14日）	
						圃場F:*0.04/<0.01/**0.15/-（*3回, 3日、**3回, 7日）	
メロン （果肉）	5	9.5% SC	1000倍散布 249～252, 247, 190～199, 165～271 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:*0.05/<0.01/*0.02/-（*3回, 14日）	
						圃場B:*0.02/<0.01/<0.02/-（*3回, 14日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C:*0.03/**0.01/<0.02/-（*3回, 14日、**3回, 28日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 50	圃場D:*0.06/*0.04/*0.03/-（*3回, 28日）	
						圃場E:*0.04/<0.01/**0.09/-（*3回, 14日、**3回, 28日）	
メロン （果実）	5	9.5% SC	1000倍散布 249～252, 247, 190～199, 165～271 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.16/<0.01/*0.03/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:0.20/<0.01/*0.02/-（*3回, 21日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C:0.12/*0.02/**0.02/-（*3回, 35日、**3回, 14日）	
					1, 3, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 50	圃場D:0.17/*0.04/*0.04/-（*3回, 28日）	
						圃場E:0.24/<0.01/*0.12/-（*3回, 28日）	
ほうれんそう （茎葉）	6	9.5% SC	2000倍散布 181, 184, 158～167, 180, 179 L/10 a	2	*1*, 3, 7, 14	圃場A:4.50/*0.37/0.15/-（*2回, 7日）	◎
						圃場B:6.67/*0.15/**0.15/-（*2回, 14日、**2回, 7日）	
					3, 14	圃場C:3.86/0.08/0.17/-	
						圃場D:5.34/*0.33/0.17/-（*2回, 14日）	
						圃場E:7.72/0.11/0.26/-	
						圃場F:6.08/0.10/0.13/-	
えだまめ （さや）	3	20.0% SC	2000倍散布 189, 190, 180～181 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.06/<0.01/<0.02/-	◎
						圃場B:*1.04/*0.02/**0.04/-（*2回, 3日、**2回, 7日）	
					1, 3, 7, 14, 21	圃場C:*0.38/**0.01/*0.06/-（*2回, 14日、**2回, 7日）	
オリーブ （葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	30, 61, 89	圃場A:0.82/1.99/<0.08/-	
					28, 56, 90	圃場B:*1.56/*0.44/*<0.08/-（*2回, 28日）	
みかん （果肉）	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.05/<0.01/<0.02$/-（*3回, 7日）	
						圃場B:*0.05/0.01/<0.02$/-（*3回, 3日）	
みかん （果皮）	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:3.10/*0.08/<0.03$/0.05（*3回, 3日）	◎
						圃場B:3.38/*0.60/<0.03$/0.13（*3回, 7日）	
みかん （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 640, 547 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.93/0.03/<0.01$/-[注2)]	◎
						圃場B:0.49/*0.08/<0.01$/-[注2)]（*3回, 3日）	
なつみかん （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 500, 637 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.62/0.23/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.89/*0.31/<0.02$/-（*3回, 3日）	
かぼす （果実）	1	9.5% SC	1000倍散布 617 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.38/*0.03/<0.02$/<0.02（*3回, 7日）	◎
すだち （果実）	1	9.5% SC	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.56/*0.02/<0.02$/<0.02（*3回, 7日）	
りんご （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 450 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.12/<0.01/<0.02$/<0.02（*3回, 3日）	◎
						圃場B:0.28/0.01/<0.02$/0.02	
なし （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 400, 432 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.48/*0.03/<0.02$/-（*3回, 3日）	◎
						圃場B:0.49/0.02/<0.02$/-	
もも （果肉）	4	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:*0.34/<0.01/<0.02$/-（*3回, 21日）	
						圃場B:*0.16/*0.03/<0.02$/-（*3回, 21日）	
			1000倍散布 317, 320 L/10 a		7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.20/<0.01/<0.02$/-	
						圃場D:0.08/*0.03/<0.02$/-（*3回, 56日）	
もも （果皮）	2	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:3.07/0.15/0.06/-	
						圃場B:1.02/*0.07/0.03/-（*3回, 21日）	

（別紙1-1）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B/代謝物G】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも （果実、種子を除く）	2	9.5% SC	1000倍散布 317, 320 L/10 a	3	7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.42/<0.01/<0.02/-	
						圃場D:0.25/*0.04/<0.02/-（*3回, 56日）	
もも （果実）	4	9.5% SC	1000倍散布 350, 333 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.72/0.04/0.02$/-[注2)]	◎
						圃場 B:*0.22/*0.03/0.02$/-[注2)]（*3回, 21日）	
			1000倍散布 317, 320 L/10 a		7, 14, 21, 28, 42, 56	圃場C:0.40/<0.01/<0.02$/-[注2)]	
						圃場D:0.23/*0.04/<0.02$/-[注2)]（*3回, 56日）	
すもも （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 333, 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.08/<0.01/<0.02$/-	
						圃場B:0.06/<0.01/<0.02$/-	
うめ （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 333, 320～327, 300 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.18/*0.01/<0.02$/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:1.24/0.03/<0.02$/-	
					3	圃場C:0.48/0.01/<0.02$/-	
おうとう （果実）	2	9.5% SC	1000倍散布 444, 450～460 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:1.58/*0.04/<0.02$/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:1.10/*0.02/<0.02$/-（*3回, 7日）	
いちご （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 174, 179, 180 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.08/0.04/0.03$/-	◎
						圃場B:0.92/0.05/0.02$/-	
					1	圃場C:1.96/0.07/<0.02$/-	
ぶどう （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 333 L/10 a	3	*1*, 3, 7, 14, 21	圃場A:*1.19/*0.04/<0.02$/-（*3回, 7日）	◎
						圃場B:1.41/0.02/*0.02$/-（*3回, 7日）	
					3, 7, 14, 21	圃場C:*0.99/**0.02/**0.09/-（*3回, 7日、**3回, 14日）	
かき （果実）	6	9.5% SC	1000倍散布 450, 452, 450, 453, 454, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:0.14/<0.01/<0.02$/-	◎
						圃場B:0.31/<0.01/<0.02$/-	
						圃場C:0.19/<0.01/<0.02/-	
						圃場D:0.14/<0.01/<0.02/-	
						圃場E:*0.22/<0.01/<0.02/-（*3回, 3日）	
						圃場F:0.29/0.04/<0.02/-	
キウイフルーツ （果肉）	3	9.5% SC	1000倍散布 350, 360, 375 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:*0.02/<0.01/<0.02/-（*3回, 35日）	
						圃場B:0.01/<0.01/<0.02/-	
						圃場C:0.02/<0.01/<0.02/-	
キウイフルーツ （果実）	3	9.5% SC	1000倍散布 350, 360, 375 L/10 a	3	3	圃場A:0.75/*0.03/<0.02/-（*3回, 14日）	◎
						圃場B:1.22/0.02/*0.02/-（*3回, 35日）	
						圃場C:1.41/*0.03/<0.02/-（*3回, 21日）	
マンゴー （果実）	2	9.5% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:*0.18/-/-/-（*3回, 7日）	
						圃場B:*0.03/<0.01/<0.02/-（*3回, 7日）	
いちじく	2	9.5% SC	1000倍散布 700 L/10 a	3	*1*, *3*, 7, 14	圃場A:0.73/-/-/-	◎
						圃場B:0.68/-/-/-	
オリーブ （果実）	2	9.5% SC	2000倍散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*0.36/<0.05/<0.08/-（*3回, 14日）	
						圃場B:0.32/0.03/<0.08/-	
みょうが （花穂）	2	9.5% SC	2000倍散布 350 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01/-/-/-	
						圃場B:<0.01/-/-/-	
しそ （葉）	2	9.5% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:8.44/0.22/*0.65/-（*2回, 3日）	◎
						圃場B:8.78/0.17/*0.35/-（*2回, 3日）	

SC：フロアブル、WG：顆粒水和剤

-：分析せず

$：抱合体の加水分解に使用したグルコシダーゼ溶液が、適切な濃度（10 mg/mL）の1000分の1の濃度（10 mg/L）であったため、参考値として記載している。

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物D、代謝物B及び代謝物Gの残留濃度は、スルホキサフロル濃度に換算した値で示した。$を付していない代謝物Bの値は抱合体を含む残留濃度を示す。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2）果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
いんげん （乾燥子実）	6	24.0% SC	0.0922～*0.1016* kg ai/ha散布 （計*0.3927*, *0.3730* kg ai/ha）	4	*0*, *3*, 7, 14, 21, 28	圃場A:*0.100/**0.069/*0.072 （*4回, 21日、**4回, 14日）(#)	◎
			0.0950～*0.1020* kg ai/ha散布 （計*0.3816*, *0.4028* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21, 28	圃場B:*0.088/**0.016/*0.020 （*4回, 21日）(#)	
			0.0915～*0.1032* kg ai/ha散布 （計*0.3808*, *0.4106* kg ai/ha）		7, 14	圃場C:0.074/0.019/0.017 (#)	
			0.0953～*0.1033* kg ai/ha散布 （計*0.3885*, *0.4024* kg ai/ha）		7, 14	圃場D:0.049/<0.003/0.078 (#)	
			0.0992～*0.1017* kg ai/ha散布 （計*0.4026* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 9, 13	圃場E:0.104/0.007/0.159 （*4回, 13日）(#)	
			0.1000～*0.1037* kg ai/ha散布 （計*0.4096* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7	圃場F:0.022/0.008/0.041 (#)	
にんじん （根）	12	24.0% SC	01009～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4091* kg ai/ha）	4	7	圃場A:0.013/<0.009/<0.015 (#)	◎
			01009～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4046* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場B:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	
			01009～0.1042 kg ai/ha散布 （計*0.4102* kg ai/ha）		7	圃場C:0.010/<0.009/<0.015 (#)	
			00986～0.1031 kg ai/ha散布 （計*0.4046* kg ai/ha）		7	圃場D:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	
			0.0978～0.1067 kg ai/ha散布 （計*0.4089* kg ai/ha）		*4*, 7, 15, 28	圃場E:<0.01/0.032/<0.015 (#)	
			0.0967～0.1067 kg ai/ha散布 （計*0.4063* kg ai/ha）		7	圃場F:0.017/0.009/<0.015 (#)	
			0.1027～0.1080 kg ai/ha散布 （計*0.4227* kg ai/ha）		7	圃場G:0.009/<0.009/<0.015 (#)	
			0.1031～0.1063 kg ai/ha散布 （計*0.4179* kg ai/ha）		7	圃場H:0.010/0.030/<0.015 (#)	
			0.0973～0.1067 kg ai/ha散布 （計*0.4087* kg ai/ha）		7	圃場I:0.014/0.046/<0.015 (#)	
			0.1006～0.1019 kg ai/ha散布 （計*0.4057* kg ai/ha）		7	圃場J:<0.01/0.018/<0.015 (#)	
			0.0993～0.1020 kg ai/ha散布 （計*0.4039* kg ai/ha）		7	圃場K:0.030/0.049/<0.015 (#)	
			0.0994～0.1017 kg ai/ha散布 （計*0.4012* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場L:0.016/0.040/<0.015 (#)	
カリフラワー （花蕾）	10	24.0% SC	0.096 kg ai/ha散布 （計*0.384* kg ai/ha）	4	3	圃場A:<0.01/0.023/<0.015 (#)	◎
					0, 4, 7, 14	圃場B:0.055/0.019/0.022 （*4回, 4日）(#)	
			0.097～0.105 kg ai/ha散布 （計*0.401* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場C:0.021/*0.011/<0.015 （*4回, 10日）(#)	
			0.099～0.101 kg ai/ha散布 （計*0.402* kg ai/ha）		3	圃場D:0.011/<0.009/<0.015 (#)	
			0.102～0.106 kg ai/ha散布 （計*0.414* kg ai/ha）		3	圃場E:0.014/0.020/<0.015 (#)	
			0.100～0.101 kg ai/ha散布 （計*0.401* kg ai/ha）		3	圃場F:0.022/0.009/<0.015 (#)	
			0.0869～0.0945 kg ai/ha散布 （計0.360 kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場G:0.029/*0.014/<0.015 （*4回, 7日）(#)	
			0.0878～0.0971 kg ai/ha散布 （計0.3669 kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場H:0.014/*0.033/<0.015 （*4回, 7日）(#)	
			0.1011～0.1100 kg ai/ha散布 （計*0.4194* kg ai/ha）		3	圃場I:<0.01/<0.009/<0.015 （*4回, 7日）(#)	
			0.0969～0.1011 kg ai/ha散布 （計*0.3977* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場J:<0.01/<0.009/<0.015 (#)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー（花蕾）	15	24.0% SC	0.095～0.101 kg ai/ha散布（計*0.391* kg ai/ha）	4	*1*, 3, 7, 14	圃場A:0.065/0.008/0.073 (#)	◎
			0.096～0.100 kg ai/ha散布（計*0.390* kg ai/ha）		3	圃場B:0.070/0.028/<0.015 (#)	
			0.1011～0.1111 kg ai/ha散布（計*0.4221* kg ai/ha）		3	圃場C:0.073/0.009/<0.015 (#)	
			0.1032～0.1095 kg ai/ha散布（計*0.4246* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場D:*0.318/0.042/*0.044 (*4回,10日)(#)	
			0.0973～0.1000 kg ai/ha散布（計*0.3973* kg ai/ha）		3	圃場E:0.164/0.028/0.018 (#)	
			0.1006～0.1008 kg ai/ha散布（計*0.4029* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場F:1.580/*0.013/**0.092 (*4回,10日、**4回,7日)(#)	
			0.0979～0.1107 kg ai/ha散布（計*0.4203* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 10	圃場G:0.074/*0.011/0.021 (*4回,7日)(#)	
			0.1051～0.1086 kg ai/ha散布（計*0.4263* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 9	圃場H:0.057/*0.011/0.007 (*4回,9日)(#)	
			0.0911～0.1095 kg ai/ha散布（計*0.4098* kg ai/ha）		3	圃場I:0.036/0.028/<0.015 (#)	
			0.1009～0.1020 kg ai/ha散布（計*0.4057* kg ai/ha）		3	圃場J:<0.010/0.014/<0.015 (#)	
			0.0998～0.1015 kg ai/ha散布（計*0.4015* kg ai/ha）		*1*, 3, 7, 14	圃場K:0.393/*0.107/*0.058 (*4回,14日)(#)	
			0.0984～0.0996 kg ai/ha散布（計*0.3960* kg ai/ha）		3	圃場L:0.060/<0.009/0.014 (#)	
			0.1009 kg ai/ha散布（計*0.4035* kg ai/ha）		3	圃場M:0.117/0.024/0.037 (#)	
			0.1019～0.1042 kg ai/ha散布（計*0.4112* kg ai/ha）		3	圃場N:0.050/<0.009/0.015 (#)	
			0.0975～0.1020 kg ai/ha散布（計*0.4001* kg ai/ha）		3	圃場O:0.029/0.012/<0.015 (#)	
ほうれんそう（葉）	8	24.0% SC	0.1010～0.1020 kg ai/ha散布（計*0.4050* kg ai/ha）	4	3	圃場A:2.85/0.124/0.167 (#)	◎
			0.1010 kg ai/ha散布（計*0.4040* kg ai/ha）		*0*, 3, 7, 14	圃場B:1.038/*0.153/0.074 (*4回,7日)(#)	
			0.1009～0.1031 kg ai/ha散布（計*0.4080* kg ai/ha）		3	圃場C:0.041/0.099/0.030 (#)	
			0.1009～0.1031 kg ai/ha散布（計*0.4091* kg ai/ha）		3	圃場D:0.405/0.235/0.120 (#)	
			0.1009 kg ai/ha散布（計*0.4035* kg ai/ha）		3	圃場E:1.434/0.057/0.170 (#)	
			0.0986～0.1031 kg ai/ha散布（計*0.4046* kg ai/ha）		3	圃場F:1.871/0.067/0.195 (#)	
			0.096 kg ai/ha散布（計*0.384* kg ai/ha）		*0*, 3, 7, 14	圃場G:0.365/0.169/0.051 (#)	
					3	圃場H:0.595/0.117/0.102 (#)	
未成熟いんげん（さや付き）	6	24.0% SC	0.0941～*0.1163* kg ai/ha散布（計*0.4185* kg ai/ha）	4	*1*, *3*, 7, 9, 14	圃場A:0.306/0.060/*0.059 (*4回,14日)(#)	◎
			0.100～*0.1037* kg ai/ha散布（計*0.4074* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 10, 14	圃場B:0.029/*0.020/0.091 (*4回,10日)(#)	
			0.0979～*0.1022* kg ai/ha散布（計*0.4024* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 10, 14	圃場C:1.938/*0.171/0.327 (*4回,10日)(#)	
			0.0967～*0.1007* kg ai/ha散布（計*0.3954* kg ai/ha）		7	圃場D:0.116/0.009/0.035 (#)	
			0.0977～*0.1050* kg ai/ha散布（計*0.4091* kg ai/ha）		*1*, *3*, 7, 10, 15	圃場E:0.072/<0.009/*0.088 (*4回,15日)(#)	
			0.0975～*0.1050* kg ai/ha散布（計*0.4083* kg ai/ha）		7	圃場F:0.076/0.018/0.017 (#)	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
おうとう（果実）	14	24.0% SC	*0.2051* kg ai/ha散布（計*0.4102* kg ai/ha）	2	6	圃場A:1.241/0.015/0.038（#）	◎
			0.2018 kg ai/ha散布（計*0.4035* kg ai/ha）		7	圃場B:1.221/0.013/0.070（#）	
					7	圃場C:1.047/0.015/0.061（#）	
					3, 7, 14, 21	圃場D:0.760/<0.009/0.025（#）	
					7	圃場E:0.586/<0.009/0.028（#）	
			0.2030, *0.2046* kg ai/ha散布（計*0.4075* kg ai/ha）		6	圃場F:0.554/<0.009/0.015（#）	
			0.192 kg ai/ha散布（計*0.384* kg ai/ha）		*3*, 7, 11, 14, 25	圃場G:0.320/<0.009/0.007（#）	
					7	圃場H:0.345/<0.009/0.015（#）	
			0.1892, *0.1938* kg ai/ha散布（計*0.3830* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場I:1.264/*0.025/0.059（*2回, 21日）(#)	
			0.1930, *0.1954* kg ai/ha散布（計*0.3884* kg ai/ha）		7	圃場J:0.810/0.008/0.022（#）	
			0.1880, *0.1909* kg ai/ha散布（計*0.3789* kg ai/ha）		7	圃場K:0.701/0.009/<0.015（#）	
			0.1990, *0.2021* kg ai/ha散布（計*0.4011* kg ai/ha）		7	圃場L:0.485/<0.009/0.033（#）	
			0.2015, *0.2018* kg ai/ha散布（計*0.4033* kg ai/ha）		*3*, 7, 14, 21	圃場M:0.830/*0.016/**0.025（*2回, 21日、**2回, 14日）(#)	
			0.1941, *0.2029* kg ai/ha散布（計*0.3970* kg ai/ha）		7	圃場N:0.703/<0.009/0.056（#）	
ブッシュベリー（ブルーベリー）（果実）	11	24.0% SC	0.1018～0.1030 kg ai/ha散布（計0.3076 kg ai/ha）	3	1	圃場A:0.155/<0.009/0.026	◎
			0.0986～0.1011 kg ai/ha散布（計0.2989 kg ai/ha）		1	圃場B:0.418/<0.009/0.077	
			0.1007～0.1022 kg ai/ha散布（計0.3037 kg ai/ha）		1	圃場C:0.425/0.017/0.081	
			0.1032～0.1057 kg ai/ha散布（計0.3133 kg ai/ha）		1	圃場D:1.265/0.016/0.140	
			0.1006～0.1010 kg ai/ha散布（計0.3024 kg ai/ha）		1	圃場E:0.613/<0.009/0.051	
			0.0997～0.1016 kg ai/ha散布（計0.3027 kg ai/ha）		1	圃場F:0.392/0.015/0.065	
			0.1013～0.1049 kg ai/ha散布（計0.3097 kg ai/ha）		1	圃場G:0.170/<0.009/0.019	
			0.1014～0.1030 kg ai/ha散布（計0.3071 kg ai/ha）		*0*, 1, 8, 14, 21	圃場H:0.298/<0.009/0.074	
			0.1004～0.1013 kg ai/ha散布（計0.3029 kg ai/ha）		1	圃場I:0.387/<0.009/0.088	
			0.1001～0.1012 kg ai/ha散布（計0.3022 kg ai/ha）		1	圃場J:0.268/<0.009/0.063	
			0.1001～0.1006 kg ai/ha散布（計0.3010 kg ai/ha）		*0*, 1, 7, 14	圃場K:0.310/*0.059/0.040（*3回, 14日）	
パイナップル（果実）	8	24.0% SC	0.1000 kg ai/ha散布（計0.2000 kg ai/ha）	2	*1*, 8	圃場A:*0.022/<0.009/<0.015（*2回, 8日）	◎
					0, *1*, 7, 14, 21, 25	圃場B:0.042/<0.009/<0.015	
					0, *1*, 7, 14, 21, 28	圃場C:*0.051/<0.009/<0.015（*2回, 28日）	
					0, *1*, 7, 13, 19, 25	圃場D:*0.012/<0.009/<0.015（*2回, 13日）	
					0, *1*, 7, 13, 19, 25	圃場E:*0.011/<0.009/<0.015（*2回, 25日）	
					1, 6	圃場F:0.018/<0.009/<0.015	
					1, 6	圃場G:0.020/<0.009/<0.015	
					1, 6	圃場H:0.027/<0.009/<0.015	

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注) 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用時期・使用方法	回数	経過日数		
なたね （種子）	19	24.0% SC	*0.0504* kg ai/ha散布 （計*0.1009* kg ai/ha）	2	14	圃場A:0.051/0.029/0.028（#）	◎
			0.0482, *0.0493* kg ai/ha散布 （計*0.0975* kg ai/ha）		*7*, 14, 21, 28	圃場B:*0.085/<0.009/*0.025（*2回, 28日）(#)	
			0.0504, *0.0516* kg ai/ha散布 （計*0.1020* kg ai/ha）		14	圃場C:0.035/<0.009/0.070（#）	
			0.0503, *0.0504* kg ai/ha散布 （計*0.1008* kg ai/ha）		14	圃場D:0.009/0.078/<0.015（#）	
			0.0498, *0.0508* kg ai/ha散布 （計*0.1005* kg ai/ha）		14	圃場E:0.017/<0.009/<0.015（#）	
			0.0504, *0.0507* kg ai/ha散布 （計*0.1011* kg ai/ha）		13	圃場F:0.047/<0.009/<0.015（#）	
			0.0512, *0.0516* kg ai/ha散布 （計*0.1028* kg ai/ha）		14	圃場G:0.072/<0.009/<0.015（#）	
			0.0497, *0.0501* kg ai/ha散布 （計*0.0998* kg ai/ha）		14	圃場H:0.042/<0.009/<0.015（#）	
			0.048 kg ai/ha散布 （計*0.096* kg ai/ha）		14	圃場I:0.060/0.047/0.058（#）	
					14	圃場J:<0.01/<0.009/<0.015（#）	
					13	圃場K:0.020/0.014/<0.015（#）	
					14	圃場L:0.085/0.019/0.013（#）	
			0.0514, *0.0525* kg ai/ha散布 （計*0.1039* kg ai/ha）		*7*, 14, 20, 27	圃場M:0.038/<0.009/<0.015（#）	
			0.0533, *0.0539* kg ai/ha散布 （計*0.1072* kg ai/ha）		14	圃場N:0.027/<0.009/<0.015（#）	
			0.0484, *0.0509* kg ai/ha散布 （計*0.0993* kg ai/ha）		14	圃場O:0.054/<0.009/<0.015（#）	
			0.0491, *0.0509* kg ai/ha散布 （計*0.1000* kg ai/ha）		*7*, 13, 21, 28	圃場P:*0.117/*0.007/0.031（*2回, 21日）(#)	
			0.0428, *0.0453* kg ai/ha散布 （計*0.0881* kg ai/ha）		*0*, *7*, 15, 21, 28	圃場Q:0.043/0.019/0.015（*2回, 15日）(#)	
			0.0486, *0.0497* kg ai/ha散布 （計*0.0983* kg ai/ha）		14, 21, 28	圃場R:0.215/*0.013/*0.019（*2回, 21日）(#)	
			0.0544, *0.0564* kg ai/ha散布 （計*0.1108* kg ai/ha）		13	圃場S:0.076/<0.009/0.036（#）	
カカオ豆(種子)	6	24.0% SC	0.0409～0.0431 kg ai/ha散布 （計0.1675 kg ai/ha）	4	3, 7, 15	圃場A:<0.01/<0.003/<0.003	◎
			0.0410～0.0422 kg ai/ha散布 （計0.1662, 0.1672 kg ai/ha）		*0*, 4, 8, 14, 22 3, 7, 15	圃場B:0.016/<0.000/<0.000	
			0.0408～0.0474 kg ai/ha散布 （計0.1703 kg ai/ha）		3	圃場C:0.011/<0.003/<0.003	
			0.0403～0.0431 kg ai/ha散布 （計0.1674 kg ai/ha）		*0*, 3, 7, 14, 21	圃場D:0.014/<0.003/<0.003	
			0.0398～0.0423 kg ai/ha散布 （計0.1641, 0.1661 kg ai/ha）		3, 6, 14 *0*, 3, 7, 14, 21	圃場E:0.024/0.002/<0.000	
			0.0402～0.0428 kg ai/ha散布 （計0.1657 kg ai/ha）		*0*, 2, 7, 14, 20	圃場F:0.023/<0.006/<0.003（*4回, 2日）	

SC：フロアブル

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

（別紙1-3）

スルホキサフロルの作物残留試験一覧表（台湾）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注） 【スルホキサフロル/代謝物D/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
マンゴー （果実）	3	240 g/L SC	3600倍散布 *0.038*～*0.045* kg ai/ha （計*0.078*～*0.081* kg ai/ha）	2	*0*, *3*, *7*, *9*, 14, 21, 28	圃場A:0.030/-/-（#）	◎
			3600倍散布 *0.035*～*0.037* kg ai/ha （計*0.072*～*0.073* kg ai/ha）			圃場B:0.037/-/-（#）	
			3600倍散布 *0.032*～*0.040* kg ai/ha （計*0.071*～*0.078* kg ai/ha）		*0*, *3*, *6*, *9*, 14, 21, 28	圃場C:0.047/-/-（#）	

SC：フロアブル
-：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。
注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

農薬名　スルホキサフロル

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	2	2	○	1.5			
小麦	0.4	0.4	○	0.2			0.02～0.19(n=6)
大麦	0.6	0.6		0.6			
とうもろこし	0.01	0.01	○	0.01			
その他の穀類	0.2	0.2		0.2			
大豆	1	2	○	0.3			0.22～0.56(n=6)
小豆類	0.3	0.3	○	0.3			
そら豆	0.2	0.2			0.20	米国	【(0.022～0.104(#) (n=6)（米国いんげん）】
ばれいしょ	0.05	0.05	○	0.03	0.05	米国	【(0.009～0.030(#) (n=12)（米国にんじん）】
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03	0.03		0.03			
かんしょ	0.05	0.05		0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.05	○	0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
こんにゃくいも	0.03	0.03		0.03			
その他のいも類	0.03	0.03		0.03			
てんさい	0.05	0.05	○	0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2	0.2	○	0.03			0.01,0.05(¥)
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	10	○	6			0.84,4.86(¥)
かぶ類の根	0.05	0.05		0.03	0.05	米国	【ばれいしょ参照】
かぶ類の葉	6	6		6			
西洋わさび	0.03	0.03		0.03			
クレソン	6	6		6			
はくさい	6	6	○	6			
キャベツ	2	2	○	0.4	2	米国	【<0.01～1.58(#) (n=15)（米国ブロッコリー）】
芽キャベツ	2	2			2	米国	【キャベツ参照】
ケール	6	6	○	6			
こまつな	6	6	○	6			
きょうな	6	6	○	6			
チンゲンサイ	6	6	○	6			1.06,2.17,2.55
カリフラワー	0.08	0.08		0.04	0.08	米国	【<0.01～0.055(#)(n=10)（米国カリフラワー）】
ブロッコリー	3	3	○	3			
その他のあぶらな科野菜	6	6	○	6			
ごぼう	0.03	0.03	○	0.03			
サルシフィー	0.03	0.03		0.03			
アーティチョーク	0.9	0.7		0.9			
チコリ	6	6		6			
エンダイブ	6	6		6			
しゅんぎく	6	6		6			
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10	10	○	6			2.28,3.88(サラダ菜)、3.51,3.98(リーフレタス)
その他のきく科野菜	6	6	○	6			
たまねぎ	0.01	0.01		0.01			
ねぎ（リーキを含む。）	0.9		申	0.7			0.04～0.43(n=6)
にんにく	0.01	0.01		0.01			
アスパラガス	0.01			0.01			
その他のゆり科野菜	6	6		6			
にんじん	0.05	0.05		0.05			
パースニップ	0.03	0.03		0.03			
パセリ	6	6			6	米国	【0.041～2.85(#)(n=8)（米国ほうれんそう）】
セロリ	2	2		1.5			
みつば	6	6		6			
その他のせり科野菜	0.03	0.03		0.03			

農薬名　スルホキサフロル

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
トマト	2	2	○	1.5			0.33,0.94(¥)
ピーマン	2	2	○	1.5			
なす	2	2	○	1.5			
その他のなす科野菜	2	6		1.5			
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○	0.5			0.25,0.28(¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5		0.5			
しろうり	0.5	0.5		0.5			
すいか(果皮を含む。)	0.5	0.5	○	0.5			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.6	0.6	○	0.5			0.12～0.24(n=5)
まくわうり(果皮を含む。)	0.5	0.5		0.5			
その他のうり科野菜	0.5	6		0.5			
ほうれんそう	20	20	○	6			3.86～7.72(n=6)
オクラ	2	2		1.5			
未成熟えんどう	4	4					【0.029～1.938(#)(n=6)(米国Green bean (whole pod))】※1
未成熟いんげん	4	4			4.0	米国	【未成熟えんどう参照】
えだまめ	3	3	○				0.06,0.38,1.04
しいたけ		2					
その他のきのこ類		2					
その他の野菜	6	6	○	6			
みかん(外果皮を含む。)	2	2	○	0.8			0.49,0.93(¥)
なつみかんの果実全体	2	2	○	0.15			0.62,0.89(¥)
レモン	2	2	○	0.4			0.38(かぼす),0.56(すだち)(¥)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○	0.8			(みかん(外果皮を含む。)参照)
グレープフルーツ	2	2	○	0.15			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	2	2	○	0.4			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	2	2	○	0.8			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	0.7	0.7	○	0.3			0.12,0.28(¥)
日本なし	1	1	○	0.3			0.48,0.49(¥)
西洋なし	1	1	○	0.3			(日本なし参照)
マルメロ	0.3	0.3		0.3			
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.3	0.3		0.3			
もも(果皮及び種子を含む。)	1	2	○	0.4			0.22～0.72(n=4)
ネクタリン	3	3	○	0.4	3	米国	【0.320～1.264(#)(n=14)(米国おうとう)】
あんず(アプリコットを含む。)	3	3		0.4	3	米国	【ネクタリン参照】
すもも(プルーンを含む。)	3	3		0.5	3	米国	【ネクタリン参照】
うめ	3	3	○	0.4			0.18,0.48,1.24
おうとう(チェリーを含む。)	5	5	○	1.5	3	米国	1.10,1.58(¥)
いちご	4	4	○	0.5			0.92,1.08,1.96
ラズベリー	2	2		1.5			
ブラックベリー	2	2		1.5			
ブルーベリー	2	2		2			
クランベリー	2	2			2	米国	【0.155～1.265(n=11)(米国ブッシュベリー)】
ハックルベリー	2	2		2			
その他のベリー類果実	2	2		2			
ぶどう	4	4	○	2			0.99,1.19,1.41
かき	0.7	0.7	○	0.3			0.14～0.31(n=6)

農薬名　スルホキサフロル

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
バナナ	0.5	0.5			0.5	台湾	【0.126,0.170,0.212(#)(n=3)(台湾マンゴー)】※2
キウィー(果皮を含む。)	4	4	○				0.75,1.22,1.41
パパイヤ	0.5	0.5			0.5	台湾	【バナナ参照】
アボカド	0.5	0.5		0.15	0.5	台湾	【バナナ参照】
パイナップル	0.1	0.1			0.1	米国	【0.011～0.051(n=8)(米国パイナップル)】
マンゴー	0.5	0.5	○	0.3	0.5	台湾	【バナナ参照】
その他の果実	2	2	○	1.5			0.68,0.73(¥)(いちじく)
ひまわりの種子	0.4			0.4			
べにばなの種子	0.4			0.4			
綿実	0.4	0.4		0.4			
なたね	0.4	0.4		0.15	0.40	米国	【<0.01～0.215(#)(n=19)(米国なたね)】
ぎんなん	0.03	0.03		0.03			
くり	0.03	0.03		0.03			
ペカン	0.03	0.03		0.03			
アーモンド	0.03	0.03		0.03			
くるみ	0.03	0.03		0.03			
その他のナッツ類	0.03	0.03		0.03			
コーヒー豆	0.3			0.3			
カカオ豆	0.05	0.05			0.05	米国	【<0.01～0.024(n=6)(米国カカオ豆)】
その他のスパイス	10	10	○	2			3.10,3.38(¥)(みかん果皮)
その他のハーブ	15	15	○	6			8.44,8.78(¥)(しそ(葉))
牛の筋肉	0.4	0.4		0.4			
豚の筋肉	0.4	0.4		0.4			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.4	0.4		0.4			
牛の脂肪	0.2	0.2		0.2			
豚の脂肪	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	0.2		0.2			
牛の肝臓	1	1		1			
豚の肝臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1	1		1			
牛の腎臓	1	1		1			
豚の腎臓	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1	1		1			
牛の食用部分	1	1		1			
豚の食用部分	1	1		1			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1	1		1			
乳	0.3	0.3		0.3			

農薬名　スルホキサフロル

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
鶏の筋肉	0.7	0.7		0.7		
その他の家きんの筋肉	0.7	0.7		0.7		
鶏の脂肪	0.05	0.05		0.03		推:0.049
その他の家きんの脂肪	0.05	0.05		0.03		(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.3	0.3		0.3		
その他の家きんの肝臓	0.3	0.3		0.3		
鶏の腎臓	0.3	0.3		0.3		
その他の家きんの腎臓	0.3	0.3		0.3		
鶏の食用部分	0.3	0.3		0.3		
その他の家きんの食用部分	0.3	0.3		0.3		
鶏の卵	0.1	0.1		0.1		
その他の家きんの卵	0.1	0.1		0.1		
はちみつ	0.05					※3
精米				1		※4
とうがらし(乾燥させたもの)				15		※4
干しぶどう				6		※4

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

斜線:食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推:推定される残留濃度

※1)未成熟えんどうは、米国基準は設定されていないが、米国Green bean (whole pod)の作物残留試験成績より基準値を設定している。

※2)バナナ、パパイヤ、アボガド及びマンゴーについては台湾のマンゴーの残留試験成績をプロポーショナリティ(proportionality)の原則に基づき、処理量の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、マンゴーは台湾の 24.0% SCにおける0.168 kg ai/ha散布を基に換算した。

※3)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※4)加工食品である「精米」「とうがらし(乾燥させたもの)」「干しぶどう」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。基準値が設定されていない加工食品については、原材料の基準値に基づき加工係数を考慮して適否を判断することとしている。なお、本物質について、JMPRは精米、とうがらし(乾燥させたもの)及び干しぶどうの加工係数をそれぞれ0.7、10及び3.5と算出している。

（別紙３）

スルホキサフロルの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米（玄米をいう。）	2	0.39	64.0	33.4	41.1	70.3
小麦	0.4	0.06	3.6	2.7	4.1	3.0
大麦	0.6	0.063	0.3	0.3	0.6	0.3
とうもろこし	0.01	0.007	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.2	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.42	16.4	8.6	13.1	19.4
小豆類	0.3	0.075	0.2	0.1	0.1	0.3
そら豆	0.2	0.081	0.1	0.0	0.1	0.1
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03	0.01	0.1	0.0	0.0	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こんにゃくいも	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.05	0.01	0.3	0.3	0.4	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2	0.03	1.0	0.3	0.6	1.4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	2.86	4.9	1.7	8.9	8.0
かぶ類の根	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	6	1.2	0.4	0.1	0.1	0.7
西洋わさび	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
はくさい	6	1.2	21.2	6.1	19.9	25.9
キャベツ	2	0.07	1.7	0.8	1.3	1.7
芽キャベツ	2	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	6	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2
こまつな	6	1.2	6.0	2.2	7.7	7.7
きょうな	6	1.2	2.6	0.5	1.7	3.2
チンゲンサイ	6	2.17	3.9	1.5	3.9	4.1
カリフラワー	0.08	0.014	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	3	0.074	0.4	0.2	0.4	0.4
その他のあぶらな科野菜	6	1.2	4.1	0.7	1.0	5.8
ごぼう	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
サルシフィー	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.9	0.245	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
エンダイブ	6	1.2	0.1	0.1	0.1	0.1
しゅんぎく	6	1.2	1.8	0.4	3.1	3.0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10	3.7	35.5	16.3	42.2	34.0
その他のきく科野菜	6	1.2	1.8	0.1	0.7	3.1
たまねぎ	0.01	0.01	0.3	0.2	0.4	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	0.9	0.34	3.2	1.3	2.3	3.6
にんにく	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	6	1.2	0.7	0.1	0.2	1.4
にんじん	0.05	0.01	0.2	0.1	0.2	0.2
パースニップ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	6	0.817	0.1	0.1	0.1	0.2
セロリ	2	0.19	0.2	0.1	0.1	0.2
みつば	6	1.2	0.5	0.1	0.1	0.6
その他のせり科野菜	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	2	0.64	20.5	12.2	20.5	23.4
ピーマン	2	0.11	0.5	0.2	0.8	0.5
なす	2	0.11	1.3	0.2	1.1	1.9
その他のなす科野菜	2	0.11	0.1	0.0	0.1	0.1

（別紙３）

スルホキサフロルの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7	0.265	5.5	2.5	3.8	6.8
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5	0.029	0.3	0.1	0.2	0.4
しろうり	0.5	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか（果皮を含む。）	0.5	0.029	0.2	0.2	0.4	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	0.6	0.17	0.6	0.5	0.7	0.7
まくわうり（果皮を含む。）	0.5	0.029	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.029	0.1	0.0	0.0	0.1
ほうれんそう	20	5.71	73.1	33.7	81.1	99.4
オクラ	2	0.11	0.2	0.1	0.2	0.2
未成熟えんどう	4	0.096	0.2	0.0	0.0	0.2
未成熟いんげん	4	0.096	0.2	0.1	0.0	0.3
えだまめ	3	0.38	0.6	0.4	0.2	1.0
その他の野菜	6	1.2	16.1	7.6	12.1	16.9
みかん（外果皮を含む。）	2	0.71	12.6	11.6	0.4	18.6
なつみかんの果実全体	2	0.76	1.0	0.5	3.6	1.6
レモン	2	0.47	0.2	0.0	0.1	0.3
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2	0.71	5.0	10.4	8.9	3.0
グレープフルーツ	2	0.76	3.2	1.7	6.8	2.7
ライム	2	0.47	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.76	4.5	2.1	1.9	7.2
りんご	0.7	0.2	4.8	6.2	3.8	6.5
日本なし	1	0.485	3.1	1.6	4.4	3.8
西洋なし	1	0.485	0.3	0.1	0.0	0.2
マルメロ	0.3	0.067	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.3	0.067	0.0	0.0	0.1	0.0
もも（果皮及び種子を含む。）	1	0.32	1.1	1.2	1.7	1.4
ネクタリン	3	0.732	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず（アプリコットを含む。）	3	0.732	0.1	0.1	0.1	0.3
すもも（プルーンを含む。）	3	0.732	0.8	0.5	0.4	0.8
うめ	3	0.48	0.7	0.1	0.3	0.9
おうとう（チェリーを含む。）	5	1.34	0.5	0.9	0.1	0.4
いちご	4	1.08	5.8	8.4	5.6	6.4
ラズベリー	2	0.443	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	2	0.443	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	2	0.387	0.4	0.3	0.2	0.5
クランベリー	2	0.387	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	2	0.387	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	2	0.443	0.0	0.0	0.1	0.0
ぶどう	4	1.19	10.4	9.8	24.0	10.7
かき	0.7	0.21	2.1	0.4	0.8	3.8
バナナ	0.5	0.17	2.2	2.6	2.8	3.2
キウィー（果皮を含む。）	4	1.22	2.7	1.7	2.8	3.5
パパイヤ	0.5	0.17	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.5	0.17	0.1	0.0	0.0	0.1
パイナップル	0.1	0.021	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.5	0.17	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の果実	2	0.71	0.9	0.3	0.6	1.2
ひまわりの種子	0.4	0.047	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.4	0.047	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.4	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.4	0.047	0.3	0.2	0.3	0.2
ぎんなん	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0

（別紙３）

スルホキサフロルの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
コーヒー豆	0.3	0.035	0.1	0.0	0.0	0.1
カカオ豆	0.05	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	10	3.24	0.3	0.3	0.3	0.6
その他のハーブ	15	8.61	7.7	2.6	0.9	12.1
陸棲哺乳類の肉類	0.4	筋肉　0.16 脂肪　0.06	8.1	6.0	9.0	5.7
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	1	0.44	0.6	0.4	2.1	0.4
陸棲哺乳類の乳類	0.3	0.14	37.0	46.5	51.0	30.2
家きんの肉類	0.7	0.64	13.7	9.8	14.5	10.3
家きんの卵類	0.1	0.07	2.9	2.3	3.4	2.7
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			430.1	266.4	428.6	493.0
ADI比（%）			18.6	38.4	17.4	20.9

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

バナナ、パパイヤ、アボガド及びマンゴーについては台湾のマンゴーの残留試験成績について、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	2	○ 0.39	2.5	1
小麦	小麦	0.4	○ 0.06	0.1	0
大麦	大麦	0.6	○ 0.063	0.1	0
	麦茶	0.6	○ 0.063	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	0
大豆	大豆	1	○ 0.42	0.4	0
小豆類	いんげん	0.3	○ 0.075	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.032	0.3	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.023	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.05	○ 0.032	0.4	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	○ 0.032	0.3	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.2	2.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	10	10.0	82.6	30
かぶ類の根	かぶの根	0.05	○ 0.032	0.2	0
かぶ類の葉	かぶの葉	6	○ 2.9	7.7	3
はくさい	はくさい	6	○ 2.9	37.6	20
キャベツ	キャベツ	2	○ 1.60	15.3	6
ケール	ケール	6	○ 2.9	23.3	9
こまつな	こまつな	6	○ 2.9	12.3	5
きょうな	きょうな	6	○ 2.9	9.7	4
チンゲンサイ	チンゲンサイ	6	6	44.5	20
カリフラワー	カリフラワー	0.08	○ 0.07	0.5	0
ブロッコリー	ブロッコリー	3	○ 1.6	9.6	4
その他のあぶらな科野菜	たかな	6	○ 2.9	22.8	9
	菜花	6	○ 2.9	8.0	3
ごぼう	ごぼう	0.03	○ 0.023	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	6	○ 2.9	9.5	4
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	10	○ 3.98	22.5	9
たまねぎ	たまねぎ	0.01	0.01	0.1	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.9	○ 0.43	1.6	1
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	0.011	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	6	○ 2.9	5.1	2
	らっきょう	6	○ 2.9	3.1	1
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.03	0.1	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	6	○ 3.23	0.5	0
	パセリ（乾燥）	6	○ 3.23	2.9	1
セロリ	セロリ	2	○ 0.77	4.2	2
みつば	みつば	6	○ 2.9	2.3	1
その他のせり科野菜	せり	0.03	○ 0.023	0.0	0
トマト	トマト	2	2	21.9	9
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.6	1.5	1
なす	なす	2	○ 0.6	3.9	2
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	2	○ 0.6	1.0	0
	ししとう	2	○ 0.6	0.6	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	0.7	4.4	2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.27	2.7	1
	ズッキーニ	0.5	○ 0.27	2.0	1
しろうり	しろうり	0.5	○ 0.27	2.2	1
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.27	8.9	4
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.24	4.1	2
その他のうり科野菜	とうがん	0.5	○ 0.27	4.6	2
	にがうり	0.5	○ 0.27	2.2	1
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 7.72	37.4	10
オクラ	オクラ	2	○ 0.6	0.9	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	4	○ 1.938	3.2	1
	未成熟えんどう（豆）	4	○ 1.938	3.3	1

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	○ 1.938	3.8	2
えだまめ	えだまめ	3	3	7.6	3
その他の野菜	ずいき	6	○ 2.9	29.3	10
	もやし	6	○ 2.9	6.7	3
	れんこん	6	○ 2.9	18.0	7
	そら豆（生）	6	○ 2.9	8.5	3
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	18.7	7
なつみかんの果実全体	なつみかん	2	2	24.9	10
レモン	レモン	2	2	4.2	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	18.8	8
	オレンジ果汁	2	○ 0.71	7.1	3
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	2	34.4	10
その他のかんきつ類果実	きんかん	2	2	4.8	2
	ぽんかん	2	2	21.0	8
	ゆず	2	2	3.2	1
	すだち	2	2	3.1	1
りんご	りんご	0.7	0.7	10.0	4
	りんご果汁	0.7	○ 0.2	2.1	1
日本なし	日本なし	1	1	15.1	6
西洋なし	西洋なし	1	1	14.0	6
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	0.3	○ 0.23	1.7	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.72	9.8	4
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	3	○ 1.264	7.4	3
うめ	うめ	3	3	4.1	2
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	5	5	12.5	5
いちご	いちご	4	4	15.3	6
ブルーベリー	ブルーベリー	2	○ 1.39	2.0	1
ぶどう	ぶどう	4	4	53.9	20
かき	かき	0.7	○ 0.31	4.4	2
バナナ	バナナ	0.5	0.5	5.6	2
キウィー（果皮を含む。）	キウィー	4	4	22.7	9
アボカド	アボカド	0.5	0.5	3.6	1
パイナップル	パイナップル	0.1	○ 0.059	0.9	0
マンゴー	マンゴー	0.5	0.5	6.7	3
その他の果実	いちじく	2	2	15.3	6
ぎんなん	ぎんなん	0.03	○ 0.01	0.0	0
くり	くり	0.03	○ 0.01	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.03	○ 0.01	0.0	0
くるみ	くるみ	0.03	○ 0.01	0.0	0
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.015	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

バナナ、アボガド及びマンゴーについては台湾のマンゴーの残留試験成績についてプロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	2	○ 0.39	4.2	2
小麦	小麦	0.4	○ 0.06	0.2	0
大麦	大麦	0.6	○ 0.063	0.0	0
	麦茶	0.6	○ 0.063	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.2	0
大豆	大豆	1	○ 0.42	0.5	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.032	0.7	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.023	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.05	○ 0.032	0.8	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	○ 0.032	0.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.2	4.4	2
はくさい	はくさい	6	○ 2.9	45.5	20
キャベツ	キャベツ	2	○ 1.6	25.0	10
こまつな	こまつな	6	○ 2.9	25.8	10
ブロッコリー	ブロッコリー	3	○ 1.6	23.1	9
ごぼう	ごぼう	0.03	○ 0.023	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	10	○ 3.98	39.1	20
たまねぎ	たまねぎ	0.01	0.01	0.2	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.9	○ 0.43	2.8	1
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.03	0.3	0
パセリ	パセリ（生）	6	○ 3.23	0.6	0
トマト	トマト	2	2	54.3	20
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.6	3.9	2
なす	なす	2	○ 0.6	9.4	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	0.7	10.2	4
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.27	4.3	2
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.27	23.4	9
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.6	○ 0.24	7.0	3
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 7.72	86.7	30
オクラ	オクラ	2	○ 0.6	2.6	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	4	○ 1.938	2.4	1
	未成熟えんどう（豆）	4	○ 1.938	3.5	1
未成熟いんげん	未成熟いんげん	4	○ 1.938	7.8	3
えだまめ	えだまめ	3	3	8.4	3
その他の野菜	もやし	6	○ 2.9	12.2	5
	れんこん	6	○ 2.9	29.8	10
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	54.8	20
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	2	2	53.9	20
	オレンジ果汁	2	○ 0.71	12.7	5
りんご	りんご	0.7	0.7	22.5	9
	りんご果汁	0.7	○ 0.2	6.7	3
日本なし	日本なし	1	1	28.8	10
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	○ 0.72	30.5	10
うめ	うめ	3	3	10.2	4
いちご	いちご	4	4	43.2	20
ぶどう	ぶどう	4	4	122.5	50
かき	かき	0.7	○ 0.31	6.5	3
バナナ	バナナ	0.5	0.5	19.2	8
パイナップル	パイナップル	0.1	○ 0.059	1.9	1

（別紙４－２）

スルホキサフロルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.015	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

バナナについては台湾のマンゴーの残留試験成績についてプロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

（参考）

これまでの経緯

平成２５年　６月　６日	インポートトレランス申請（小麦、大麦等）
平成２５年　６月１７日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：だいこん、キャベツ等）
平成２５年　８月１９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２６年１０月２９日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２７年　９月１０日	薬事･食品衛生審議会食品衛生分科会農薬･動物用医薬品部会
平成２９年　２月　１日	薬事･食品衛生審議会食品衛生分科会農薬･動物用医薬品部会
平成２９年１２月２５日	残留農薬基準告示
平成３０年１１月２９日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：未成熟とうもろこし、もも等）並びに畜産物への基準値設定依頼
令和　元年　８月２０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、だいず等）
令和　２年　２月１３日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ほうれんそう）
令和　３年　４月３０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：キウイフルーツ）
令和　３年　５月１７日	インポートトレランス申請（アーティチョーク、マンゴー等）
令和　３年　６月３０日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　３年　８月３１日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　３年１２月　７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　４年　８月１０日	残留農薬基準告示
令和　５年１０月２０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ねぎ）
令和　６年　９月１９日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和　６年　９月２５日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 農薬・動物用医薬品部会

［委員］

◎穐山	浩	星薬科大学薬学部教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	北里大学薬学部教授
神田	真軌	東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
佐藤	洋	岩手大学農学部教授
佐野	元彦	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

スルホキサフロルについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

スルホキサフロル

今回残留基準を設定する「スルホキサフロル」の規制対象は、スルホキサフロルのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	2
小麦	0.4
大麦	0.6
とうもろこし	0.01
その他の穀類[注1)]	0.2
大豆	1
小豆類[注2)]	0.3
そら豆	0.2
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03
かんしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.03
その他のいも類[注3)]	0.03
てんさい	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10
かぶ類の根	0.05
かぶ類の葉	6
西洋わさび	0.03
クレソン	6
はくさい	6
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	6
こまつな	6
きょうな	6
チンゲンサイ	6
カリフラワー	0.08
ブロッコリー	3
その他のあぶらな科野菜[注4)]	6

食品名	残留基準値 ppm
ごぼう	0.03
サルシフィー	0.03
アーティチョーク	0.9
チコリ	6
エンダイブ	6
しゅんぎく	6
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10
その他のきく科野菜[注5)]	6
たまねぎ	0.01
ねぎ（リーキを含む。）	0.9
にんにく	0.01
アスパラガス	0.01
その他のゆり科野菜[注6)]	6
にんじん	0.05
パースニップ	0.03
パセリ	6
セロリ	2
みつば	6
その他のせり科野菜[注7)]	0.03
トマト	2
ピーマン	2
なす	2
その他のなす科野菜[注8)]	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.6
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜[注9)]	0.5

食品名	残留基準値 ppm
ほうれんそう	20
オクラ	2
未成熟えんどう	4
未成熟いんげん	4
えだまめ	3
その他の野菜[注10)]	6
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	2
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実[注11)]	2
りんご	0.7
日本なし	1
西洋なし	1
マルメロ	0.3
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.3
もも（果皮及び種子を含む。）	1
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	3
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	4
ラズベリー	2
ブラックベリー	2
ブルーベリー	2
クランベリー	2
ハックルベリー	2
その他のベリー類果実[注12)]	2
ぶどう	4
かき	0.7

食品名	残留基準値 ppm
バナナ	0.5
キウィー（果皮を含む。）	4
パパイヤ	0.5
アボカド	0.5
パイナップル	0.1
マンゴー	0.5
その他の果実[注13)]	2
ひまわりの種子	0.4
べにばなの種子	0.4
綿実	0.4
なたね	0.4
ぎんなん	0.03
くり	0.03
ペカン	0.03
アーモンド	0.03
くるみ	0.03
その他のナッツ類[注14)]	0.03
コーヒー豆	0.3
カカオ豆	0.05
その他のスパイス[注15)]	10
その他のハーブ[注16)]	15
牛の筋肉	0.4
豚の筋肉	0.4
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注17)]の筋肉	0.4
牛の脂肪	0.2
豚の脂肪	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2
牛の肝臓	1
豚の肝臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	1
牛の腎臓	1
豚の腎臓	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	1
牛の食用部分[注18)]	1
豚の食用部分	1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	1

食品名	残留基準値 ppm
乳	0.3
鶏の筋肉 その他の家きん[注19)] の筋肉	0.7 0.7
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.05 0.05
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.3 0.3
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.3 0.3
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.3 0.3
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.1 0.1
はちみつ	0.05

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注4）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注10）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注11）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注12）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注13）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注14）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注15）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注16）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注17）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

別　添

農薬評価書

スルホキサフロル

（第２版）

２０２１年８月

食品安全委員会

目　次

頁

○　審議の経緯 4
○　食品安全委員会委員名簿 5
○　食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿 5
○　要　約 7

Ⅰ．評価対象農薬の概要 8
　１．用途 8
　２．有効成分の一般名 8
　３．化学名 8
　４．分子式 8
　５．分子量 8
　６．構造式 8
　７．開発の経緯 9

Ⅱ．安全性に係る試験の概要 10
　１．動物体内運命試験 10
　　（１）ラット① 10
　　（２）ラット② 14
　　（３）ヤギ 14
　　（４）ヤギ（代謝物 D） 15
　　（５）ニワトリ 15
　　（６）ニワトリ（代謝物 D） 16
　２．植物体内運命試験 17
　　（１）水稲 17
　　（２）レタス 18
　　（３）トマト 19
　　（４）えんどう 20
　３．土壌中運命試験 21
　　（１）好気的湛水土壌中運命試験 21
　　（２）好気的及び好気的/嫌気的湛水土壌中運命試験 22
　　（３）好気的土壌中運命試験 24
　　（４）好気的/嫌気的湛水土壌中運命試験 25
　　（５）嫌気的湛水土壌中運命試験 26
　　（６）土壌吸脱着試験 27
　　（７）土壌吸着試験 28
　４．水中運命試験 28

（１）加水分解試験 28
（２）水中光分解試験（緩衝液） 28
（３）水中光分解試験（自然水） 29
５．土壌残留試験 29
６．作物等残留試験 30
（１）作物残留試験（国内） 30
（２）作物残留試験（海外） 30
（３）畜産物残留試験 30
（４）推定摂取量 31
７．一般薬理試験 31
８．急性毒性試験 33
（１）急性毒性試験 33
（２）急性神経毒性試験（ラット） 34
９．眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験 35
１０．亜急性毒性試験 36
（１）90 日間亜急性毒性、免疫毒性及び亜急性神経毒性併合試験（ラット） 36
（２）90 日間亜急性毒性試験（マウス） 37
（３）90 日間亜急性毒性試験（イヌ） 39
（４）28 日間亜急性経皮毒性試験（ラット） 39
（５）28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 B） 39
（６）28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 G） 40
（７）90 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 D） 41
（８）90 日間亜急性毒性試験（イヌ、代謝物 D） 42
１１．慢性毒性試験及び発がん性試験 42
（１）１年間慢性毒性試験（イヌ） 42
（２）２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット） 43
（３）18 か月間発がん性試験（マウス） 45
１２．生殖発生毒性試験 47
（１）２世代繁殖試験（ラット） 47
（２）発生毒性試験（ラット） 48
（３）発生毒性試験（ウサギ） 49
（４）発達神経毒性試験（ラット） 49
（５）１世代繁殖試験（ラット、代謝物 D） 50
（６）発生毒性試験（ラット、代謝物 D） 50
１３．遺伝毒性試験 51
１４．その他の試験 53
（１）肝肥大/肝腫瘍の発生機序検討試験 53
（２）代謝物 D の肝臓に対する影響検討試験 56

（３）精巣腫瘍の発生機序検討試験 57
（４）新生児死亡及び胎児異常の発生機序検討試験 58

Ⅲ．食品健康影響評価 65

・別紙１：代謝物/分解物略称 70
・別紙２：検査値等略称 71
・別紙３：作物残留試験成績（国内） 73
・別紙４：作物残留試験成績（海外） 104
・別紙５：畜産物残留試験成績（ウシ） 129
・別紙６：畜産物残留試験成績（ニワトリ） 132
・別紙７：推定摂取量 135
・参照 138

＜審議の経緯＞

－第 1 版関係－

2013年　6月　6日 インポートトレランス設定の要請（小麦、いちご等）
2013年　6月　17日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：だいこん、キャベツ等）
2013年　8月　19日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0819 第 5 号）
2013年　8月　20日 関係書類の接受（参照 1～89）
2013年　8月　26日 第 486 回食品安全委員会（要請事項説明）
2013年　12月　10日 第 31 回農薬専門調査会評価第二部会
2014年　2月　28日 第 33 回農薬専門調査会評価第二部会
2014年　4月　23日 第 104 回農薬専門調査会幹事会
2014年　5月　13日 第 513 回食品安全委員会（報告）
2014年　5月　14日 から 6 月 12 日まで　国民からの意見・情報の募集
2014年　7月　30日 第 108 回農薬専門調査会幹事会
2014年　7月　30日 第 109 回農薬専門調査会幹事会
2014年　8月　5日 第 525 回食品安全委員会（報告）
2014年　8月　6日 から 9 月 4 日まで　国民からの意見・情報の募集
2014年　10月　8日 第 114 回農薬専門調査会幹事会
2014年　10月　14日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
2014年　10月　21日 第 534 回食品安全委員会（報告）
2014年　10月　29日 厚生労働大臣へ通知（参照 91）
2017年　12月　25日 残留農薬基準告示（参照 92）

－第 2 版関係－

2018年　11月　29日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：未成熟とうもろこし、もも等）並びに畜産物への基準値設定依頼
2019年　8月　20日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、だいず等）
2020年　2月　13日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ほうれんそう）
2021年　4月　30日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：キウイフルーツ）
2021年　5月　17日 インポートトレランス設定の要請（アーティチョーク、マンゴー等）
2021年　6月　30日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発生食 0630 第 3 号）、関係書類の接受（参照 93～125）
2021年　7月　6日 第 824 回食品安全委員会（要請事項説明）

2021年　8月 31日 第830回食品安全委員会（審議）
（同日付け厚生労働大臣へ通知）

＜食品安全委員会委員名簿＞

（2015年6月30日まで）	（2021年7月1日から）
熊谷　進（委員長）	山本茂貴（委員長）
佐藤　洋（委員長代理）	浅野　哲（委員長代理　第一順位）
山添　康（委員長代理）	川西　徹（委員長代理　第二順位）
三森国敏（委員長代理）	脇　昌子（委員長代理　第三順位）
石井克枝	香西みどり
上安平渕子	松永和紀
村田容常	吉田　充

＜食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿＞

（2014年3月31日まで）

・幹事会

納屋聖人（座長）	上路雅子	松本清司
西川秋佳*（座長代理）	永田　清	山手丈至**
三枝順三（座長代理**）	長野嘉介	吉田　緑
赤池昭紀	本間正充	

・評価第一部会

上路雅子（座長）	津田修治	山崎浩史
赤池昭紀（座長代理）	福井義浩	義澤克彦
相磯成敏	堀本政夫	若栗　忍

・評価第二部会

吉田　緑（座長）	桒形麻樹子	藤本成明
松本清司（座長代理）	腰岡政二	細川正清
泉　啓介	根岸友惠	本間正充

・評価第三部会

三枝順三（座長）	小野　敦	永田　清
納屋聖人（座長代理）	佐々木有	八田稔久
浅野　哲	田村廣人	増村健一

・評価第四部会

西川秋佳*（座長）	川口博明	根本信雄
長野嘉介（座長代理*;座長**）	代田眞理子	森田　健
山手丈至（座長代理**）	玉井郁巳	與語靖洋
井上　薫**		

*：2013年9月30日まで

**：2013 年 10 月 1 日から

（2016 年 3 月 31 日まで）

・幹事会

西川秋佳（座長）	小澤正吾	林　　真
納屋聖人（座長代理）	三枝順三	本間正充
赤池昭紀	代田眞理子	松本清司
浅野　哲	永田　清	與語靖洋
上路雅子	長野嘉介	吉田　緑*

・評価第一部会

上路雅子（座長）	清家伸康	藤本成明
赤池昭紀（座長代理）	林　　真	堀本政夫
相磯成敏	平塚　明	山崎浩史
浅野　哲	福井義浩	若栗　忍
篠原厚子		

・評価第二部会

吉田　緑（座長）*	腰岡政二	細川正清
松本清司（座長代理）	佐藤　洋	本間正充
小澤正吾	杉原数美	山本雅子
川口博明	根岸友惠	吉田　充
菜形麻樹子		

・評価第三部会

三枝順三（座長）	高木篤也	中山真義
納屋聖人（座長代理）	田村廣人	八田稔久
太田敏博	中島美紀	増村健一
小野　敦	永田　清	義澤克彦

・評価第四部会

西川秋佳（座長）	佐々木有	本多一郎
長野嘉介（座長代理）	代田眞理子	森田　健
井上　薫**	玉井郁巳	山手丈至
加藤美紀	中塚敏夫	與語靖洋

*：2015 年 6 月 30 日まで

**：2015 年 9 月 30 日まで

＜第 31 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿＞

小澤正吾	佐藤　洋

＜第 33 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿＞

小澤正吾	佐藤　洋	吉田　充

要　約

スルホキシミン系殺虫剤である「スルホキサフロル」（CAS No. 946578-00-3）について、各種資料を用いて食品健康影響評価を実施した。第 2 版の改訂に当たっては、厚生労働省から、作物残留試験（国内：未成熟とうもろこし、もも等、海外：アーティチョーク、マンゴー等）の成績等が新たに提出された。

評価に用いた試験成績は、動物体内運命（ラット、ヤギ等）、植物体内運命（水稲、レタス等）、作物等残留、亜急性毒性（ラット、マウス及びイヌ）、慢性毒性（イヌ）、慢性毒性/発がん性併合（ラット）、発がん性（マウス）、2 世代繁殖（ラット）、発生毒性（ラット及びウサギ）、発達神経毒性（ラット）、免疫毒性（ラット）、遺伝毒性等である。

各種毒性試験結果から、スルホキサフロル投与による影響は、主に肝臓（重量増加、肝細胞肥大等）及び精巣（重量増加等）に認められた。発達神経毒性、免疫毒性及び遺伝毒性は認められなかった。

発がん性試験において、雄ラットで肝細胞腺腫及び精巣間細胞腺腫、雌雄マウスで肝細胞腺腫及び肝細胞癌の発生頻度増加が認められた。機序検討試験の結果、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると判断された。

繁殖試験においてラットの新生児死亡が認められ、発生毒性試験においてラット胎児の四肢異常等が、母体毒性がみられる用量で認められた。機序検討試験の結果、これらの異常発生はラット胎児期に特異的に発現するニコチン受容体に起因する可能性が考えられたため、ヒトでこれらの異常が発現する可能性は低いと考えられた。

各種試験結果から、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をスルホキサフロル（親化合物のみ）と設定した。

各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 4.25 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.042 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、スルホキサフロルの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 25 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.25 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

Ⅰ．評価対象農薬の概要

１．用途

殺虫剤

２．有効成分の一般名

和名：スルホキサフロル

英名：sulfoxaflor（ISO 名）

３．化学名

IUPAC

和名：[メチル(オキソ){1-[6-(トリフルオロメチル)-3-ピリジル]エチル}-λ⁶-スルファニリデン]シアナミド

英名：[methyl(oxo){1-[6-(trifluoromethyl)-3-pyridyl]ethyl}-λ⁶-sulfanylidene]cyanamide

CAS（No. 946578-00-3）

和名：N-[メチルオキシド[1-[6-(トリフルオロメチル)-3-ピリジニル]エチル]-λ⁴-スルファニリデン]シアナミド

英名：N-[methyloxido[1-[6-(trifluoromethyl)-3-pyridinyl]ethyl]-λ⁴-sulfanylidene]cyanamide

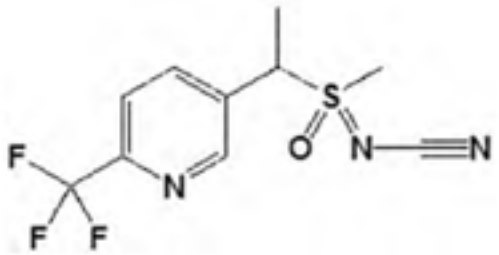
４．分子式

$C_{10}H_{10}F_3N_3OS$

５．分子量

277.3

６．構造式



［ジアステレオマーA：ジアステレオマーB≒1:1］

7．開発の経緯

スルホキサフロルは、ダウ・アグロサイエンスにより開発されたスルホキシミン系殺虫剤であり、ニコチン性アセチルコリン受容体を阻害して殺虫効果を示すと考えられている。日本では、2017 年に初回農薬登録された。海外では米国、カナダ等で登録されている。

第 2 版では、農薬取締法に基づく農薬登録申請（適用拡大：未成熟とうもろこし、もも等）、インポートトレランス設定（アーティチョーク、マンゴー等）、及び畜産物への基準値設定の要請がなされている。

Ⅱ．安全性に係る試験の概要

各種運命試験［Ⅱ．１～４］は、スルホキサフロルのピリジン環の２位炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「^{14}C-スルホキサフロル」という。）及び代謝物 D のピリジン環の２位炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「^{14}C-代謝物 D」という。）を用いて実施された。放射能濃度及び代謝物濃度は、特に断りがない場合は比放射能（質量放射能）からスルホキサフロルの濃度（mg/kg 又はμg/g）に換算した値として示した。

代謝物/分解物略称及び検査値等略称は別紙１及び２に示されている。

１．動物体内運命試験

（１）ラット①

Fischer ラット（一群雌雄各４匹）に、^{14}C-スルホキサフロルを 5 mg/kg 体重（以下[１.（１）及び（２）]において「低用量」という。）若しくは 100 mg/kg 体重（以下[１.（１）及び（２）]において「高用量」という。）で単回経口投与、非標識体を低用量で 14 日間反復経口投与後に ^{14}C-スルホキサフロルを低用量で単回経口投与、又は ^{14}C-スルホキサフロルを低用量で単回静脈内投与して、動物体内運命試験が実施された。

①　吸収

a．血中濃度推移

低用量及び高用量の単回経口投与群並びに静脈内投与群において、血中濃度推移について検討された。血漿及び赤血球中薬物動態学的パラメータは表１に示されている。（参照 2）

表１　血漿及び赤血球中薬物動態学的パラメータ

投与方法			単回経口				静脈内	
投与量		設定値	5 mg/kg 体重		100 mg/kg 体重		5 mg/kg 体重	
		実測値	5.28 mg/kg 体重	5.13 mg/kg 体重	111 mg/kg 体重	111 mg/kg 体重	4.04 mg/kg 体重	3.84 mg/kg 体重
性別			雄	雌	雄	雌	雄	雌
血漿	T_{max} (hr)		1.63	0.50	2.33	1.33		
	C_{max} (μg/g)		4.73	5.35	84.3	89.8		
	$T_{1/2}$ (hr)	α相	5.07	4.59	5.91	4.16	5.25	4.60
		β相	39.1	39.6	39.4	44.9	42.3	44.1
	$AUC_{0\text{-}168}$ (hr・μg/g)		48.7	44.7	1,010	888	39.6	35.7
赤血球	T_{max} (hr)		1.75	0.75	2.00	1.33		
	C_{max} (μg/g)		4.15	4.70	74.0	78.8		
	$T_{1/2}$ (hr)	α相	5.03	4.60	5.53	4.97	5.22	4.54
		β相	52.7	64.8	50.8	75.3	74.7	74.3
	$AUC_{0\text{-}168}$ (hr・μg/g)		45.1	41.4	925	839	36.2	33.8

/：該当なし。

b．吸収率

尿及び糞中排泄試験［１．（１）④a］における尿中及び組織中放射能の合計から、投与後 168 時間におけるスルホキサフロルの体内吸収率は、低用量で少なくとも 92.0%、高用量で少なくとも 94.0%と算出された。（参照 2）

②　分布

各投与群において、投与 168 時間後に臓器及び組織を採取して体内分布試験が実施された。

主要臓器及び組織における残留放射能濃度は表 2 に示されている。

投与 168 時間後に組織中に残留した放射能は、経口投与群で 0.18%TAR～1.17%TAR、静脈内投与群で 0.57%TAR～1.29%TAR であった。いずれの投与群においても、皮膚（最大で 1.12%TAR）及びカーカス[1]（最大で 0.12%TAR）において残留の割合が比較的高かった。（参照 2）

[1] 組織・臓器を取り除いた残渣のことをカーカスという（以下同じ。）。

表２　主要臓器及び組織における残留放射能濃度（μg/g）

投与方法	設定投与量	性別	投与 168 時間後 [a]
単回経口	5 mg/kg 体重	雄	腎臓(0.012)、副腎(0.011)、肝臓(0.010)、皮膚(0.010)、血液(0.009)
		雌	腎臓(0.014)、脂肪(0.013)、肺(0.012)、皮膚(0.011)、膀胱(0.010)、肝臓(0.009)、副腎(0.009)、心臓(0.008)、膵臓(0.008)、子宮(0.008)、血液(0.008)
	100 mg/kg 体重	雄	皮膚(4.61)、腎臓(0.303)、肝臓(0.269)、膀胱(0.254)、副腎(0.235)、血液(0.206)
		雌	腎臓(0.358)、皮膚(0.304)、肝臓(0.209)、血液(0.200)
反復経口	5 mg/kg 体重/日	雄	皮膚(0.183)、赤血球(0.024)、肝臓(0.018)、血液(0.018)
		雌	皮膚(0.049)、赤血球(0.022)、血液(0.013)
静脈内	5 mg/kg 体重	雄	皮膚(0.187)、腎臓(0.014)、肝臓(0.013)、副腎(0.011)、膀胱(0.010)、血液(0.010)
		雌	皮膚(0.080)、腎臓(0.014)、副腎(0.009)、肝臓(0.008)、血液(0.008)

[a]：反復投与群では最終投与 168 時間後。

③　代謝

各投与群において、投与後 24 時間で得られた尿及び糞を試料として代謝物同定・定量試験が実施された。

尿及び糞中の主要代謝物は表 3 に示されている。

尿及び糞中放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロルであった。尿中からは代謝物 C が少量検出された。スルホキサフロルは代謝物 B に代謝され、更に C に代謝されると考えられた。（参照 2）

表３　尿及び糞中の主要代謝物（%TAR）

投与方法	設定投与量	性別	試料	スルホキサフロル	代謝物
単回経口	5 mg/kg 体重	雄	尿	88.1	C(2.88)
			糞	3.97	-
		雌	尿	87.9	C(2.66)
			糞	4.03	-
	100 mg/kg 体重	雄	尿	88.1	C(3.42)
			糞	5.92	-
		雌	尿	88.9	C(3.52)
			糞	3.55	-
反復経口	5 mg/kg 体重/日	雄	尿	92.2	C(3.26)
			糞	4.29	-
		雌	尿	89.9	C(3.25)
			糞	4.54	-
静脈内	5 mg/kg 体重	雄	尿	92.0	C(3.80)
			糞	7.09	-
		雌	尿	94.9	C(4.07)
			糞	5.29	-

-：同定されず。

④　排泄

a．尿及び糞中排泄

各投与群において、投与 168 時間後まで経時的に尿及び糞を採取して排泄試験が実施された。

尿及び糞中排泄率は表 4 に示されている。

投与放射能の排泄は速やかで、主に尿中に排泄された。排泄パターンに性差はみられなかった。（参照 2）

表４　尿及び糞中排泄率（%TAR）

投与方法		単回経口				反復経口		静脈内	
設定投与量		5 mg/kg 体重		100 mg/kg 体重		5 mg/kg 体重/日		5 mg/kg 体重	
性別		雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌
投与後 12 時間	尿[a]	68.8	70.7	62.1	71.1	70.6	73.7	72.2	78.5
投与後 24 時間	尿[a]	84.6	85.4	83.4	86.5	88.7	89.2	88.7	95.2
	糞	5.00	4.24	5.41	3.69	5.36	5.30	7.01	4.39
投与後 168 時間	尿[a]	92.4	91.8	93.8	93.8	96.8	94.6	97.1	101
	糞	6.73	6.46	7.98	5.23	6.75	7.11	8.80	6.13
	組織[b]	0.18	0.19	1.17	0.19	0.94	0.30	1.29	0.57
	ケージ洗浄液[c]	0.44	0.62	1.20	0.91	9.92	0.42	0.21	0.39

[a]：洗浄液を含む、[b]：投与 168 時間後における放射能残存率、[c]：試験終了時のケージ洗浄液。

（２）ラット②

Fischer ラット（一群雌雄各 4 匹）に ^{14}C-スルホキサフロルを低用量又は高用量で単回経口投与し、C_{max} 時（投与 0.5～2 時間後）又は 1/2C_{max} 時（投与 6～8 時間後）に血液及び組織を採取して体内分布試験が実施された。

組織中残留放射能は、C_{max} 時で 82%TAR～92%TAR、1/2C_{max} 時で 42%TAR～57%TAR であった。いずれの投与群においてもカーカス（19.3%TAR～46.5%TAR）及び皮膚（5.41%TAR～15.2%TAR）での残留量が高く、次いで、肝臓で 2.51%TAR～6.58%TAR、血液で 1.11%TAR～2.81%TAR の残留がみられた。

採取した腎臓、肝臓及び血漿試料から検出された放射性成分は、未変化のスルホキサフロルのみであった。（参照 3）

（３）ヤギ

ラマンチャ種泌乳ヤギ（1 頭）に、^{14}C-スルホキサフロルを 12.2 mg/kg 飼料/日で 1 日 1 回、5 日間カプセル経口投与し、尿、糞、乳汁及び組織を採取して、動物体内運命試験が実施された。

各試料における放射能分布は表 5 に、各試料中の代謝物は表 6 に示されている。

投与放射能は主に尿又は糞中に排泄され、乳汁及び組織中への残留は少なかった。乳汁中残留放射能は投与期間中に定常状態に達した。

各試料の残留放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロルであり、主要代謝物として K が肝臓で 18.3%TRR（0.095 μg/g）検出された。ほかに B 及び G が検出された。（参照 4）

表５　各試料における放射能分布（%TAR）

試料	試料採取時期	総残留放射能
尿	投与 1~5 日	41.0
糞		13.3
乳汁		3.69
筋肉(腰筋、脇腹筋)	最終投与約 6 時間後	0.35
肝臓		0.55
腎臓		0.09
脂肪(皮下、大網、腎周囲)		0.35
胃腸管(内容物を含む)		13.5
ケージ洗浄液		0.35

表６　各試料中の代謝物（%TRR）

試料		試料採取時期	スルホキサフロル	代謝物
尿		投与５日	87.1	B(0.9)
糞		投与３日	114	ND
乳汁		投与５日	94.1	G(0.9)
筋肉	腰筋	最終投与約６時間後	96.5	ND
	脇腹筋		96.3	ND
肝臓			60.4	K(18.3)、B(3.3)、G(1.8)
腎臓			88.8	G(1.1)
脂肪	皮下		94.7	G(0.6)
	大網		96.6	ND
	腎周囲		93.8	G(1.1)

ND：検出されず。

（４）ヤギ（代謝物 D）

ラマンチャ種泌乳ヤギ（１頭）に、^{14}C-代謝物 D を 11.4 mg/kg 飼料/日で１日１回、５日間カプセル経口投与し、尿、糞、乳汁及び組織を採取して、動物体内運命試験が実施された。

各試料における放射能分布は表７に示されている。

投与放射能は主に尿中に排泄され、乳汁及び組織中への残留は少なかった。乳汁中残留放射能は投与３日に定常状態（約 0.17 μg/g）に達した。全ての試料において、総残留放射能の大部分（乳汁、筋肉、肝臓及び腎臓で 90%TRR 以上、脂肪で 69%TRR 以上）が未変化の代謝物 D であり、他の代謝物は検出されなかった。（参照 5）

表７　各試料における放射能分布（%TAR）

試料	試料採取時期	総残留放射能
尿	投与 1~5 日	34.8
糞		4.42
乳汁		1.14
筋肉(腰筋、脇腹筋)	最終投与６時間後	0.28
肝臓		0.26
腎臓		0.06
脂肪(皮下、大網、腎周囲)		0.05
胃腸管(内容物を含む)		14.9
ケージ洗浄液		2.77

（５）ニワトリ

産卵鶏（イサハイブリッド鶏、一群 10 羽）に、^{14}C-スルホキサフロルを 10.9 mg/kg 飼料/日で１日１回、７日間カプセル経口投与し、卵、排泄物及び組織を採取して、動物体内運命試験が実施された。

各試料における放射能分布は表8に、各試料中の代謝物は表9に示されている。

投与放射能の多くが排泄物中から検出され、組織中への残留は少なかった。卵中の残留放射能濃度は徐々に増加した後、投与6日に定常状態（約0.06 μg/g）に達した。各試料の残留放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロルであり、主要代謝物としてKが肝臓で14.6%TRR（0.020 μg/g）検出された。ほかにGが検出された。（参照6）

表8　各試料における放射能分布（%TAR）

試料		試料採取時期	総残留放射能
卵		投与1~7日	0.14
排泄物			37.2
筋肉	胸筋	最終投与6~8時間後	0.13
	脚筋		0.14
肝臓			0.065
脂肪			0.011
皮膚(皮下脂肪を含む)			0.047

表9　各試料中の代謝物（%TRR）

試料		試料採取時期	スルホキサフロル	代謝物
卵		投与7日	90.6	G(3.1)
排泄物		投与6日	125	ND
筋肉	胸筋	最終投与6~8間後	89.8	G(3.2)
	脚筋		96.2	G(1.6)
肝臓			67.6	K(14.6)、G(3.9)
脂肪			91.7	G(6.8)
皮膚(皮下脂肪を含む)			83.5	ND

ND：検出されず。

（6）ニワトリ（代謝物D）

産卵鶏（ボリスブラウン、一群10羽）に、^{14}C-代謝物Dを11.8 mg/kg飼料/日で1日1回、7日間カプセル経口投与し、卵、排泄物及び組織を採取して、動物体内運命試験が実施された。

各試料における放射能分布は表10に示されている。

投与放射能の大部分が排泄物中から検出され、組織中への残留は僅かであった。卵中の残留放射能濃度は徐々に増加した後、投与4日に定常状態（0.275 μg/g）に達した。卵及び組織（筋肉、脂肪及び皮膚）中の総残留放射能の大部分（85.7%TRR以上）が未変化のDであり、代謝物は認められなかった。（参照7）

表 10　各試料における放射能分布（%TAR）

試料		試料採取時期	総残留放射能
卵		投与 1~7 日	0.95
排泄物			92
筋肉	胸筋	最終投与 6.5~8.5 時間後	0.570
	脚筋		0.565
肝臓			0.116
脂肪			0.016
皮膚(皮下脂肪を含む)			0.129

2．植物体内運命試験

（1）水稲

水稲（品種：コシヒカリ）の幼穂形成期、開花最盛期及び登熟期に、^{14}C-スルホキサフロルをそれぞれ 227、205 及び 145 g ai/ha の用量で（合計 578 g ai/ha）茎葉処理し、又は 3～4 葉期に ^{14}C-スルホキサフロルを 474 g ai/ha の用量で土壌処理し、植物体内運命試験が実施された。試料として、茎葉処理区では第 1 回処理 15 日後に未成熟植物、第 3 回処理 14 日後に成熟植物が、土壌処理区では処理 14 日後（幼穂形成期）及び 28 日後に未成熟植物、処理 138 日後に成熟植物が採取された。

水稲試料中の総残留放射能及び代謝物分布は表 11 及び表 12 に示されている。

茎葉処理区では、各試料中残留放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロルであり、10%TRR を超えて検出された代謝物は E（玄米で 11.2%TRR）のみであった。ほかに代謝物 B、D 及び F（稲わらのみ）が少量検出された。

土壌処理区では、スルホキサフロルは未成熟植物において少量検出されたが、成熟植物では検出されず、いずれの試料においても残留放射能の主要成分は代謝物 D で、玄米では 36.9%TRR を占めた。ほかに代謝物 B、E（玄米を除く）及び F（未成熟植物のみ）が少量検出された。（参照 8）

表 11　茎葉処理区における水稲試料中の総残留放射能及び代謝物分布

試料（採取時期）			総残留放射能	抽出液					抽出残渣[a]
				スルホキサフロル	B	D	E	F	
未成熟植物（第 1 回処理 15 日後）		%TRR	100	73.7	5.7	7.4	2.1	ND	8.7/8.6
		mg/kg	2.84	2.10	0.161	0.211	0.059	ND	
成熟植物（第 3 回処理 14 日後）	稲わら	%TRR	100	43.9	4.1	9.7	5.3	2.9	7.9/7.8
		mg/kg	5.63	2.47	0.231	0.547	0.301	0.163	
	籾殻	%TRR	100	33.4	3.5	7.7	7.6	ND	11.9/5.8
		mg/kg	3.67	1.23	0.128	0.281	0.278	ND	
	玄米	%TRR	100	35.2	1.6	8.2	11.2	ND	11.3/9.5
		mg/kg	0.243	0.086	0.004	0.020	0.027	ND	

ND：検出されず、[a]：数値は 2 連の分析値。

表 12　土壌処理区における水稲試料中の総残留放射能及び代謝物分布

試料（採取時期）			総残留放射能	抽出液					抽出残渣[a]
				スルホキサフロル	B	D	E	F	
未成熟植物（処理 14 日後）		%TRR	100	3.7 ~5.4	1.8 ~4.2	51.7 ~55.5	3.6 ~5.5	ND ~1.8	14.4/12.5/7.5
		mg/kg	12.5	0.463 ~0.679	0.229 ~0.530	6.48 ~6.95	0.453 ~0.687	ND ~0.221	
未成熟植物（処理 28 日後）		%TRR	100	1.1	5.5	62.9	4.3	0.2	14.6/16.0
		mg/kg	6.13	0.066	0.340	3.86	0.262	0.015	
成熟植物（処理 138 日後）	稲わら	%TRR	100	ND	6.3	31.1	5.5	ND	27.2/26.7
		mg/kg	1.79	ND	0.112	0.558	0.098	ND	
	籾殻	%TRR	100	ND	5.3	40.2	4.8	ND	24.6/23.7
		mg/kg	0.489	ND	0.026	0.196	0.023	ND	
	玄米	%TRR	100	ND	0.6	36.9	ND	ND	15.3/15.2
		mg/kg	0.049	ND	<0.001	0.018	ND	ND	

ND：検出されず、[a]：数値は 2 連又は 3 連の分析値。

（2）レタス

レタス（品種：Envy）の結球形成前、結球形成中期及び結球形成後期に、^{14}C-スルホキサフロルを 200 g ai/ha の用量で（合計 600 g ai/ha）茎葉処理し、又は結球形成初期及び結球形成中期に、^{14}C-スルホキサフロルを 225 g ai/ha の用量で（合計 450 g ai/ha）土壌処理して、植物体内運命試験が実施された。試料として、茎葉処理区では第 1 回処理 14 日後に未成熟植物、第 3 回処理 7 日後に成熟植物が、土壌処理区では第 1 回処理 14 日後に未成熟植物、第 2 回処理 14 日後に成熟植物が採取された。

レタス試料中の総残留放射能及び代謝物分布は表 13 に示されている。

茎葉処理区では、いずれの試料においても残留放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロル及び代謝物 D であり、D は成熟植物で 30.8%TRR を占めた。ほかに代謝物 B、E、F、G（成熟植物のみ）及び H が少量検出された。

土壌処理区では、スルホキサフロルは未成熟植物において検出されず、成熟植物においても残留は僅かであった。各試料中残留放射能の主要成分は代謝物 D で、成熟植物で 49.0%TRR を占めた。ほかに代謝物 B、E、F、G（成熟植物のみ）及び H（成熟植物のみ）が少量検出された。（参照 9）

表 13　レタス試料中の総残留放射能及び代謝物分布

処理区	試料（採取時期）		総残留放射能	抽出液							抽出残渣
				スルホキサフロル	B	D	E	F	G	H	
茎葉処理	未成熟植物（第 1 回処理 14 日後）	%TRR	100	17.2	0.2	26.6	5.1	5.1	ND	0.2	9.1
		mg/kg	0.182	0.031	<0.001	0.048	0.009	0.009	ND	<0.001	
	成熟植物（第 3 回処理 7 日後）	%TRR	100	16.6	0.9	30.8	2.7	5.5	0.6	0.2	9.5
		mg/kg	4.39	0.729	0.041	1.36	0.119	0.241	0.027	0.009	
土壌処理	未成熟植物（第 1 回処理 14 日後）	%TRR	100	ND	0.2	59.8	4.6	2.7	ND	ND	7.9
		mg/kg	0.135	ND	<0.001	0.081	0.006	0.004	ND	ND	
	成熟植物（第 2 回処理 14 日後）	%TRR	100	0.9	1.2	49.0	1.3	3.8	0.1	0.2	10.6
		mg/kg	1.41	0.013	0.017	0.691	0.018	0.054	0.002	0.002	

ND：検出されず。

（3）トマト

トマト（品種不明：ただし米国市販品種）の第 1 花房の結実時、第 5 花房までの結実時、60%の果実の完熟色時及び 80%の果実の完熟色時に、^{14}C-スルホキサフロルをそれぞれ 200、200、125 及び 75 g ai/ha の用量で（合計 600 g ai/ha）茎葉処理し、又は第 5 花房までの結実時及び 80%の果実の完熟色時に、^{14}C-スルホキサフロルをそれぞれ 225 g ai/ha の用量で（合計 450 g ai/ha）土壌処理して、植物体内運命試験が実施された。試料として、茎葉処理区では第 1 回処理 14 日後及び第 2 回処理 14 日後に未成熟植物、第 4 回処理 1 及び 7 日後に成熟果実並びに第 4 回処理 14 日後に成熟果実及び茎葉が、土壌処理区では第 1 回処理 14 日後に未成熟植物、第 2 回処理 14 及び 21 日後に成熟果実並びに第 2 回処理 28 日後に成熟果実及び茎葉が採取された。

トマト試料中の総残留放射能及び代謝物分布は表 14 に示されている。

茎葉処理区では、各試料中残留放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロル並びに代謝物 D 及び F であり、成熟果実において代謝物 D は最大 28.3%TRR、F は最大 14.8%TRR 検出された。ほかに代謝物 B（未成熟植物及び成熟植物の茎葉）及び E が少量検出された。

土壌処理区では、各試料中残留放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロル及び代謝物 D であり、成熟果実では代謝物 D が最大 72.6%TRR を占めた。ほかに代謝物 B（茎葉のみ）、E 及び F が少量検出された。（参照 10）

表 14　トマト試料中の総残留放射能及び代謝物分布

処理区	試料（採取時期）		総残留放射能	抽出液					抽出残渣[a]
				スルホキサフロル	B	D	E	F	
茎葉処理	未成熟植物（第1回処理14日後）	%TRR	100	12.8	3.2	16.1	3.5	11.0	12.4/7.6
		mg/kg	0.578	0.074	0.018	0.093	0.020	0.063	
	未成熟植物（第2回処理14日後）	%TRR	100	25.1	2.5	17.5	4.1	8.6	17.9/18.5
		mg/kg	0.799	0.201	0.020	0.140	0.033	0.069	
	成熟果実（第4回処理1日後）	%TRR	100	30.3	ND	24.1	2.7	10.9	4.9/5.2
		mg/kg	0.038	0.012	ND	0.009	0.001	0.004	
	成熟果実（第4回処理7日後）	%TRR	100	26.5	ND	28.3	8.3	13.6	5.4/5.1
		mg/kg	0.033	0.009	ND	0.009	0.003	0.004	
	成熟果実（第4回処理14日後）	%TRR	100	34.7	ND	20.5	2.7	14.8	8.6/7.1
		mg/kg	0.030	0.010	ND	0.006	0.001	0.004	
	茎葉（第4回処理14日後）	%TRR	100	28.6	2.2	15.5	3.7	8.9	8.6/8.2
		mg/kg	1.34	0.384	0.029	0.208	0.050	0.120	
土壌処理	未成熟植物（第1回処理14日後）	%TRR	100	13.0	ND	27.5	3.7	9.6	18.9/18.6
		mg/kg	0.836	0.109	ND	0.230	0.031	0.081	
	成熟果実（第2回処理14日後）	%TRR	100	11.4	ND	69.7	0.9	1.2	5.8/5.5
		mg/kg	0.023	0.003	ND	0.016	<0.001	<0.001	
	成熟果実（第2回処理21日後）	%TRR	100	12.9	ND	72.6	2.1	ND	5.3/4.6
		mg/kg	0.026	0.003	ND	0.019	0.001	ND	
	成熟果実（第2回処理28日後）	%TRR	100	18.3	ND	60.1	2.6	3.2	5.5/5.8
		mg/kg	0.029	0.005	ND	0.017	0.001	0.001	
	茎葉[a]（第2回処理28日後）	%TRR	100	7.9/4.7	3.2/3.0	19.1/20.9	1.9/1.8	7.7/7.4	18.7/10.2/10.8/11.1
		mg/kg	2.79	0.185/0.10	0.075/0.065	0.446/0.445	0.043/0.038	0.179/0.158	

ND：検出されず、[a]：数値は2連又は4連の分析値。

（4）えんどう

えんどう（品種：Sugar Ann）の3葉期、最初の花芽観察時及び30%のさやの成熟時に、^{14}C-スルホキサフロルをそれぞれ200 g ai/haの用量で（合計600 g ai/ha）茎葉処理し、又は最初の花芽観察時及び30%のさやの成熟時に、^{14}C-スルホキサフロルをそれぞれ225 g ai/haの用量で（合計450 g ai/ha）土壌処理して、植物体内運命試験が実施された。試料として、茎葉処理区では第1回処理14日後及び第2回処理14日後に未成熟植物並びに第3回処理14日後に成熟植物が、土壌処理区では第1回処理14日後に未成熟植物及び第2回処理14日後に成熟植物が採取された。

えんどう試料中の総残留放射能及び代謝物分布は表15に示されている。

茎葉処理区では、各試料中残留放射能の主要成分は、未変化のスルホキサフロル並びに代謝物D及びEであった。さやでは代謝物D及びEはそれぞれ

13.3%TRR 及び 10.1%TRR 検出された。ほかに代謝物 B 及び F が少量検出された。

土壌処理区では、各試料中残留放射能の主要成分は、未変化のスルホキサフロル（つるでは検出されず）、代謝物 D 及び E であった。いずれの試料においても代謝物 D が残留放射能の大部分（81.9%TRR 以上）を占め、代謝物 B 及び F は検出されなかった。代謝物 E は未成熟植物でのみ 10.2%TRR 検出された。（参照 11）

表 15　えんどう試料中の総残留放射能及び代謝物分布

処理区	試料（採取時期）		総残留放射能	抽出液					抽出残渣
				スルホキサフロル	B	D	E	F	
茎葉処理	未成熟植物[a]（第1回処理14日後）	%TRR	100	34.4	ND	30.4	22.0	0.6	0.9
		mg/kg	0.348	0.120	ND	0.106	0.077	0.002	
	未成熟植物[a]（第2回処理14日後）	%TRR	100	30.3	1.4	32.0	18.1	0.9	1.7
		mg/kg	0.592	0.180	0.009	0.190	0.107	0.005	
	成熟植物（さや）（第3回処理14日後）	%TRR	100	59.4	0.8	13.3	10.1	2.9	1.5
		mg/kg	1.05	0.621	0.008	0.139	0.106	0.030	
	成熟植物（つる）（第3回処理14日後）	%TRR	100	71.1	1.4	11.7	6.7	1.2	1.7
		mg/kg	5.48	3.898	0.079	0.639	0.365	0.067	
土壌処理	未成熟植物[a]（第1回処理14日後）	%TRR	100	14.2	ND	81.9	10.2	ND	1.5
		mg/kg	0.036	0.005	ND	0.030	0.004	ND	
	成熟植物（さや）（第2回処理14日後）	%TRR	100	4.7	ND	89.7	3.2	ND	1.6
		mg/kg	0.042	0.002	ND	0.037	0.001	ND	
	成熟植物（つる）（第2回処理14日後）	%TRR	100	ND	ND	89.9	7.5	ND	1.3
		mg/kg	0.146	ND	ND	0.131	0.011	ND	

ND：検出されず、[a]：未成熟植物試料はさや及びつるを含む。

植物におけるスルホキサフロルの主要代謝経路は、シアノ基の炭素の酸化（D の生成）、硫黄原子を含む側鎖の消失（B の生成）、B のグルコース抱合体（E）又はグルコース/マロニル抱合体（F）の形成であると考えられた。また、レタスでは、代謝物 D から H 及び G を経て、スルホン基が脱離して B が生成する経路も考えられた。

３．土壌中運命試験

（１）好気的湛水土壌中運命試験

湛水した壌土（福岡）に、^{14}C-スルホキサフロルを 0.3 mg/kg 乾土（300 g ai/ha 相当）となるように添加し、好気的条件下、25℃の暗所で 6 か月間インキュベートして好気的湛水土壌中運命試験が実施された。

好気的湛水土壌における放射能分布及び分解物は表 16 に示されている。

スルホキサフロルは好気的湛水土壌中で速やかに分解され、主要分解物は D であった。D の一部は緩やかに非抽出性の物質及び CO_2 に分解されると考えられた。スルホキサフロルの推定半減期は、水中で 1 日、土壌中で 7 日、試験系全体で 2 日、分解物 D の推定半減期は水中で 109 日、試験系全体で 671 日であった。（参照 12）

表 16　好気的湛水土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

処理後日数	水層		土壌(抽出液)		試験系全体			
	スルホキサフロル	D	スルホキサフロル	D	スルホキサフロル	D	$^{14}CO_2$	抽出残渣
0	94.1	0.0	3.9	0.0	98.0	0.0		0.1
	96.3	0.0	4.7	0.0	101	0.0		0.1
1	39.9	17.9	27.4	10.4	67.4	28.3	0.0	1.4
	43.6	14.8	31.1	8.2	74.6	23.0	0.0	1.9
7	8.2	34.6	17.3	36.4	25.5	71.0	0.0	3.9
	5.1	36.7	13.4	41.4	18.5	78.1	0.1	3.7
14	0.9	31.8	8.4	53.8	9.3	85.6	0.0	5.4
	1.5	31.2	10.2	52.4	11.7	83.7	0.0	5.5
182	ND	14.6	ND	65.4	ND	80.0	0.9	17.0
	ND	16.4	ND	63.4	ND	79.8	0.2	17.1

注）表中の数値は 2 連の測定値。ND：検出されず、/：該当なし。

（2）好気的及び好気的/嫌気的湛水土壌中運命試験

壌質砂土（英国）、砂質埴壌土（英国）及び砂壌土（英国及びドイツ）に ^{14}C-スルホキサフロルを 0.064 mg/kg 乾土（48 g ai/ha 相当）となるように添加し、好気的条件下、20℃の暗所で 4 か月間インキュベートして好気的土壌中運命試験が実施された。更に、砂質埴壌土（英国）に ^{14}C-スルホキサフロルを処理し、好気的条件下に 2 時間置いた後に湛水状態とし、窒素パージした嫌気的条件下、20℃の暗所で 4 か月間インキュベートして好気的/嫌気的湛水土壌中運命試験が実施された。また、砂質埴壌土（英国）では、好気的低温条件（10℃）下及び好気的滅菌土壌を用いた試験も実施された。

好気的土壌における放射能分布及び分解物は表 17、好気的/嫌気的湛水土壌及び好気的滅菌土壌における放射能分布及び分解物は表 18 に示されている。

スルホキサフロルは好気的土壌及び好気的低温条件において速やかに分解され、分解物として D、G 及び H が生成された。主要分解物は D であり、G 及び H に分解された後、最終的に非抽出性の物質及び CO_2 に分解されると考えられた。

4 種類の好気的土壌におけるスルホキサフロルの推定半減期は 0.04～0.26 日、分解物 D の推定半減期は 85～370 日、好気的低温条件におけるスルホキサフロルの推定半減期は 0.06 日、分解物 D の推定半減期は 184 日と算出された。

好気的/嫌気的湛水土壌及び好気的滅菌土壌においてもスルホキサフロルは速やかに分解され、主要分解物として D が検出された。好気的/嫌気的湛水土壌に

おけるスルホキサフロルの推定半減期は 0.22 日、分解物 D の推定半減期は 579 日、好気的滅菌土壌におけるスルホキサフロルの推定半減期は 15 日、分解物 D の推定半減期は 337 日であった。（参照 13）

表 17　好気的土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

試験条件	土壌	処理後日数	抽出液				$^{14}CO_2$	抽出残渣
			スルホキサフロル	D	G	H		
好気 20℃	壌質砂土（英国）	0	102	0.0	0.0	0.0		0.0
			103	0.0	0.0	0.0		0.0
		14	0.0	99.1	0.0	0.0	0.8	1.2
			0.0	99.3	0.0	0.0	0.9	1.3
		123	0.0	72.4	4.9	4.5	6.8	3.9
			0.0	76.7	2.7	5.7	6.2	4.1
	砂質埴壌土（英国）	0	103	0.0	0.0	0.0		1.1
			103	0.0	0.0	0.0		0.9
		14	0.0	85.0	1.1	2.6	2.2	4.8
			0.0	88.3	1.1	3.4	2.5	4.8
		123	0.0	34.8	9.6	2.6	32.2	14.9
			0.0	36.0	12.2	2.6	28.4	14.2
	砂壌土（英国）	0	102	0.0	0.0	0.0		1.1
			101	0.0	0.0	0.0		1.0
		14	0.0	94.3	0.0	0.0	2.0	4.8
			0.0	93.5	0.0	0.0	1.6	3.5
		123	0.0	79.6	0.9	0.0	6.7	8.0
			0.0	74.6	3.8	0.0	8.7	8.2
	砂壌土（ドイツ）	0	96.1	0.0	0.0	0.0		0.1
			102	0.0	0.0	0.0		0.1
		14	0.0	95.5	0.0	0.0	1.0	2.1
			0.0	99.0	0.0	0.0	1.1	2.0
		123	0.0	71.7	0.8	6.9	5.3	6.8
			0.0	74.9	0.0	9.2	5.3	6.3
好気 低温 10℃	砂質埴壌土（英国）	0[a]	98.3	0.0	0.0	0.0		0.5
		14	0.0	87.4	1.9	3.6	0.0	5.0
			0.0	86.1	2.0	6.0	1.2	3.9
		120	0.0	61.8	6.7	5.8	5.6	9.2
			0.0	67.8	6.7	6.6	1.8	8.3

注）表中の数値は 2 連の測定値（ただし、[a]は 1 連）。　/：該当なし。

表 18　好気的/嫌気的湛水土壌及び好気的滅菌土壌における放射能分布及び分解物

(%TAR)

試験条件	土壌	処理後日数	水層	土壌(抽出液)	水層+土壌(抽出液)		$^{14}CO_2$	抽出残渣
					スルホキサフロル	D		
好気的/嫌気的湛水	砂質埴壌土(英国)	0	22.8	71.0	26.8	67.1		3.2
			28.4	67.3	30.5	64.0		3.1
		14	47.0	48.8	0.0	95.0	0.0	2.0
			46.2	49.8	0.0	96.0	0.0	1.8
		120	35.2	49.1	0.0	84.3	0.1	12.0
			33.9	49.7	0.0	83.1	0.1	12.1
試験条件	土壌	処理後日数	水層	土壌(抽出液)			$^{14}CO_2$	抽出残渣
					スルホキサフロル	D		
好気滅菌	砂質埴壌土(英国)	0		99.5	99.5	0.0		0.4
				98.5	98.5	0.0		0.5
		14		41.2	41.2	55.9	0.0	3.1
				43.8	43.8	53.3	0.0	3.3
		120		16.1	16.1	77.3	0.3	6.4
				15.6	15.6	77.1	0.2	6.3

注）表中の数値は 2 連の測定値。　/：該当なし。

（3）好気的土壌中運命試験

4 種類の米国土壌［埴壌土①、埴壌土②、壌土及び砂壌土］の表面に、^{14}C-スルホキサフロルを 0.205 mg/kg 乾土（400 g ai/ha 相当）となるように滴下し、好気的条件下、25℃の暗所で 1 年間インキュベートして好気的土壌中運命試験が実施された。

好気的土壌における放射能分布及び分解物は表 19 に示されている。

いずれの土壌においても、スルホキサフロルは速やかに分解された。主要分解物は D であり、ほかに少量の $^{14}CO_2$ が検出された。スルホキサフロルの推定半減期は 0.32～0.56 日、分解物 D の推定半減期は 1,000 日以上であった。（参照 14）

表 19　好気的土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

土壌	処理後日数	土壌(抽出液)		$^{14}CO_2$	抽出残渣
		スルホキサフロル	D		
埴壌土①	0	97.2	0.0		0.3
		97.5	0.0		0.3
	14	0.0	96.9	0.6	2.4
		0.0	97.6	0.7	2.3
	364	0.0	84.9	2.5	10.4
		0.0	84.0	2.5	10.5
埴壌土②	0	98.7	0.0		0.3
		98.6	0.0		0.3
	14	0.0	98.4	0.8	2.5
		0.0	97.1	0.7	2.3
	364 [a]	0.0	85.9	3.3	7.6
壌土	0	98.9	0.0		0.6
		98.8	0.0		0.6
	14	0.0	97.5	0.7	2.1
		0.0	96.6	0.7	2.2
	364 [a]	0.0	89.8	1.3	6.8
砂壌土	0	98.5	0.0		0.5
		98.9	0.0		0.5
	14	0.0	96.7	0.7	2.5
		0.0	97.8	0.7	2.4
	364	0.0	83.6	1.7	13.2
		0.0	82.5	1.9	12.5

注）表中の数値は 2 連の測定値（ただし、[a]は 1 連）。　/：該当なし。

（４）好気的/嫌気的湛水土壌中運命試験

埴壌土（米国）の表面に ^{14}C-スルホキサフロルを 1.07 mg/kg 乾土（400 g ai/ha 相当）となるように滴下し、8 時間好気的条件下に置いた後湛水状態とし、窒素パージした嫌気的条件下、25±2℃の暗所で最長 113 日間インキュベートして好気的/嫌気的湛水土壌中運命試験が実施された。

好気的/嫌気的湛水土壌における放射能分布及び分解物は表 20 に示されている。

スルホキサフロルは速やかに分解された。主要分解物は D であり、ほかに少量の $^{14}CO_2$ が検出された。スルホキサフロルの推定半減期は、好気的条件下で 11.9 時間、嫌気的湛水条件下で 51.3 時間、分解物 D の推定半減期は嫌気的湛水条件下で 320 日であった。（参照 15）

表 20　好気的/嫌気的湛水土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

試料採取時期		土壌(抽出液)		$^{14}CO_2$	抽出残渣
		スルホキサフロル	D		
処理直後		93.0	0.00		2.02
好気的条件	7 時間	61.7	33.4	0.04	2.73
嫌気的湛水条件	1 日	31.5	61.7	0.07	0.67
	7 日	4.49	87.7	0.08	1.31
	113 日	0.00	75.4	0.40	22.3

/：該当なし。

（５）嫌気的湛水土壌中運命試験

米国 2 か所において採取した湖沼水（pH 7.5 及び 7.8）を含む堆砂（砂土及び砂質埴壌土）に、^{14}C-スルホキサフロルを 0.019 mg/L となるように、又は分解物 D を 0.015 mg/L となるように添加し、25℃の暗所で最長 100 日間インキュベートして、嫌気的湛水土壌中運命試験が実施された。

スルホキサフロル処理区及び分解物 D 処理区の嫌気的湛水土壌における放射能分布及び分解物はそれぞれ表 21 及び表 22 に示されている。

嫌気的湛水条件下でスルホキサフロルは僅かに分解し、D が生成された。

スルホキサフロルの推定半減期は、水中で 71～190 日、系全体で 108～382 日であった。分解物 D については、本試験条件下で減衰は僅かであり、推定半減期は算出できなかった。（参照 16）

表 21　スルホキサフロル処理区の嫌気的湛水土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

土壌	処理後日数	水層		土壌抽出液		試験系全体			
		スルホキサフロル	D	スルホキサフロル	D	スルホキサフロル	D	$^{14}CO_2$	抽出残渣
砂土	0	100	0.0			100	0.0		
		99.8	0.0			99.8	0.0		
	14	85.3	3.4	10.4	0.0	95.8	3.4	0.0	0.9
		82.5	0.0	13.7	0.0	96.2	0.0	0.0	1.4
	100	63.6	0.0	15.9	0.7	79.5	0.7	0.1	12.4
		66.3	0.0	16.6	0.1	82.9	0.1	0.1	10.9
砂質埴壌土	0	100	0.0			100	0.0		
		100	0.0			100	0.0		
	14	75.7	0.0	13.3	0.0	88.9	0.0	0.0	7.1
		78.1	0.0	12.4	0.0	90.5	0.0	0.0	6.8
	100	37.4	6.6	13.5	1.9	50.9	8.4	0.2	36.8
		38.4	1.4	12.2	1.3	50.6	2.7	0.0	36.7

注）表中の数値は 2 連の測定値。　/：該当なし。

表 22　分解物 D 処理区の嫌気的湛水土壌における放射能分布及び分解物（%TAR）

土壌	処理後日数	水層	土壌抽出液	試験系全体		
		D	D	D	$^{14}CO_2$	抽出残渣
砂土	0	99.6		99.6		
		100		100		
	14	86.6	13.2	99.7	0.0	0.6
		86.3	11.7	98.0	0.1	0.5
	100	80.3	15.2	95.5	0.0	1.6
		83.5	13.5	97.0	0.0	1.4
砂質壌土	0	99.6		99.6		
		99.3		99.3		
	14	86.3	10.6	96.9	0.0	3.2
		86.7	10.9	97.6	0.0	2.5
	100	75.7	18.4	94.0	0.1	5.3
		75.4	18.0	93.4	0.1	5.1

注）表中の数値は 2 連の測定値。　/：該当なし。

（6）土壌吸脱着試験

17 種類の海外土壌を用いたスルホキサフロルの土壌吸脱着試験及び分解物 D の土壌吸着試験、6 種類の海外土壌を用いた分解物 G の土壌吸着試験並びに 7 種類の海外土壌を用いた分解物 H の土壌吸着試験が実施された。

各供試化合物の Freundlich の吸着係数及び脱着係数は表 23 に示されている。（参照 17）

表 23　Freundlich の吸着係数及び脱着係数

供試化合物	土壌(採取地)	K^{ads}	K^{ads}_{oc}	K^{des}	K^{des}_{oc}
スルホキサフロル	壌質砂土(英国、米国)、壌土(英国、米国、カナダ)、シルト質壌土(英国、ドイツ)、砂壌土(ドイツ、米国)、埴壌土(米国 3 か所、スペイン、フランス)、砂土(米国)、埴土(米国)、砂質埴壌土(イタリア)	0.16~1.28	12~71	1.20~7.24	55~613
D		0.18~1.24	7~74		
G	壌質砂土(英国)、壌土(英国)、シルト質壌土(英国)、埴壌土(米国 2 か所)、壌土(米国)	0.01~0.39	1~25		
H	壌質砂土(英国)、壌土(英国)、シルト質壌土(英国)、埴壌土(米国 2 か所)、壌土(米国)、砂壌土(米国)	0.13~0.79	2~44		

K^{ads}：Freundlich の吸着係数、K^{ads}_{oc}：有機炭素含有率により補正した吸着係数
K^{des}：Freundlich の脱着係数、K^{des}_{oc}：有機炭素含有率により補正した脱着係数
/：該当なし。

（７）土壌吸着試験

シルト質壌土（栃木）を用いた土壌吸着試験が実施された。

Freundlich の吸着係数 K^{ads} は 2.51、有機炭素含有率により補正した吸着係数 K^{ads}_{oc} は 28.8 であった。（参照 18）

４．水中運命試験

（１）加水分解試験

pH 5（酢酸緩衝液）、pH 7（トリス塩酸緩衝液）及び pH 9（ホウ酸緩衝液）の各滅菌緩衝液に、^{14}C-スルホキサフロルを 0.1 mg/L となるように添加し、25℃で 32 日間、暗所条件下でインキュベートして加水分解試験が実施された。

いずれの緩衝液においてもスルホキサフロルは加水分解せず、半減期は算出できなかった。（参照 19）

（２）水中光分解試験（緩衝液）

トリス塩酸緩衝液（pH 7）に、^{14}C-スルホキサフロル又は ^{14}C-分解物 D を 0.36 mg/L となるように添加し、25℃で最長 14 日間、キセノンランプ（光強度：300 W/m^2、波長：290 nm 未満をカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

緩衝液中におけるスルホキサフロル及び分解物 D の放射能分布は表 24 に示されている。

緩衝液中のスルホキサフロル及び分解物 D は光照射により僅かに減少し、微量な分解物として、スルホキサフロルでは B（最大で 2.5%TAR）が、分解物 D では B（最大で 4.4%TAR）及び J（最大で 8.6%TAR）が検出された。

緩衝液中におけるスルホキサフロル及び分解物 D の推定半減期は、それぞれ 489 日及び 136 日（東京春の太陽光換算でそれぞれ 1,483 日及び 413 日）であった。（参照 20）

表 24　緩衝液中におけるスルホキサフロル及び分解物 D の放射能分布（%TAR）

供試標識化合物	化合物	光照射開始後経過時間(日)					
		0		7		14	
^{14}C-スルホキサフロル	スルホキサフロル	99.5	98.9	98.4	97.6	97.3	97.6
	B	0.0	0.3	1.6	1.9	2.5	2.0
	その他合計	0.5	0.8	0.0	0.5	0.2	0.4
^{14}C-分解物 D	D	98.2	98.3	96.8	95.5	93.0	86.6
	B	0.2	0.4	1.6	1.3	3.7	4.4
	J	1.4	1.3	1.6	2.7	2.5	8.6
	その他合計	0.2	0.0	0.0	0.5	0.8	0.4

注）数値は 2 連の分析値。

（３）水中光分解試験（自然水）

自然水［河川水（イタリア）、pH 8.2～8.7］に、^{14}C-スルホキサフロルを 0.39 mg/L 又は ^{14}C-分解物 D を 0.36 mg/L となるように添加し、25℃で最長 14 日間、キセノンランプ（光強度：300 W/m^2、波長：290 nm 未満をカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

自然水中におけるスルホキサフロル及び分解物 D の放射能分布は表 25 に示されている。

自然水中のスルホキサフロル及び分解物 D は光照射によって僅かに減少した。スルホキサフロル処理区では、多数の未同定分解物が検出されたが、全て 3%TAR 以下であった。分解物 D 処理区では 1%TAR を超える分解物はみられなかった。

自然水中におけるスルホキサフロル及び分解物 D の推定半減期は、それぞれ 162 日及び 392 日（東京春の太陽光換算でそれぞれ 491 日及び 1,000 日超）であった。（参照 21）

表 25　自然水中におけるスルホキサフロル及び分解物 D の放射能分布（%TAR）

供試標識化合物	化合物	光照射開始後経過時間(日)				
		0	7		14	
^{14}C-スルホキサフロル	スルホキサフロル	98.7	94.7	95.1	91.9	93.4
	未同定分解物	0.5	1.8	1.2	3.0	1.9
	その他合計	0.8	3.5	3.7	5.1	4.8
^{14}C-分解物 D	D	99.7	98.1	97.5	96.4	96.6
	その他合計	0.3	1.9	2.5	3.6	3.4

注）7 及び 14 日の数値は 2 連の分析値。

５．土壌残留試験

火山灰土・壌土（茨城）、沖積土・埴壌土（千葉）及び沖積土・壌土（高知）を用いて、スルホキサフロル及び分解物 D を分析対象化合物とした土壌残留試験が実施された。推定半減期は表 26 に示されている。（参照 22）

表 26　土壌残留試験成績

試験	処理濃度[a]	土壌	推定半減期(日)	
			スルホキサフロル	スルホキサフロル＋分解物 D
水田ほ場	150 g ai/ha	火山灰土・壌土	2.4	40.5
		沖積土・埴壌土	2.2	18.8
畑ほ場	285 g ai/ha	火山灰土・壌土	2.3	62.1
		沖積土・壌土	2.4	17.5

[a]：水田ほ場では 20%フロアブル剤、畑ほ場では 9.5%フロアブル剤を使用。

６．作物等残留試験

（１）作物残留試験（国内）

国内において、果実、野菜等を用いてスルホキサフロル並びに代謝物 B、D 及び G を分析対象化合物とした作物残留試験が実施された。

結果は別紙 3 に示されている。

各化合物の最大残留値は、スルホキサフロルで最終散布 1 日後に収穫したしそ（葉）の 8.78 mg/kg、代謝物 B で最終散布 7 日後に収穫した水稲（籾米）の 0.50 mg/kg、可食部では最終散布 3 日後に収穫したしそ（葉）の 0.45 mg/kg、代謝物 D で最終散布 3 日後に収穫したチンゲンサイの 0.66 mg/kg、代謝物 G で最終散布 1 日後に収穫したみかん（果皮）の 0.12 mg/kg であった。（参照 23、94～123）

（２）作物残留試験（海外）

海外において、果実、野菜等を用いてスルホキサフロルを分析対象化合物とした作物残留試験が実施された。

結果は別紙 4 に示されている。

スルホキサフロルの最大残留値は、処理 3 日後に収穫したほうれんそう（葉）の 3.26 mg/kg であった。（参照 24、124～130）

（３）畜産物残留試験

①　ウシ

フリージアン/ホルスタイン種乳牛（一群 3～4 頭）にスルホキサフロル、代謝物 B 及び D を、予想飼料最大負荷量の 0.2～15 倍量で 29～30 日間混餌投与して畜産物残留試験が実施された。

結果は別紙 5 に示されている。

全ての試験群においてスルホキサフロルの残留が認められ、飼料中スルホキサフロルの乳汁、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓への移行が確認された。スルホキサフロル、代謝物 B 及び D の各試料における平均残留値の最大値は表 27 に示されている。（参照 25）

表 27　各試料における平均残留値の最大値（μg/g）

分析対象化合物	乳汁	脱脂乳	乳脂肪	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓
スルホキサフロル	1.43	1.18	1.01	1.47	0.637	3.69	2.23
B	LOQ [a]	<0.003	<0.003	0.010	0.016	0.012	0.081
D	0.043	0.036	0.020	0.041	0.011	0.069	0.089

[a]：全ての試料において定量下限以下。

②　ニワトリ

産卵鶏（ローマン、一群 3～4 羽）にスルホキサフロルを予想飼料最大負荷量の 0.2～15 倍量又は代謝物 B 若しくは D を 0.25～15 倍量で 29～30 日間カプセ

ル経口投与して、畜産物残留試験が実施された。

結果は別紙 6 に示されている。

全ての投与群の肝臓、1 倍量以上投与群の卵、筋肉及び脂肪にスルホキサフロルの残留が認められ、飼料からの移行が確認された。スルホキサフロル、代謝物 B 及び D の各試料における平均残留値の最大値は表 28 に示されている。（参照 26）

表 28　各試料における平均残留値の最大値（μg/g）

分析対象化合物	鶏卵	筋肉	肝臓	脂肪
スルホキサフロル	0.633	0.516	1.14	0.167
B	LOQ [a]	<0.003	0.073	0.007
D	0.022	0.018	0.024	0.003

[a]：全ての試料において定量下限以下。

（4）推定摂取量

別紙 3 の作物残留試験、別紙 5 及び 6 の畜産物残留試験の分析値を用いて、スルホキサフロルをばく露評価対象物質とした際に食品中から摂取される推定摂取量が表 29 に示されている（別紙 7 参照）。

なお、本推定摂取量の算定は、登録又は申請された使用方法からスルホキサフロルが最大の残留を示す使用条件で、全ての適用作物に使用され、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

表 29　食品中から摂取されるスルホキサフロルの推定摂取量

	国民平均 (体重：55.1 kg)	小児(1～6 歳) (体重：16.5 kg)	妊婦 (体重：58.5 kg)	高齢者(65 歳以上) (体重：56.1 kg)
摂取量 (μg/人/日)	522	339	552	583

7．一般薬理試験

ラット及びマウスを用いた一般薬理試験が実施された。結果は表 30 に示されている。（参照 27）

表 30　一般薬理試験概要

試験の種類	動物種	動物数/群	投与量 (mg/kg 体重) (投与経路)	最大無作用量 (mg/kg 体重)	最小作用量 (mg/kg 体重)	結果の概要
一般状態	SD ラット	雄 6 雌 6	0、250、500、750 (経口)	250	500	雄:500 mg/kg 体重以上で受動性、毛づくろい、反応性、自発運動、体姿勢、呼吸数、正向反射及び筋緊張の抑制、眼裂狭小、驚愕反応、触反応の亢進、異常歩行、振戦、攣縮、痙攣 750 mg/kg 体重で握力、警戒性及び疼痛反応の抑制、いらだちの亢進、散瞳、流涎 雌:500 mg/kg 体重以上で受動性、毛づくろい、反応性、自発運動、体姿勢、呼吸数及び警戒性の抑制、眼裂狭小、驚愕反応 750 mg/kg 体重で握力、位置視覚及び筋緊張の抑制、流涙、流涎、触反応の亢進、異常歩行、振戦、攣縮、痙攣
	ICR マウス	雄 4 雌 4	0、125、250、500 (経口)	125	250	雄:250 mg/kg 体重以上で自発運動、正向反射及び受動性の抑制、眼裂狭小、振戦、痙攣 500 mg/kg 体重で警戒性、毛づくろい、いらだち、反応性、疼痛反応、体姿勢及び握力の抑制、触反応の亢進、異常歩行、挙尾反応、驚愕反応、散瞳、流涎 雌:250 mg/kg 体重以上で自発運動及び正向反射の抑制 500 mg/kg 体重で警戒性、毛づくろい、いらだち、反応性、疼痛反応、体姿勢及び握力の抑制、触反応の亢進、異常歩行、挙尾反応、振戦、痙攣

試験の種類		動物種	動物数/群	投与量 (mg/kg 体重) (投与経路)	最大無作用量 (mg/kg 体重)	最小作用量 (mg/kg 体重)	結果の概要
中枢神経系	自発運動量	ICR マウス	雄 6	0、125、250、500 (経口)	125	250	自発運動減少
	痙攣増強作用	ICR マウス	雄 6	0、125、250、500 (経口)	125	250	強直性痙攣 250 mg/kg 体重以上で死亡
呼吸・循環器系	呼吸、血圧、心拍数	SD ラット	雄 6	0、250、500、750 (経口)	血圧：750 呼吸：250 心拍数：250	血圧：－ 呼吸：500 心拍数：500	心拍数、呼吸数減少
腎機能	尿量、比重、pH、尿中電解質	SD ラット	雄 6	初回試験 0、250、500、750 追加試験 0、10、50 (経口)	50	250	尿量、pH、尿中電解質増加
血液	溶血作用	SD ラット	雄 6	0、250、500、750 (経口)	750	－	影響なし

注）溶媒として 0.5%MC 水溶液が用いられた。
－：最小作用量は設定されなかった。

８．急性毒性試験

（１）急性毒性試験

スルホキサフロル（原体）のラット及びマウスを用いた急性毒性試験が実施された。

結果は表 31 に示されている。（参照 28～31）

表 31　急性毒性試験概要（原体）

投与経路	動物種	LD_{50}(mg/kg 体重)		観察された症状
		雄	雌	
経口	Fischer ラット 雄 1~2 匹 雌 1~3 匹	1,410	1,000	筋肉の振戦、活動性低下、攣縮又は強直性間代性痙攣、反応性低下、糞減少、半眼、立毛、努力性呼吸、流涎、歩行異常、歩行困難、刺激に対する反応性増加、取扱操作に対する反応性低下 雌雄：1,000 mg/kg 体重以上で死亡例
	ICR マウス 雄 1~3 匹	750		努力性呼吸、筋肉痙攣、活動性低下、取扱に対する抵抗の低下、筋肉の振戦、攣縮、振戦、痙攣、触覚に対する反応性低下又は増加、刺激に対する反応性増加 雄：750 mg/kg 体重以上で死亡例
経皮	Fischer ラット 雌雄各 5 匹	>5,000	>5,000	症状及び死亡例なし
吸入	Fischer ラット 雌雄各 5 匹	LC_{50}（mg/L）		被毛汚れ、会陰部汚れ 雌雄：死亡例なし
		>2.09	>2.09	

代謝物（B、D、G、H 及び K）を用いた急性経口毒性試験が実施された。
結果は表 32 に示されている。（参照 32～36）

表 32　急性経口毒性試験概要（代謝物）

被験物質	動物種	LD_{50}(mg/kg 体重)		観察された症状
		雄	雌	
B	Fischer ラット 雌 1~3 匹		2,000	活動低下、立毛、異常姿勢、円背位姿勢、排糞量減少、腹臥姿勢、眼の分泌物 雌：2,000 mg/kg 体重以上で死亡例
D	Fischer ラット 雌 1~3 匹		>5,000	流涎、鼻汁、肛門/生殖器の着色/汚れ、粘液、歩行異常、異常姿勢、立毛、頻回に及ぶ排便 雌：死亡例なし
G	Fischer ラット 雌 1~3 匹		566	粘液、唾液過剰分泌、立毛、徐呼吸、運動亢進、振戦、歩行障害、活動低下、異常姿勢 雌：1,000 mg/kg 体重以上で死亡例
H	Fischer ラット 雌 5 匹		>2,000	立毛 雌：死亡例なし
K	Fischer ラット 雌 5 匹		>2,000	立毛 雌：死亡例なし

（2）急性神経毒性試験（ラット）

Fischer ラット（一群雌雄各 10 匹）に、スルホキサフロルを 0、7.5、75 及び 750 mg/kg 体重の用量で単回経口投与して、急性神経毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 33 に示されている。

750 mg/kg 体重投与群の雌雄で、試験 1 日に筋振戦、筋攣縮等が認められたが、神経病理学的検査では検体投与との関連性を示唆する所見は認められなかった。7.5 mg/kg 体重以上投与群の雄及び 75 mg/kg 体重以上投与群の雌において、統計学的に有意な自発運動量減少が認められたが、雄 7.5 mg/kg 体重投与群では総自発運動量への影響がなく、投与との関連は明らかでなかった。

7.5 mg/kg 体重投与群の雄にみられた変化の再現性及び投与との関連性を判断するために、Fischer ラット（一群雌雄各 10 匹）に、スルホキサフロルを 0、2.5、7.5 及び 25 mg/kg 体重の用量で単回経口投与した追加の自発運動量測定試験が実施された。その結果、いずれの投与群でも同様の値を示し、雄対照群の値は本試験の 7.5 mg/kg 体重投与群とほぼ同じ値を示したことから、本試験における 7.5 mg/kg 体重投与群の雄で認められた自発運動量減少は、再現性がみられなかったことに加え、対照群の値が高かったことに起因した偶発的な減少である可能性が考えられることから、検体投与の影響ではないと判断した。

本試験において、75 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量減少が認められたことから、急性神経毒性に対する無毒性量は雌雄とも 25 mg/kg 体重であると考えられた。（参照 37）

表 33　急性神経毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄(投与当日)	雌(投与当日)
750 mg/kg 体重	・糞便の減少、口周囲の赤色汚れ ・流涙、流涎、瞳孔径減少、活動性低下、接触に対する反応性低下、異常歩行 ・筋振戦、痙攣、筋攣縮、後肢開脚 ・直腸温低下	・糞便の減少、口周囲の赤色汚れ、会陰の尿汚れ、排尿回数の増加 ・体重増加抑制 ・流涙、流涎、瞳孔径減少、活動性低下、接触に対する反応性低下、排尿回数の増加 ・筋振戦、痙攣、筋攣縮、後肢開脚 ・直腸温低下
75 mg/kg 体重以上	・自発運動量減少	・自発運動量減少
25 mg/kg 体重§	毒性所見なし	毒性所見なし
7.5 mg/kg 体重	毒性所見なし	毒性所見なし

§：自発運動量のみ測定。

９．眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験

スルホキサフロル（原体）の NZW ウサギを用いた眼刺激性及び皮膚刺激性試験並びに CBA/J マウスを用いた皮膚感作性試験（局所リンパ節試験）が実施された。

その結果、ウサギの眼粘膜及び皮膚に対して軽度の刺激性が認められた。皮膚感作性は陰性であった。（参照 38～40）

代謝物 D の NZW ウサギを用いた眼刺激性試験、Fischer ラットを用いた皮膚刺

激性試験及び CBA/J マウスを用いた皮膚感作性試験（局所リンパ節試験）が実施された。

その結果、ウサギの眼粘膜及びラットの皮膚に対して軽度の刺激性が認められた。皮膚感作性は陰性であった。（参照 41～43）

１０．亜急性毒性試験

（１）90 日間亜急性毒性、免疫毒性及び亜急性神経毒性併合試験（ラット）

Fischer ラット（主群及び回復群：一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、100、750 及び 1,500 ppm：平均検体摂取量は表 34 参照）投与による 90 日間亜急性毒性、免疫毒性及び亜急性神経毒性併合試験が実施された。回復群は 0 及び 1,500 ppm の濃度で 90 日間混餌投与した後、4 週間基礎飼料にて飼育された。

眼窩静脈叢から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。100、750 及び 1,500 ppm 投与群の検体摂取量及び血漿中 AUC との間に線形性が認められた。雌雄ラット間で用量-AUC 直線の傾きにほとんど差異は認められず、スルホキサフロルの薬物動態に特段の雌雄差は認められなかった。

表 34　90 日間亜急性毒性、免疫毒性及び亜急性神経毒性併合試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	750 ppm	1,500 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	6.36	47.6	94.9
	雌	6.96	51.6	101

各投与群で認められた毒性所見は表 35 に示されている。

免疫毒性を評価するために、試験終了時に主群の全動物を対象として抗ヒツジ赤血球（SRBC）抗体産生細胞（AFC）アッセイが実施された。その結果、1,500 ppm 投与群の雄で AFC 反応が対照群に比して 26%低下した（統計学的有意差なし）。しかし、1,500 ppm 投与群では体重増加抑制や肝臓毒性が認められていることから、AFC 反応の低下は、体重増加抑制に伴う脾臓の絶対重量低下や肝毒性等に対する二次的な影響であり、本剤投与による直接的な免疫系への影響ではないと考えられた。

神経毒性を評価するために、投与開始前及び剖検前に全動物を対象として FOB 検査及び自発運動量測定が実施された。その結果、1,500 ppm 投与群の雄で自発運動量の有意であるが軽度の減少がみられたが、この変化は体重増加抑制に伴う二次的な影響であり、本剤投与による直接的な神経系への影響ではないと考えられた。

回復群においては、1,500 ppm 投与群雌雄で観察された投与による影響はほぼ回復したが、雄の肝細胞脂肪化が完全に回復せず、軽微な変化として認められた。

本試験において、750 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞肥大等が認められたこと

から、無毒性量は雌雄とも 100 ppm（雄：6.36 mg/kg 体重/日、雌：6.96 mg/kg 体重/日）であると考えられた。免疫毒性及び亜急性神経毒性は認められなかった。（参照 44）

表 35　90 日間亜急性毒性、免疫毒性及び亜急性神経毒性併合試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
1,500 ppm	・Chol§及びカリウム増加	・体重増加抑制§及び摂餌量減少 ・Chol§及びカリウム増加 ・肝多巣性マクロファージ/組織球集簇
750 ppm 以上	・体重増加抑制§及び摂餌量減少 ・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 ・肝細胞単細胞壊死 ・肝細胞脂肪化 ・肝多巣性マクロファージ/組織球集簇	・肝絶対及び比重量[2]増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 ・肝細胞単細胞壊死
100 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注）病理所見について統計学的解析は実施されていない。
§：統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。

（2）90 日間亜急性毒性試験（マウス）

ICR マウス（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：雄；0、100、750 及び 1,250 ppm、雌；0、100、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 36 参照）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

眼窩静脈叢から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス試験が行われた。雄における 100 ppm 及び 750 ppm 投与群並びに雌における 100 ppm 及び 1,500 ppm 投与群では、検体摂取量と血漿中濃度に線形性が認められた。一方、雄の 1,250 ppm 投与群では検体摂取量と薬物の血漿中濃度が線形にならず、投与量比から予測される血漿中濃度の 2 倍程度高くなっていた。また、雌の 3,000 ppm 投与群では検体摂取量と薬物の血漿中濃度が線形にならず、投与量比から予測される血漿中濃度の半分程度であった。

[2] 体重比重量を比重量という（以下同じ。）。

表 36　90 日間亜急性毒性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	750 ppm	1,250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	12.8	98.0	166		
	雌	16.2			247	489

各投与群で認められた毒性所見は表 37 に示されている。

本試験において、750 ppm 以上投与群の雄及び 1,500 ppm 投与群の雌で肝絶対及び比重量増加等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 100 ppm（雄：12.8 mg/kg 体重/日、雌：16.2 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 45）

表 37　90 日間亜急性毒性試験（マウス）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
3,000 ppm		・Chol 増加 ・多巣性肝細胞異常核分裂像増加 ・脾臓髄外造血亢進
1,500 ppm 以上		・ALT§、AST§§及び TG 増加 ・Hb 及び Ht 減少 ・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 (細胞質好酸性増加を伴う) ・限局性/多巣性(複合)肝細胞壊死 ・副腎皮質束状帯多巣性脂肪化 ・副腎束状帯肥大
1,250 ppm	・ALT、AST 及び ALP 増加 ・副腎比重量増加 ・多巣性肝細胞異常核分裂像増加	
750 ppm 以上	・Chol 減少 ・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 (細胞質好酸性増加を伴う) ・限局性/多巣性(複合)肝細胞壊死 ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化 ・副腎束状帯肥大	
100 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注）病理所見について統計学的解析は実施されていない。

§：3,000 ppm 投与群では統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。

§§：統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。

（３）90 日間亜急性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬(一群雌雄各 4 匹)を用いた強制経口(原体:0、1、3 及び 10/6[3] mg/kg 体重/日）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。なお、高用量は 10 mg/kg 体重/日で試験が開始されたが、同群の雌雄において投与第 1 週に摂餌量の大幅減少に伴う体重の減少が認められ、最大耐量を超えたと判断されたため、投与 5 日目から投与量が 6 mg/kg 体重/日に引き下げられた。

投与量変更後はいずれの投与群においても検体投与の影響は認められなかったことから、本試験における無毒性量は雌雄とも 6 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 46）

（４）28 日間亜急性経皮毒性試験（ラット）

Fischer ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた経皮（原体：0、100、500 及び 1,000 mg/kg 体重/日）投与による 28 日間亜急性経皮毒性試験が実施された。眼窩静脈叢から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。1,000 mg/kg 体重/日投与群では投与量と薬物の血漿中濃度が線形にならず、投与量比から予測される血漿中濃度の 2.67～6.15 倍高くなっていた。皮膚の観察結果では雌雄ともに、全ての投与群において紅斑、焼痂、浮腫、鱗屑及び亀裂のいずれも認められなかった。

1,000 mg/kg 体重/日投与群の雄で Chol が軽度に増加したが、対照群の値が背景データの下限値以下であったため、同群の Chol 増加は投与の影響とは考えられなかった。

本試験において、1,000 mg/kg 体重/日投与群の雄で肝絶対及び比重量増加並びに小葉中心性/中間帯肝細胞肥大が認められ、雌ではいずれの投与群でも毒性所見は認められなかったことから、無毒性量は雄で 500 mg/kg 体重/日、雌で本試験の最高用量 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 47）

（５）28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 B）

Fischer ラット（一群雌雄各 5 匹）を用いた代謝物 B の混餌（代謝物 B：0、1,000、3,000 及び 8,000 ppm：平均検体摂取量は表 38 参照）投与による 28 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 38　28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 B）の平均検体摂取量

投与群		1,000 ppm	3,000 ppm	8,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	79	236	622
	雌	82	244	649

[3] 10 mg/kg 体重/日投与群の雌雄において、投与第 1 週に体重及び摂餌量の減少が認められ、最大耐量を超えたと判断されたため、投与 5 日目から投与量が 6 mg/kg 体重/日に引き下げられた。

本試験において、いずれの投与群でも毒性所見は認められなかったことから、無毒性量は本試験の最高用量 8,000 ppm（雄：622 mg/kg 体重/日、雌：649 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 48）

（６）28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 G）

Fischer ラット（一群雌雄各 5 匹）を用いた代謝物 G の混餌（代謝物 G：0、100、300、1,000 及び 2,000 ppm：平均検体摂取量は表 39 参照）投与による 28 日間亜急性毒性試験が実施された。

眼窩静脈叢から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。AUC は検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。雌雄で差は認められなかった。

表 39　28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 G）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	300 ppm	1,000 ppm	2,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	7.7	23.1	74.0	140
	雌	8.5	24.9	77.2	152

各投与群で認められた毒性所見は表 40 に示されている。

雄の各群の肝臓を用いて *CYP2B1*、*CYP2B2* 及び *CYP3A1(3A23)* 遺伝子の発現を解析した結果、100 ppm 以上投与群でいずれの遺伝子も用量相関的に発現量増加が認められ、特に *CYP2B1* が顕著であった。

本試験において、100 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞肥大等及び雄で甲状腺び漫性ろ胞細胞肥大が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 100 ppm 未満（雄：7.7 mg/kg 体重/日未満、雌：8.5 mg/kg 体重/日未満）であると考えられた。（参照 49）

表 40　28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 G）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
2,000 ppm	・GGT 増加 ・尿タンパク軽度増加 ・脾髄外造血亢進	・腎尿細管多巣性変性 ・唾液腺腺房び漫性肥大 ・子宮頸管萎縮 ・膣萎縮
1,000 ppm 以上	・体重増加抑制及び摂餌量減少 ・ALT 及び AST §増加 ・尿 pH 軽度減少 ・副腎絶対重量増加§§ ・唾液腺腺房び漫性肥大 ・骨髄赤血球系細胞過形成 ・腸間膜脂肪組織萎縮	・体重増加抑制及び摂餌量減少 ・GGT 及び Glob 増加 ・尿 pH 軽度減少 ・副腎絶対重量増加§§ ・甲状腺び漫性ろ胞細胞肥大 ・骨髄赤血球系細胞過形成 ・腸間膜脂肪組織萎縮 ・子宮萎縮
300 ppm 以上	・RBC、Hb 及び Ht 減少 ・PLT 増加 ・TP、Alb 及び T.Chol 増加 ・多巣性肝細胞壊死 ・腎尿細管多巣性変性 ・副腎皮質束状帯肥大	・RBC、Hb 及び Ht 減少 ・PLT 増加 ・TP、Alb 及び T.Chol 増加 ・肝細胞有糸分裂像増加 ・多巣性肝細胞壊死 ・副腎皮質束状帯肥大 ・副腎皮質空胞化
100 ppm	・肝絶対及び比重量増加 ・副腎比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 ・肝細胞有糸分裂像増加 ・甲状腺び漫性ろ胞細胞肥大 ・副腎皮質空胞化	・肝絶対及び比重量増加 ・副腎比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大

注）病理所見及び尿検査結果について統計学的解析は実施されていない。
§：統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。
§§：2,000 ppm 投与群では統計学的有意差はないが、毒性影響と判断した。

（7）90 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 D）

Fischer ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた代謝物 D の混餌（代謝物 D：0、500、1,000 及び 5,000 ppm：平均検体摂取量は表 41 参照）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

眼窩静脈叢から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。AUC はいずれの検査時期においても検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。雌雄で差はみられなかった。

表 41　90 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 D）の平均検体摂取量

投与群		500 ppm	1,000 ppm	5,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	32.2	65.3	327
	雌	35.2	71.8	352

各投与群で認められた毒性所見は表 42 に示されている。

免疫毒性を評価するために、試験終了時に全動物を対象として抗ヒツジ赤血球抗体産生細胞アッセイが実施されたが、検体による影響は認められなかった

本試験において、5,000 ppm 投与群の雌雄で小葉中心性/中間帯肝細胞肥大等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 1,000 ppm（雄：65.3 mg/kg 体重/日、雌：71.8 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 50）

（肝臓に対する影響の検討については［14.（2）］参照）

表 42　90 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 D）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
5,000 ppm	・Chol 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・副腎絶対及び比重量増加 ・甲状腺絶対及び比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 ・多巣性小葉中心性肝細胞壊死 ・多巣性肝細胞脂肪化	・Chol 増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大
1,000 ppm 以下	毒性所見なし	毒性所見なし

注）病理所見について統計学的解析は実施されていない。

（8）90 日間亜急性毒性試験（イヌ、代謝物 D）

ビーグル犬（一群雄各 4 匹）を用いた代謝物 D の強制経口（代謝物 D：0、10、25 及び 50 mg/kg 体重/日）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

頸静脈から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。AUC は検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。

本試験において、いずれの投与群にも毒性所見は認められなかったことから、無毒性量は本試験の最高用量 50 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 51）

１１．慢性毒性試験及び発がん性試験

（1）１年間慢性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 4 匹）を用いた強制経口（原体：0、1、3 及び 6 mg/kg 体重/日）投与による 1 年間慢性毒性試験が実施された。

頸静脈から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。AUC は検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。雌雄で差はみられなかった。

6 mg/kg 体重/日投与群の雄 2 例で持続的な軟便/水様便が認められ、投与の影響と考えられた。しかし、体重の推移は対照群と同様であり、いずれの臓器にも投与によると考えられる変化が認められなかったことから、雄 2 例の軟便/水様便は悪影響ではないと判断した。

本試験において、いずれの投与群にも毒性所見は認められなかったことから、

無毒性量は雌雄ともに本試験の最高用量 6 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 52）

（２）２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）

Fischer ラット（主群：一群雌雄各 50 匹、中間と殺群：一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、25、100 及び 500 (雄)/750 (雌) ppm：平均検体摂取量は表 43 参照）投与による 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験が実施された。

眼窩静脈叢から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。血漿中検体濃度は検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。雌雄で差はみられなかった。

表 43　２年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群			25 ppm	100 ppm	500(雄)/750(雌) ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	投与開始~52 週まで	雄	1.19	4.81	24.1
		雌	1.40	5.68	43.0
	投与開始~104 週まで	雄	1.04	4.25	21.3
		雌	1.28	5.13	39.0

各投与群で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）は表 44 に、肝腫瘍の発生頻度は表 45 に、精巣腫瘍の発生頻度は表 46 に示されている。

検体投与に関連した腫瘍性病変として、500 ppm 投与群の雄において肝細胞腺腫の発生頻度増加が認められた。

500 ppm 投与群で精巣の間細胞腫が有意に増加し、精巣重量の増加も認められた。同腫瘍は老齢 F344 ラットに高率に自然発生することが知られており、同群の頻度は試験実施施設の同時期背景値（32/50～39/50）の上限を僅かに上回る程度であり、本試験では対照群での頻度が背景値の下限に近いことから、自然発生性の偶発的な増加である可能性も考えられた。しかし、機序検討試験［14.（３）］の結果から、確定的ではないが検体投与による脳内のドーパミンへの影響が示唆されたことから、投与との関連性を否定できなかった。

100 ppm 投与群で精巣重量が増加したが、間細胞腫の増加は認められなかった。この重量増加は、対照群の値が試験実施施設の同時期の背景値を 10%以上下回る低い値であったことに起因すると考えられたため、投与による影響ではないと結論した。また、100 ppm 投与群では精巣上体の重量が低下したが、関連する精巣上体管精子数減少の頻度に有意差が認められなかったことから、この低下に毒性学的意義はないと考えられた。

100 ppm 以上投与群で認められた精細管萎縮、精巣上体重量減少を伴う精巣上体管内精子数減少は、間細胞腺腫の増大に伴い精細管が圧迫されたことによる二次的な影響であり、検体投与による直接的な精巣毒性を示唆するものではないと

考えられた。

本試験において、500 ppm以上投与群の雄で精巣絶対及び比重量増加等が、750 ppm 投与群の雌で変異肝細胞巣等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも100 ppm（雄：4.25 mg/kg 体重/日、雌：5.13 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 53）

（肝腫瘍及び精巣腫瘍の発生機序に関してはそれぞれ［14.（1）］及び［14.（3）］を参照。）

表 44-1　2年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
500 (雄)/750 (雌) ppm	・体重増加抑制 ・Chol 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・精巣絶対及び比重量増加 ・精巣上体絶対及び比重量減少 ・肝多巣性マクロファージ/組織球集簇 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大(染色性変化を伴う) ・多巣性肝細胞壊死 ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化 ・凝固腺分泌物減少(両側性) ・精巣上体管内精子数減少(両側性) ・前立腺分泌物減少(両側性) ・精嚢分泌物減少(両側性) ・精細管萎縮(両側性)	・体重増加抑制 ・Chol 増加 ・肝比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大(染色性変化を伴う) ・多巣性肝細胞壊死 ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化 ・変異肝細胞巣(好塩基性)
100 ppm 以下	毒性所見なし	毒性所見なし

表 44-2　52週と殺群（1年間慢性毒性試験群）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
500 (雄)/750 (雌) ppm	・Chol 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・肝多巣性マクロファージ/組織球集簇 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大(染色性変化を伴う) ・多巣性肝細胞壊死 ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化	・体重増加抑制 ・Chol 増加 ・肝比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大(染色性変化を伴う) ・多巣性肝細胞壊死§ ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化§
100 ppm 以下	毒性所見なし	毒性所見なし

§：統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。

表 45　主群における肝腫瘍の発生頻度

性別	雄				雌			
投与群	0 ppm	25 ppm	100 ppm	500 ppm	0 ppm	25 ppm	100 ppm	750 ppm
検査動物数	50	50	50	50	50	50	50	50
肝細胞腺腫	4	2	5	16↑	3	2	2	2
肝細胞癌	3	1	1	0	0	0	0	0
肝細胞腺腫又は肝細胞癌総数	7	3	6	16	3	2	2	2

↑：$p<0.05$（Yates の χ^2 検定）

表 46　主群における精巣腫瘍の発生頻度

投与群	0 ppm	25 ppm	100 ppm	500 ppm
検査動物数	50	50	50	50
片側性精巣間細胞腺腫	12	8	5	2↓
両側性精巣間細胞腺腫	32	38	40	44↑
合計	44	46	45	46

↑↓：$p<0.05$（Yates の χ^2 検定）

（3）18 か月間発がん性試験（マウス）

ICR マウス（一群雌雄各 50 匹）を用いた混餌（原体：雄；0、25、100 及び 750 ppm、雌；0、25、250 及び 1,250 ppm：平均検体摂取量は表 47 参照）投与による 18 か月間発がん性試験が実施された。

外側足根静脈から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。投与 3 か月の血漿中検体濃度は、750 ppm 投与群の雄を除いて雌雄ともに検体摂取量に比例して増加した。投与 3 か月の雄では 100 及び 750 ppm の間に非線形性がみられたが、その程度は軽微であり、投与 12 か月の血液試料では雌雄ともに線形性が認められた。

表 47　18 か月間発がん性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		25 ppm	100 ppm	250 ppm	750 ppm	1,250 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	2.54	10.4		79.6	
	雌	3.43		33.9		176

各投与群で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）は表 48 に、肝腫瘍の発生頻度は表 49 に示されている。

検体投与に関連した腫瘍性病変として、750 ppm 投与群の雄で肝細胞腺腫及び肝細胞癌の発生頻度の有意な増加が、1,250 ppm 投与群の雌において肝腫瘍発生頻度の増加傾向が認められた。

本試験において、750 ppm 投与群の雄及び 1,250 ppm 投与群の雌で肝絶対及び比重量増加等が認められたことから、無毒性量は雄で 100 ppm（10.4 mg/kg

体重/日）、雌で 250 ppm（33.9 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 54）

（肝腫瘍の発生機序に関しては［14.（1）］を参照。）

表 48　18 か月間発がん性試験（マウス）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
1,250 ppm		・肝絶対及び比重量増加 ・副腎絶対及び比重量増加 ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 (染色性変化を伴う) ・汎小葉性肝細胞肥大 (染色性変化を伴う) ・多巣性肝細胞壊死§ ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化§
750 ppm	・肝絶対及び比重量増加 ・肝変異細胞巣(好酸性及び空胞化)§ ・小葉中心性/中間帯肝細胞肥大 (染色性変化を伴う) ・汎小葉性肝細胞肥大 (染色性変化を伴う) ・多巣性肝細胞壊死 ・小葉中心性/中間帯肝細胞脂肪化 ・肝細胞有糸分裂像増加§ ・皮膚頭部炎症、潰瘍 ・頭部表皮棘細胞増生 ・顎下リンパ節髄索形質細胞増生§	
250 ppm 以下		毒性所見なし
100 ppm 以下	毒性所見なし	

§：統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。

表 49　肝腫瘍の発生頻度

性別	雄				雌			
投与群	0 ppm	25 ppm	100 ppm	750 ppm	0 ppm	25 ppm	250 ppm	1,250 ppm
検査動物数	50	50	50	50	50	50	50	50
肝細胞腺腫	12	6	10	24↑	1	1	0	2
肝細胞癌	2	0	4	17↑	0	1	0	4
肝細胞腺腫又は肝細胞癌総数	13	6	12	30↑	1	2	0	5

↑：$p<0.05$（Yates の χ^2 検定）

１２．生殖発生毒性試験

（１）２世代繁殖試験（ラット）

SD ラット（一群雌雄各 27 匹）を用いた混餌（原体：0、25、100 及び 400 ppm：平均検体摂取量は表 50 参照）投与による 2 世代繁殖試験が実施された。

F_1 母動物の頸静脈及び哺育 4 日の F_2 児動物の左心室から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。母動物及び児動物のいずれにおいても、血漿中検体濃度は検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。

表 50　２世代繁殖試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群			25 ppm	100 ppm	400 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	P 世代	雄	1.52	6.07	24.6
		雌	1.91	7.82	30.5
	F_1 世代	雄	1.74	6.86	28.1
		雌	2.11	8.39	34.3

各投与群で認められた毒性所見は表 51 に示されている。

400 ppm 投与群の F_2 児動物において、生児出産率（出産生存児数/出産児数）に有意な低下がみられ、哺育 1 及び 4 日生存率にも低下傾向がみられた。生児出産率（97.4%）は背景データ（96.0%～99.7%）の範囲内にあり、F_1 児動物では観察されなかったが、先に実施された用量設定試験においても 500 ppm 以上投与群で生存児の減少がみられており、この児動物の生存率低下は検体投与に関連したものと考えられた。

本試験において、親動物では 400 ppm 投与群の P 雄及び F_1 雄で肝絶対及び比重量増加等が、児動物では 400 ppm 投与群の F_1 雄で包皮分離の遅延、F_2 雌雄で生児出産率低下等が認められたことから、無毒性量は親動物の雄で 100 ppm（P 雄：6.07 mg/kg 体重/日、F_1 雄：6.86 mg/kg 体重/日）、雌で本試験の最高用量 400 ppm（P 雌：30.5 mg/kg 体重/日、F_1 雌：34.3 mg/kg 体重/日）、児動物で 100 ppm（P 雄：6.07 mg/kg 体重/日、P 雌：7.82 mg/kg 体重/日、F_1 雄：6.86 mg/kg 体重/日、F_1 雌：8.39 mg/kg 体重/日）であると考えられた。繁殖能に対する影響は認められなかった。（参照 55）

（新生児死亡の発生機序に関しては［14.（4）］参照。）

表 51　２世代繁殖試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群		親：P、児：F_1		親：F_1、児：F_2	
		雄	雌	雄	雌
親動物	400 ppm	・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大(色素沈着を伴う) ・多巣性肝細胞壊死	400 ppm 以下毒性所見なし	・肝絶対§及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大(色素沈着を伴う) ・多巣性肝細胞壊死	400 ppm 以下毒性所見なし
	100 ppm 以下	毒性所見なし		毒性試験なし	
児動物	400 ppm	・包皮分離遅延		・生児出産率低下 ・哺育 1 及び 4 日生存率低下§	
	100 ppm 以下	毒性所見なし		毒性所見なし	

注）病理所見について統計学的解析は実施されていない。
§：統計学的有意差はないが毒性影響と判断した。

（２）発生毒性試験（ラット）

SD ラット（一群雌 26 匹）の妊娠 6～21 日に混餌（原体：0、25、150 及び 1,000 ppm：平均検体摂取量は表 52 参照）投与して、発生毒性試験が実施された。妊娠 21 日に母動物の眼窩静脈叢及び胎児の臍帯から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。母動物及び胎児のいずれにおいても、血漿中検体濃度は検体摂取量に比例して増加し、線形性が認められた。

表 52　発生毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群	25 ppm	150 ppm	1,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	1.95	11.5	70.2

各投与群で認められた毒性所見は表 53 に示されている。

1,000 ppm 投与群で、平均生存胎児数（12.3）が対照群の値（13.3）より僅かに低く、この差は統計学的に有意であったが、これは背景データ（11.0～13.0）の範囲内にあったこと、同群の平均黄体数（13.5）が対照群の値（14.1）より低かったこと（排卵数が少なかったことが示唆される）、同群の平均着床後胚損失率（5.2%）は背景データ（1.2%～8.2%）の範囲内にあったことから、投与とは関連性のないものと考えられた。

1,000 ppm 投与群の胎児で、外表異常として前肢屈曲、軽度の前肢屈曲及び後肢回旋の発生頻度の有意な増加が認められた。これらの四肢異常は構造的障害ではなく、骨格筋の収縮によって内臓検査時に胎児を平らに置くことが困難な状態になったもので、その後実施されたばく露の臨界期検討試験［14.（4）④及び⑤］において出生後速やかに回復することが確認された。同群の胎児では、内臓異常

として蛇行尿管（少数例に水尿管を伴う。）並びに骨格異常として屈曲鎖骨及び胸骨分節癒合の発生頻度にも有意な増加がみられた。

本試験において、1,000 ppm 投与群の母動物で体重増加抑制等が、胎児で四肢異常等が認められたことから、無毒性量は母動物及び胎児とも 150 ppm（11.5 mg/kg 体重/日）であると考えられた。母動物に影響の認められる用量で胎児に外表、内臓及び骨格異常が認められた。（参照 56）

（胎児異常の発生機序に関しては［14.（4）］参照。）

表 53　発生毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
1,000 ppm	・体重増加抑制及び摂餌量減少 ・妊娠子宮重量減少	・低体重 ・外表異常(前肢屈曲及び後肢回旋)増加 ・内臓異常(蛇行尿管)増加 ・骨格異常(屈曲鎖骨及び胸骨分節癒合)増加 ・骨化遅延(頭頂骨)
150 ppm 以下	毒性所見なし	毒性所見なし

（3）発生毒性試験（ウサギ）

NZW ウサギ（一群雌 26 匹）の妊娠 7～28 日に混餌（原体：0、30、150 及び 750 ppm：平均検体摂取量は表 54 参照）投与して、発生毒性試験が実施された。試験終了時に母動物の耳介辺縁静脈及び胎児の臍帯から採血し、血漿を得てトキシコキネティクス解析が実施された。母動物及び胎児のいずれにおいても、血漿中検体濃度は検体摂取量に比例して増加した。

表 54　発生毒性試験（ウサギ）の平均検体摂取量

投与群	30 ppm	150 ppm	750 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	1.33	6.55	31.9

本試験において、750 ppm 投与群の母動物で糞量の減少、体重増加抑制及び摂餌量減少が認められ、胎児ではいずれの投与群でも検体投与に関連した異常は認められなかったことから、無毒性量は母動物で 150 ppm（6.55 mg/kg 体重/日）、胎児で本試験の最高用量 750 ppm（31.9 mg/kg 体重/日）であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 57）

（4）発達神経毒性試験（ラット）

SD ラット（一群雌 25 匹）の妊娠 6 日～哺育 21 日に混餌（原体：0、25、100 及び 400 ppm：平均検体摂取量は表 55 参照）投与して、発達神経毒性試験が実

施された。なお、検体摂取量を一定にするために、哺育 4～11 日には各群の飼料中濃度を 50%に、哺育 11～21 日には 40%に減少させた。

表 55　発達神経毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		25 ppm	100 ppm	400 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	妊娠期	1.8	7.1	27.7
	哺育期	1.9	7.6	29.8

本試験において、母動物ではいずれの投与群でも検体投与の影響は認められず、児動物では、400 ppm 投与群で出生から生後 4 日（淘汰前）までの生存率低下、生後 1 及び 4 日の低体重、平面立ち直り反応の出現の遅延が認められたことから、無毒性量は母動物で本試験の最高用量 400 ppm（妊娠期：27.7 mg/kg 体重/日、哺育期：29.8 mg/kg 体重/日）、児動物で 100 ppm（妊娠期：7.1 mg/kg 体重/日、哺育期：7.6 mg/kg 体重/日）であると考えられた。発達神経毒性は認められなかった。（参照 58）

（５）１世代繁殖試験（ラット、代謝物 D）

SD ラット（一群雌雄各 12 匹）を用いた代謝物 D の混餌（代謝物 D：0、1,000、2,000 及び 5,000 ppm：平均検体摂取量は表 56 参照）投与による 1 世代繁殖試験が実施された。交配の 2 週間前から、哺育 22～24 日まで混餌投与した。

表 56　１世代繁殖試験（ラット、代謝物 D）の平均検体摂取量

投与群		1,000 ppm	2,000 ppm	5,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	80.8	162	396
	雌	95.1	183	468

本試験において、5,000 ppm 投与群の親動物の雌雄で肝比重量増加及び小葉中心性/中間帯肝細胞肥大が認められ、児動物ではいずれの投与群でも検体投与の影響は認められなかったことから、無毒性量は親動物の雌雄で 2,000 ppm（雄：162 mg/kg 体重/日、雌：183 mg/kg 体重/日）、児動物で本試験の最高用量 5,000 ppm（雄：396 mg/kg 体重/日、雌：468 mg/kg 体重/日）であると考えられた。繁殖能に対する影響は認められなかった。（参照 59）

（６）発生毒性試験（ラット、代謝物 D）

SD ラット（一群雌 26 匹）の妊娠 6～21 日に代謝物 D を混餌（代謝物 D：0、1,000、2,000 及び 5,000 ppm：平均検体摂取量は表 57 参照）投与して、発生毒性試験が実施された。

表 57　発生毒性試験（ラット、代謝物 D）の平均検体摂取量

投与群	1,000 ppm	2,000 ppm	5,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	74.4	152	368

本試験において、5,000 ppm 投与群の母動物で投与開始初期に体重増加抑制及び摂餌量減少が認められ、胎児ではいずれの投与群でも検体投与に関連した異常は認められなかったことから、無毒性量は母動物で 2,000 ppm（152 mg/kg 体重/日）、胎児で本試験の最高用量 5,000 ppm（368 mg/kg 体重/日）であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 60）

１３．遺伝毒性試験

スルホキサフロル（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、ラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験、チャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた遺伝子突然変異試験及びマウスを用いた小核試験が実施された。

試験結果は表 58 に示されているとおり、全て陰性であったことから、スルホキサフロルに遺伝毒性はないものと考えられた。（参照 61～64）

表 58　遺伝毒性試験概要（原体）

試験		対象	処理濃度・投与量	結果
in vitro	復帰突然変異試験	*Salmonella typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *Escherichia coli* (WP2*uvr*A 株)	100~5,000 μg/プレート(+/-S9)	陰性
	染色体異常試験	ラットリンパ球	693.3~2,773 μg/mL (+/-S9) (4 時間処理) 173.3~693.3 μg/mL (-S9) (24 時間処理)	陰性
	遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣細胞(CHO-K_1-BH_4)	173.3~2,773 μg/mL (+/-S9)	陰性
in vivo	小核試験	ICR マウス(骨髄細胞) (一群雌雄各 5 匹)	100、200 及び 400 mg/kg 体重/日 (2 日間連続強制経口投与)	陰性

+/- S9：代謝活性化系存在下及び非存在下

代謝物 B（動物、植物及び水中光分解由来）、D（植物及び土壌由来）、G（動物、植物及び土壌由来）及び H（植物及び土壌由来）の細菌を用いた復帰突然変異試験、ラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験並びにチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた遺伝子突然変異試験並びに代謝物 K（動物由来）の細菌を用いた復帰突然変異試験が実施された。

結果は表 59 に示されているとおり、全て陰性であった。（参照 65～77）

表 59　遺伝毒性試験概要（代謝物）

被験物質	試験	対象	処理濃度・投与量	結果
B	復帰突然変異試験	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2*uvr*A 株)	50~5,000 μg/プレート (+/-S9)	陰性
	染色体異常試験	ラットリンパ球	480~1,920 μg/mL (+/-S9) (4 時間処理) 120~480 μg/mL (-S9) (24 時間処理)	陰性
	遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣細胞 (CHO-K_1-BH_4)	120~1,920 μg/mL (+/-S9)	陰性
D	復帰突然変異試験	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2*uvr*A 株)	100~5,000 μg/プレート (+/-S9)	陰性
	染色体異常試験	ラットリンパ球	738.25~2,953 μg/mL (-S9) (4 及び 24 時間処理) 369.1~2,953 μg/mL (+S9) (4 時間処理)	陰性
	遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣細胞 (CHO-K_1-BH_4)	184.6~2,953 μg/mL (+/-S9)	陰性
G	復帰突然変異試験	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2*uvr*A 株)	50~5,000 μg/プレート (+/-S9)	陰性
	染色体異常試験	ラットリンパ球	635~2,540 μg/mL (+/-S9) (4 時間処理) 158.8~635 μg/mL (-S9) (24 時間処理)	陰性
	遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣細胞 (CHO-K_1-BH_4)	158.8~2,540 μg/mL (+/-S9)	陰性
H	復帰突然変異試験	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2*uvr*A 株)	50~5,000 μg/プレート (+/-S9)	陰性
	染色体異常試験	ラットリンパ球	631.3~2,525 μg/mL (+/-S9) (4 時間処理) 631.3~2,525 μg/mL (-S9) (24 時間処理)	陰性
	遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣細胞 (CHO-K_1-BH_4)	157.8~2,525 μg/mL (+/-S9)	陰性

K	復帰突然変異試験	*S. typhimurium* (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株) *E. coli* (WP2*uvr*A 株)	15~5,000 μg/プレート (+/-S9)	陰性

+/- S9：代謝活性化系存在下及び非存在下。

１４．その他の試験

（１）肝肥大/肝腫瘍の発生機序検討試験

ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験［11.（２）］及びマウスを用いた 18 か月間発がん性試験［11.（３）］において、肝腫瘍の発生頻度増加が認められたため、マウス及びラットを用いた肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験が実施された。（参照 78）

①　マウスを用いた肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験

ICR マウス（一群雌雄各 5 匹）にスルホキサフロルを 7 日間混餌（原体：雄；0、500 及び 750 ppm、雌；0、1,000 及び 1,500 ppm：平均検体摂取量は表 60 参照）投与して、肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験が実施された。

表 60　マウスを用いた肝肥大/肝腫瘍機序検討試験の平均検体摂取量

投与群		500 ppm	750 ppm	1,000 ppm	1,500 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	89	128		
	雌			211	323

いずれの投与群においても体重変化及び血液生化学検査値（ALT、AST、Chol 及び TG）に検体投与の影響はみられなかった。

本試験並びに 90 日間亜急性毒性試験［10.（２）］及びその用量設定試験として行われた 28 日間反復投与試験の雄動物を用いて、標的遺伝子の発現が解析された。結果概要は表 61 に示されている。雄動物は検体の肝臓に対する影響が強かったことから選択された。

雄マウスの肝臓では、投与群で *Cyp2b10* の発現増加、*Cyp3a11* の軽度な増加が認められたが、*Cyp4a10* の変動は認められなかった。薬物代謝酵素活性のうち PROD 及び BROD 活性並びに EROD 活性の有意な増加が認められた。7 日間投与においてのみ肝細胞増殖亢進（肝小葉中心性及び中間帯）が認められた。本剤による肝肥大は、フェノバルビタール誘導型 P450 の mRNA 発現の増加を伴っていた。

表 61　雄マウスにおける肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験の結果概要

投与期間(日)	投与群(ppm)	標的遺伝子発現[c]			薬物代謝酵素活性[c]			肝絶対重量	肝比重量	肝細胞肥大発生頻度			肝細胞増殖[d]
		Cyp2b10	*Cyp3a11*	*Cyp4a10*	EROD	PROD	BROD			軽微	軽度	中等度	
7	500	42.1*	1.6	1.2	1.49#	4.17#	6.76#	-	-	0/5	0/5	0/5	↑
	750	54.8*	2.7*	1.0	1.64#	4.41#	7.40#	-	↑	5/5	0/5	0/5	↑
28[a]	300	61.7*	1.5	-1.6	1.42#	4.94#	9.49#	-	-	0/5	0/5	0/5	-
	1,500							-	↑	0/5	5/5	0/5	
	3,500							↑	↑	0/5	0/5	5/5	
90[b]	100							-	-	9/10	0/10	0/10	
	750	56.5*	2.8*	-3.6	1.23#	3.86#	4.22#	↑	↑	0/10	9/10	1/10	↓
	1,250							↑	↑	0/10	1/10	9/10	

[a]：28 日間反復経口投与用量設定試験の動物から採取した肝臓試料を用いた試験。
[b]：90 日間亜急性毒性試験［10.（2）］の動物から採取した肝臓試料を用いた試験。
[c]：数値は対照群に対する倍数を示す。
[d]：7 日間投与群では BrdU、28 日間及び 90 日間投与試験では Ki-67 をマーカーとした免疫組織学的染色法が用いられた。
/：測定されず、-：有意差なし。
*：p<0.05（Wilcoxon 二標本検定）、#：p<0.05（分散分析）、↑↓：p<0.05（Dunnett 検定）

②　ラットを用いた肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験

Fischer ラット（一群雌雄各 5 匹）にスルホキサフロルを 3 日間又は 7 日間混餌（原体：0、100、750 及び 1,500 ppm：平均検体摂取量は表 62 参照）投与して、肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験が実施された。

表 62　ラットを用いた肝肥大/肝腫瘍機序検討試験の平均検体摂取量

投与期間		3 日間			7 日間		
投与群		100 ppm	750 ppm	1,500 ppm	100 ppm	750 ppm	1,500 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	8.85	60.3	99.2	8.02	58.6	102
	雌	7.83	50.6	83.3	7.74	53.1	94.4

3 及び 7 日間投与試験のいずれにおいても、1,500 ppm の雌雄で体重増加抑制及び摂餌量減少が認められた。

検体の肝臓に対する影響が強い雄動物を対象とし、肝臓における標的遺伝子の発現解析及び薬物代謝酵素活性測定を行った。試験結果の概要は表 63 に示されている。

顕著な *CYP2B1* の発現増加並びに *CYP1A1* 及び *CYP3A1(3A23)* の発現増加が認められたが、*CYP4A22* については認められなかった。薬物代謝酵素活性では、PROD の明らかな増加及び BROD の軽度な増加がみられた。肝重量については、3 日間投与試験の 1,500 ppm 投与群及び 7 日間投与試験の 750 ppm 以上

投与群で比重量が有意に増加した。組織学的検査では、90 日間亜急性毒性試験［10.（1）］の用量設定試験として実施された 28 日間反復経口投与試験（投与量：0、300、1,000 及び 2,000 ppm）の 1,000 ppm 以上、90 日間亜急性毒性試験［10.（1）］の 750 ppm 以上投与群で肝細胞肥大が認められた。7 日間投与試験においても 1,500 ppm 投与群でごく軽微な肝細胞肥大が認められた。また、7 日間投与試験の 750 ppm 以上投与群で小葉中心性及び中間帯における肝細胞の増殖亢進が認められた。本剤による肝肥大は、フェノバルビタール誘導型 P450 の mRNA の増加を伴っていた。

表 63　雄ラットにおける肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験の結果概要

投与期間（日）	投与群（ppm）	標的遺伝子発現 [a]				薬物代謝酵素活性 [a]			肝比重量	肝細胞増殖 [b]
		CYP1A1	*CYP2B1*	*CYP3A1 (3A23)*	*CYP4A22*	EROD	PROD	BROD		
3	100	1.70	9.65*	1.29	-1.09	1.26#	1.26	1.25	-	-
	750	2.76*	586*	3.38*	-1.46	1.61#	8.38#	2.30#	-	-
	1,500	12.2*	1,060*	8.83*	-1.33	1.55#	10.9	1.58#	↑	-
7	100	1.08	7.19*	1.16	-1.29	1.11	1.29	1.31	-	-
	750	3.15*	558*	3.29*	-1.85*	1.11	9.57#	4.76#	↑	↑
	1,500	12.3*	848*	9.32*	-2.05*	1.00	10.2#	3.73#	↑	↑

[a]：数値は対照群に対する倍数を示す。
[b]：Ki-67 をマーカーとした免疫組織学的染色法が用いられた。
-：有意差なし。
*：$p<0.05$（Wilcoxon 二標本検定）、#：$p<0.05$（分散分析）、↑：$p<0.05$（Dunnett 検定）

③　トランスジェニックマウスを用いた肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験

CAR/PXR ノックアウトマウス（CARKO/PXRKO）及びヒト CAR/PXR ノックインマウス（hCAR/hPXR）（一群雄 10 匹）に、スルホキサフロルを 7 日間混餌（原体：0 及び 750 ppm：平均検体摂取量は表 64 参照）投与して、野生型 C57BL/6J マウスとトランスジェニックマウスの肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験が実施された。

表 64　トランスジェニックマウスを用いた肝肥大/肝腫瘍機序検討試験の平均検体摂取量

動物	野生型	CARKO/PXRKO	hCAR/hPXR
投与群	750 ppm	750 ppm	750 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	116	120	99.3

試験結果の概要は表 65 に示されている。

いずれの投与群においても体重変化、摂餌量及び血液生化学検査値（ALT、AST、ALP、Chol 及び TG）に検体投与の影響はみられなかった。

野生型マウスでは、顕著な *Cyp2b10* 発現増加、PROD の顕著な増加及び BROD の増加、肝絶対及び比重量の増加並びに肝細胞肥大及び肝細胞増殖亢進が認められた。CARKO/PXRKO マウスの投与群では *Cyp2b10* の発現増加、肝薬物代謝酵素活性の亢進並びに肝肥大及び肝細胞増殖亢進は認められなかった。hCAR/hPXR マウスでは、*Cyp2b10* 発現増加、肝薬物代謝酵素の誘導、肝比重量増加及び肝細胞肥大が認められたが、その程度は野生型に比べて低かった。

これらの結果から、本剤による肝肥大は、主としてマウス CAR 及びマウス PXR を介していることが明らかとなった。

表 65　トランスジェニックマウスを用いた肝肥大/肝腫瘍発生機序検討試験の結果概要

試験群（投与量）	標的遺伝子発現	薬物代謝酵素活性[a]		肝重量		肝細胞肥大発生頻度		肝細胞増殖[a]（BrdU 標識法）
	Cyp2b10	PROD	BROD	絶対重量	比重量	軽微	軽度	
野生型（750 ppm）	顕著な発現応答	33.3 ↑	3.61 ↑	↑	↑	2/10	8/10	3.65 ↑
CARKO/PXRKO（750 ppm）	発現応答なし	1.02	1.64	-	-	0/10	0/10	1.39
hCAR/hPXR（750 ppm）	発現応答あり	2.49 ↑	2.91 ↑	-	↑	3/10	7/10	1.52

[a]：数値は対照群に対する倍数を示す。
↑：$p<0.001$（Student t 検定、両側）、-：有意差なし。

以上の結果より、本剤の投与で認められた肝肥大には、核内受容体 CAR 及び PXR が関与している可能性が示唆された。

（２）代謝物 D の肝臓に対する影響検討試験

スルホキサフロルの投与により、ラット及びマウスで肝腫瘍の発生頻度が増加［11.（２）及び（３）］し、代謝物 D の反復投与でラットに肝重量増加、肝細胞肥大等が認められた［10.（７）］ことから、本試験は、代謝物 D の肝臓に対する作用機序についてスルホキサフロルと比較することを目的として実施された。

Fischer ラット（一群雄 6 匹）に代謝物 D を 7 日間混餌（代謝物 D：0 及び 8,000 ppm、平均検体摂取量は 583 mg/kg 体重/日）投与して、肝臓中の CAR 関連遺伝子、肝酵素活性誘導及び肝細胞増殖について検索した。

8,000 ppm 投与群で体重増加抑制、肝絶対及び比重量増加並びに小葉中心性/中間帯肝細胞肥大がみられた。また、肝臓中の *CYP2B1* 及び *CYP2B2* 並びに *CYP3A1(3A23)* の遺伝子発現増加、PROD 活性の増加、肝小葉中心性、中間帯

及び周辺帯の 3 領域における細胞増殖亢進が認められ、これらはスルホキサフロルと同様の反応であった。（参照 79）

（３）精巣腫瘍の発生機序検討試験

①　血中ホルモン値への影響

ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験［11.（2）］において、精巣間細胞腺腫の発生頻度増加が認められたため、雄の Fischer ラット及び SD ラット（各系統とも一群 15 匹）にスルホキサフロルを 8 週間混餌（原体：0、25、100 及び 500 ppm：平均検体摂取量は表 66 参照）投与して、経時的に観察する精巣腫瘍の発生機序検討試験が実施された。間細胞腫瘍誘発及び包皮分離遅延の認められた用量である 500 ppm が最高用量として選択された。

表 66　平均検体摂取量

投与群		25 ppm	100 ppm	500 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	Fischer ラット	1.41	5.58	27.8
	SD ラット	1.37	5.59	27.7

いずれの系統においても、500 ppm 投与群で肝絶対及び比重量増加が認められたが、精巣重量には投与に関連した変化はみられなかった。

投与 2 週時に、各群 3 匹に ^{14}C-テストステロンを静脈内投与して胆汁中排泄試験が実施された。その結果、^{14}C-テストステロンの胆汁中排泄率、胆汁中濃度及び血漿中濃度には、検体投与の影響は認められなかった。

投与 2、4 及び 8 週時に各群 3～12 匹から血液を採取し、テストステロン、17β-エストラジオール、プロラクチン及び LH の濃度が測定された。その結果、いずれの変動も持続性ではなく、用量相関性も明らかではないものの、両系統のラットにおいて、25 ppm 以上投与群でテストステロン及び LH の増加傾向並びにプロラクチンの減少傾向が認められた。E2 はいずれの時期でも検出限界以下であった。

Fischer ラット（各群 4 匹）を対象として、投与 4 週の剖検時に精巣の LH 受容体の免疫組織化学的検査が実施されたが、LH 陽性ライディッヒ細胞数に検体投与の影響は認められなかった。精巣の LH 受容体及びプロラクチン受容体の遺伝子発現について、リアルタイム PCR 法により調べたところ、500 ppm 投与群の投与 4 週時において、精巣の LH 受容体及びプロラクチン受容体の遺伝子発現の減少がみられた。テストステロン産生関連遺伝子（*StAR*、*CYP11a1*、*CYP17a1*、*HSD3b* 及び *SDR5a1*）の精巣における発現に影響は認められなかった。（参照 80）

② マイクロダイアリシス法による視床下部のドーパミンに対する影響

SD ラット（雄）を用いて、マイクロダイアリシス法によりスルホキサフロルを 400 μM 又は 2 mM の用量で視床下部に投与し、ドーパミン並びにその主要代謝物であるジヒドロキシフェニル酢酸（DOPAC）及びホモバニリン酸（HVA）の視床下部基底正中細胞外濃度が測定された。陽性対照として高濃度のカリウム（K^+、50 mM）が同様に投与された。

その結果、スルホキサフロル投与群では細胞外ドーパミン濃度が用量相関的に増加したが、DOPAC 及び HVA 濃度に統計学的有意差は認められなかった。カリウム投与群では細胞外ドーパミン濃度の有意な増加及び HVA 濃度の有意な低下がみられたが、DOPAC 濃度に変化はみられなかった。（参照 88）

＜精巣腫瘍の発生機序検討試験のまとめ＞

一般的に、ドーパミン作動薬は血中プロラクチンを減少させ、精巣間細胞の LH への応答性を低下させることで、テストステロン産生を抑制する。その結果、LH の上昇がもたらされて、精巣間細胞過形成及び腺腫が誘発されることが知られている。しかし、機序検討試験の結果、本剤は精巣間細胞腺腫発生に関連すると考えられているドーパミンアゴニスト様作用を有する可能性が示唆されたが、確定できる十分な証拠は得られなかった。

（4）新生児死亡及び胎児異常の発生機序検討試験

① ラットを用いた交叉哺育試験

ラットを用いた 2 世代繁殖試験［12.（1）］において新生児死亡が認められたため、本試験は、この影響が子宮内ばく露によるものか、又は哺乳によるものかを明らかにすることを目的として実施された。

SD ラット（一群雌 32 匹）にスルホキサフロルを交配開始 2 週間前から混餌（原体：0 及び 1,000 ppm）投与し、未処置の雄と交配した。各群の交配雌を里親とドナーの 2 群に分け、里親については自然分娩させて、分娩後速やかに児動物を取り除いた。ドナーについては妊娠 21 日に帝王切開し、得られた児動物を所定の里親に移して哺育させた。その際、各里親には対照群及び検体投与群のドナー由来の児動物をそれぞれ雌雄各 2 匹（一腹児数を 8 とした）を哺育させた。雌動物への投与は哺育 21 日まで継続され、一般毒性影響、血液及び乳汁における薬物動態解析並びに繁殖能及び児動物の生存率について検討された。

1,000 ppm 投与群の母動物の交配前、妊娠期及び哺育期における平均検体摂取量はそれぞれ 81.2、74.5 及び 59.5 mg/kg 体重/日であった。1,000 ppm 投与群の母動物では、体重増加抑制及び摂餌量減少が認められた。妊娠 21 日及び哺育 0 日において、母動物及び児動物におけるスルホキサフロルの血漿中濃度は同等で、哺育 0 日における乳汁中濃度は血漿中濃度の約 1/2 であった（表 67）。

交叉哺育試験の結果、検体投与群のドナー由来の児動物は、対照群及び検体投

与群のいずれの里親に哺育された場合にも哺育 4 日までに全例が死亡したが、対照群のドナー由来の児動物については、検体投与群の里親に哺育されても生存率に影響は認められなかった（表 68）。したがって、児動物に対する検体の影響は、哺乳によるものではなく、子宮内ばく露に起因するものであると考えられた。（参照 81）

表 67　1,000 ppm 投与群における薬物動態解析結果

試料			妊娠 21 日	哺育 0 日
母動物	血漿中濃度（μg/g）		27.0	22.4
	乳汁中濃度（μg/g）			13.3
児動物	血漿中濃度（μg/g）	雄	24.8	25.3
		雌	24.8	25.9

表 68　交叉哺育試験結果

里親	児動物（由来するドナーの試験群）	結果
対照	対照	影響なし
	1,000 ppm	哺育 4 日までに全例死亡
1,000 ppm	対照	影響なし
	1,000 ppm	哺育 4 日までに全例死亡

②　ウサギにおける新生児生存率に及ぼす影響試験

ラットを用いた 2 世代繁殖試験［12.（1）］において新生児死亡が認められたため、本試験は、ウサギにおける新生児生存率に及ぼす影響を評価するために実施された。

NZW ウサギ（妊娠雌、一群 12 匹）の妊娠 7～28 日にスルホキサフロルを混餌（原体：0 及び 750 ppm）投与して自然分娩させ、哺育 4 日まで児動物を哺育させた。

その結果、750 ppm 投与群の母動物では、糞排泄の減少、体重増加抑制及び摂餌量の減少がみられたが、児動物の出生後の生存率及び一般状態には検体投与に関連した影響は認められなかった。（参照 82）

③　哺乳類ニコチン性アセチルコリン受容体に対するアゴニスト試験

ラットを用いた発生毒性試験［12.（2）］において、四肢異常（前肢屈曲及び後肢回旋）並びに骨格異常（屈曲鎖骨）が認められた。これらの影響が胎児神経筋接合部の nAChR に対するアゴニスト作用によるものであるかを検証する目的で、リガンド結合試験及び受容体機能特性解析試験が実施された。（参照 83）

a．リガンド結合試験

SD ラット及び NZW ウサギの胎児前肢筋組織並びにヒト胎児腎培養細胞の

nAChR に対するスルホキサフロルの結合性について検討するため、nAChR に対して高度の親和性を持つ放射性リガンドである ^{3}H-epibatidine（30 nM）と非標識のスルホキサフロル（濃度範囲：0.3 μM～30 mM）が結合置換することを利用した拮抗結合試験が実施された。

ラット、ウサギ及びヒトの試料のいずれにおいても、スルホキサフロルの濃度の上昇に伴い、用量相関性のある ^{3}H-epibatidine の結合置換が認められた。高濃度のスルホキサフロルでは、ほぼ ^{3}H-epibatidine に置換された。^{3}H-epibatidine に対する最大置換の半分となる濃度（IC_{50}）を求めた（表 69）ところ、ヒト及びウサギの試料から得られたデータは単結合モデルに当てはまったが、ラット胎児前肢筋のデータは当てはまらなかった。ラット胎児前肢筋のデータは高低異なる親和性を示す結合モデルによく適合した。

表 69　^{3}H-epibatidine に対する最大置換の半分となる濃度（IC_{50}）（mM）

試料	単結合モデル	複次（2）結合モデル
ヒト胎児腎培養細胞	0.2	-
ウサギ胎児前肢筋組織	0.4	-
ラット胎児前肢筋組織	2.3	0.01 及び 8.9

b．受容体機能特性解析試験

ラット胎児若しくは成獣の筋肉又はヒト胎児若しくは成人の筋肉由来 nAChR を発現させたアフリカツメガエルの卵母細胞に、ACh（陽性対照）、スルホキサフロル又は代謝物 D を添加し、二電極のボルテージクランプ法を用いて膜電位が測定された。

その結果、ラット胎児の筋肉由来 nAChR を発現させたアフリカツメガエルの卵母細胞のみが、スルホキサフロルの添加により反応を示した（表 70）。

表 70　nAChR アゴニスト活性（ACh の最高値反応に対する比率%）

nAChR の種類	スルホキサフロル	代謝物 D
ラット胎児筋肉	39	反応なし
ラット成獣筋肉	反応なし	測定せず
ヒト胎児筋肉	反応なし	測定せず
ヒト成人筋肉	反応なし	測定せず

以上より、スルホキサフロルはラット胎児筋肉の nAChR のアゴニストであることが示されたが、ラット成獣、ヒト胎児及びヒト成人の筋肉における nAChR にはアゴニスト作用を示さなかった。スルホキサフロルの選択的な nAChR のアゴニスト作用は、受容体を構成するサブユニットにおけるアミノ酸配列の差によるものと考えられた。

④ ラット児動物に対するばく露の臨界期検討試験－１

本試験は、ラットにおける胎児異常及び新生児死亡の誘発に関するスルホキサフロルばく露の臨界期を調べる目的で実施された。

SD ラット（一群雌 12 匹）の妊娠 6～16 日（全胚形成期から妊娠 16 日に開始する初期胎動がみられるまでの期間：第一投与群）又は妊娠 16 日～分娩まで（四肢運動の同調の発達を含む分娩までの期間：第二投与群）にスルホキサフロルを混餌（原体：0 及び 1,000 ppm）投与して自然分娩させ、哺育 4 日まで母動物及び児動物の観察が行われた。

試験結果の概要は表 71 に示されている。

母動物では、第一投与群及び第二投与群のいずれにおいても、体重増加抑制及び摂餌量減少が認められたが、児動物では第二投与群においてのみ、低体重、生存率低下に加え、ラットの発生毒性試験［12.（２）］と同様に、前肢屈曲及び後肢回旋の四肢異常が観察された。この四肢異常の発生頻度は哺育 0 日において最も高く、哺育 1～3 日には徐々に減少し、哺育 4 日には異常はみられなかった（表 72）。哺育 0 日から 4 日まで、四肢異常を示した各児を観察した結果、5 腹の 21 例で四肢異常の回復が確認された。

ラットの発生毒性試験［12.（２）］では 1,000 ppm 投与群で胎児に観察された蛇行尿管/水尿管及び屈曲鎖骨は、本試験の哺育 4 日の児動物には認められなかった。以上より、スルホキサフロルによって誘発された胎児異常及び新生児死亡に対する発生学的感受性の臨界期は妊娠 16 日から分娩までの間にあり、胎児異常は出生後速やかに回復することが示された。（参照 84）

表 71　臨界期検討試験－１の結果概要

投与群	第一投与群	第二投与群
投与量	1,000 ppm	1,000 ppm
投与期間	妊娠 6~16 日	妊娠 16 日~分娩
検体摂取量(mg/kg 体重/日)	65.7~86.1	20.8~53.8
血漿中の検体濃度(μg/g)	35.4~40.9(妊娠 16 日)	32.1~43.2(妊娠 21 日)
母動物に対する影響	・体重増加抑制及び摂餌量減少	・体重増加抑制及び摂餌量減少
児動物に対する影響	影響なし	・生存率低下 ・低体重 ・四肢異常(哺育 0~3 日)

表 72　第二投与群の児動物における四肢異常の発生頻度

観察日	哺育 0 日	哺育 1 日	哺育 2 日	哺育 3 日	哺育 4 日
前肢屈曲	50/143↑ (11/12)	38/119↑ (9/12)	6/71↑ (4/12)	0/68 (0/12)	0/67 (0/12)
後肢回旋	19/143↑ (8/12)	8/119↑ (6/12)	2/71 (2/12)	1/68 (1/12)	0/67 (0/12)

注）（）内の数値は腹数を示す。↑：$p<0.05$（Wilcoxon 検定）

⑤　ラット児動物に対するばく露の臨界期検討試験−２

本試験は、ラットにおける胎児異常及び新生児死亡に関するスルホキサフロルばく露の臨界期をより詳細に調べる目的で、臨界期検討試験-1［14.（４）④］で影響がみられた妊娠 16 日～分娩までのばく露期間を 48 時間ずつに分けて実施された。

SD ラット（妊娠雌、一群 10 匹）の妊娠 16 日午前～18 日の午前（第一投与群）、妊娠 18 日午前～20 日午前（第二投与群）及び妊娠 20 日午前～分娩（第三投与群）までにスルホキサフロルを混餌（原体：0 及び 1,000 ppm）投与して自然分娩させ、哺育 4 日まで母動物及び児動物を観察した。

試験結果の概要は表 73 に示されている。

第三投与群の児動物で生存率低下及び四肢異常が認められ、哺育 0 日には半数以上の腹で前肢屈曲及び後肢回旋が観察されたが、哺育 2 日にはいずれの四肢異常も認められなかった（表 74）。臨界期検討試験-1［14.（４）④］と同様に、児動物の四肢異常の回復性を解析した結果、6 腹の 7 例で哺育 0 日から 2 日の間に回復がみられた。本試験においても、哺育 4 日の児動物に蛇行尿管/水尿管及び屈曲鎖骨は認められなかった。

以上より、スルホキサフロルによって誘発された胎児異常及び新生児死亡に対する発生学的感受性の臨界期は妊娠 20 日から分娩までの間にあり、胎児異常は出生後速やかに回復することが示された。（参照 85）

表 73　臨界期検討試験−２の結果概要

投与群	第一投与群	第二投与群	第三投与群
投与量	1,000 ppm	1,000 ppm	1,000 ppm
投与期間	妊娠 16~18 日	妊娠 18~20 日	妊娠 20 日~分娩
検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	63.9	42.5	35.7
検体の血漿中濃度 (μg/g)	16.4~33.3 (妊娠 18 日)	23.0~30.2 (妊娠 20 日)	16.1(妊娠 22 日) 5.41~6.69(哺育 0 日)
母動物に対する影響	・体重増加抑制及び摂餌量減少	・体重増加抑制及び摂餌量減少	・体重増加抑制傾向及び摂餌量減少
児動物に対する影響	影響なし	影響なし	・生存率低下 ・四肢異常 (哺育 0 及び 1 日)

表 74　第三投与群の児動物における四肢異常の発生頻度

観察日	哺育 0 日	哺育 1 日	哺育 2 日	哺育 3 日	哺育 4 日
前肢屈曲	7/96 ↑ (4/8)	4/96 (3/8)	0/86 (0/8)	0/86 (0/8)	0/86 (0/8)
後肢回旋	11/96 ↑ (6/8)	5/96 (2/8)	0/86 (0/8)	0/86 (0/8)	0/86 (0/8)

注）( )内の数値は腹数を示す。↑：$p<0.05$（Wilcoxon 検定）

臨界期検討試験-1 及び-2［14.（4）④及び⑤］の結果から、スルホキサフロルによって誘発された胎児異常及び新生児死亡に対する発生学的感受性の臨界期は分娩直前にあり、胎児異常は出生後速やかに回復することが示された。これらの結果より、分娩直前に機能発現が発達する胎児筋肉の nAChR に対する薬理作用によって、胎児異常及び新生児死亡を誘発することが示唆された。

⑥　ラット新生児の横隔神経−片側横隔膜に対する影響試験

哺乳類の nAChR に対するアゴニスト試験［14.（4）③］により、本剤はラット胎児筋肉の nAChR のアゴニストである一方で、ラット成獣並びにヒト胎児及び成人の筋肉にはアゴニスト作用を持たないことが示された。そこで、本試験では呼吸に影響する横隔膜への作用を調べる目的で、横隔神経-片側横隔膜に対する影響試験が実施された。

SD ラットの新生児（生後 0 日）から採取した横隔神経－片側横隔膜の標本を生理食塩水で潅流し、筋腱に取り付けたミオグラフワイヤーを用いて筋緊張を記録した。陽性対照物質として ACh、ニコチン拮抗薬としてツボクラリンが用いられた。

その結果、検体添加で可逆的な収縮が認められ、添加を延長すると持続的な拘縮が観察された。拘縮に付随して横隔膜神経誘発の筋攣縮が減少し、呼吸阻害又は四肢筋肉の異常（前肢屈曲及び後肢回旋）が引き起こされる可能性が示唆され

た。（参照 86）

⑦　ラット胎児肺の病理組織学的検査

ラットの新生児死亡が、肺組織における病理組織学的変化によるものかを確認するために、ラットを用いた発生毒性試験[12.（2）]で得られた対照群及び 1,000 ppm 投与群の胎児を用いて、気管及び肺の病理組織学的検査が実施された。その結果、ラット新生児死亡の原因と考えられる形態学的異常は認められなかった。（参照 87）

＜新生児死亡及び胎児異常の発生機序検討試験のまとめ＞

以上の機序検討試験の結果、次のような知見が得られた。①本剤はラット胎児筋肉の nAChR に結合して受容体を活性化させた。②本剤の投与でラット児動物の横隔膜に可逆的な拘縮が認められた。③投与の延長により、ラット児動物の横隔膜筋に持続的な筋肉拘縮がみられた。④胎児異常が発現するのは妊娠 20～22 日にばく露した場合のみであった。分娩直前である妊娠 21～22 日は、ラットの胎児筋肉の nAChR 機能が発現する時期と一致していた。したがって、ラットの繁殖試験及び発生毒性試験で認められた胎児異常は、胎児筋肉の nAChR を介して発現すると考えられるが、この発現はラット特異的であり、ヒトには外挿されない変化である可能性が高いと考えられた。新生児死亡については詳細な機序は不明であるが、本剤の子宮内ばく露による nAChR に対する薬理作用が関連していると考えられた。

Ⅲ．食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて、農薬「スルホキサフロル」の食品健康影響評価を実施した。第 2 版の改訂に当たっては、厚生労働省から、作物残留試験（国内：未成熟とうもろこし、もも等、海外：アーティチョーク、マンゴー等）の成績等が新たに提出された。

^{14}C で標識したスルホキサフロルを用いた動物体内運命試験の結果、ラットに経口投与されたスルホキサフロルの体内吸収率は、投与後 168 時間で少なくとも 92.0%と算出された。組織への蓄積性は認められなかった。排泄は速やかであり、主に尿中に排泄された。尿中放射能の主要成分は未変化のスルホキサフロルで、ほかに代謝物 C が少量検出された。糞中ではスルホキサフロルのみが同定された。畜産動物（ヤギ及びニワトリ）では、肝臓において代謝物 K が 10%TRR を超えて検出された。

^{14}C で標識したスルホキサフロルを用いた植物体内運命試験の結果、植物体内において 10%TRR を超えて検出された代謝物は D、E 及び F であった。

国内におけるスルホキサフロル並びに代謝物 B、D 及び G を分析対象化合物とした作物残留試験の結果、各化合物の可食部における最大残留値はしそ（葉）の 8.78 mg/kg（スルホキサフロル）、しそ（葉）の 0.45 mg/kg（代謝物 B）、チンゲンサイの 0.66 mg/kg（代謝物 D）及びみかん（果皮）の 0.12 mg/kg（代謝物 G）であった。

海外におけるスルホキサフロルを分析対象化合物とした作物残留試験の結果、最大残留値はほうれんそう（葉）の 3.26 mg/kg であった。

海外における畜産物残留試験の結果、スルホキサフロルの最大残留値は乳牛で肝臓の 3.69 μg/g、産卵鶏で肝臓の 1.14 μg/g であった。

各種毒性試験結果から、スルホキサフロル投与による影響は、主に肝臓（重量増加、肝細胞肥大等）及び精巣（重量増加等）に認められた。発達神経毒性、免疫毒性及び遺伝毒性は認められなかった。

発がん性試験において、雄ラットで肝細胞腺腫及び精巣間細胞腺腫、雌雄マウスで肝細胞腺腫及び肝細胞癌の発生頻度増加が認められた。機序検討試験の結果、肝腫瘍はフェノバルビタール誘導型の核内受容体介在性の機序により誘発されたものであることが示唆された。精巣間細胞腺腫の発生機序については確定できる十分な証拠は得られなかったが、ドーパミンアゴニスト様作用による可能性が示唆された。したがって、腫瘍の発生機序はいずれも遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると判断された。

繁殖試験においてラットの新生児死亡が認められ、発生毒性試験においてラット胎児の四肢異常等が、母体毒性がみられる用量で認められた。機序検討試験の結果、これらの異常はいずれもラット胎児期に特異的に発現するニコチン受容体に起因する可能性が考えられたため、ヒトでこれらの異常が発現する可能性は低いと考えられた。

植物体において代謝物D、E及びFが、畜産動物においてKが10%TRRを超えて検出されたが、D及びKの毒性はスルホキサフロルと比較して弱く、遺伝毒性試験結果は陰性であったこと、E及びFはBの抱合体であり、Bの毒性もスルホキサフロルと比較して弱く、遺伝毒性試験結果は陰性であったことから、これらの代謝物はばく露評価対象物質には含めないこととし、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をスルホキサフロル（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量等は表75に、単回経口投与等により惹起されると考えられる毒性影響等は表76にそれぞれ示されている。

ラット生殖発生毒性に関連した各種機序試験より、ラットの胎児及び児動物に観察された毒性は、ラット特異的でありヒトには外挿されない可能性が高いことから、ヒトが単回経口投与等により惹起される毒性影響等とは考えられないと判断した。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験の4.25 mg/kg体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.042 mg/kg体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、スルホキサフロルの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の25 mg/kg体重であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.25 mg/kg体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

ADI	0.042 mg/kg体重/日
（ADI設定根拠資料）	慢性毒性/発がん性併合試験
（動物種）	ラット
（期間）	2年間
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	4.25 mg/kg体重/日
（安全係数）	100

ARfD	0.25 mg/kg体重
（ARfD設定根拠資料）	急性神経毒性試験
（動物種）	ラット
（期間）	単回
（投与方法）	強制経口
（無毒性量）	25 mg/kg体重
（安全係数）	100

表 75　各試験における無毒性量等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 1)
ラット	90 日間 亜急性毒性、 免疫毒性及 び神経毒性 併合試験	0、100、750、1,500 ppm 雄：0、6.36、47.6、 94.9 雌：0、6.96、51.6、 101	雄：6.36 雌：6.96	雄：47.6 雌：51.6	雌雄：肝細胞肥大等 (免疫毒性及び亜急 性神経毒性は認め られない)
	2 年間 慢性毒性/ 発がん性 併合試験	雄：0、25、100、 500 ppm 雌：0、25、100、 750 ppm 雄：0、1.04、4.25、 21.3 雌：0、1.28、5.13、 39.0	雄：4.25 雌：5.13	雄：21.3 雌：39.0	雄：精巣絶対及び比 重量増加等 雌：変異肝細胞巣等 肝細胞腺腫及び精 巣間細胞腺腫発生 頻度増加(雄)
	2 世代 繁殖試験	0、25、100、400 ppm P 雄：0、1.52、 6.07、24.6 P 雌：0、1.91、 7.82、30.5 F_1 雄：0、1.74、 6.86、28.1 F_1 雌：0、2.11、 8.39、34.3	親動物 P 雄：6.07 P 雌：30.5 F_1 雄：6.86 F_1 雌：34.3 児動物 P 雄：6.07 P 雌：7.82 F_1 雄：6.86 F_1 雌：8.39	親動物 P 雄：24.6 P 雌：- F_1 雄：28.1 F_1 雌：- 児動物 P 雄：24.6 P 雌：30.5 F_1 雄：28.1 F_1 雌：34.3	親動物 雄：肝絶対及び比重 量増加等 雌：毒性所見なし 児動物：生児出産率 低下等 (繁殖能に対する影 響は認められない)
	発生毒性 試験	0、25、150、1,000 ppm 0、1.95、11.5、 70.2	母動物：11.5 胎児：11.5	母動物：70.2 胎児：70.2	母動物：体重増加抑 制等 胎児：四肢異常等
	発達神経 毒性試験	0、25、100、400 ppm 妊娠期：0、1.8、 7.1、27.7 哺育期：0、1.9、 7.6、29.8	母動物 妊娠期：27.7 哺育期：29.8 児動物 妊娠期：7.1 哺育期：7.6	母動物 妊娠期：- 哺育期：- 児動物 妊娠期：27.7 哺育期：29.8	母動物：毒性所見な し 児動物：出生から生 後 4 日までの生存 率低下等 (発達神経毒性は認 められない)

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 [1]
マウス	90 日間 亜急性 毒性試験	雄：0、100、750、1,250 ppm 雌：0、100、1,500、3,000 ppm 雄：0、12.8、98.0、166 雌：0、16.2、247、489	雄：12.8 雌：16.2	雄：98.0 雌：247	雌雄：肝絶対及び比重量増加等
	18 か月間 発がん性 試験	雄：0、25、100、750 ppm 雌：0、25、250、1,250 ppm 雄：0、2.54、10.4、79.6 雌：0、3.43、33.9、176	雄：10.4 雌：33.9	雄：79.6 雌：176	雌雄：肝絶対及び比重量増加等 肝細胞腺腫及び肝細胞癌発生頻度増加(雌雄)
ウサギ	発生毒性 試験	0、30、150、750 ppm 0、1.33、6.55、31.9	母動物：6.55 胎児：31.9	母動物：31.9 胎児：-	母動物：体重増加抑制等 胎児：毒性所見なし (催奇形性は認められない)
イヌ	90 日間 亜急性 毒性試験	0、1、3、10/6 [2]	雌雄：6	雌雄：10	雌雄：体重及び摂餌量減少
	1 年間慢性 毒性試験	0、1、3、6	雌雄：6	雌雄：-	雌雄：毒性所見なし

-：最小毒性量は設定できなかった。
[1]：備考には最小毒性量で認められた毒性所見の概要を示した。
[2]：10 mg/kg 体重/日投与群の雌雄において、投与第 1 週に体重及び摂餌量の減少が認められ、最大耐量を超えたと判断されたため、投与 5 日目から投与量が 6 mg/kg 体重/日に引き下げられた。

表 76　単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重又は mg/kg 体重/日)	無毒性量及び急性参照用量設定に関連するエンドポイント 1) (mg/kg 体重又は mg/kg 体重/日)
ラット	一般薬理試験 (一般状態)	0、250、500、750	雌雄：250 雌雄：受動性、毛づくろい、反応性、自発運動、体姿勢及び呼吸数の抑制等
	急性神経毒性試験	0、2.5、7.5、25、75、750	雌雄：25 雌雄：自発運動量減少
マウス	一般薬理試験 (一般状態)	0、125、250、500	雌雄：125 雌雄：自発運動及び正向反射の抑制等
ARfD			NOAEL：25 SF：100 ARfD：0.25
ARfD 設定根拠資料			ラット急性神経毒性試験

ARfD：急性参照用量　SF：安全係数　NOAEL：無毒性量
1)：最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

＜別紙１：代謝物/分解物略称＞

記号	略称	化学名
B	X11721061 アルコール体	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル] エタノール
C	B の グルクロン酸抱合体	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル ヘキソピラヌロネート
D	X11719474 ウレア体	1-[メチル(オキシド){1-[6-(トリフルオロメチル) ピリジン-3-イル]エチル}-λ⁶-スルファニリデン]ウレア 別名：N-(メチル)オキシド{1-[6-(トリフルオロメチル) ピリジン-3-イル]エチル}-λ⁴-スルファニリデン)ウレア
E	X11863595 B のグルコース抱合体	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル ヘキソピラノシド
F	X11889781 B のグルコース/ マロニル抱合体	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エチル 6-O-(カルボキシアセチル)ヘキソピラノシド
G	X11519540	5-[1-(メチルスルホニル)エチル]-2- (トリフルオロメチル) ピリジン
H	X11579457	5-[1-(S-メチルスルホンイミドイル)エチル]-2- (トリフルオロメチル)ピリジン
J	X11718922	1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタノン
K	X11556066	5-エチル-2-(トリフルオロメチル)ピリジン 別名：1-[6-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル]エタン

＜別紙２：検査値等略称＞

略称	名称
ACh	アセチルコリン
AhR	アリルハイドロカーボン受容体
ai	有効成分量（active ingredient）
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ ［=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ（GPT）］
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ ［=グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ（GOT）］
AUC	薬物濃度曲線下面積
BrdU	5-ブロモ-2'-デオキシウリジン
BROD	ベンジルオキシレゾルフィン *O*-ベンジラーゼ
CAR	恒常性アンドロスタン受容体の同義語（constitutively active receptor）
Chol	コレステロール
C_{max}	最高濃度
CYP	チトクローム P450 アイソザイム
E2	17β-エストラジオール
EROD	エトキシレゾルフィン *O*-デエチラーゼ
FOB	機能観察総合検査
GGT	γ-グルタミルトランスフェラーゼ ［=γ-グルタミルトランスペプチダーゼ（γ-GTP）］
Glob	グロブリン
Hb	ヘモグロビン（血色素量）
Ht	ヘマトクリット値［＝血中血球容積（PCV）］
LC_{50}	半数致死濃度
LD_{50}	半数致死量
LH	黄体形成ホルモン
MC	メチルセルロース
nAChR	ニコチン性アセチルコリン受容体
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
PPARα	ペルオキシソーム増殖剤活性化受容体α
PROD	ペントキシレゾルフィン *O*-デペンチラーゼ
PXR	プレグナン X 受容体
RBC	赤血球数
$T_{1/2}$	消失半減期

TAR	総投与（処理）放射能
T.Chol	総コレステロール
TG	トリグリセリド
TP	総蛋白質
T_{max}	最高濃度到達時間
TRR	総残留放射能

＜別紙３：作物残留試験成績（国内）＞

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲 （露地） （玄米） 2010年度	2	150 SC	3	3*	0.36	0.36	0.01	0.01	0.04	0.04		
				7	0.35	0.34	0.01	0.01	0.04	0.04		
				14	0.44	0.44	0.02	0.02	0.05	0.04		
			3	3*	0.35	0.35	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				7	0.45	0.45	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				14	0.35	0.34	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
水稲 （露地） （稲わら） 2010年度	2	150 SC	3	3*	3.39	3.38	0.50	0.49	0.09	0.08		
				7	0.57	0.56	0.14	0.14	0.05	0.04		
				14	0.37	0.37	0.28	0.28	0.04	0.04		
			3	3*	8.10	7.98	0.34	0.33	0.06	0.06		
				7	1.85	1.82	0.20	0.20	0.06	0.06		
				14	0.62	0.60	0.13	0.12	0.05	0.04		
水稲 （露地） （玄米） 2012年度	2	146 SC	3	7	0.48	0.48	0.02	0.02	0.02	0.02		
				14	0.22	0.22	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.03	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				42	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
			3	7	0.25	0.24	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				14	0.31	0.30	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				21	0.14	0.14	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				28	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
水稲 （露地） （稲わら） 2012年度	1	146 SC	3	7	1.49	1.46	0.50	0.48	0.09	0.09		
				14	0.27	0.26	0.12	0.12	0.07	0.06		
				21	0.03	0.03	0.04	0.04	0.06	0.06		
				28	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	0.04		
				35	<0.01	<0.01	0.05	0.04	0.03	0.02		
				42	<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.02	0.02		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲 (露地) (稲わら) 2012年度	1	146 SC	3	7	0.81	0.81	0.12	0.12	0.07	0.06		
				14	0.24	0.24	0.06	0.06	0.05	0.05		
				21	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03		
				28	0.01	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02		
				35	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.02		
				42	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.02	0.02		
水稲 (露地) (籾米) 2012年度	2	146 SC	3	7	3.48	3.48	0.11	0.11	0.13	0.13		
				14	1.40	1.36	0.06	0.06	0.07	0.07		
				21	0.15	0.15	0.03	0.03	0.02	0.02		
				28	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				42	<0.01	<0.01	0.05	0.05	<0.01	<0.01		
			3	7	1.66	1.60	0.06	0.06	0.10	0.10		
				14	1.25	1.23	0.05	0.05	0.12	0.12		
				21	0.47	0.46	0.03	0.03	0.06	0.06		
				28	0.17	0.16	0.02	0.02	0.03	0.03		
				35	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
				42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
水稲 (露地) (玄米) 2014年度	1	100-103* SC	3	7	0.11	0.11	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				14	0.11	0.11	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				21	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				28	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				35	0.03	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1	100 SC	3	7	0.11	0.11	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				14	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲 (露地) (稲わら) 2014年度	1	100-103* SC	3	7	0.65	0.64	0.08	0.08	0.04	0.04		
				14	0.16	0.16	0.03	0.03	0.03	0.03		
				21	0.06	0.06	0.01	0.01	0.03	0.03		
				28	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
	1	100 SC	3	7	0.96	0.96	0.08	0.08	0.05	0.05		
				14	0.40	0.40	0.05	0.04	0.03	0.03		
				21	0.03	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01		
				28	0.02	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01		
				35	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
水稲 (露地) (籾米) 2014年度	1	100-103* SC	3	7	1.36	1.35	0.02	0.02	0.08	0.08		
				14	0.94	0.92	0.03	0.02	0.08	0.08		
				21	0.80	0.78	0.02	0.02	0.09	0.09		
				28	0.27	0.27	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				35	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
	1	100 SC	3	7	1.54	1.52	0.04	0.04	0.08	0.08		
				14	0.77	0.75	0.03	0.03	0.06	0.06		
				21	0.12	0.12	0.02	0.02	0.01	0.01		
				28	0.10	0.10	0.02	0.02	0.01	0.01		
				35	<0.01	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
水稲a (露地) (玄米) 2015年度	3	100 SC	3	7	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				14	0.13	0.12	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				21	0.11	0.11	<0.01	<0.01	0.09	0.09		
				28	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
			3	7	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				14	0.15	0.14	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				21	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				28	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
			3	7	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				14	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				21	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲a (露地) (玄米) 2015年度	1	100 SC	3	7 14 21 28	0.11 0.11 0.01 <0.01	0.11 0.10 0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	0.05 0.06 0.03 0.02	0.05 0.05 0.03 0.02		
水稲a (露地) (稲わら) 2015年度	4	100 SC	3	7	0.14	0.14	0.02	0.02	0.27	0.26		
			3	7	0.08	0.08	0.03	0.03	0.14	0.14		
			3	7	0.20	0.19	0.05	0.04	0.26	0.26		
			3	7	1.89	1.82	0.17	0.17	0.37	0.36		
水稲a (露地) (籾米) 2015年度	4	100 SC	3	7	0.71	0.70	<0.01	<0.01	0.05	0.04		
			3	7	0.72	0.71	0.01	0.01	0.14	0.13		
			3	7	0.73	0.73	0.02	0.02	0.28	0.28		
			3	7	1.49	1.46	0.04	0.04	0.50	0.50		
水稲a (露地) (玄米) 2015年度	3	100 SC	3	7 14 21 28	0.12 0.08 0.09 0.06	0.12 0.08 0.09 0.06	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	0.09 0.07 0.09 0.09	0.09 0.06 0.09 0.09		
			3	7 14 21 28	0.05 0.10 0.07 0.07	0.05 0.10 0.07 0.07	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	0.03 0.06 0.05 0.06	0.02 0.06 0.04 0.06		
			3	7 14 21 28	0.06 0.09 0.08 0.16	0.06 0.08 0.08 0.16	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	0.04 0.06 0.05 0.15	0.04 0.06 0.05 0.15		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
水稲[a] (露地) (稲わら) 2015年度	3	100 SC	3	7	0.77	0.75	0.08	0.08	0.12	0.12		
				14	0.25	0.24	0.04	0.04	0.12	0.12		
				21	0.06	0.06	0.03	0.03	0.05	0.05		
				28	0.14	0.14	0.04	0.04	0.10	0.10		
			3	7	0.16	0.16	0.05	0.05	0.04	0.04		
				14	0.05	0.05	0.03	0.03	0.06	0.06		
				21	0.02	0.02	0.03	0.03	0.05	0.04		
				28	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05		
			3	7	0.18	0.18	0.05	0.05	0.06	0.06		
				14	0.09	0.09	0.04	0.04	0.10	0.10		
				21	0.05	0.04	0.02	0.02	0.05	0.05		
				28	0.05	0.05	0.03	0.03	0.15	0.14		
水稲[a] (露地) (籾米) 2015年度	3	100 SC	3	7	1.28	1.26	0.02	0.02	0.19	0.19		
				14	1.40	1.37	0.03	0.03	0.30	0.30		
				21	0.40	0.38	0.02	0.02	0.11	0.11		
				28	0.45	0.44	0.03	0.03	0.30	0.30		
			3	7	0.35	0.34	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				14	0.58	0.57	<0.01	<0.01	0.11	0.11		
				21	0.39	0.38	<0.01	<0.01	0.11	0.10		
				28	0.32	0.32	<0.01	<0.01	0.17	0.16		
			3	7	0.46	0.46	0.01	0.01	0.08	0.08		
				14	0.55	0.54	0.02	0.02	0.11	0.10		
				21	0.46	0.45	0.02	0.02	0.11	0.11		
				28	0.75	0.74	0.02	0.02	0.34	0.34		
飼料用稲[a] (露地) (植物体全体) 2016年度	1	140 SC	3	7	1.50	1.48	0.24	0.24	0.33	0.32		
				14	0.38	0.38	0.08	0.08	0.33	0.32		
				21	0.07	0.06	0.02	0.02	0.22	0.22		
	1	133 SC	3	7	0.56	0.56	0.06	0.06	0.23	0.23		
				14	0.33	0.33	0.05	0.05	0.27	0.26		
				21	0.07	0.07	0.04	0.04	0.18	0.18		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
飼料用稲[a] （露地） （植物体全体） 2016年度	2	100 SC	3	7	0.25	0.25	0.02	0.02	0.19	0.18		
				14	0.13	0.12	<0.01	<0.01	0.18	0.18		
				21	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.11	0.10		
			3	7	0.37	0.37	0.02	0.02	0.17	0.17		
				14	0.18	0.18	0.01	0.01	0.16	0.16		
				21	0.06	0.06	0.02	0.02	0.14	0.14		
飼料用稲[a] （露地） （植物体全体） 2016年度	2	100 SC	3	7	1.06	1.06	0.10	0.10	0.11	0.11		
				14	0.50	0.49	0.07	0.07	0.10	0.10		
				21	0.05	0.05	0.05	0.04	0.10	0.10		
			3	7	1.14	1.12	0.08	0.08	0.14	0.14		
				14	0.15	0.14	0.05	0.05	0.06	0.06		
				21	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
小麦[a] （露地） （玄麦） 2013 年度	2	75 WG	2	7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		65 WG	2	7	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
小麦[a] （露地） （玄麦） 2014 年度	4	70 WG	2	7	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
		72.5 WG	2	7	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		66.5 WG	2	7	0.19	0.19	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
		65.5 WG	2	7	0.11	0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
未成熟 とうもろこし[a] （露地） （種子） 2014 年度	2	85.0 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		92.6 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
未成熟 とうもろこし[a] (露地) (種子) 2015 年度	1	91.2 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
だいず[a] (露地) (乾燥子実) 2015 年度	2	200 SC	3	14	0.16	0.16	0.03	0.03	0.01	0.01		
				21	0.34	0.34	0.05	0.04	0.02	0.02		
				28	0.46	0.46	0.06	0.06	0.03	0.03		
				42	0.29	0.28	0.03	0.03	0.03	0.03		
				56	0.14	0.14	0.03	0.03	0.02	0.02		
		180-188 SC	3	14	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	0.16	0.16	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				28	0.29	0.28	0.02	0.02	0.02	0.02		
				42	0.38	0.36	0.06	0.05	0.02	0.02		
				56	0.11	0.10	0.06	0.06	0.01	0.01		
だいず[a] (露地) (乾燥子実) 2016 年度	2	200 SC	3	14	0.13	0.13	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	0.23	0.23	0.01	0.01	0.02	0.02		
				28	0.55	0.54	0.03	0.03	0.03	0.03		
				35	0.44	0.42	0.03	0.03	0.03	0.03		
				42	0.07	0.07	0.02	0.02	0.01	0.01		
				49	0.42	0.42	0.05	0.04	0.03	0.03		
				56	0.06	0.06	0.04	0.04	0.02	0.02		
		167 SC	3	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.10	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	0.21	0.21	0.01	0.01	0.01	0.01		
				42	0.39	0.38	0.03	0.03	0.03	0.03		
				49	0.36	0.35	0.03	0.03	0.03	0.03		
				56	0.25	0.24	0.03	0.02	0.03	0.02		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
だいず[a] (露地) (乾燥子実) 2016 年度	2	167 SC	3	14	0.13	0.13	0.06	0.06	0.02	0.02		
				21	0.16	0.16	0.06	0.06	0.02	0.02		
				28	0.19	0.19	0.07	0.06	0.03	0.03		
				35	0.23	0.22	0.05	0.05	0.05	0.04		
				42	0.20	0.20	0.05	0.05	0.05	0.05		
				49	0.14	0.14	0.03	0.03	0.04	0.04		
				56	0.05	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02		
		155 - 160 SC	3	14	0.10	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.26	0.25	0.01	0.01	0.01	0.01		
				28	0.46	0.44	0.02	0.02	0.02	0.02		
				35	0.57	0.56	0.04	0.04	0.02	0.02		
				42	0.50	0.49	0.04	0.04	0.03	0.03		
				49	0.34	0.34	0.04	0.04	0.03	0.03		
				56	0.25	0.24	0.04	0.04	0.03	0.03		
いんげんまめ[a] (露地) (乾燥子実) 2017 年度	2	80.5 WG、 91 WG	3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				28	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				35	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
		80.5 WG、 90 WG	3	14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				28	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				56	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.02	0.02		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
ばれいしょ (露地) (塊茎) 2012年度	1	93.5 WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	1	90.5 WG	3	7	<0.005	<0.005	0.010	0.010	<0.005	<0.005		
				14	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005		
				21	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005		
				28	<0.005	<0.005	0.010	0.010	<0.005	<0.005		
ばれいしょ (露地) (塊茎) 2013年度	1	100 WG	3	7	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005		
	1	100 WG	3	7	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005		
	1	85 WG、96.5 WG	3	7	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005		
	1	92 WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	1	85 WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
ばれいしょ (露地) (塊茎) 2014年度	1	156* WG	3	7	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005		
				14	<0.005	<0.005	0.011	0.010	0.005	0.005		
				21	<0.005	<0.005	0.011	0.011	0.006	0.006		
				28	<0.005	<0.005	0.010	0.010	0.006	0.006		
	1	156* WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				14	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005		
				21	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005		
				28	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005		
ばれいしょ[a] (露地) (塊茎) 2015年度	1	50 WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	1	50 WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
				28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
ばれいしょ[a] （露地） （塊茎） 2016年度	1	52* WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	1	50 WG	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
ばれいしょ[a] （露地） （塊茎） 2016年度	1	90.3 SC	3	7 14 21	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005		
	1	91.7 SC	3	7 14 21	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005		
ばれいしょ[a] （露地） （塊茎） 2017年度	1	95 SC	3	7	<0.005	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005		
	1	90.3 SC	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	1	84.6 SC	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	1	83.1 SC	3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
やまのいも[a] （露地） （塊茎） 2016年度	1	89.8 SC	3	3 7 14 21	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01		
	1	89.8 SC	3	3 7 14 21	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01 <0.01		
やまのいも[a] （露地） （塊茎） 2017年度	1	89.8 SC	3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
てんさい (露地) (根部) 2013年度	1	100 WG	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1	104 WG	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
てんさい (露地) (根部) 2014年度	1	100 WG	3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
だいこん (露地) (根部) 2010 年度	2	119 SC	3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		95 SC	3	1	0.05	0.05	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				3	0.04	0.04	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				7	0.03	0.03	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
だいこん (露地) (葉部) 2010 年度	2	119 SC	3	1	5.01	4.86	0.39	0.39	0.02	0.02		
				3	1.40	1.38	0.12	0.12	0.02	0.02		
				7	0.66	0.66	0.09	0.08	0.04	0.04		
		95 SC	3	1	0.84	0.84	0.09	0.09	0.01	0.01		
				3	0.45	0.44	0.07	0.07	0.01	0.01		
				7	0.40	0.40	0.12	0.12	0.02	0.02		
はくさい (露地) (茎葉) 2012 年度	2	91.2-119 SC	3	3	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
		133 SC	3	3	0.57	0.56	0.06	0.06	0.01	0.01		
				7	0.18	0.18	0.08	0.08	0.01	0.01		
				14	0.13	0.13	0.11	0.11	0.01	0.01		
				21	0.05	0.05	0.09	0.09	0.01	0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
はくさい (露地) (茎葉) 2013 年度	4	90.3 SC	3	3	0.15	0.15	0.03	0.03	0.02	0.02		
		143 SC	3	3	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		119 SC	3	3	0.02	0.02	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
		124 SC	3	3	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
キャベツ (露地) (葉球) 2010 年度	2	143 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		95 SC	3	1	0.21	0.21	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.15	0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.10	0.10	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
こまつな[a] (施設) (茎葉) 2016 年度	2	90.3 SC	3	1	1.52	1.50	0.04	0.04	0.07	0.06		
				3	0.89	0.88	0.03	0.03	0.06	0.06		
				7	0.69	0.68	0.03	0.03	0.06	0.06		
		89.3 SC	3	1	0.82	0.78	0.06	0.06	0.09	0.09		
				3	0.29	0.29	0.05	0.05	0.07	0.07		
				7	0.08	0.08	0.04	0.04	0.05	0.05		
こまつな[a] (施設) (茎葉) 2017 年度	1	85 SC	3	1	1.05	1.05	0.10	0.10	0.07	0.06		
				3	0.81	0.80	0.15	0.15	0.08	0.08		
				7	0.24	0.24	0.11	0.11	0.05	0.05		
みずな[a] (施設) (茎葉) 2016 年度	2	89.3 SC	3	1	1.56	1.48	0.12	0.12	0.08	0.08		
				3	0.41	0.41	0.07	0.07	0.07	0.07		
				7	0.26	0.26	0.11	0.10	0.08	0.08		
		95 SC	3	1	1.60	1.54	0.16	0.15	0.10	0.10		
				3	0.63	0.62	0.13	0.13	0.09	0.08		
				7	0.27	0.27	0.37	0.36	0.11	0.10		
チンゲンサイ[a] (施設) (茎葉) 2016 年度	2	76-80.3 SC	3	1	1.06	1.06	0.07	0.07	0.04	0.04		
				3	0.75	0.74	0.09	0.08	0.04	0.04		
				7	0.36	0.36	0.09	0.09	0.03	0.03		
		90.3 SC	3	1	2.19	2.17	0.17	0.17	0.05	0.05		
				3	1.88	1.86	0.21	0.21	0.07	0.07		
				7	1.83	1.81	0.20	0.20	0.09	0.08		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
チンゲンサイ[a] （施設） （茎葉） 2017 年度	1	95 SC	3	1 3 7	2.59 1.74 0.81	2.55 1.70 0.81	0.41 0.66 0.62	0.40 0.66 0.62	0.07 0.09 0.07	0.07 0.08 0.06		
ブロッコリー[a] （露地） （花蕾） 2016 年度	2	119 SC	3	1 3 7	0.96 0.52 0.08	0.94 0.52 0.08	0.02 0.01 0.01	0.02 0.01 0.01	0.01 0.02 0.02	0.01 0.02 0.02		
		105 SC	3	1 3 6	0.27 0.08 0.03	0.26 0.08 0.03	0.01 0.01 <0.01	0.01 0.01 <0.01	0.02 0.01 <0.01	0.02 0.01 <0.01		
ブロッコリー[a] （露地） （花蕾） 2017 年度	1	132 SC	3	1	0.73	0.71	0.01	0.01	0.01	0.01		
ごぼう[a] （露地） （根部） 2016年度	1	89.8 SC	3	7 14 21 28	0.008 0.006 <0.005 <0.005	0.008 0.006 <0.005 <0.005	0.009 0.007 0.005 0.005	0.008 0.006 0.005 0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005		
	1	95 SC	3	7 14 21 28	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005	0.008 <0.005 <0.005 <0.005	0.008 <0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005	<0.005 <0.005 <0.005 <0.005		
ごぼう[a] （露地） （根部） 2017年度	1	89.8 SC	3	7	0.006	0.006	0.005	0.005	<0.005	<0.005		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
レタス (施設) (茎葉) 2011 年度	2	140 SC	3	1	0.29	0.28	0.05	0.05	<0.01	<0.01		
				3	0.27	0.27	0.06	0.06	<0.01	<0.01		
				7	0.06	0.06	0.07	0.07	<0.01	<0.01		
		105 SC×2 141 SC×1	3	1	0.43	0.42	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.26	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.24	0.24	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
サラダ菜 (施設) (茎葉) 2013 年度	2	89 SC	3	1	3.95	3.88	0.30	0.30	0.01	0.01		
				3	1.89	1.88	0.25	0.24	0.02	0.02		
				7	0.68	0.66	0.12	0.12	<0.01	<0.01		
				14	0.04	0.04	0.09	0.09	<0.01	<0.01		
		85.5 SC	3	1	2.29	2.28	0.10	0.10	<0.01	<0.01		
				3	1.66	1.64	0.14	0.14	<0.01	<0.01		
				7	0.37	0.37	0.09	0.08	<0.01	<0.01		
				14	0.05	0.05	0.07	0.07	<0.01	<0.01		
リーフレタス (施設) (茎葉) 2013 年度	2	95 SC	3	1	4.04	3.98	0.20	0.20	<0.01	<0.01		
				3	2.54	2.52	0.34	0.34	0.01	0.01		
				7	1.33	1.32	0.15	0.15	<0.01	<0.01		
				14	0.03	0.03	0.11	0.10	<0.01	<0.01		
		95 SC	3	1	3.56	3.51	0.22	0.22	<0.01	<0.01		
				3	3.34	3.28	0.30	0.30	0.01	0.01		
				7	1.50	1.49	0.26	0.26	<0.01	<0.01		
				14	0.11	0.10	0.15	0.14	<0.01	<0.01		
食用ぎく a (施設) (花器全体) 2019 年度	2	95 SC	2	3	2.91	2.90	0.03	0.03	0.12	0.12		
				7	0.85	0.84	0.02	0.02	0.06	0.06		
				14	0.05	0.05	0.02	0.02	0.03	0.03		
			2	3	2.60	2.54	0.03	0.03	0.04	0.04		
				7	0.67	0.66	0.01	0.01	0.03	0.03		
				14	0.29	0.29	0.02	0.02	0.04	0.04		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
ミニトマト (施設) (果実) 2010 年度	2	285 SC	2	1	0.94	0.94	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.84	0.84	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				7	0.91	0.90	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
		238 SC	2	1	0.33	0.33	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.24	0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.27	0.27	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
ピーマン (施設) (果実) 2013 年度	2	246 SC	2	1	0.68	0.64	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				3	0.73	0.70	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				7	0.38	0.37	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.16	0.16	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
		180 SC	2	1	0.41	0.40	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.26	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.29	0.29	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.15	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
ピーマン (施設) (果実) 2014 年度	1	281 SC	2	1	0.36	0.35	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.22	0.22	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.19	0.18	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
なす (施設) (果実) 2012年度	2	185-236 SC	2	1	0.17	0.17	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.15	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.08	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		285 SC	2	1	0.13	0.13	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.11	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
なす (施設) (果実) 2013年度	4	271 SC	2	1	0.22	0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		235 SC	2	1	0.17	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		143 SC	2	1	0.14	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		245 SC	2	1	0.46	0.44	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
きゅうり （施設） （果実） 2010 年度	2	285 SC	2	1	0.26	0.25	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
			2	1	0.29	0.28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.23	0.23	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.10	0.10	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
ほうれんそう[a] （施設） （茎葉） 2016 年度	2	86.0 SC	2	1*	7.71	7.56	0.33	0.33	0.09	0.09		
				3	4.51	4.50	0.30	0.30	0.10	0.10		
				7	3.56	3.47	0.39	0.39	0.08	0.08		
				14	0.96	0.94	0.15	0.14	0.05	0.05		
		87.4 SC	2	1*	7.20	7.17	0.11	0.11	0.08	0.08		
				3	6.82	6.67	0.12	0.12	0.09	0.09		
				7	5.87	5.66	0.14	0.14	0.11	0.10		
				14	2.94	2.89	0.16	0.16	0.09	0.09		
ほうれんそう[a] （施設） （茎葉） 2017 年度	4	75 SC、 79.3 SC	2	3	4.01	3.86	0.09	0.09	0.12	0.12		
				14	0.60	0.59	0.03	0.03	0.04	0.04		
		85.5 SC	2	3	5.39	5.34	0.22	0.22	0.12	0.12		
				14	0.81	0.81	0.35	0.35	0.09	0.09		
		85.0 SC	2	3	7.77	7.72	0.13	0.12	0.18	0.18		
				14	2.76	2.76	0.06	0.06	0.13	0.13		
		85.0 SC	2	3	6.19	6.08	0.11	0.11	0.09	0.09		
				14	2.17	2.17	0.09	0.09	0.05	0.05		
えだまめ[a] （露地） （さや） 2016 年度	2	189 SC	2	1	0.07	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		190 SC	2	1	0.66	0.66	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				3	1.04	1.04	0.03	0.02	0.02	0.02		
				7	0.74	0.74	0.03	0.02	0.03	0.03		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
えだまめ[a] (露地) (さや) 2017 年度	1	180-181 SC	2	1	0.35	0.34	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				3	0.28	0.28	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				7	0.19	0.18	0.01	0.01	0.02	0.02		
				14	0.39	0.38	0.01	0.01	0.04	0.04		
				21	0.23	0.22	0.01	0.01	0.04	0.04		
みかん (施設) (果肉) 2010年度	2	608 SC	3	1	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		520 SC	3	1	0.05	0.04	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.05	0.05	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.05	0.05	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
みかん (施設) (果皮) 2010年度	2	608 SC	3	1	3.12	3.10	0.07	0.07	<0.02	<0.02	0.05	0.05
				3	2.99	2.98	0.08	0.08	<0.02	<0.02	0.04	0.04
				7	2.83	2.80	0.08	0.08	<0.02	<0.02	0.03	0.03
		520 SC	3	1	3.45	3.38	0.47	0.46	<0.02	<0.02	0.12	0.12
				3	2.22	2.20	0.53	0.52	<0.02	<0.02	0.09	0.09
				7	1.39	1.38	0.64	0.64	<0.02	<0.02	0.07	0.06
みかん (施設) (全果実)[b] 2010年度	2	608 SC	3	1		0.93		<0.03		<0.01		
				3		0.93		<0.03		<0.01		
				7		0.91		<0.03		<0.01		
		520 SC	3	1		0.49		0.07		<0.01		
				3		0.32		0.07		<0.01		
				7		0.23		0.09		<0.01		
なつみかん (露地) (果実全体) 2010年度	2	475 SC	3	1	0.63	0.62	0.24	0.24	<0.01	<0.01		
				3	0.27	0.27	0.10	0.10	<0.01	<0.01		
				7	0.22	0.22	0.06	0.06	<0.01	<0.01		
		605 SC	3	1	0.90	0.89	0.33	0.32	<0.01	<0.01		
				3	0.85	0.85	0.33	0.33	<0.01	<0.01		
				7	0.80	0.78	0.33	0.32	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
りんご (露地, 無袋) (果実) 2010 年度	2	428 SC	3	1 3 7	0.09 0.13 0.09	0.09 0.12 0.09	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01
			3	1 3 7	0.28 0.18 0.22	0.28 0.18 0.22	0.01 0.01 0.01	0.01 0.01 0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	0.01 0.01 0.01	0.01 0.01 0.01
なし (露地) (果実) 2011 年度	2	380 SC	3	1 3 7	0.49 0.34 0.26	0.48 0.34 0.26	0.03 0.03 0.03	0.02 0.03 0.03	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
		410 SC	3	1 3 7	0.50 0.24 0.17	0.49 0.24 0.17	0.02 0.01 0.01	0.02 0.01 0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
なし (露地) (全果実) [b] 2011 年度	2	380 SC	3	1 3 7		0.44 0.35 0.27		0.02 0.03 0.03		<0.01 <0.01 <0.01		
		410 SC	3	1 3 7		0.50 0.25 0.19		0.02 0.01 0.01		<0.01 <0.01 <0.01		
かぼす (露地) (果実全体) 2010年度	1	586 SC	3	1 3 7	0.38 0.28 0.24	0.38 0.28 0.24	0.02 0.02 0.03	0.02 0.02 0.03	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	0.01 <0.01 <0.01	0.01 <0.01 <0.01
すだち (露地) (果実全体) 2010年度	1	475 SC	3	1 3 7	0.56 0.37 0.27	0.56 0.37 0.27	0.01 0.01 0.02	0.01 0.01 0.02	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
もも[a] (露地) (果肉) 2012 年度	2	333 SC	3	7	0.24	0.24	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.10	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.34	0.34	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		316 SC	3	7	0.07	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.05	0.05	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.16	0.16	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				28	0.15	0.15	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
もも[a] (露地) (果皮) 2012 年度	2	333 SC	3	7	3.09	3.07	0.17	0.16	0.04	0.04		
				14	0.56	0.56	0.04	0.04	0.01	0.01		
				21	2.67	2.60	0.10	0.10	0.03	0.02		
				28	0.10	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		316 SC	3	7	1.03	1.02	0.05	0.04	0.02	0.02		
				14	0.44	0.44	0.03	0.03	0.01	0.01		
				21	0.62	0.62	0.07	0.07	0.02	0.02		
				28	0.50	0.49	0.07	0.06	0.01	0.01		
もも[a] (露地) (全果実)[b] 2012 年度	2	333 SC	3	7		0.72		0.04		0.01		
				14		0.15		0.01		0.01		
				21		0.68		0.02		0.01		
				28		0.03		<0.01		<0.01		
		316 SC	3	7		0.21		0.01		0.01		
				14		0.10		0.01		0.01		
				21		0.22		0.03		0.01		
				28		0.18		0.03		0.01		
もも[a] (露地) (果肉) 2013 年度	1	301 SC	3	7	0.20	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.20	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				42	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				56	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
もも[a] (露地) (果肉) 2013 年度	1	304 SC	3	7	0.08	0.08	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.06	0.06	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.05	0.05	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				28	0.08	0.08	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				42	0.05	0.05	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				56	0.04	0.04	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
もも[a] (露地) (果実) 2013 年度	2	301 SC	3	7	0.43	0.42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.33	0.32	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				42	0.08	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				56	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		304 SC	3	7	0.25	0.25	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.14	0.14	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.08	0.08	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				28	0.11	0.11	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				42	0.07	0.06	0.03	0.02	<0.01	<0.01		
				56	0.05	0.05	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
もも[a] (露地) (全果実)[b] 2013 年度	2	301 SC	3	7		0.40		<0.01		<0.01		
				14		0.31		<0.01		<0.01		
				21		<0.01		<0.01		<0.01		
				28		<0.01		<0.01		<0.01		
				42		0.08		<0.01		<0.01		
				56		0.06		<0.01		<0.01		
		304 SC	3	7		0.23		0.02		<0.01		
				14		0.13		0.02		<0.01		
				21		0.07		0.02		<0.01		
				28		0.10		0.02		<0.01		
				42		0.06		0.02		<0.01		
				56		0.05		0.04		<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
すもも (露地) (果実) 2014 年度	2	316 SC	3	3	0.08	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		475 SC	3	3	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.03	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
うめa (露地) (果実) 2012 年度	2	316 SC	3	3	0.18	0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.15	0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.10	0.10	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.07	0.07	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
		304-311 SC	3	3	1.25	1.24	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				7	0.75	0.74	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.27	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.22	0.22	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
うめa (露地) (果実) 2013 年度	1	285 SC	3	3	0.49	0.48	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
おうとうa (施設) (果実) 2014 年度	2	422 SC	3	3	1.59	1.58	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				7	1.34	1.34	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				14	1.16	1.15	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				21	1.08	1.07	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
		428-437 SC	3	3	1.11	1.10	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.86	0.86	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.61	0.60	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.20	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
いちご[a] (施設) (果実) 2014 年度	2	165 SC	3	1	1.08	1.08	0.05	0.04	0.03	0.02		
				3	0.76	0.76	0.04	0.04	0.02	0.03		
				7	0.40	0.40	0.03	0.03	0.01	0.01		
				14	0.21	0.21	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
		170 SC	3	1	0.93	0.92	0.05	0.05	0.01	0.01		
				3	0.72	0.72	0.04	0.04	0.01	0.01		
				7	0.59	0.58	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				14	0.30	0.30	0.05	0.04	<0.01	<0.01		
いちご[a] (施設) (果実) 2014 年度	1	171 SC	3	1	1.99	1.96	0.07	0.07	<0.01	<0.01		
ぶどう[a] (施設) (果実) 2014 年度	2	316 SC	3	1*	1.07	1.06	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				3	0.88	0.86	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				7	1.24	1.19	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				14	0.98	0.95	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				21	0.84	0.80	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
			3	1*	1.78	1.68	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				3	1.41	1.41	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				7	1.28	1.26	0.02	0.02	0.01	0.01		
				14	0.64	0.64	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.51	0.50	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
ぶどう[a] (施設) (果実) 2016 年度	1	316 SC	3	3	0.78	0.78	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				7	1.00	0.99	0.01	0.01	0.05	0.04		
				14	0.86	0.84	0.02	0.02	0.06	0.06		
				21	0.69	0.66	0.02	0.02	0.06	0.06		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
かき[a] (露地) (果実) 2014 年度	2	428 SC	3	1	0.14	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.08	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
		429 SC	3	1	0.31	0.31	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.26	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.26	0.26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.27	0.27	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.22	0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
かき[a] (露地) (果実) 2015 年度	1	428 SC	3	1	0.20	0.19	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.16	0.16	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.11	0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.13	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1	430 SC	3	1	0.14	0.14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.10	0.10	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.11	0.11	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
	1	431 SC	3	1	0.19	0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.23	0.22	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.19	0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.20	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.18	0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
かき[a] (露地) (果実) 2015 年度	1	380 SC	3	1	0.30	0.29	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				3	0.24	0.23	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				7	0.14	0.14	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.17	0.16	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.10	0.10	0.01	0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
すいか (施設) (果肉) 2016 年度	1	153 SC、 235 SC	3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				3	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				14	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.14	0.14		
				21	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.13	0.13		
				28	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				35	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
すいか (施設) (果実) 2016 年度	1	153 SC、 235 SC	3	1	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				3	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				7	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				14	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.14	0.14		
				21	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.12	0.12		
				28	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				35	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
すいか (施設・春作) (果肉) 2017 年度	1	150-238 SC	3	1	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				3	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.12	0.12		
				14	0.05	0.05	0.01	0.01	0.05	0.05		
				21	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
すいか (施設・春作) (果肉) 2017 年度	1	193-268 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				28	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				35	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.04	0.04		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
すいか (施設・春作) (果肉) 2017 年度	1	150-238 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.09	0.09		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.12	0.12		
				14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				28	<0.01	<0.01	0.01	0.01	0.03	0.02		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
すいか (施設・冬作) (果肉) 2017 年度	1	209-238 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	0.04		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				14	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.12	0.12		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.11	0.11		
				28	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.11	0.11		
				35	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
	1	264 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.12	0.12		
				28	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.11	0.10		
				35	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.09	0.09		
すいか (施設・春作) (果実) 2017 年度	1	150-238SC	3	1	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				3	0.11	0.11	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				7	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				14	0.04	0.04	0.01	0.01	0.04	0.04		
				21	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
すいか （施設・春作） （果実） 2017 年度	1	193-268 SC	3	1	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				3	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				7	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.09	0.09		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				28	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				35	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	0.04		
すいか （施設・春作） （果実） 2017 年度	1	150-238 SC	3	1	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				3	0.05	0.04	<0.01	<0.01	0.09	0.08		
				7	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.11	0.10		
				14	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03	0.03		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
すいか （施設・冬作） （果実） 2017 年度	1	209-238 SC	3	1	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				3	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				7	0.08	0.08	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				14	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.11	0.11		
				21	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.11	0.11		
				28	0.05	0.04	<0.01	<0.01	0.10	0.10		
				35	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.09	0.09		
すいか （施設・冬作） （果実） 2017 年度	1	264 SC	3	1	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				3	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				7	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				14	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.09	0.09		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				28	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				35	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.07	0.07		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
メロン[a] （施設） （果肉） 2015 年度	1	237-239 SC	3	1	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
メロン[a] （施設） （果肉） 2015 年度	1	235 SC	3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.03	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
メロン[a] （施設） （果実） 2015 年度	1	237-239 SC	3	1	0.16	0.16	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				3	0.14	0.14	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				7	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				14	0.11	0.11	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				21	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
メロン[a] （施設） （果実） 2015 年度	1	235 SC	3	1	0.21	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.20	0.20	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.15	0.15	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.18	0.18	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
メロン[a] （施設） （果肉） 2016 年度	1	181-189 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.03	0.03	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				35	0.03	0.03	0.01	0.01	<0.01	<0.01		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
メロン[a] （施設） （果実） 2016 年度	1	181-189 SC	3	1	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.09	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.08	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				21	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.05	0.05	0.01	0.01	0.01	0.01		
				35	0.05	0.05	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
メロン[a] （施設） （果肉） 2017 年度	1	157-209 SC	3	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.03	0.03	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.04	0.04	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.06	0.06	0.04	0.04	0.02	0.02		
				35	0.05	0.05	0.03	0.03	0.01	0.01		
				42	0.01	0.01	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
				50	<0.01	<0.01	0.04	0.04	<0.01	<0.01		
メロン[a] （施設） （果肉） 2017 年度	1	198-257 SC	3	1	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				7	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.02	0.02		
				14	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				21	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				28	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				35	0.05	0.04	<0.01	<0.01	0.07	0.06		
				42	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.05	0.05		
				50	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.05	0.05		

作物名 （栽培形態） （分析部位） 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI （日）	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
メロン[a] （施設） （果実） 2017 年度	1	157-209 SC	3	1	0.17	0.17	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				3	0.15	0.14	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				7	0.13	0.12	<0.01	<0.01	0.01	0.01		
				14	0.08	0.08	0.02	0.02	0.02	0.02		
				21	0.10	0.10	0.02	0.02	0.02	0.02		
				28	0.08	0.08	0.04	0.04	0.03	0.03		
				35	0.06	0.06	0.04	0.04	0.02	0.02		
				42	0.01	0.01	0.04	0.04	0.01	0.01		
				50	<0.01	<0.01	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
メロン[a] （施設） （果実） 2017 年度	1	198-257 SC	3	1	0.24	0.24	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				3	0.19	0.18	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				7	0.14	0.14	<0.01	<0.01	0.04	0.04		
				14	0.11	0.10	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				21	0.11	0.10	<0.01	<0.01	0.07	0.07		
				28	0.08	0.08	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				35	0.08	0.08	<0.01	<0.01	0.08	0.08		
				42	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
				50	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.06	0.06		
キウイ フルーツ[a] （露地） （果肉） 2017 年度	1	333 SC	3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
キウイ フルーツ[a] （露地） （果肉） 2017 年度	1	342 SC	3	3	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数	PHI (日)	残留値（mg/kg）							
					スルホキサフロル		D		B		G	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
キウイ フルーツ[a] (露地) (果肉) 2017 年度	1	356 SC	3	3	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				7	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				35	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
キウイ フルーツ[a] (露地) (果実) 2017 年度	1	333 SC	3	3	0.77	0.75	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				7	0.56	0.55	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				14	0.75	0.74	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				21	0.57	0.56	0.03	0.02	<0.01	<0.01		
				28	0.66	0.63	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				35	0.50	0.49	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
	1	342 SC	3	3	1.27	1.22	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				7	0.97	0.96	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.99	0.98	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.51	0.50	0.01	0.01	<0.01	<0.01		
				28	0.48	0.48	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				35	0.61	0.58	0.02	0.02	0.01	0.01		
キウイ フルーツ[a] (露地) (果実) 2017 年度	1	356 SC	3	3	1.41	1.41	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				7	1.03	1.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				14	0.89	0.86	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				21	0.98	0.96	0.03	0.03	<0.01	<0.01		
				28	0.66	0.66	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
				35	0.49	0.46	0.02	0.02	<0.01	<0.01		
しそ (施設) (葉) 2017 年度	2	95 SC	2	1	8.53	8.44	0.23	0.23	0.35	0.34		
				3	4.21	4.20	0.18	0.17	0.45	0.45		
				7	0.32	0.32	0.06	0.06	0.34	0.33		
			2	1	8.78	8.78	0.19	0.18	0.14	0.14		
				3	1.25	1.20	0.05	0.05	0.25	0.24		
				7	0.05	0.05	0.05	0.05	0.09	0.09		

注）・SC：フロアブル剤　WG：顆粒水和剤

・全てのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。
・農薬の使用時期（PHI）が登録又は申請された使用方法から逸脱している場合は、PHI に*を付した。
・代謝物 B の残留値がその抱合体を含む場合、作物名に[a]を付した。
[b]：計算値

＜別紙４：作物残留試験成績（海外）＞

オーストラリア

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	9	240 g/L フロアブル	0.048 kg a.i./ha（計0.096 a.i. kg/ha）	2	8, 16, 28	ほ場A	0.02
					7, 14, 28, 33, 47	ほ場B	0.04
					17	ほ場C	0.05
					17		0.03
					23	ほ場D	0.01
					14	ほ場E	0.02
					0, 8, 16, 28	ほ場F	0.02
					50, 64	ほ場G	<0.006
					0, 7, 14, 28, 33, 47	ほ場H	0.04
					17, 75, 89	ほ場I	0.05
大麦（穀粒）	6	240 g/L フロアブル	0.048 kg a.i./ha（計0.096 a.i. kg/ha）	2	7, 14	ほ場A	0.06
					15	ほ場B	0.037
					14	ほ場C	0.08
					14	ほ場D	<0.01
					0, 7, 14,	ほ場E	0.06
					15, 61, 75	ほ場F	0.37
キャベツ（葉球）	2	240 g/L フロアブル	0.096 g a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	0, 3, 7, 14	ほ場A	0.24
					3	ほ場B	0.01
カリフラワー（花蕾）	2	240 g/L フロアブル	0.096 g a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	<0.005
					0, 4, 7, 14	ほ場B	0.07
ブロッコリー（花蕾）	2	240 g/L フロアブル	0.096 g a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	0, 3, 7, 14	ほ場A	0.07
					3	ほ場B	0.09
芽キャベツ（花蕾）	1	240 g/L フロアブル	0.096 g a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	0, 3, 7, 14	ほ場A	0.04
					4	ほ場B	0.03
赤ピーマン（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	0, 1, 3, 7	ほ場A	0.01
					1	ほ場B	0.01
とうがらし（果実）	4	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	1	ほ場A	0.09
					1	ほ場B	0.44
					0, 1, 3, 7	ほ場B	0.46
					1	ほ場A	0.08
ほうれんそう（葉）	2	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384 kg a.i./ha）	4	0, 3, 7, 14	ほ場A	0.41
					3	ほ場B	0.66
もも（全果実）	8	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	3, 7, 14, 28	ほ場A	0.23
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 28		0.21
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	187		<0.005
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7	ほ場B	0.28
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7		0.13
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	157		<0.005

オーストラリア（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも（全果実）	8	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7		0.16
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場C	0.18
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	86		<0.005
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7		0.15
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場D	0.11
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	180		<0.005
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7	ほ場E	0.02
					3, 7, 14	ほ場F	0.11
					8	ほ場G	0.12
					7	ほ場H	0.11
ネクタリン（全果実）	5	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	3, 7, 14, 28		0.17
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 28	ほ場A	0.13
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	117		<0.005
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7		0.12
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場B	0.13
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	157		0.005
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7		0.11
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場C	0.20
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	86		0.04
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7		0.17
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場D	0.12
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	138		<0.005
			0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7	ほ場E	0.16
アプリコット（全果実）	2	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	0, 3, 7, 10		0.45
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	0, 3, 7, 10	ほ場A	0.26
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	117		<0.005

オーストラリア（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アプリコット（全果実）	2	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7	ほ場B	0.14
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7		0.18
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	103		<0.005
プラム（全果実）	1	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	3, 7, 14, 28	ほ場A	0.02
おうとう（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	3, 7, 11, 14, 25	ほ場A	0.37
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	3, 7, 11, 14, 25		0.40
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	61		<0.005
いちご（果実）	3	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	1	ほ場A	0.14
					0, 1, 3, 7	ほ場B	0.50
					1	ほ場C	0.21
ぶどう（果実）	10	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21	ほ場A	0.12
			0.072 kg a.i./ha（計0.144kg a.i./ha）	2	94		<0.01
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場B	0.10
			0.072 kg a.i./ha（計0.144kg a.i./ha）	2	125		<0.01
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場C	0.16
			0.072 kg a.i./ha（計0.144kg a.i./ha）	2	111		<0.01
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場D	0.16
			0.072 kg a.i./ha（計0.144kg a.i./ha）	2	125		<0.01
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場E	0.27
					7	ほ場F	1.90
					7	ほ場G	0.03
					4, 7, 14, 21	ほ場H	0.01
					7	ほ場I	0.56
					7	ほ場J	0.59
なたね（種子）	4	240 g/L フロアブル	0.048 kg a.i./ha（計0.096 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.06
					14	ほ場B	0.007
					13	ほ場C	0.02
					14	ほ場D	0.09

ニュージーランド

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	7	240 g/L フロアブル	0.048 kg a.i./ha（計0.096 a.i. kg/ha）	2	7, 14, 28	ほ場A	<0.01
					7, 14, 28	ほ場B	0.01
					13	ほ場C	0.007
					0, 8, 16, 28	ほ場D	0.009
					50, 64	ほ場E	<0.006
					0, 7, 14, 28, 33, 47	ほ場F	0.04
					17, 75, 89	ほ場G	0.05
大麦（穀粒）	4	240 g/L フロアブル	0.048 kg a.i./ha（計0.096 a.i. kg/ha）	2	7, 14, 28	ほ場A	0.06
					13	ほ場B	0.11
					0, 7, 14, 28	ほ場C	0.03
					13, 69, 82	ほ場D	0.11
おうとう（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.192 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	2	7	ほ場A	0.40
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7		1.60
			0.096 kg a.i./ha（計0.192kg a.i./ha）	2	109		<0.005
いちご（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	0, 1, 3, 7	ほ場A	0.03
ぶどう（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21	ほ場A	0.23
			0.072 kg a.i./ha（計0.144kg a.i./ha）	2	96		<0.01
			0.096 kg a.i./ha（計0.384kg a.i./ha）	4	7	ほ場B	0.37
			0.072 kg a.i./ha（計0.144kg a.i./ha）	2	125		<0.01

ブラジル

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	4	240 g/L フロアブル	0.048～0.05 kg a.i./ha（計0.096~0.100 a.i. kg/ha）	2	3, 7, 14, 21, 28	ほ場A	0.0082
					3, 7, 14, 21, 28	ほ場B	0.0337
					14	ほ場C	0.0102
					14	ほ場D	0.0066
大豆（乾燥子実）	4	240 g/L フロアブル	0.0996～0.1013 kg ai/ha（計0.4021 kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21	ほ場A	0.0094
			0.0963～0.1051 kg ai/ha（計0.4106 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.0332
			0.1000～0.1040 kg ai/ha（計0.4075 kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.0410
			0.0986～0.1068 kg ai/ha（計0.4139 kg a.i./ha）		7	ほ場D	<0.003
Dry Bean（乾燥子実）	4	240 g/L フロアブル	0.0915～0.0962 kg ai/ha（計0.3730 kg a.i./ha）	4	0, 3, 7, 14, 21, 28	ほ場A	0.0811
			0.0950～0.1020 kg ai./ha（計0.3816~0.4028 kg ai/ha）		3, 7, 14, 21, 28	ほ場B	0.0877
			0.0915～0.1032 kg a.i./ha（計0.3808~0.4106 kg a.i/ha）		7, 14	ほ場C	0.0942
			0.0953～0.1033 kg a.i./ha（計0.3885~0.4024 kg a.i/ha）		7, 14	ほ場D	0.0511

ドイツ

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	2	240 g/L フロアブル	0.0527~0.0538 kg ai/ha（計0.1065 kg ai/ha）	2	7, 14, 21, 28	ほ場A	0.024
			0.0483~0.0544 kg ai./ha（計0.0944~0.1088 kg ai/ha）		15, 28, 42, 55	ほ場B	0.023
大麦（穀粒）	3	240 g/L フロアブル	0.0524~0.0525 kg ai/ha（計0.1049 kg ai/ha）	2	7, 15, 20, 28	ほ場A	0.052
			0.0522~0.0550 ai. kg/ha（計0.1072 kg ai/ha）		12	ほ場B	<0.003
			0.0494~0.0539 ai. kg/ha（計0.1033~0.1072 kg ai/ha）		15, 29, 44, 57	ほ場C	0.097
Green Bean（乾燥子実）	1	240 g/L フロアブル	0.0992~0.1017 kg ai/ha（計0.4026 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 9, 13	ほ場A	0.112
未成熟豆	1	240 g/L フロアブル	0.0941~0.1163 kg ai/ha（計0.4185 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 9, 14	ほ場A	0.377
ばれいしょ（塊茎）	1	240 g/L フロアブル	0.0998~0.1031 kg ai/ha（計0.4091 kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21, 28	ほ場A	0.008
てんさい（根）	1	240 g/L フロアブル	0.0900~0.1089 kg ai/ha（計0.3994 kg a.i./ha）	4	7, 14, 21	ほ場A	<0.003
てんさい（葉）					7, 14, 21	ほ場A	0.969
キャベツ（葉球）	1	240 g/L フロアブル	0.0984~0.1024 kg ai/ha（計0.4008 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 11	ほ場A	0.400
カリフラワー（花蕾）	2	240 g/L フロアブル	0.097～0.105 kg a.i./ha（計0.401 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 10	ほ場A	0.023
			0.0878~0.0971 kg ai/ha（計0.3669 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 10	ほ場B	0.014
ブロッコリー（花蕾）	1	240 g/L フロアブル	0.1011~0.1111 kg ai/ha（計0.4222 kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	0.074
にんじん（根）	1	240 g/L フロアブル	0.0978~0.1033 kg ai/ha（計0.4089 kg a.i./ha）	4	4, 7, 15, 28	ほ場A	<0.003
もも（全果実）	1	240 g/L フロアブル	0.1971~0.1988 kg ai/ha（計0.3959 kg a.i./ha）	2	7	ほ場A	0.278
おうとう（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.1892~0.1988 kg ai/ha（計0.3830 kg a.i./ha）	2	3, 7, 14, 21	ほ場A	1.300
			0.1880~0.1909 kg ai/ha（計0.3789 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.850
おうとう（果肉）			0.1892~0.1988 kg ai/ha（計0.3830 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場C	1.56
			0.1880~0.1909 kg ai/ha（計0.3789 kg a.i./ha）		7	ほ場D	0.929

ドイツ（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ぶどう（果実）	3	240 g/L フロアブル	0.0928～0.1041 kg ai/ha（計0.3889 kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21	ほ場A	0.297
			0.0968～0.1011 kg ai/ha（計0.3935 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.237
			0.1000～0.1042 kg ai/ha（計0.4099 kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.063
なたね（種子）	2	240 g/L フロアブル	0.0514～0.0525 kg ai/ha（計0.1039 kg a.i./ha）	2	7, 14, 20, 27	ほ場A	0.040
			0.0486～0.0497 kg ai/ha（計0.0983 kg a.i./ha）		14, 21, 28	ほ場B	0.224
			0.0544～0.0564 kg ai/ha（計0.108 kg a.i./ha）		13	ほ場C	0.082

フランス

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	4	240 g/L フロアブル	0.0508～0.0509 kg ai/ha（計0.1017 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.038
			0.0521～0.0529 kg ai/ha（計0.105 kg a.i./ha）		20, 27	ほ場B	0.007
			0.0486～0.0544 kg ai/ha（計0.1030 kg a.i./ha）		7, 14, 21, 28	ほ場C	0.014
			0.0449～0.0537 kg ai/ha（計0.0925～0.1063 kg ai/ha）		15, 30, 42, 57	ほ場D	0.012
大麦（穀粒）	2	240 g/L フロアブル	0.0512～0.0537 ai kg/ha（計0.1049 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.057
			0.0501～0.0512 ai kg/ha（計0.1049 kg a.i./ha）		7, 14, 21, 28	ほ場B	0.065
ばれいしょ（塊茎）	2	240 g/L フロアブル	0.0980～0.1060 kg ai/ha（計0.4060 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	<0.003
			0.0996～0.1054 kg ai/ha（計0.4076 kg a.i./ha）		7	ほ場B	<0.003
てんさい（根）	2	240 g/L フロアブル	0.1005～0.1021 kg ai/ha（計0.4061 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.0090
			0.0961～0.1005 kg ai/ha（計0.3930 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場B	0.0110
てんさい（葉）			0.1005～0.1021 kg ai/ha（計0.4061 kg a.i./ha）		7	ほ場A	0.888
			0.0961～0.1005 kg ai/ha（計0.3930 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場B	0.767
キャベツ（葉球）	2	240 g/L フロアブル	0.105～0.110 kg a.i./ha（計0.4300kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	0.034
			0.1006～0.1095 kg ai/ha（計0.4155 kg a.i./ha）		1, 3, 7, 10	ほ場B	0.076

フランス（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
カリフラワー(花蕾)	2	240 g/L フロアブル	0.100 kg a.i./ha (計0.400 kg a.i./ha)	4	3	ほ場A	0.022
			0.0969～0.1011 kg ai/ha (計0.3977 kg a.i./ha)		1, 3, 7, 10	ほ場B	0.009
ブロッコリー(花蕾)	2	240 g/L フロアブル	0.1032～0.1095 kg ai/ha (計0.4246 kg a.i./ha)	4	0, 3, 7, 10	ほ場A	0.318
にんじん(根)	1	240 g/L フロアブル	0.0973～0.1067 kg ai/ha (計0.4087 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.015
ピーマン(果実)	1	240 g/L フロアブル	0.0993～0.1053 kg ai/ha (計0.4093 kg a.i./ha)	4	0, 1, 3, 7	ほ場A	0.109
もも(全果実)	1	240 g/L フロアブル	0.2003～0.2062 kg ai/ha (計0.4065 kg a.i./ha)	2	7	ほ場A	0.570
おうとう(果実)	1	240 g/L フロアブル	0.1941～0.2029 kg ai/ha (計0.3970 kg a.i./ha)	2	7	ほ場A	0.773
おうとう(果肉)					7		0.890
ぶどう(果実)	3	240 g/Lフロアブル	0.0947～0.1010 kg ai/ha (計0.3914 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.166
			0.1006～0.1017 kg ai/ha (計0.4084 kg a.i./ha)		3, 7, 14, 21	ほ場B	0.129
			0.1050～0.1120 kg ai/ha (計0.4377 kg a.i./ha)		3, 7, 14, 21	ほ場C	0.276
なたね(種子)	2	240 g/Lフロアブル	0.0533～0.0539 kg ai/ha (計0.1072 kg a.i./ha)	2	14	ほ場A	0.027
			0.0484～0.0509 kg ai/ha (計0.0993 kg a.i./ha)		14	ほ場B	0.058
			0.0428～0.0453 kg ai/ha (計0.0811 kg a.i./ha)		0, 7, 15, 21, 28	ほ場C	0.047

ポーランド

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦(穀粒)	2	240 g/L フロアブル	0.0501～0.0511 kg ai/ha (計0.1012 kg a.i./ha)	2	14	ほ場A	0.018
			0.0482～0.0500 kg ai/ha (計0.0982 kg a.i./ha)		7, 14, 21, 28	ほ場B	0.032
大麦(穀粒)	2	240 g/L フロアブル	0.051～0.0526 ai kg/ha (計0.1036 kg a.i./ha)	2	14	ほ場A	0.065
			0.0468～0.0511 ai kg/ha (計0.0979 kg a.i./ha)		7, 13, 20, 27	ほ場B	0.065
未成熟豆	1	240 g/L フロアブル	0.0975～0.1050 kg ai/ha (計0.4083 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.123
ばれいしょ(塊茎)	1	240 g/L フロアブル	0.0963～0.1050 kg ai/ha (計0.4038 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.008
にんじん(根)	1	240 g/L フロアブル	0.0978～0.1033 kg ai/ha (計0.4089 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.023

ハンガリー

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
未成熟豆	1	240 g/L フロアブル	0.0977～0.1050 kg ai/ha (計0.4091 kg a.i./ha)	4	1, 3, 7, 10, 15	ほ場A	0.085
てんさい (根)	1	240 g/L フロアブル	0.0997～0.1083 kg ai/ha (計0.4173 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	<0.003
てんさい (葉)					7	ほ場A	0.933
にんじん (根)	1	240 g/L フロアブル	0.1027～0.1077 kg ai/ha (計0.4227 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.011
もも (全果実)	1	240 g/L フロアブル	0.1971～0.1988 kg ai/ha (計0.3959 kg a.i./ha)	2	3, 8, 14, 21	ほ場A	0.644
					8, 14, 21		0.348
おうとう (果実)	1	240 g/L フロアブル	0.1930～0.1954 kg ai/ha (計0.3884 kg a.i./ha)	2	7	ほ場A	0.852
おうとう (果肉)							0.949
ぶどう (果実)	1	240 g/L フロアブル	0.0964～0.1030 kg ai/ha (計0.3922 kg a.i./ha)	4	8	ほ場A	0.158

イギリス

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦 (穀粒)	1	240 g/L フロアブル	0.0503～0.0508 kg ai/ha (計0.1011 kg a.i./ha)	2	7, 14, 21, 28	ほ場A	0.014
大麦 (穀粒)	2	240 g/L フロアブル	0.0503～0.0505 ai kg/ha (計0.1049 kg a.i./ha)	2	14, 21, 28	ほ場A	0.068
			0.0490 a.i. kg/ha (計0.0980 kg a.i./ha)		7, 14, 21, 28	ほ場B	0.086
ばれいしょ (塊茎)	1	240 g/L フロアブル	0.1013～0.1017 kg ai/ha (計0.4049kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.009
てんさい (根)	1	240 g/L フロアブル	0.1001～0.1053 kg ai/ha (計0.4092 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.012
てんさい (葉)					7	ほ場A	1.69
キャベツ (葉球)	1	240 g/L フロアブル	0.1010～0.1058 kg ai/ha (計0.4152kg a.i./ha)	4	3	ほ場A	0.109
カリフラワー (花蕾)	1	240 g/L フロアブル	0.097～0.105 kg a.i./ha (計0.401 kg a.i./ha)	4	3	ほ場A	0.014
ブロッコリー (花蕾)	1	240 g/L フロアブル	0.1006～0.1008 kg ai/ha (計0.4029 kg a.i./ha)	4	0, 3, 7, 10	ほ場A	1.600
にんじん (根)	1	240 g/L フロアブル	0.1031～0.1063 kg ai/ha (計0.4179 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	0.012

スペイン

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	2	240 g/L フロアブル	0.0496～0.0506 kg ai/ha（計0.1002 kg a.i./ha）	2	36	ほ場A	0.006
			0.0481～0.0491 kg ai/ha（計0.0980 kg a.i./ha）		7, 14, 21, 28	ほ場B	0.029
大麦（穀粒）	2	240 g/L フロアブル	0.0494～0.0506 ai kg/ha（計0.1000 kg a.i./ha）	2	14, 21, 28	ほ場A	0.046
			0.0494～0.0542 ai kg/ha（計0.1000～0.1084 kg ai/ha）		15, 28, 45, 58	ほ場B	0.069
Green Bean（乾燥子実）	1	240 g/L フロアブル	0.1000～0.1037 kg ai/ha（計0.4096 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7	ほ場A	0.023
未成熟豆	1	240 g/L フロアブル	0.100～0.1022 kg ai/ha（計0.4074 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 10, 14	ほ場A	0.033
ばれいしょ（塊茎）	1	240 g/L フロアブル	0.0905～0.1063 kg ai/ha（計0.4004kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.006
てんさい（根）	1	240 g/L フロアブル	0.1017～0.1055 kg ai/ha（計0.4194kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.006
てんさい（葉）					7	ほ場A	0.437
にんじん（根）	1	240 g/L フロアブル	0.1006～0.1019 kg ai/ha（計0.4057 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.005
ピーマン（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.0994～0.1046k g ai/ha（計0.4070 kg a.i./ha）	4	0, 1, 3, 7, 10	ほ場A	0.109
			0.0991～0.1089k g ai/ha（計0.4124 kg a.i./ha）		1	ほ場B	0.118
もも（全果実）	1	240 g/L フロアブル	0.2013～0.2031 kg ai/ha（計0.4044 kg a.i./ha）	2	3, 8, 14, 21	ほ場A	0.313
おうとう（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.1990～0.2021 kg ai/ha（計0.4011 kg a.i./ha）	2	7	ほ場A	0.504
おうとう（果肉）							0.556
ぶどう（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.0928～0.1041 kg ai/ha（計0.3889 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.402
			0.0961～0.1144 kg ai/ha（計0.4050 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.495
なたね（種子）	2	240 g/L フロアブル	0.0506～0.0527 kg ai/ha（計0.1033 kg a.i./ha）	2	21, 28	ほ場A	0.078
			0.0491～0.0509 kg ai/ha（計0.1000 kg a.i./ha）		7, 13, 21, 28	ほ場B	0.190

イタリア

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	2	240 g/L フロアブル	0.0504～0.0547 kg ai/ha（計0.1051 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.021
			0.0505～0.0523 kg ai/ha（計0.1028 kg a.i./ha）		7, 14, 21, 27	ほ場B	0.067
大麦（穀粒）	1	240 g/L フロアブル	0.446～0.528 a.i. kg/ha（計0.0974 kg a.i./ha）	2	6, 13, 22	ほ場A	0.052
未成熟豆	1	240 g/L フロアブル	0.0979～0.1022 kg ai/ha（計0.4024 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 10, 14	ほ場A	2.25
ばれいしょ（塊茎）	1	240 g/L フロアブル	0.0994～0.1008 kg ai/ha（計0.4021kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	<0.003
てんさい（根）	1	240 g/L フロアブル	0.0989～0.1091 kg ai/ha（計0.4118kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.005
てんさい（葉）					7	ほ場A	0.764
カリフラワー(花蕾)	1	240 g/L フロアブル	0.0869～0.0945 kg ai/ha（計0.3600 kg a.i./ha）	4	1, 3, 7, 10	ほ場A	0.031
にんじん（根）	1	240 g/L フロアブル	0.0994～0.1017 kg ai/ha（計0.4012 kg a.i./ha）	4	4, 7, 15, 28	ほ場A	0.032
ピーマン（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.0951～0.1004 kg ai/ha（計0.3910kg a.i./ha）	4	1	ほ場A	0.228
もも（全果実）	1	240 g/L フロアブル	0.1860～0.2088 kg ai/ha（計0.3948 kg a.i./ha）	2	7	ほ場A	0.205
ぶどう（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.101～0.1056 kg ai/ha（計0.4099 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	1.070
			0.1000～0.1042 kg ai/ha（計0.4099 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場B	0.096

ギリシア

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	1	240 g/L フロアブル	0.04792～0.04833 kg ai/ha（計0.09625 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.014
大麦（穀粒）	1	240 g/L フロアブル	0.0500 a.i. kg/ha（計0.1000 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.015
未成熟豆	1	240 g/L フロアブル	0.0979～0.1022 kg ai/ha（計0.4024 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.154
ばれいしょ（塊茎）	1	240 g/L フロアブル	0.0973～0.1007 kg ai/ha（計0.3993 kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21, 28	ほ場A	0.003
てんさい（根）	1	240 g/L フロアブル	0.0976～0.1018 kg ai/ha（計0.4012kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.005
てんさい（葉）					7	ほ場A	0.639
キャベツ（葉球）	1	240 g/L フロアブル	0.0973～0.1027 kg ai/ha（計0.3980kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	0.024
ブロッコリー（花蕾）	1	240 g/L フロアブル	0.09733～0.1000 kg ai/ha（計0.4222 kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	0.167
にんじん（根）	1	240 g/L フロアブル	0.0993～0.1020 kg ai/ha（計0.4039 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.032
ピーマン（果実）	2	240 g/L フロアブル	0.1000 kg a.i./ha（計0.4000 kg a.i./ha）	4	1	ほ場A	0.262
			0.0993～0.1033 kg ai/ha（計0.3910kg a.i./ha）		0, 1, 3, 7, 10	ほ場B	0.284
もも（全果実）	1	240 g/L フロアブル	0.2017～0.2169 kg ai/ha（計0.4186 kg a.i./ha）	2	7	ほ場A	0.082
おうとう（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.2015～0.2018 kg ai/ha（計0.4033 kg a.i./ha）	2	3, 7, 14, 21	ほ場A	0.850
おうとう（果肉）					3, 7, 14, 21		1.010
ぶどう（果実）	1	240 g/L フロアブル	0.1000 kg a.i./ha（計0.4000 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.169

米国

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（穀粒）	11	240 g/L フロアブル	0.0504 kg a.i./ha（計0.1009 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.0149
			0.0516～0.0527 kg ai/ha（計0.1042 kg a.i./ha）		14	ほ場B	0.0400
			0.0512 kg a.i./ha（計0.1024 kg a.i./ha）		8, 14, 22, 28	ほ場C	0.0102
			0.0489～0.0516 kg ai/ha（計0.1004 kg a.i./ha）		14	ほ場D	0.0212
			0.0494～0.0497 kg ai/ha（計0.0991 kg a.i./ha）		14	ほ場E	0.0093
			0.0504～0.0516 kg ai/ha（計0.1020 kg a.i./ha）		14	ほ場F	<0.003
			0.0501～0.0507 kg ai/ha（計0.1008 kg a.i./ha）		14	ほ場G	0.0126
			0.0492～0.0507 kg ai/ha（計0.0999 kg a.i./ha）		14	ほ場H	0.0372
			0.0493～0.0504 kg ai/ha（計0.0998kg a.i./ha）		10, 14, 21, 28	ほ場I	0.0071
			0.0493～0.0504 kg ai/ha（計0.0998kg a.i./ha）		14	ほ場J	0.0626
			0.0516 kg a.i./ha（計0.1031 kg a.i./ha）		14	ほ場K	0.0069
	3	500 g/kg 顆粒水和剤	0.0493～0.0504 kg ai/ha（計0.0998kg a.i./ha）		10, 14, 21, 28	ほ場I	0.0061
			0.0482～0.0504 kg ai/ha（計0.0986kg a.i./ha）		14	ほ場J	0.0633
			0.0516～0.0527 kg ai/ha（計0.1042kg a.i./ha）		14	ほ場K	<0.003
大麦（穀粒）	6	240 g/L フロアブル	0.0504 kg a.i./ha（計0.1009 kg a.i./ha）	2	14	ほ場A	0.0464
			0.0504 kg a.i./ha（計0.1009 kg a.i./ha）		7, 14, 21, 28	ほ場B	0.0448
			0.0504 kg a.i./ha（計0.1009 kg a.i./ha）		14	ほ場C	0.0344
			0.0516 kg a.i./ha（計0.1031 kg a.i./ha）		17	ほ場D	0.0516
			0.0493 kg a.i./ha（計0.0986 kg a.i./ha）		14	ほ場E	0.0898
			0.0516 kg a.i./ha（計0.1031 kg a.i./ha）		14	ほ場F	0.0726

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
大豆（乾燥子実）	15	240 g/L フロアブル	0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.0101
			0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.0168
			0.1009～0.1054 kg a.i./ha（計0.4102 kg a.i./ha）		7	ほ場C	<0.003
			0.0986～0.1031 kg a.i./ha（計0.4001 kg a.i./ha）		7	ほ場D	0.0065
			0.0975～0.1031 kg a.i./ha（計0.4001 kg a.i./ha）		8	ほ場E	0.2130
			0.0975～0.1020 kg ai./ha（計0.4001 kg a.i./ha）		2, 8, 14, 22	ほ場F	0.0349
			0.0998～0.1009 kg ai/ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場G	0.0171
			0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4034 kg a.i./ha）		7	ほ場H	0.0154
			0.1009～0.1020 kg ai/ha（計0.4147 kg a.i./ha）		7	ほ場I	<0.003
			0.0986～0.1020 kg ai/ha（計0.4035 kg a.i./ha）		6	ほ場J	<0.003
			0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場K	0.0082
			0.0998～0.1065 kg ai/ha（計0.4136 kg a.i./ha）		7	ほ場L	0.0420
			0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場M	0.0191
			0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場N	<0.003
			0.1009～0.1011 kg ai/ha（計0.4136 kg a.i./ha）		13	ほ場O	0.0918
	3	500 g/kg 顆粒水和剤	0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場M	0.0292
			0.1008 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場N	<0.003
			0.1009～0.1011 kg ai/ha（計0.4037 kg a.i./ha）		13	ほ場O	0.0812

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばいしょ（塊茎）	7	240 g/L フロアブル	0.0975～0.1042 kg ai/ha（計0.3996 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	<0.003
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場B	<0.003
			0.0975～0.1020 kg ai/ha（計0.3990 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21, 28	ほ場C	<0.003
			0.1009～0.1042 kg ai/ha（計0.4136 kg a.i./ha）		7	ほ場D	<0.003
			0.0998～0.1031 kg ai/ha（計0.4057 kg a.i./ha）		7		<0.003
			0.1002～0.1022 kg ai/ha（計0.4074 kg a.i./ha）		7		<0.003
			0.1009～0.1054 kg ai/ha（計0.4113 kg a.i./ha）		6	ほ場E	<0.003
			1.009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場F	<0.003
			0.0998～0.1031 kg ai/ha（計0.4091 kg a.i./ha）		7	ほ場G	<0.003
てんさい（根）	5	240 g/L フロアブル	0.0975～0.1009 kg ai/ha（計0.3990 kg a.i./ha）	4	3, 7, 14, 21	ほ場A	0.0039
			0.0996～0.1037 kg ai/ha（計0.4065 kg a.i./ha）		7	ほ場B	<0.003
			0.1020～0.1042 kg ai/ha（計0.4102 kg a.i./ha）		7	ほ場C	<0.003
			0.0946～0.1009 kg ai/ha（計0.3967 kg a.i./ha）		7	ほ場D	0.01
			0.1000～0.1028 kg ai/ha（計0.4042 kg a.i./ha）		7	ほ場E	<0.003
てんさい（葉）			0.0975～0.1009 kg ai/ha（計0.3990 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場A	0.579
			0.0996～0.1037 kg ai/ha（計0.4065 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.452
			0.1020～0.1042 kg ai/ha（計0.4102 kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.440
			0.0946～0.1009 kg ai/ha（計0.3967 kg a.i./ha）		7	ほ場D	1.66
			0.1000～0.1028 kg ai/ha（計0.4042 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.163

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
かぶ（根）	6	240 g/L フロアブル	0.0905～0.1028 kg ai/ha（計0.3964 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.0123
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		0, 3, 7, 10	ほ場B	0.0055
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.0088
					7	ほ場D	0.0034
			0.1004～0.1022 kg ai/ha（計0.4050 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.0106
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		7	ほ場F	0.0126
		500 g/kg 顆粒水和剤	0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.0083
					7	ほ場D	0.0035
			0.1007～0.1030 kg ai/ha（計0.4074 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.0155
かぶ（葉）		240 g/L フロアブル	0.0905～0.1028 kg ai/ha（計0.3964 kg a.i./ha）		7	ほ場A	0.156
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		0, 3, 7, 10	ほ場B	0.273
					7	ほ場C	0.412
					7	ほ場D	0.257
			0.1004～0.1022 kg ai/ha（計0.4050 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.246
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		7	ほ場F	0.228
		500 g/kg 顆粒水和剤	0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.465
					7	ほ場D	0.256
			0.1007～0.1030 kg ai/ha（計0.4074 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.459
キャベツ（葉球）	6	240 g/L フロアブル	0.1009～0.1054 kg ai/ha（計0.4169kg a.i./ha）	4	2	ほ場A	0.118
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		0, 1, 3, 7, 10	ほ場B	0.0436
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		3	ほ場C	0.101
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		3	ほ場D	<0.003
			0.1020 kg a.i./ha（計0.4080 kg a.i./ha）		3	ほ場E	0.277
			0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4080kg a.i./ha）		3	ほ場F	0.0244

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー（花蕾）	6	240 g/L フロアブル	0.1009～0.1020 kg ai/ha（計0.4057 kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	0.003
			0.0998～0.1015 kg ai/ha（計0.4015 kg a.i./ha）		1, 3, 7, 14	ほ場B	0.408
			0.0984～0.0996 kg ai/ha（計0.3960 kg a.i./ha）		3	ほ場C	0.0747
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4057 kg a.i./ha）		3	ほ場D	0.120
			0.1018～0.1042 kg ai/ha（計0.4112 kg a.i./ha）		3	ほ場E	0.0584
			0.0975～0.1020 kg ai/ha（計0.4001 kg a.i./ha）		3	ほ場F	0.0339
Mustard Greens（茎葉）	8	240 g/L フロアブル	0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）	4	0, 1, 3, 7	ほ場A	0.797
					3	ほ場B	0.934
					3	ほ場C	0.606
			0.0905～0.1028 kg ai/ha（計0.3964 kg a.i./ha）		2	ほ場D	0.720
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		3	ほ場E	0.521
			0.1020～0.1031 kg ai/ha（計0.4113 kg a.i./ha）		3	ほ場F	0.972
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		4	ほ場G	0.295
			0.0986～0.1020 kg ai/ha（計0.3968 kg a.i./ha）		3	ほ場H	1.17
たまねぎ（鱗茎）	6	240 g/L フロアブル	0.0894～0.1030 kg ai/ha（計0.4014kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	<0.003
			0.0998～0.1042 kg ai/ha（計0.4080kg a.i./ha）		0, 3, 7, 14, 21	ほ場B	<0.003
			0.1008～0.1031 kg ai/ha（計0.4091kg a.i./ha）		7	ほ場C	<0.003
			0.0988～0.1042 kg ai/ha（計0.4074kg a.i./ha）		7	ほ場D	<0.003
			0.0989～0.1011 kg ai/ha（計0.3998kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.0051
			0.0986～0.1032 kg ai/ha（計0.4069kg a.i./ha）		7	ほ場F	<0.003
Green onion（茎葉）	6	240 g/L フロアブル	0.1020～0.1031 kg ai/ha（計0.4102kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.116
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		1, 3, 7, 14, 21	ほ場B	0.05
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.147
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		8	ほ場D	<0.003
			0.1020～0.1031 kg ai/ha（計0.4102kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.440
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場F	0.153

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
にんじん（根）	4	240 g/L フロアブル	0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4091 kg a.i./ha）	4	7	ほ場A	0.0136
			0.1009～0.1020 kg ai/ha（計0.4046 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場B	<0.003
			0.1009～0.1042 kg ai/ha（計0.4102 kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.0102
			0.0986～0.1031 kg ai/ha（計0.4046 kg a.i./ha）		7	ほ場D	0.0095
セルリー（茎）	6	240 g/L フロアブル	0.1009 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）	4	2	ほ場A	0.748
					3	ほ場B	0.804
					1, 3, 7, 10	ほ場C	0.174
					3	ほ場D	0.177
					3	ほ場E	0.212
					3	ほ場F	0.128
ピーマン（果実）	8	240 g/L フロアブル	0.1009～0.1020 kg ai/ha（計0.4046kg a.i./ha）	4	0, 1, 4, 7	ほ場A	0.0149
			0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4024kg a.i./ha）		1	ほ場B	0.0933
			0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4035kg a.i./ha）		0, 1, 4, 7	ほ場C	0.0237
			0.0998～0.1031 kg ai/ha（計0.4035kg a.i./ha）		1	ほ場D	0.0183
			0.0998～0.1031 kg ai/ha（計0.4046kg a.i./ha）		0, 1, 4, 7	ほ場E	0.0609
			0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4080kg a.i./ha）		0, 1, 4, 7	ほ場F	0.222
			0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4046kg a.i./ha）		1	ほ場G	0.282
			0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4091kg a.i./ha）		1	ほ場H	0.0990
ほうれんそう（葉）	6	240 g/L フロアブル	0.1009～0.1020 kg ai/ha（計0.4046kg a.i./ha）	4	3	ほ場A	3.2558
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		0, 3, 7, 14	ほ場B	1.10
			0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4080kg a.i./ha）		3	ほ場C	0.0430
			0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4091kg a.i./ha）		3	ほ場D	0.480
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		3	ほ場E	1.57
			0.0986～0.1031 kg ai/ha（計0.4046kg a.i./ha）		3	ほ場F	2.08

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも（全果実）	6	240 g/L フロアブル	0.2017 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）	2	7	ほ場A	0.0977
					4, 7, 10, 14	ほ場B	0.0333
					7	ほ場C	0.0618
					7	ほ場D	0.243
			0.2006～0.2051 kg ai/ha（計0.4057 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.141
			0.2017～0.2040 kg ai/ha（計0.4057 kg a.i./ha）		6	ほ場F	0.121
プラム（全果実）	6	240 g/L フロアブル	0.2017～0.2130 kg ai/ha（計0.4147 kg a.i./ha）	2	1, 3, 7, 14	ほ場A	0.295
			0.2026～0.2043 kg ai/ha（計0.4070 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.0678
					7	ほ場C	0.0497
			0.1995～0.2017 kg ai/ha（計0.4013 kg a.i./ha）		7	ほ場D	0.0490
			0.2006～0.2017 kg ai/ha（計0.4024 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.0390
			0.2017 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）		7	ほ場F	0.114
プラム（全果実）	6	500 g/kg 顆粒水和剤	0.2017 kg a.i./ha（計0.4035 kg a.i./ha）	2	1, 3, 7, 14	ほ場A	0.362
			0.2011～0.2021 kg ai/ha（計0.4032 kg a.i./ha）		7	ほ場B	0.0969
			0.2019～0.2051 kg ai/ha（計0.4071 kg a.i./ha）		7	ほ場C	0.0672
			0.2029～0.2040 kg ai/ha（計0.4069 kg a.i./ha）		7	ほ場D	0.0549
			0.2051 kg a.i./ha（計0.4102 kg a.i./ha）		7	ほ場E	0.0196
			0.1995～0.2017 kg ai/ha（計0.4069 kg a.i./ha）		7	ほ場F	0.115
おうとう（果実）	6	240 g/L フロアブル	0.2051 kg a.i./ha（計0.4102g a.i./ha）	2	6	ほ場A	1.35
			0.2017 kg a.i./ha（計0.4035g a.i./ha）		7	ほ場B	1.37
			0.2017 kg a.i./ha（計0.4035g a.i./ha）		7	ほ場C	1.14
			0.2017 kg a.i./ha（計0.4035g a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場D	0.794
			0.2017 kg a.i./ha（計0.4035g a.i./ha）		7	ほ場E	0.755
			0.2029～0.2046 kg ai/ha（計0.3970 kg a.i./ha）		6	ほ場F	0.584

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
いちご（果実）	9	240 g/L フロアブル	0.0975～0.0998 kg ai/ha（計0.3968 kg a.i./ha）	4	0, 1, 3, 7, 14	ほ場A	0.0670
			0.0986～0.1009 kg ai/ha（計0.4010 kg a.i./ha）		1, 3	ほ場B	0.150
			0.1020～0.1043 kg ai/ha（計0.4136 kg a.i./ha）		1, 3	ほ場C	0.263
			0.0998～0.1040 kg ai/ha（計0.4065 kg a.i./ha）		1, 2	ほ場D	0.216
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		1, 3	ほ場E	0.214
			0.1009 kg a.i./ha（計0.4035kg a.i./ha）		1, 3	ほ場F	0.164
			01009～0.1020 kg ai/ha（計0.4057 kg a.i./ha）		1, 3	ほ場G	0.205
			0.0998～0.1054 kg ai/ha（計0.4091 kg a.i./ha）		1, 3	ほ場H	0.219
			0.1009～0.1031 kg ai/ha（計0.4080 kg a.i./ha）		1, 3	ほ場I	0.203
ぶどう（果実）	9	240 g/L フロアブル	0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4053 kg a.i./ha）	4	7, 14	ほ場A	0.127
			0.1031～0.1054 kg ai/ha（計0.4158 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場B	0.108
			0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4025 kg a.i./ha）		3, 7, 14, 21	ほ場C	0.0506
			0.10118～0.1021 kg ai/ha（計0.4066 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場D	0.0509
			0.1002～0.1013 kg ai/ha（計0.4029 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場E	0.105
			0.1007～0.1015 kg ai/ha（計0.4041 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場F	0.361
			0.0998～0.1020 kg ai/ha（計0.4016 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場G	0.112
			0.1005～0.1020 kg ai/ha（計0.4051 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場H	0.181
			0.1003～0.1020 kg ai/ha（計0.4041 kg a.i./ha）		7, 14	ほ場I	0.122
アーモンド（果肉）	6	240 g/L フロアブル	0.202 a.i. kg/ha（計0.404 a.i. kg/ha）	2	7	ほ場A	0.007
			0.205～0.206 a.i. kg/ha（計0.411 a.i.kg/ha）		3, 7, 14, 21	ほ場B	<0.003
			0.200 a.i. kg/ha（計0.399 a.i.kg/ha）		7	ほ場C	0.003
			0.197～0.201 a.i. kg/ha（計0.398 a.i.kg/ha）		7	ほ場D	0.013
			0.203～0.203 a.i. kg/ha（計0.405 a.i.kg/ha）		7	ほ場E	<0.003
			0.202～0.206 a.i. kg/ha（計0.402 a.i.kg/ha）		7	ほ場F	<0.003

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値（mg/kg）	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アーモンド（殻）	6	240 g/L フロアブル	0.202 a.i. kg/ha（計0.404 a.i. kg/ha）	2	7	ほ場A	3.12
			0.205～0.206 a.i. kg/ha（計0.411 a.i.kg/ha）		3, 7, 14, 21	ほ場B	2.32
			0.200 a.i. kg/ha（計0.399 a.i.kg/ha）		7	ほ場C	0.046
			0.197～0.201 a.i. kg/ha（計0.398 a.i.kg/ha）		7	ほ場D	1.40
			0.203～0.203 a.i. kg/ha（計0.405 a.i.kg/ha）		7	ほ場E	1.61
			0.202～0.206 a.i. kg/ha（計0.402 a.i.kg/ha）		7	ほ場F	2.45
ペカン（果肉）	6	240 g/L フロアブル	0.202 a.i. kg/ha（計0.404 a.i. kg/ha）	2	3, 7, 14, 21	ほ場A	<0.003
			0.202 a.i. kg/ha（計0.404 a.i. kg/ha）		7	ほ場B	<0.003
			0.202 a.i. kg/ha（計0.404 a.i. kg/ha）		7	ほ場C	0.004
			0.200～0.204 a.i. kg/ha（計0.404 a.i.kg/ha）		7	ほ場D	<0.003
			0.203～0.203 a.i. kg/ha（計0.407 a.i.kg/ha）		7	ほ場E	<0.003
			0.202～0.205 a.i. kg/ha（計0.407 a.i.kg/ha）		7	ほ場F	<0.003
なたね（種子）	8	240 g/L フロアブル	0.050 kg a.i./ha（計0.1000 kg a.i./ha）	4	15	ほ場A	0.0704
			0.0482～0.0493 kg a.i./ha（計0.09751 kg a.i./ha）		7, 14, 21, 28	ほ場B	0.0887
			0.05044～0.05156 kg a.i./ha（計0.1020 kg a.i./ha）		14	ほ場C	0.0379
			0.05033～0.05044 kg a.i./ha（計0.1001 kg a.i./ha）		14	ほ場E	0.0107
			0.04976～0.05077 kg a.i./ha（計0.1005 kg a.i./ha）		14	ほ場F	0.0172
			0.05044～0.05066 kg a.i./ha（計0.1011 kg a.i./ha）		13	ほ場G	0.0477
			0.05122～0.05156 kg a.i./ha（計0.1028 kg a.i./ha）		14	ほ場H	0.0731
			0.04965～0.05010 kg a.i./ha（計0.09975 kg a.i./ha）		14	ほ場I	0.0425

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値(mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アーティチョーク (globe)	4	240 g/L フロアブル	0.10115~0.10169 kg ai /ha (計 0.30444 kg ai /ha)	3	1, 3, 7, 14, 20	ほ場 A	0.271
			0.10133~0.10166 kg ai /ha (計 0.30635 kg ai /ha)		3	ほ場 B	0.260
			0.10027~0.10051 kg ai /ha (計 0.30113 kg ai /ha)		3	ほ場 C	0.132
			0.09818~0.10264 kg ai /ha (計 0.30245 kg ai /ha)		3	ほ場 D	0.217
ラズベリー	4	240 g/L フロアブル	0.1019~0.1031 kg ai/ha (計 0.3077 kg ai/ha)	3	1	ほ場 A	0.405
			0.1027~0.1050 kg ai/ha (計 0.3123 kg ai/ha)		1	ほ場 B	0.236
			0.1008~0.1029 kg ai/ha (計 0.3052 kg ai/ha)		0, 1, 6, 13, 20	ほ場 C	0.731
			0.0987~0.1028 kg ai/ha (計 0.3027 kg ai/ha)		0, 1, 7, 14, 21	ほ場 D	0.560
ブラックベリー	3	240 g/L フロアブル	0.0990~0.1019 kg ai/ha (計 0.3017 kg ai/ha)	3	1	ほ場 A	0.277
			0.0999~0.1024 kg ai/ha (計 0.3042 kg ai/ha)		1	ほ場 B	0.490
			0.0990~0.1033 kg ai/ha (計 0.3038 kg ai/ha)		1	ほ場 C	0.744
ブルーベリー (果実)	12	240 g/L フロアブル	0.1018~0.1030 kg ai /ha (計 0.3076 kg ai /ha)	3	1	ほ場 A	0.155
			0.0986~0.1011 kg ai /ha (計 0.2989 kg ai /ha)		1	ほ場 B	0.418
			0.1007~0.1022 kg ai /ha (計 0.3037 kg ai /ha)		1	ほ場 C	0.425
			0.1032~0.1056 kg ai /ha (計 0.3133 kg ai /ha)		1	ほ場 D	1.27
			0.1003~0.1014 kg ai /ha (計 0.3024 kg ai /ha)		1	ほ場 E	0.833
			0.1006~0.1010 kg ai /ha (計 0.3024 kg ai /ha)		1	ほ場 F	0.613
			0.0997~0.1014 kg ai /ha (計 0.3027 kg ai /ha)		1	ほ場 G	0.392
			0.1013~0.1049 kg ai /ha (計 0.3097 kg ai /ha)		1	ほ場 H	0.170
			0.1014~0.1030 kg ai /ha (計 0.3071 kg ai /ha)		0, 1, 8, 14, 21	ほ場 I	0.351
			0.1004~0.1013 kg ai /ha (計 0.3029 kg ai /ha)		1	ほ場 J	0.387
			0.1001~0.1012 kg ai /ha (計 0.3022 kg ai /ha)		1	ほ場 K	0.268
			0.1001~0.1006 kg ai /ha (計 0.3010 kg ai /ha)		0, 1, 7, 14	ほ場 L	0.357

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値 (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
パイナップル (全果実)	8	240 g/L フロアブル	0.1 kg ai/ha (計 0.2 kg ai/ha)	2	1, 8	ほ場 A	0.037
					0, 1, 7, 14, 21, 25	ほ場 B	0.069
					0, 1, 7, 14, 21, 28	ほ場 C	0.093
					0, 1, 7, 13, 19, 25	ほ場 D	0.025
					0, 1, 7, 13, 19, 25	ほ場 E	0.018
					1, 6	ほ場 F	0.030
					1, 6	ほ場 G	0.030
					1, 6	ほ場 H	0.030
パイナップル (Pineapple Fruit)	1	240 g/L フロアブル	0.3 kg ai/ha (計 0.6 kg ai/ha)	2	1	ほ場 A	0.157
パイナップル (Peeled Fruit)	1					ほ場 A	0.024
パイナップル (Peel)	1					ほ場 A	0.350
パイナップル (ジュース)	1					ほ場 A	0.014
パイナップル (Process Residue (Wet Bran))	1					ほ場 A	0.016

米国（つづき）

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値 (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
カカオ豆 (Dried Beans)	8	240 g/L フロアブル	0.0409～0.0431 kg ai/ha (計 0.1675 kg ai/ha)	4	3, 7, 15	ほ場 A	<0.038
			0.0411～0.0418 kg ai/ha (計 0.1662 kg ai/ha)		0, 4, 8, 14, 22	ほ場 B	<0.034
			0.0408～0.0474 kg ai/ha (計 0.1703 kg ai/ha)		3	ほ場 C	<0.013
			0.0403～0.0431 kg ai/ha (計 0.1674 kg ai/ha)		0, 3, 7, 14, 21	ほ場 D	0.024
			0.0398～0.0422 kg ai/ha (計 0.1641 kg ai/ha)		3, 6, 14	ほ場 E	0.052
			0.0402～0.0428 kg ai/ha (計 0.1657 kg ai/ha)		0, 2, 7, 14, 20	ほ場 F	0.070
			0.0410～0.0422 kg ai/ha (計 0.1672 kg ai/ha)		3, 7, 15	ほ場 G	<0.01
			0.0403～0.0423 kg ai/ha (計 0.1661 kg ai/ha)		0, 3, 7, 14, 21	ほ場 H	0.026
カカオ豆 (外皮)	1	240 g/L フロアブル	0.0403～0.0423 kg ai/ha (計 0.1661 kg ai/ha)	4	11, 21	ほ場 A	0.069
カカオ豆 (Roasted Beans)	1					ほ場 A	0.04
カカオ豆 (ココアバター)	1					ほ場 A	<0.01
カカオ豆 (ココアパウダー)	1					ほ場 A	0.044
カカオ豆 (チョコレート)	1					ほ場 A	0.026

カナダ

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値 (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばれいしょ (塊茎)	1	240 g/L フロアブル	0.1007～0.1022 kg ai/ha (計 0.4046 kg a.i./ha)	4	7	ほ場A	<0.003

台湾

作物名	試験ほ場数	試験条件				最大残留値 (mg/kg)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
マンゴー (果実)	3	240 g/L フロアブル	0.413~0.490 g ai/ 3 trees (計 0.861~0.903 g ai / 3 trees)	2	0, 3, 7, 14, 21, 28	ほ場 A	0.06
			0.386~0.409 g ai/ 3 trees (計 0.793~0.808 g ai / 3 trees)		0, 3, 7, 14, 21, 28	ほ場 B	0.07
			0.351~0.444 g ai/ 3 trees (計 0.777~0.855 g ai / 3 trees)		0, 3, 6, 14, 21, 28	ほ場 C	0.06
	3	240 g/L フロアブル	0.971~1.370 g ai/3 trees (計 2.033~2.632 g ai / 3 trees)	2	0, 3, 7, 14, 21, 28	ほ場 A	0.18
			1.193~1.247 g ai/ 3 trees (計 2.431~2.478 g ai/ 3 trees)		0, 3, 7, 14, 21, 28	ほ場 B	0.28
			1.128~1.291 g ai/ 3 trees (計 2.337~2.555 g ai/ 3 trees)		0, 3, 6, 14, 21, 28	ほ場 C	0.28

試験ほ場におけるマンゴーの植栽密度は 250～300 trees/ha。

＜別紙５：畜産物残留試験成績（ウシ）＞

飼料中検体濃度及び検体摂取量

試験群		0.2 倍量	1 倍量	3 倍量	15 倍量
飼料中検体濃度 (mg/kg 乾物)	スルホキサフロル	0.450	2.37	6.75	35.2
	D	0.045	0.237	0.675	3.52
	B	0.180	0.949	2.70	14.1
検体摂取量 (mg/kg 体重)	スルホキサフロル	0.013	0.052	0.171	0.944
	D	0.001	0.005	0.017	0.095
	B	0.005	0.021	0.068	0.378

乳汁試料中のスルホキサフロルの残留値

試料採取日	休薬期間	スルホキサフロルの平均残留値 (μg/g)				
		対照群	0.2 倍量	1 倍量	3 倍量	15 倍量
投与-1 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	<0.003
投与 2 日	-	<0.003	0.019	0.058	0.151	0.782
投与 6 日	-	<0.003	0.027	0.087	0.220	1.10
投与 8 日	-	(0.005)	0.027	0.086	0.240	1.12
投与 10 日	-	<0.003	0.027	0.088	0.251	1.18
投与 14 日	-	<0.003	0.029	0.095	0.255	1.43
投与 16 日	-	<0.003	0.027	0.095	0.247	1.28
投与 20 日	-	<0.003	0.020	0.082	0.205	1.25
投与 24 日	-	<0.003	0.021	0.090	0.247	1.17
投与 28 日	-	-	-	0.079	-	1.24
投与 29 日	1 日	-	0.0180	-	0.251	1.14
投与 30 日	2 日	<0.003	-	-	-	0.588
投与 31 日	3 日	-	-	-	-	0.361
投与 33 日	5 日	-	-	-	-	0.096
投与 35 日	7 日	-	-	-	-	0.028
投与 37 日	9 日	-	-	-	-	(0.010)
投与 41 日	13 日	-	-	-	-	<0.003
投与 44 日	16 日	-	-	-	-	<0.003
投与 46 日	18 日	-	-	-	-	<0.003
投与 48 日	20 日	-	-	-	-	<0.003
投与 14~28/29 日		-	0.023	0.088	0.241	1.23

()内は定量下限 0.01 mg/kg 未満であるが、0.003 mg/kg 以上検出されたもの、-：該当なし

乳汁試料中の代謝物 D の残留値

試料採取日	休薬期間	代謝物 D の平均残留値 (μg/g)				
		対照群	0.2 倍量	1 倍量	3 倍量	15 倍量
投与-1 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
投与 2 日	-	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.007)	0.034
投与 6 日	-	<0.003	<0.003	(0.005)	(0.008)	0.039
投与 8 日	-	<0.003	<0.003	(0.003)	(0.008)	0.038
投与 10 日	-	<0.003	<0.003	(0.004)	0.011	0.039
投与 14 日	-	<0.003	<0.003	(0.003)	(0.009)	0.043
投与 16 日	-	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.010)	0.039
投与 20 日	-	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.008)	0.043
投与 24 日	-	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.007)	0.034
投与 28 日	-	-	-	(0.003)	-	0.037
投与 29 日	1 日	-	<0.003	-	(0.009)	0.029
投与 30 日	2 日	<0.003	-	-	-	(0.006)
投与 31 日	3 日	-	-	-	-	<0.003
投与 33 日	5 日	-	-	-	-	<0.003
投与 35 日	7 日	-	-	-	-	<0.003
投与 37 日	9 日	-	-	-	-	<0.003
投与 41 日	13 日	-	-	-	-	<0.003
投与 44 日	16 日	-	-	-	-	<0.003
投与 46 日	18 日	-	-	-	-	<0.003
投与 48 日	20 日	-	-	-	-	<0.003
投与 14~28/29 日		-	<0.003	(0.004)	(0.008)	0.039

( )内は定量下限 0.01 mg/kg 未満であるが、0.003 mg/kg 以上検出されたもの、-：該当なし

脱脂乳及び乳脂肪試料中のスルホキサフロル、D 及び B の残留値

分析対象化合物	試験群	平均残留値 (μg/g)			
		脱脂乳		乳脂肪	
		投与 22 日	投与 26 日	投与 22 日	投与 26 日
スルホキサフロル	対照群	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	0.2 倍量	0.014	0.017	0.015	0.013
	1 倍量	0.075	0.090	0.067	0.062
	3 倍量	0.212	0.244	0.190	0.161
	15 倍量	1.05	1.18	1.01	0.863
D	対照群	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	0.2 倍量	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	1 倍量	(0.003)	(0.004)	<0.003	<0.003
	3 倍量	(0.007)	(0.007)	<0.003	(0.005)
	15 倍量	0.036	0.031	0.020	0.017
B	対照群	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	0.2 倍量	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	1 倍量	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	3 倍量	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	15 倍量	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003

( )内は定量下限 0.01 mg/kg 未満であるが、0.003 mg/kg 以上検出されたもの、-：該当なし

組織試料中のスルホキサフロル、D及びBの残留値

分析対象化合物	試験群	休薬期間	平均残留値 (μg/g)			
			筋肉	脂肪	肝臓	腎臓
スルホキサフロル	対照群	-	<0.003	(0.003)	<0.003	<0.003
	0.2倍量	-	0.021	0.012	0.054	0.033
	1倍量	-	0.115	0.043	0.299	0.178
	3倍量	-	0.273	0.107	0.712	0.480
	15倍量	-	1.47	0.637	3.69	2.23
		3日	0.355	0.211	0.840	0.567
		7日	0.021	0.015	0.059	0.036
		14日	(0.003)	(0.005)	(0.005)	(0.003)
		21日	<0.003	(0.004)	(0.003)	0.011
D	対照群	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	0.2倍量	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	1倍量	-	(0.005)	<0.003	(0.006)	(0.009)
	3倍量	-	(0.008)	<0.003	0.014	0.019
	15倍量	-	0.041	0.011	0.069	0.089
		3日	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.003)
		7日	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		14日	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
		21日	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
B	対照群	-	(0.003)	<0.003	<0.003	<0.003
	0.2倍量	-	<0.003	(0.003)	(0.003)	<0.003
	1倍量	-	<0.003	(0.003)	(0.003)	<0.003
	3倍量	-	<0.003	(0.004)	(0.003)	(0.003)
	15倍量	-	(0.010)	0.016	0.012	0.081
		3日	<0.003	<0.003	<0.003	(0.003)
		7日	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.003)
		14日	(0.003)	(0.003)	(0.003)	(0.004)
		21日	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)

( )内は定量下限0.01 mg/kg未満であるが、0.003 mg/kg以上検出されたもの、-：該当なし

＜別紙６：畜産物残留試験成績（ニワトリ）＞

飼料中検体濃度及び検体摂取量

試験群		0.2/0.25 倍量[a]	1 倍量	3 倍量	15 倍量
飼料中検体量 (mg/kg 乾物)	スルホキサフロル	0.145	0.757	2.10	10.7
	D	0.0103	0.043	0.120	0.611
	B	0.023	0.097	0.269	1.38
検体摂取量 (mg/kg 体重)	スルホキサフロル	0.0088	0.044	0.132	0.659
	D	0.0006	0.0025	0.0075	0.038
	B	0.0014	0.0056	0.017	0.085

[a]：スルホキサフロルは 0.2 倍量、D 及び B は 0.25 倍量

鶏卵試料中のスルホキサフロルの残留値

試料採取日	休薬期間	スルホキサフロルの平均残留値 (μg/g)				
		対照群	0.2 倍量	1 倍量	3 倍量	15 倍量
投与前	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
投与 1 日	-	<0.003	<0.003	0.011	0.040	0.170
投与 3 日	-	<0.003	(0.004)	0.021	0.058	0.362
投与 5 日	-	<0.003	(0.006)	0.023	0.075	0.452
投与 7 日	-	<0.003	(0.005)	0.027	0.079	0.633
投与 10 日	-	<0.003	(0.004)	0.027	0.079	0.471
投与 14 日	-	<0.003	(0.006)	0.026	0.083	0.454
投与 16 日	-	<0.003	(0.005)	0.029	0.076	0.333
投与 18 日	-	<0.003	(0.006)	0.032	0.075	0.436
投与 20 日	-	<0.003	(0.007)	0.030	0.085	0.444
投与 22 日	-	<0.003	(0.007)	0.041	0.086	0.389
投与 24 日	-	<0.003	(0.007)	0.028	0.085	0.426
投与 27 日	-	-	-	0.032	-	0.496
投与 28 日	-	-	(0.008)	-	0.075	-
投与 29 日	1 日	<0.003	-	-	-	-
投与 30 日	2 日	-	-	-	-	0.286
投与 31 日	3 日	-	-	-	-	0.184
投与 32 日	5 日	-	-	-	-	0.132
投与 34 日	7 日	-	-	-	-	0.051
投与 36 日	9 日	-	-	-	-	0.017
投与 39 日	13 日	-	-	-	-	(0.009)
投与 41 日	16 日	-	-	-	-	(0.007)
投与 45 日	18 日	-	-	-	-	0.010
投与 47 日	20 日	-	-	-	-	(0.006)
投与 48 日	21 日	-	-	-	-	(0.005)
投与 10~27 日		-	(0.006)	0.031	0.080	0.431

( )内は定量下限 0.01 mg/kg 未満であるが、0.003 mg/kg 以上検出されたもの、-：該当なし

鶏卵試料中の代謝物 D の残留値

試料採取日	休薬期間	代謝物 D の平均残留値 (μg/g)				
		対照群	0.25 倍量	1 倍量	3 倍量	15 倍量
投与前	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
投与 1 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	(0.009)
投与 3 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.005)	0.015
投与 5 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.003)	0.022
投与 7 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	0.021
投与 10 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.018
投与 14 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.005)	0.019
投与 16 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	0.013
投与 18 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	0.015
投与 20 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.005)	0.016
投与 22 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	0.015
投与 24 日	-	<0.003	<0.003	<0.003	(0.004)	0.017
投与 27 日	-	-	-	<0.003	-	0.017
投与 28 日	-	-	<0.003	-	(0.004)	-
投与 29 日	1 日	<0.003	-	-	-	-
投与 30 日	2 日	-	-	-	-	(0.005)
投与 31 日	3 日	-	-	-	-	(0.005)
投与 32 日	5 日	-	-	-	-	(0.004)
投与 34 日	7 日	-	-	-	-	<0.003
投与 36 日	9 日	-	-	-	-	<0.003
投与 39 日	13 日	-	-	-	-	<0.003
投与 41 日	16 日	-	-	-	-	<0.003
投与 45 日	18 日	-	-	-	-	<0.003
投与 47 日	20 日	-	-	-	-	<0.003
投与 48 日	21 日	-	-	-	-	<0.003
投与 10~27 日		-	<0.003	<0.003	(0.004)	0.016

( )内は定量下限 0.01 mg/kg 未満であるが、0.003 mg/kg 以上検出されたもの、- : 該当なし

組織試料中のスルホキサフロル、D及びBの残留値

分析対象化合物	試験群	休薬期間	平均残留値 (μg/g)		
			筋肉	肝臓	脂肪
スルホキサフロル	対照群	-	<0.003	<0.003	<0.003
	0.2倍量	-	(0.006)	0.018	<0.003
	1倍量	-	0.034	0.104	0.012
	3倍量	-	0.090	0.185	0.036
	15倍量	-	0.516	1.14	0.167
		3日	0.017	0.023	<0.003
		7日	0.014	0.017	(0.003)
		14日	0.013	0.020	(0.007)
		21日	(0.007)	<0.003	<0.003
D	対照群	-	<0.003	<0.003	<0.003
	0.25倍量	-	<0.003	<0.003	<0.003
	1倍量	-	<0.003	<0.003	<0.003
	3倍量	-	(0.004)	(0.004)	<0.003
	15倍量	-	0.018	0.024	(0.003)
		3日	<0.003	<0.003	<0.003
		7日	<0.003	<0.003	<0.003
		14日	<0.003	<0.003	<0.003
		21日	<0.003	<0.003	<0.003
B	対照群	-	<0.003	<0.003	<0.003
	0.25倍量	-	<0.003	<0.003	<0.003
	1倍量	-	<0.003	(0.008)	<0.003
	3倍量	-	<0.003	0.015	(0.003)
	15倍量	-	<0.003	0.073	(0.007)
		3日	<0.003	<0.003	<0.003
		7日	<0.003	<0.003	<0.003
		14日	<0.003	<0.003	(0.003)
		21日	<0.003	<0.003	<0.003

＜別紙７：推定摂取量＞

農畜産物名	残留値 (mg/kg)	国民平均（体重：55.1 kg）		小児（1~6歳）（体重：16.5 kg）		妊婦（体重：58.5 kg）		高齢者（65歳以上）（体重：56.1 kg）	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)
米	0.48	164.2	78.8	85.7	41.1	105.3	50.5	180.2	86.5
小麦	0.19	59.8	11.4	44.3	8.42	69.0	13.1	49.9	9.48
大豆	0.56	39.0	21.8	20.4	11.4	31.3	17.5	46.1	25.8
小豆類	0.02	2.4	0.05	0.8	0.02	0.8	0.02	3.9	0.08
だいこん類（根）	0.05	33.0	1.65	11.4	0.57	20.6	1.03	45.7	2.29
だいこん類（葉）	4.86	1.7	8.26	0.6	2.92	3.1	15.07	2.8	13.6
はくさい	0.56	17.7	9.91	5.1	2.86	16.6	9.30	21.6	12.1
キャベツ	0.21	24.1	5.06	11.6	2.44	19.0	3.99	23.8	5.00
こまつな	1.50	5.0	7.50	1.8	2.70	6.4	9.60	6.4	9.60
きょうな	1.54	2.2	3.39	0.4	0.62	1.4	2.16	2.7	4.16
チンゲンサイ	2.55	1.8	4.59	0.7	1.79	1.8	4.59	1.9	4.85
ブロッコリー	0.94	5.2	4.89	3.3	3.10	5.5	5.17	5.7	5.36
ごぼう	0.008	3.9	0.03	1.6	0.01	3.9	0.03	4.6	0.04
レタス	3.98	9.6	38.2	4.4	17.5	11.4	45.4	9.2	36.6
その他のきく科野菜	2.90	1.5	4.35	0.1	0.29	0.6	1.74	2.6	7.54
トマト	0.94	32.1	30.2	19.0	17.9	32.0	30.1	36.6	34.4
ピーマン	0.70	4.8	3.36	2.2	1.54	7.6	5.32	4.9	3.43
なす	0.44	12.0	5.28	2.1	0.92	10.0	4.40	17.1	7.52
きゅうり	0.28	20.7	5.80	9.6	2.69	14.2	3.98	25.6	7.17
すいか	0.05	7.6	0.38	5.5	0.28	14.4	0.72	11.3	0.57
メロン類果実	0.06	3.5	0.21	2.7	0.16	4.4	0.26	4.2	0.25
ほうれんそう	7.72	12.8	98.8	5.9	45.6	14.2	110	17.4	134
えだまめ	1.04	1.7	1.77	1.0	1.04	0.6	0.62	2.7	2.81
みかん	0.05	17.8	0.89	16.4	0.82	0.6	0.03	26.2	1.31
なつみかんの果実全体	0.89	1.3	1.16	0.7	0.62	4.8	4.27	2.1	1.87
その他のかんきつ類果実	0.56	5.9	3.30	2.7	1.51	2.5	1.40	9.5	5.32
りんご	0.28	24.2	6.78	30.9	8.65	18.8	5.26	32.4	9.07
日本なし	0.50	6.4	3.20	3.4	1.70	9.1	4.55	7.8	3.90
西洋なし	0.50	0.6	0.30	0.2	0.10	0.1	0.05	0.5	0.25
もも	0.34	3.4	1.16	3.7	1.26	5.3	1.80	4.4	1.50
すもも	0.08	1.1	0.09	0.7	0.06	0.6	0.05	1.1	0.09
うめ	1.24	1.4	1.74	0.3	0.37	0.6	0.74	1.8	2.23
おうとう	1.58	0.4	0.63	0.7	1.11	0.1	0.16	0.3	0.47
いちご	1.96	5.4	10.6	7.8	15.3	5.2	10.2	5.9	11.6
ぶどう	1.41	8.7	12.3	8.2	11.6	20.2	28.5	9.0	12.7
かき	0.31	9.9	3.07	1.7	0.53	3.9	1.21	18.2	5.64
キウィー	0.02	2.2	0.04	1.4	0.03	2.3	0.05	2.9	0.06
その他のスパイス	3.38	0.1	0.34	0.1	0.34	0.1	0.34	0.2	0.68
その他のハーブ	8.78	0.9	7.90	0.3	2.63	0.1	0.88	1.4	12.3
牛・筋肉と脂肪	0.273	15.3	4.18	9.7	2.65	20.9	5.71	9.9	2.70

牛・肝臓	0.712	0.1	0.07	0.0	0.00	1.4	1.00	0.0	0.00
牛・腎臓	0.480	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
牛・その他食用部分	0.712	0.5	0.36	0.0	0.00	3.4	2.42	0.4	0.28
豚・筋肉と脂肪	0.273	42	11.5	33.4	9.12	43.2	11.8	30.6	8.35
豚・肝臓	0.712	0.1	0.07	0.5	0.36	0.0	0.00	0.1	0.07
豚・腎臓	0.480	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
豚・その他食用部分	0.712	0.6	0.43	0.3	0.21	0.1	0.07	0.4	0.28
その他陸棲哺乳類・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分	0.712	0.4	0.28	0.1	0.07	0.4	0.28	0.4	0.28
鶏・筋肉と脂肪	0.516	18.7	9.65	13.6	7.02	19.8	10.2	13.9	7.17
鶏・肝臓	1.14	0.7	0.80	0.5	0.57	0.0	0.00	0.8	0.91
鶏・腎臓	1.14	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00
鶏・その他食用部分	1.14	1.9	2.17	1.2	1.37	2.9	3.31	1.4	1.60
その他家きん・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分	1.14	0.1	0.11	0.0	0.00	0.0	0.00	0.1	0.11
乳	0.255	264.1	67.4	332	84.7	364.5	93.0	216	55.1
鶏卵	0.633	41.3	26.1	32.8	20.8	47.8	30.3	37.7	23.9
その他の家きんの卵	0.633	0.3	0.19	0.4	0.25	0.3	0.19	0.3	0.19
合計			522		339		552		583

注）・農産物の残留値は、登録又は申請されている使用時期・使用回数による各試験区のスルホキサフロルの平均残留値のうち、最大のものを用いた（参照　別紙 3）。
・「ff」：平成 17～19 年の食品摂取頻度・摂取量調査（参照 90）の結果に基づく食品摂取量（g/人/日）
・「摂取量」：残留値及び食品摂取量から求めたスルホキサフロルの推定摂取量（μg/人/日）
・『小豆類』については、いんげんまめ（乾燥子実）の値を用いた。
・『きょうな』については、みずなの値を用いた。
・『レタス』については、レタス、サラダ菜、リーフレタスのうち残留値の高いリーフレタスの値を用いた。
・『その他のきく科野菜』については、食用ぎくの値を用いた。
・『トマト』については、ミニトマトの値を用いた。
・『すいか』については、すいかの果肉の値を用いた。
・『メロン類果実』については、メロンの果肉の値を用いた。
・『みかん』については、みかんの果肉の値を用いた。
・『その他のかんきつ類果実』については、かぼす、すだちのうち残留値の高いすだちの値を用いた。
・『キウィー』については、キウイフルーツの果肉の値を用いた。
・『その他のスパイス』については、みかんの果皮の値を用いた。
・『その他のハーブ』については、しそ（葉）の値を用いた。
・未成熟とうもろこし、ばれいしょ、てんさい、やまのいもは全データが定量限界未満であったことから、摂取量の計算に用いなかった。
・『牛・筋肉と脂肪』、『牛・肝臓』、『牛・腎臓』、『牛・その他食用部分』、『乳』については、飼料として利用される作物におけるスルホキサフロルの残留値を考慮して、畜産物残留試験[6.(3)①]における 6.75 mg/kg 飼料投与群での最大残留値を用いた。なお、『牛・筋肉と脂肪』については筋肉の値を、『牛・その他食用部分』については肝臓の値を残留値の算出に用いた（参照　別紙 5）。
・豚の残留値は、牛に係る推定摂取量の算出に用いた残留値のうち、同じ部位の残留値を用いた。
・『その他陸棲哺乳類・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分』については、牛に係る推定摂取量の

算出に用いた残留値のうち最大値を用いた。
・『鶏・筋肉と脂肪』、『鶏・肝臓』、『鶏・腎臓』、『鶏・その他食用部分』、『卵』については、飼料として利用される作物におけるスルホキサフロルの残留値を考慮して、畜産物残留試験[6.(3)②]における 10.7 mg/kg 飼料投与群での最大残留値を用いた。なお、『鶏・筋肉と脂肪』については筋肉の値を、『鶏・腎臓』及び『鶏・その他食用部分』については肝臓の値を用いた（参照　別紙 6）。
・『その他家きん・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分』については、鶏に係る推定摂取量の算出に用いた残留値のうち最大値を用いた。
・『その他家きん・卵』については、『鶏卵』の値を用いた。

＜参照＞

1. 農薬抄録　スルホキサフロル（殺虫剤）（平成 25 年 4 月 2 日改訂）：ダウ・ケミカル日本株式会社、一部公表
2. ^{14}C 標識スルホキサフロルを用いたラット体内における代謝試験（GLP 対応）：The Dow Chemical Company（米国）、2009 年、未公表
3. ^{14}C 標識スルホキサフロルを用いたラット体内における代謝試験（組織分布）（GLP 対応）：The Dow Chemical Company（米国）、2010 年、未公表
4. 泌乳ヤギにおけるスルホキサフロルの代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Southwest Bio-Labs, Inc.（米国）、2010 年、未公表
5. 泌乳ヤギにおける代謝物 X11719474 の代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Southwest Bio-Labs, Inc.（米国）、2010 年、未公表
6. 産卵鶏におけるスルホキサフロルの代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Southwest Bio-Labs, Inc.（米国）、2009 年、未公表
7. 産卵鶏における代謝物 X11719474 の代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Southwest Bio-Labs, Inc.（米国）、2010 年、未公表
8. ^{14}C 標識スルホキサフロルを用いた水稲における代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Research For Hire（米国）、ABC Laboratories, Inc.（米国）、2010 年、未公表
9. ^{14}C 標識スルホキサフロルを用いたレタスにおける代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Research For Hire（米国）、ABC Laboratories, Inc（米国）、2010 年、未公表
10. ^{14}C 標識スルホキサフロルを用いたトマトにおける代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Research For Hire（米国）、ABC Laboratories, Inc.（米国）、2010 年、未公表
11. ^{14}C 標識スルホキサフロルを用いたえんどうにおける代謝試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、Research For Hire（米国）、ABC Laboratories, Inc.（米国）、2010 年、未公表
12. 好気的湛水土壌中動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2009 年、未公表
13. 好気的及び嫌気的土壌中動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2009 年、未公表
14. 好気的土壌中動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2010 年、未公表
15. 嫌気的土壌中動態試験（GLP 対応）：Battelle UK（英国）、2010 年、未公表
16. 嫌気的湛水土壌中動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2010 年、未公表
17. 土壌吸着性試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2010 年、未公表

18. 土壌吸着性試験（GLP 対応）：（財）残留農薬研究所、2012 年、未公表
19. 加水分解動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2009 年、未公表
20. 緩衝液を用いた水中光分解動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2010 年、未公表
21. 自然水を用いた水中光分解動態試験（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2010 年、未公表
22. 土壌残留試験：（財）残留農薬研究所、2011、2012 年、未公表
23. 作物残留試験：（財）残留農薬研究所、2011、2012 年、未公表
24. 海外作物残留試験成績概要：ダウ・ケミカル日本株式会社、未公表
25. 乳牛におけるスルホキサフロル、X11719474 及び X11721061 の残留試験（GLP 対応）：CEM Analytical Services Ltd.（英国）、2010 年、未公表
26. 産卵鶏におけるスルホキサフロルの残留試験（GLP 対応）：CEM Analytical Services Ltd.（英国）、2010 年、未公表
27. 一般薬理試験（GLP 対応）：（株）化合物安全性研究所、2012 年、未公表
28. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
29. マウスにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
30. ラットにおける急性経皮毒性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2008 年、未公表
31. ラットにおける急性吸入毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2009 年、未公表
32. 代謝物 B のラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2010 年、未公表
33. 代謝物 D のラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2010 年、未公表
34. X11519540･代謝物 G のラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2010 年、未公表
35. 代謝物 H のラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2010 年、未公表
36. 家畜代謝物 K のラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2010 年、未公表
37. ラットを用いた急性経口神経毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
38. ウサギを用いた眼刺激性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2008 年、未公表
39. ウサギを用いた皮膚刺激性試験（GLP 対応）：Eurofins PSL（米国）、2008

年、未公表

40. マウスを用いた皮膚感作性試験（LLNA）（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
41. 代謝物 D のウサギを用いた眼刺激性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
42. 代謝物 D のラットにおける急性経皮毒性および皮膚刺激性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
43. 代謝物 D のマウスを用いた皮膚感作性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
44. ラットを用いた飼料混入による 90 日間反復経口投与毒性（29 日間回復試験を含む）、免疫毒性及び反復投与神経毒性併合試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2009 年、未公表
45. マウスを用いた飼料混入による 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2009 年、未公表
46. イヌを用いた強制経口投与による 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：MPI Research Inc.（米国）、2010 年、未公表
47. ラットを用いた経皮ばく露による 28 日間反復経皮投与毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2009 年、未公表
48. 代謝物 B のラットにおける 28 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：MPI Research, Inc.（米国）、2010 年、未公表
49. X11519540・代謝物 G のラットにおける 28 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
50. 代謝物 D のラットにおける 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
51. 代謝物 D のイヌにおける 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：MPI Research, Inc.（米国）、2010 年、未公表
52. イヌを用いた強制経口投与による 1 年間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：MPI Research Inc.（米国）、2010 年、未公表
53. ラットを用いた飼料混入による 2 年間反復経口投与毒性及び発がん性併合試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
54. マウスを用いた飼料混入による発がん性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
55. ラットを用いた 2 世代繁殖毒性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
56. ラットにおける催奇形性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
57. ウサギにおける催奇形性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2009 年、未公表

58. ラットを用いた発達神経毒性試験（GLP 対応）：WIL Research Laboratories, LLC（米国）、2010 年、未公表
59. 代謝物 D のラットにおける繁殖毒性スクリーニング試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
60. 代謝物 D のラットにおける催奇形性試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
61. 細菌を用いる復帰突然変異試験（GLP 対応）：コバンス社（米国）、2007 年、未公表
62. ラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2007 年、未公表
63. CHO 細胞を用いた *in vitro* 前進突然変異試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2007 年、未公表
64. マウスの骨髄を用いた小核試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2009 年、未公表
65. 代謝物 B の細菌を用いる復帰突然変異試験（GLP 対応）：BioReliance（米国）、2009 年、未公表
66. 代謝物 D の細菌を用いる復帰突然変異試験（GLP 対応）：コバンス社（米国）、2008 年、未公表
67. X11519540・代謝物 G の細菌を用いる復帰突然変異試験（GLP 対応）：BioReliance（米国）、2010 年、未公表
68. 代謝物 H の細菌を用いる復帰突然変異試験（GLP 対応）：BioReliance（米国）、2010 年、未公表
69. 代謝物 K の細菌を用いる復帰突然変異試験（GLP 対応）：BioReliance（米国）、2010 年、未公表
70. 代謝物 B のラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
71. 代謝物 D のラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
72. X11519540・代謝物 G のラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
73. 代謝物 H のラットリンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
74. 代謝物 B の CHO 細胞を用いた *in vitro* 前進突然変異試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
75. 代謝物 D の CHO 細胞を用いた *in vitro* 前進突然変異試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2008 年、未公表
76. X11519540・代謝物 G の CHO 細胞を用いた *in vitro* 前進突然変異試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表

77. 代謝物 H の CHO 細胞を用いた *in vitro* 前進突然変異試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
78. げっ歯類における肝臓腫瘍の発生機序：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）及び CXR Biosciences Ltd.Medical School Resource Unit（英国）、2008~2010 年、未公表
79. 代謝物 D のげっ歯類における肝臓腫瘍の発生機序（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
80. ラットにおける精巣間細胞腫瘍の発生機序（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
81. ラットを用いた交叉哺育試験（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
82. ウサギにおける新生児生存率に及ぼす影響（GLP 対応）：WIL Research Laboratories, LLC（米国）、2009 年、未発表
83. 哺乳類ニコチン・アセチルコリン受容体に対するアゴニスト試験：University College London（英国）、2010 年、未発表
84. ラットにおける胎児異常および新生児生存率に対する影響（ばく露の臨界期検討試験 1）（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
85. ラットにおける胎児異常および新生児生存率に対する影響（ばく露の臨界期検討試験 2）（GLP 対応）：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
86. ラット新生児の横隔神経－片側横隔膜に対する影響試験：University College London（英国）、2010 年、未発表
87. ラット催奇形性試験における胎児肺試料の病理組織学的検査：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー（米国）、2010 年、未公表
88. スルホキサフロル　ラットにおける microdialysis 試験成績：RenaSci Consultancy Ltd（英国）及び University of Nottingham Medical School（英国）、2011 年、未公表
89. 食品健康影響評価について（平成 25 年 8 月 19 日付け厚生労働省発食安 0819 第 5 号）
90. 平成 17～19 年の食品摂取頻度・摂取量調査（薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会資料、2014 年 2 月 20 日）
91. 食品健康影響評価の結果の通知について（平成 26 年 10 月 29 日付け府食第 836 号）
92. 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改正する件（平成 29 年厚生労働省告示 361 号）
93. 食品健康影響評価について（令和 3 年 6 月 30 日厚生労働省発生食 0630 第 3 号）
94. 農薬抄録　スルホキサフロル（殺虫剤）（令和 3 年 3 月 18 日改訂）：ダウ・ア

グロサイエンス日本株式会社、一部公表

95. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　いちご作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2014 年、未公表
96. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　いちご作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2015 年、未公表
97. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　うめ作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2013 年、未公表
98. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　うめ作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2014 年、未公表
99. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　おうとう作物残留試験（GLP 対応）：一般財団法人残留農薬研究所、一般社団法人日本植物防疫協会、2014 年、未公表
100. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　かき作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2015 年、未公表
101. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　かき作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2016 年、未公表
102. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　ぶどう作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2015 年、未公表
103. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　ぶどう作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2017 年、未公表
104. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　もも作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2014 年、未公表
105. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　もも作物残留試験（GLP 対応）：一般財社法人日本植物防疫協会、2013 年、未公表
106. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　未成熟とうもろこし作物残留試験①（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2015 年、未公表
107. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　未成熟とうもろこし作物残留試験②（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2015 年、未公表
108. XDE-208（DAI-1101）顆粒水和剤　いんげんまめ作物残留試験：一般財団法人残留農薬研究所、一般社団法人日本植物防疫協会、2018 年、未公表
109. XDE-208（DAI-1004）フロアブル　えだまめ作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2017 年、未公表
110. XDE-208（DAI-1004）フロアブル　えだまめ作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2018 年、未公表
111. スルホキサフロル（トランスフォームフロアブル）しそ作物残留試験：日本エコテック株式会社、2018 年、未公表
112. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　すいか作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2017 年、未公表
113. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　すいか作物残留試験（GLP 対応）：一般社

団法人日本植物防疫協会、2018 年、未公表
114. XDE-208（DAI-1004）フロアブル　だいず作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2016 年、未公表
115. XDE-208（DAI-1004）フロアブル　だいず作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2017 年、未公表
116. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　メロン作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2017 年、未公表
117. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　メロン作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2018 年、未公表
118. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　メロン作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2016 年、未公表
119. XDE-208（DAI-1101）顆粒水和剤　小麦作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2014 年、未公表
120. XDE-208（DAI-1101）顆粒水和剤　小麦作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2015 年、未公表
121. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　ほうれんそう作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2017 年、未公表
122. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　ほうれんそう作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2018 年、未公表
123. XDE-208（DAI-1001）フロアブル　キウイフルーツ作物残留試験（GLP 対応）：一般社団法人日本植物防疫協会、2018 年、未公表
124. 海外作物残留試験成績概要：ダウ・アグロサイエンス日本株式会社、未公表
125. Sulfoxaflor: Magnitude of the Residue on Artichoke (Globe) (GLP 対応) : IR-4 Project（米国）、2017 年、未公表
126. Sulfoxaflor: Magnitude of the Residue on Caneberry (GLP 対応) : IR-4 Project（米国）、2017 年、未公表
127. Sulfoxaflor: Magnitude of the Residue on Blueberry (GLP 対応) : IR-4 Project（米国）、2017 年、未公表
128. Magnitude of Sulfoxaflor and Metabolite Residues in Raw and Processed Commodities Following Application of GF-2032 to Cacao（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2013 年、未公表
129. Magnitude of the Residues of Sulfoxaflor and its Major Metabolites (X11719474 and X11721061) in or on Pineapple Raw Agricultural and Processed Commodities Following Two Applications with GF-2032（GLP 対応）：Dow AgroSciences LLC（米国）、2013 年、未公表
130. Residue study of the activity substance sulfoxaflor in mango after application of the formulation “Sulfoxaflor 240g/L” on Mango leafhopper in Taiwan（GLP 対応）：Dow AgroSciences（台湾）、2015 年、未公表